



SICAT AIR バージョン 1.3

取扱説明書 | 日本語

目次

1 用途	10
2 バージョン履歴	11
3 システム要件	12
4 安全に関する情報.....	14
4.1 危険レベルの定義	15
4.2 オペレーターの資格	16
5 使用するアイコンおよび強調.....	17
6 取扱説明書の概要.....	18
7 SICAT Suiteの概要	19
8 SICAT Suiteのインストール	21
9 SICAT Suiteの更新、修復.....	27
10 SIDEXIS 4のモジュールを追加	28
10.1 SIDEXIS 4バージョンの特徴	29
10.2 SICAT Airの標準ワークフロー	32
10.3 SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する	35
10.4 SIDEXIS 4のSICAT Air撮影結果.....	37
10.5 SICAT Suite をスタートする	39
10.6 SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	41
10.6.1 SICATのアプリケーションを相互に切り替える	42
10.7 オンラインヘルプを開く	43
10.8 ライセンス.....	44
10.8.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く	46
10.8.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	47
10.8.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	49
10.8.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する.....	51
10.8.5 バウチャーコードを使用する	52
10.9 SICAT Airのユーザーインターフェース.....	53
10.9.1 ワークフローのツールバー	55
10.9.2 オブジェクトバー	58
10.9.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理.....	60
10.9.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	62
10.9.5 SICAT Airオブジェクト	64
10.10ワークスペース.....	70
10.10.1 気道ワークスペースの概要.....	71
10.10.2 MPR/放射性ワークスペースの概要	72
10.10.3 アクティブなワークスペースを切り替える.....	73

10.10.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	74
10.10.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する	75
10.11 ビュー	76
10.11.1 ビューの調整	77
10.11.2 アクティブなビューの切り替え	79
10.11.3 ビューの最大化および復元	80
10.11.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	81
10.11.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動	83
10.11.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	84
10.11.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示	85
10.11.8 ビューをリセットする	86
10.11.9 画像のスクリーンショットを作成する	87
10.12 3Dビューの調整	88
10.12.1 3Dビューの目線を変更する	89
10.12.2 3Dビューの表示タイプ	91
10.12.3 3Dビューの表示タイプを切り替える	92
10.12.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する	93
10.12.5 3Dビューの切り抜きモード	95
10.12.6 3Dビューの切り抜きモードの切り替え	98
10.13 ボリュームの配置およびパノラマエリア	99
10.13.1 ボリュームの配置を調整する	102
10.13.2 パノラマエリアを調整する	107
10.14 距離/角度測定	111
10.14.1 距離測定を追加する	112
10.14.2 角度測定を追加する	113
10.14.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	115
10.15 気道のセグメンテーション	117
10.15.1 気道エリアの設定	118
10.15.2 気道セグメンテーションの修正	122
10.15.3 必要でないエリアを気道から削除する	124
10.15.4 気道を手動でセグメントする	126
10.15.5 気道のセグメンテーションを完了してください	127
10.16 気道分析	128
10.16.1 気道プロファイルとの連携	132
10.17 気道比較	134
10.17.1 気道比較を行う	136
10.18 患者教化	142
10.18.1 画像とスクリーンショットの作成	143
10.18.2 ハンドアウトの準備	146
10.18.3 ハンドアウトの作成	150
10.19 データエクスポート	151
10.20 注文プロセス	152
10.20.1 治療プリントをショッピングカートに入れる	153
10.20.2 光学印象	157

10.20.3	光学印象をインポートし記録する	158
10.20.4	他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	163
10.20.5	カートを開く	165
10.20.6	カートをチェックして、注文プロセスを完了する	166
10.20.7	インターネット接続を使用した注文の終了	167
10.20.8	SICATポータルでの注文手順	168
10.20.9	SICAT WebConnector	169
10.20.1	インターネット接続を使用しない注文の終了	171
0		
10.21	設定	175
10.21.1	一般的な設定内容を確認する、変更する	176
10.21.2	SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	178
10.21.3	歯科クリニックの説明文を確認する	180
10.21.4	可視化設定の変更	181
10.21.5	SICAT Air設定の変更	183
10.22	サポート	185
10.22.1	サポート態勢のページを開く	186
10.22.2	連絡先情報およびサポートツール	187
10.22.3	インフォメーション	188
10.23	データを書き込み禁止で開く	189
10.24	SICAT Suiteを閉じる	190
11	SIDEXIS XGのプラグイン	191
11.1	SIDEXIS XGバージョンの特徴	192
11.2	SICAT Airの標準ワークフロー	194
11.3	SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する	197
11.4	SICAT Suite をスタートする	199
11.5	SICAT Suiteのユーザーインターフェース	201
11.5.1	SICATのアプリケーションを相互に切り替える	203
11.6	オンラインヘルプを開く	204
11.7	ライセンス	205
11.7.1	「ライセンス一覧」ウインドウを開く	207
11.7.2	インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	208
11.7.3	ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	210
11.7.4	ライセンスをライセンスプールへ返却する	212
11.7.5	バウチャーコードを使用する	213
11.8	SICAT Airのユーザーインターフェース	214
11.8.1	ワークフローのツールバー	215
11.8.2	オブジェクトバー	218
11.8.3	オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	220
11.8.4	オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	222
11.8.5	SICAT Airオブジェクト	224
11.9	ワークスペース	229
11.9.1	気道ワークスペースの概要	230

11.9.2 MPR/放射性ワークスペースの概要	231
11.9.3 アクティブなワークスペースを切り替える.....	232
11.9.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット.....	233
11.9.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する	234
11.10ビュー	235
11.10.1 ビューの調整	236
11.10.2 アクティブなビューの切り替え.....	238
11.10.3 ビューの最大化および復元.....	239
11.10.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット.....	240
11.10.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動.....	242
11.10.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール.....	243
11.10.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示	244
11.10.8 ビューをリセットする	245
11.10.9 画像のスクリーンショットを作成する	246
11.113Dビューの調整.....	247
11.11.1 3Dビューの目線を変更する	248
11.11.2 3Dビューの表示タイプ	250
11.11.3 3Dビューの表示タイプを切り替える.....	251
11.11.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する.....	252
11.11.5 3Dビューの切り抜きモード	254
11.11.6 3Dビューの切り抜きモードの切り替え	257
11.12ボリュームの配置およびパノラマエリア	258
11.12.1 ボリュームの配置を調整する	260
11.12.2 パノラマエリアを調整する	265
11.13距離/角度測定.....	268
11.13.1 距離測定を追加する.....	269
11.13.2 角度測定を追加する.....	270
11.13.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	272
11.14気道のセグメンテーション.....	274
11.14.1 気道エリアの設定	275
11.14.2 気道セグメンテーションの修正.....	279
11.14.3 必要でないエリアを気道から削除する.....	281
11.14.4 気道を手動でセグメントする	283
11.14.5 気道のセグメンテーションを完了してください	284
11.15気道分析	285
11.15.1 気道プロファイルとの連携.....	289
11.16患者教化	291
11.16.1 画像とスクリーンショットの作成	292
11.16.2 ハンドアウトの準備.....	295
11.16.3 ハンドアウトの作成.....	299
11.17データエクスポート	300
11.17.1 「データの転送」ウィンドウを開く	301
11.17.2 データのエクスポート	302
11.18注文プロセス	304

11.18.1	治療プリントをショッピングカートに入れる	305
11.18.2	光学印象.....	309
11.18.3	光学印象をインポートし記録する	310
11.18.4	他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	315
11.18.5	カートを開く	317
11.18.6	カートをチェックして、注文プロセスを完了する	318
11.18.7	インターネット接続を使用した注文の終了.....	319
11.18.8	SICATポータルでの注文手順	320
11.18.9	SICAT WebConnector	321
11.18.1	インターネット接続を使用しない注文の終了	323
0		
11.19	設定.....	327
11.19.1	一般的な設定内容を確認する、変更する	328
11.19.2	SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	330
11.19.3	歯科クリニックの説明文を確認する	332
11.19.4	可視化設定の変更	333
11.19.5	SICAT Air設定の変更.....	335
11.20	サポート	337
11.20.1	サポート態勢のページを開く	338
11.20.2	連絡先情報およびサポートツール.....	339
11.20.3	インフォメーション.....	340
11.21	データを書き込み禁止で開く	341
11.22	SICAT Suiteを閉じる	342
12	スタンドアロン版.....	343
12.1	スタンドアロン版の特徴	344
12.2	SICAT Airの標準ワークフロー	346
12.3	SICAT Suite をスタートする	350
12.4	SICAT Suiteのユーザーインターフェース.....	351
12.4.1	「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要.....	354
12.4.2	SICATのアプリケーションを相互に切り替える	356
12.5	オンラインヘルプを開く	357
12.6	ライセンス.....	358
12.6.1	「ライセンス一覧」ウインドウを開く	360
12.6.2	インターネット接続を使用してライセンスを有効にする	361
12.6.3	ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする	363
12.6.4	ライセンスをライセンスプールへ返却する.....	365
12.6.5	バウチャーコードを使用する	366
12.7	患者ファイリング	367
12.7.1	「患者ファイリング」ウインドウを開く	370
12.7.2	患者ファイリングを追加する	371
12.7.3	別の患者ファイリングをアクティブにする.....	373
12.7.4	患者ファイリングを除去する	375
12.8	データインポート	376

12.8.1	対応しているDICOMフォーマット	379
12.8.2	インポートするデータを選択する	380
12.8.3	インポートオプションの選択	382
12.8.4	データインポートによる新しい患者ファイルの作成	383
12.8.5	既存の患者ファイルにデータを割り当てる	384
12.9	患者ファイル	387
12.9.1	「患者ファイル概要」ウインドウを開く	388
12.9.2	患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え	389
12.9.3	患者ファイルをアクティブにする	391
12.9.4	アクティブな患者ファイルを使用した作業	392
12.9.5	患者ファイルの特性を変更する	394
12.9.6	患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く	395
12.9.7	SICAT SuiteでのSICAT Air撮影結果	397
12.9.8	患者ファイリングからの患者ファイルの削除	400
12.9.9	患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除	402
12.10	SICAT Airのユーザーインターフェース	404
12.10.1	ワークフローのツールバー	405
12.10.2	オブジェクトバー	408
12.10.3	オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理	410
12.10.4	オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理	412
12.10.5	SICAT Airオブジェクト	414
12.11	ワークスペース	420
12.11.1	気道ワークスペースの概要	421
12.11.2	MPR/放射性ワークスペースの概要	422
12.11.3	アクティブなワークスペースを切り替える	423
12.11.4	アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット	424
12.11.5	ワークスペースのスクリーンショットを作成する	425
12.12	ビュー	426
12.12.1	ビューの調整	427
12.12.2	アクティブなビューの切り替え	429
12.12.3	ビューの最大化および復元	430
12.12.4	2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット	431
12.12.5	ビューのズームおよび切り抜きの移動	433
12.12.6	レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール	434
12.12.7	十字線およびフレームの移動、非表示、表示	435
12.12.8	ビューをリセットする	436
12.12.9	画像のスクリーンショットを作成する	437
12.13	3Dビューの調整	438
12.13.1	3Dビューの目線を変更する	439
12.13.2	3Dビューの表示タイプ	441
12.13.3	3Dビューの表示タイプを切り替える	442
12.13.4	3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する	443
12.13.5	3Dビューの切り抜きモード	445
12.13.6	3Dビューの切り抜きモードの切り替え	448
12.14	グレースケール値	449

12.14.1 グレースケール値を調整する	451
12.15 ボリュームの配置およびパノラマ エリア	453
12.15.1 ボリュームの配置を調整する	455
12.15.2 パノラマ エリアを調整する	460
12.16 距離/角度測定	463
12.16.1 距離測定を追加する	464
12.16.2 角度測定を追加する	465
12.16.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する	467
12.17 気道のセグメンテーション	469
12.17.1 気道エリアの設定	470
12.17.2 気道セグメンテーションの修正	474
12.17.3 必要でないエリアを気道から削除する	476
12.17.4 気道を手動でセグメントする	478
12.17.5 気道のセグメンテーションを完了してください	479
12.18 気道分析	480
12.18.1 気道プロファイルとの連携	484
12.19 気道比較	486
12.19.1 気道比較を行う	488
12.20 患者教化	494
12.20.1 画像とスクリーンショットの作成	495
12.20.2 ハンドアウトの準備	498
12.20.3 ハンドアウトの作成	502
12.21 データエクスポート	504
12.21.1 「データの転送」ウィンドウを開く	505
12.21.2 データのエクスポート	506
12.22 注文プロセス	508
12.22.1 治療プリントをショッピングカートに入れる	509
12.22.2 光学印象	513
12.22.3 光学印象をインポートし記録する	514
12.22.4 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する	519
12.22.5 カートを開く	521
12.22.6 カートをチェックして、注文プロセスを完了する	522
12.22.7 インターネット接続を使用した注文の終了	523
12.22.8 SICATポータルでの注文手順	524
12.22.9 SICAT WebConnector	525
12.22.1 インターネット接続を使用しない注文の終了	527
0	
12.23 設定	531
12.23.1 一般設定の変更	532
12.23.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション	534
12.23.3 歯科医院情報の変更	536
12.23.4 可視化設定の変更	537
12.23.5 SICAT Air設定の変更	539
12.24 サポート	541

12.24.1 サポート態勢のページを開く	542
12.24.2 連絡先情報およびサポートツール	543
12.24.3 インフォメーション.....	544
12.25 データを書き込み禁止で開く	545
12.26 SICAT Airを閉じ、計画プロジェクトを保存する	547
12.27 SICAT Suiteを閉じる	548
13 ショートカットキー	549
14 SICAT Suiteのアンインストール.....	550
15 安全に関する注意事項.....	553
16 精度	559
用語集.....	560
索引	562
記号の説明.....	567

1 用途

SICAT Air 次のためのソフトウェア用途：

- ENTエリア内の診断補助
- ENTエリア内の治療計画での補助
- 様々な治療選択肢の比較での補助
- 歯を装着した治療スプリントのための治療計画の補助

2 バージョン履歴

VERSION 1.0

- 初版発行
- ドイツ語、英語、フランス語および日本語の言語サポート

VERSION 1.3

- SIDEXIS 4のモジュールを追加
- 表記言語をイタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、ロシア語でサポート
- SICAT Airのバージョン番号は、SICAT Suiteのバージョン番号と一致します。
- 気道比較
- ハンドアウトのテキストブロック

3 システム要件



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサ	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：1 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 (64ビット版) Windows 8 (64ビット版、デスクトップ) Windows 8.1 (64ビット版、デスクトップ) Windows 10 (64ビット版、デスクトップ)

ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11以降のバージョン Mozilla Firefox 39以降のバージョン Google Chrome 44以降のバージョン Apple Safari 8以降のバージョン JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS XGにインストール	バージョン 2.6.1 (32ビット版、64ビット版) この場合に使用可能なOSは、Windows 7 (32ビット版) に限ります。
SICAT Suiteをモジュールとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン4.1.3 SiPlanAPI V3
SICAT Suiteをプラグインとして、SIDEXIS 4にインストール	バージョン 4.1.2 (64ビット版)

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.5
- Microsoft DirectX (2010年6月再配布)
- CodeMeterライセンス管理ソフト5.0
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector



*SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限りません。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくすると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 178]をご覧ください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- 危険レベルの定義 [▶ ページ 15]
- オペレーターの資格 [▶ ページ 16]
- 安全に関する注意事項 [▶ ページ 553]

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。



注意

この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。

注記

重要であるが、安全に関連していると思われ見なされない情報を示しています。

4.2 オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

このソフトウェアを使用する要員の皆様は、スキルを有する熟練者の方か、または、正規の教育訓練を修了された方のいずれかに限定してください。

教育またはトレーニングを終了する、または本ソフトウェアを一般的なトレーニングの枠内で使用する場合、必ず有資格者が常時監視している状態で使用してください。

本ソフトウェアを使用するための前提条件：

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。
- ソフトウェアの故障を認識し、必要に応じて、適切な手順を実行することができること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。



この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

■ 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

6 取扱説明書の概要

SICAT Air は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。

SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。

現在、SICAT Suiteとしてお使いいただけるバージョンは、3種類あります。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- *SIDEXIS 4*のモジュールを追加 [▶ ページ 28]
- *SIDEXIS XG*のプラグイン [▶ ページ 191]
- スタンドアロン版 [▶ ページ 343]

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。このアンインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のアンインストール [▶ ページ 550]の節をご覧ください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは、以下のコンポーネントより構成されています。

- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICAT Suiteのライセンス認証は次のように行います。

- SICATが取得したライセンスをあなたの顧客アクティベーションキーに割り当て、これをSICATライセンスサーバー上にあるあなたのライセンスプールに保存します。
- ライセンスのアクティベーションには、SICATライセンスサーバーへの有効なインターネット接続が必要です。
- アクティベーションは、SICAT Suiteを使用するコンピューターで直接オンラインで実行することができます。また、ライセンスファイルを使用して、手動でアクティベーションを行うこともできます。
- ライセンスは、各SICATアプリケーション用に単独でライセンスプールに返却することができます。
- ライセンスを返却すると、そのライセンスをあらためてアクティベーションできるコンピューターは、同一または別の違いを問いません。

フルバージョンおよびビューアモード

SICATアプリケーションは2種類のモードでスタートすることができます。

- アプリケーションライセンスを有効にしていない場合、SICAT Suiteはビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのアプリケーションライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール



ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。



お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe** ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、次のように行います。

- ☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。システムの要件に関する内容は、[システム要件](#) [▶ ページ 12]の節をご覧ください。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

▶ オートスタートのウィンドウが開きます。



2. オートスタートのウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exe** を実行するのオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

- ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、はじめにのウィンドウが開きます。



3. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、はじめにのウィンドウの右上隅から選択したら、次へ をクリックします。

▶ **使用許諾契約書** のウィンドウが開きます。



4. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。** のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ** をクリックします。

▶ オプションのウィンドウが開きます。



- SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

- ご希望のフォルダが見つかったら、**OK**をクリックします。

▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをインストールする場所はどこですか？**のボックス内に貼り付けます。

- お手元のコンピュータにSIDEXIS XGか、または、SIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteの登録は、インストール中でも可能ですが、後ほど、SIDEXIS XGのプラグインか、または、SIDEXIS 4のモジュールとして、マニュアル操作によっても結構です。

▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスは、グレイアウト表示で入力できません。

- 入力可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

9. ご希望の場合、スタートメニューから SICAT Suite の新規グループを作成しますのチェックボックスは、チェックマークを外して選択を解除します。このチェックボックスが用意されているのは、SICAT Suiteのスタンドアロン版に限定されています。
10. **インストールする** のボタンをクリックします。
 - ▶ **進捗状況** のウィンドウが開きます。



- ▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。

- ▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。



11. **終了する** のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

9 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する** のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**



SIDEXIS XGをSIDEXIS 4.1.3以降のバージョンに更新し、その後、SICAT Suiteを更新すると、SICAT Suiteのインストールプログラムは、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録します。3D X線撮影画像を開くと、SICAT Suiteでは、その3D X線撮影画像に関する3D治療計画スタディがSIDEXIS XG内に存在するかどうかをチェックし、存在すれば、そのスタディをSIDEXIS XGからSIDEXIS 4へ適用します。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する** のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

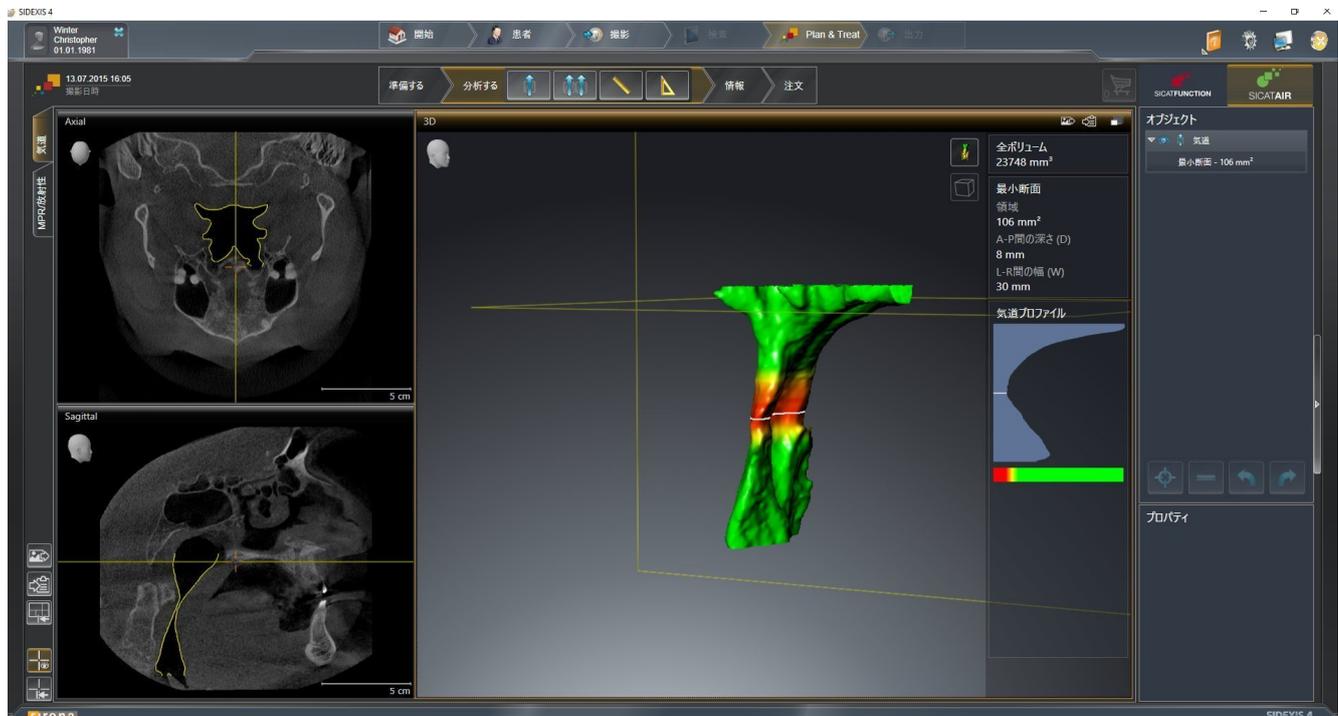
SICAT Suiteでは、更新と修復の両方で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストール* [▶ ページ 21]の節をご覧ください。

SIDEXIS 4でプラグインからモジュールへの更新を実行する

バージョン1.3以降のSICAT Suiteは、バージョン4.1.3以降のSIDEXIS 4を、プラグインとしてではなく、モジュールとしてサポートします。SICAT Suiteをバージョン1.3に更新して、SIDEXIS 4へインストールすると、SIDEXIS 4は、モジュールとして自動で登録されます。SICAT Suiteの更新を完了してから、SIDEXIS 4の更新を行うときは、モジュールとしての登録をマニュアル操作により行ってください。この更新に関する内容は、*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する* [▶ ページ 35]の節をご覧ください。

10 SIDEXIS 4のモジュールを追加

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとしたときは、**治療計画立案**、**治療のフェーズ**で、SICATの各種アプリケーションが直接、SIDEXIS 4のユーザーインターフェースに結合されます。SICATの各種アプリケーション、SICATの設定内容、SICATのサポートツールは、いずれもSIDEXIS 4のウィンドウ内に表示されます。



10.1 SIDEXIS 4バージョンの特徴

SIDEXIS 4のモジュールとしてマニュアル操作により登録する

SICAT Suiteは、インストール中に自動で登録を行うことができますが、SIDEXIS 4のモジュールとしてマニュアル操作により登録や削除を行うことが可能です。この更新に関する内容は、*SICAT Suite*を*SIDEXIS 4*のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 35]の節をご覧ください。

プログラムの起動

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合、SICAT Suiteの起動は、SIDEXIS 4の内部で**治療計画立案、治療**の段階で行われます。SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを起動する手順は、*SICAT Suite*をスタートする [▶ ページ 39]の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SICAT Airで、SIDEXIS 4に登録したバージョンでは、患者データと立体画像のデータは、SIDEXIS 4のものを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS 4向けで設定されている手順に沿って行われます。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに `%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG`と `%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG`を入力してください。

設定

SICAT Suiteの設定内容は、SIDEXIS 4の設定内容の中で、カテゴリとして保存されています。SIDEXIS 4に結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されますが、いくつかの設定内容のパラメータに限定されます。その理由は、SICAT Suiteで適用されますが、SIDEXIS 4の設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

SICAT AIR とSIDEXIS 4でデータを互いに同期させる

SICAT Air とSIDEXIS 4の間では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、互いの両方向で同期が行われます。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Air ボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別のボリュームの配置をベースとするものが、すでに追加されているときに、ボリュームの配置を同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Air のメッセージボックスが表示されます。このメッセージボックスでは、同期による影響の詳細をお知らせしますので、以下に挙げるオプションから、いずれかを選択します。
 - 同期する
 - 今ではない
 - 一度もない SIDEXIS 4で、3D X線撮影画像やボリュームの配置について、いずれも現時点のものがあるときは、こちらを選択します
- SICAT Air サポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Air サポートするパノラマエリアは、幅が10 mm以上のものに限りです。
- SICAT Air サポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限りです。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Air とSIDEXIS 4の両方で、ボリュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、同期を行いません。

さらに、SICAT Air で3D X線撮影画像を初めて開くと、SICAT Air では、**3D**画像の焦点と視線方向として、SIDEXIS 4のものが適用されます。

データエクスポート

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の各種機能を利用して行われます。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

SIDEXIS 4の出力ページヘスクリーンショットを追加する

画像や作業画面の各スクリーンショットは、SIDEXIS 4の出力ページに追加することができます。追加したら、2D出力ページに用意されている、SIDEXIS 4の各種機能が利用できるようになります。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

カート

カートは、SICAT Suiteで用意されていますが、SIDEXIS 4では**出力**のフェーズで利用できます。

3D治療計画スタディで、書込権限のあるものとなないものを開く



SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この一括インストールに含まれているときは、データセットを開いていても、結果として、他のワークステーションが原因で書込権限を失ってしまう可能性が大いにあります。こうしたケースが発生したときは、SIDEXIS 4がデータセットを直ちに閉じて終了しますので、SICAT Airの3D治療計画スタディでは、変更内容を保存できなくなります。

SICAT Airの3D治療計画スタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておく必要があります。

- SICAT Airのライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Airの3D治療計画スタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。ただし、3D X線撮影画像とSICAT Airの3D治療計画スタディの内容を確認することは、可能です。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	ライセンスはアクティベーション済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有
設定領域	有	有
変更を行う	有	無
変更内容を保存せず、データを確認する	無	有

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Airの3D治療計画スタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細な内容は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 189]の節をご覧ください。

10.2 SICAT AIRの標準ワークフロー



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

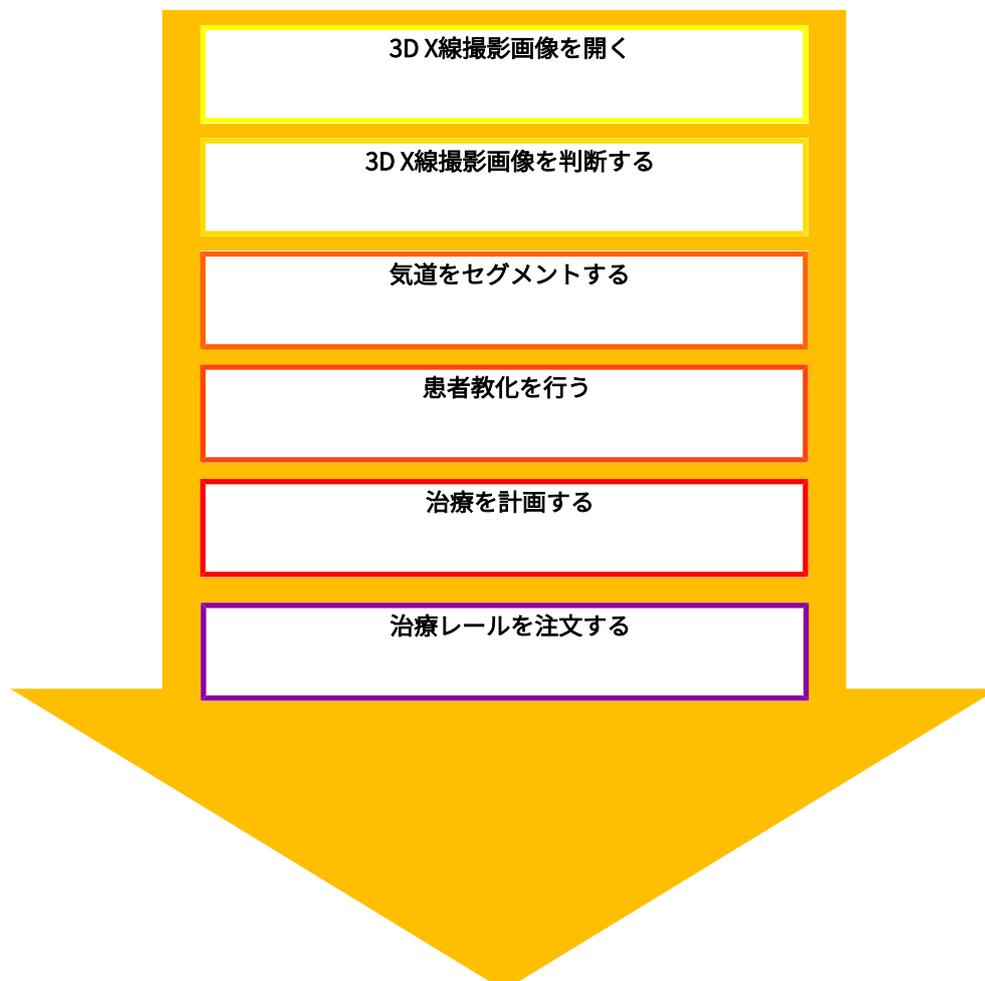


SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

データセットを開く

1. タイムラインに沿って並ぶ中から、3D X線撮影画像か、または、SICAT Airの3D治療計画スタディを選択します。
2. SICAT Airを起動します。この起動に関する内容は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 39]の節をご覧ください。

SICAT AIRの作業手順



SICAT AIRのデータベースを編集する

1. 要件に応じて3D X線撮影図を調整してください。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、*ボリュームの配置を調整する* [▶ ページ 102]の節をご覧ください。
2. 3D X線撮影図を判断して、上部気道に関しての最初の一覧を整えてください。
3. 気道をセグメントします。これに関する情報は*気道のセグメンテーション* [▶ ページ 117]に記載されています。
4. **気道**ワークスペースの気道を判断してください。これに関する情報は*気道分析* [▶ ページ 128]に記載されています。
5. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は*患者教化* [▶ ページ 142]に記載されています。
6. 従来の治療計画を実行してください。
7. 突出した治療位置の顎の患者の3D X線撮影図を作成してください。SICAT Airの撮影を開いてください。
8. 気道比較との治療スプリントの効果を確認してください。特に気道の変更と顎関節の影響に考慮してください。
9. 患者対応の治療スプリントを注文してください。この注文に関する内容は、*注文プロセス* [▶ ページ 152]の節をご覧ください。
10. セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。このエクスポートに関する内容は、*データエクスポート* [▶ ページ 151]の節をご覧ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- お手元の作業を終了したり中断したりするときは、SIDEXIS 4からSICAT Suiteを閉じて、その作業内容を保存します。この終了や中断に関する内容は、*SICAT Suiteを閉じる* [▶ ページ 190]の節をご覧ください。

SICAT Air 気道オブジェクト、気道の比較、ハンドアウト、セグメンテーションおよび光学印象を3D X線撮影画像をベースにした撮影結果に保存します。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。取扱説明書に関する内容は、*オンラインヘルプを開く* [▶ ページ 43]の節をご覧ください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。このサポートに関する内容は、*サポート* [▶ ページ 185]の節をご覧ください。

10.3 SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する

SIDEXIS 4によるSICAT Suiteの使用に関して、一般的な内容は、*SIDEXIS 4バージョンの特徴* [▶ ページ 29]の節をご覧ください。



SICAT SuiteをSIDEXIS 4へインストールすると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして、自動で登録を行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストール* [▶ ページ 21]の節をご覧ください。

「SIDEXIS 4」のウィンドウを開く

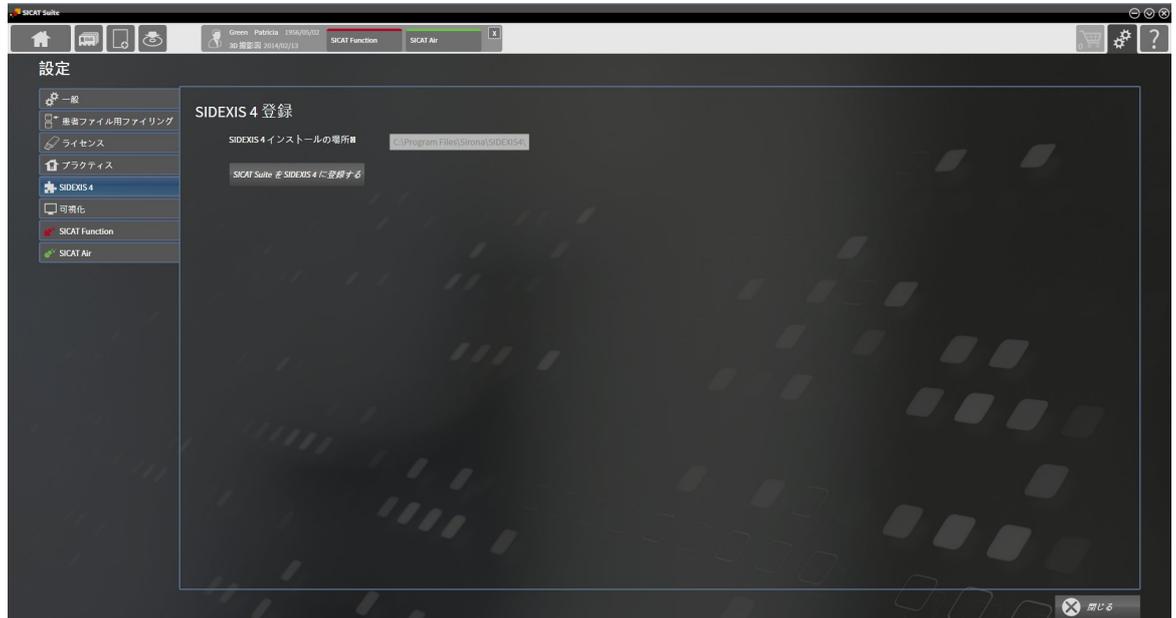
1. SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動します。この起動に関する内容は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 350]の節をご覧ください。



2. 設定のアイコンをクリックします。
▶ 設定のウィンドウが開きます。



3. SIDEXIS 4のタブをクリックします。
▶ SIDEXIS 4のウィンドウが開きます。



SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite* のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。
- ☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。
- ☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4** のウィンドウを開いておきます。

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4で登録する** のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして登録を完了しておきます。SIDEXIS 4への登録が支障なく完了したら、**治療計画立案、治療**のフェーズが見えるようになります。



SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT SUITEを削除する

☑ SICAT Suiteが、SIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されていることが必要です。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4** のウィンドウを開いておきます。

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4から削除する** のボタンをクリックします。

2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ 以上で、SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして使用することは、できなくなります。

10.4 SIDEXIS 4のSICAT AIR撮影結果



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させる場合、患者データの管理は、SIDEXIS 4で行ってください。

以下の条件が満たされていれば、SIDEXIS 4では、SICAT Airの3D治療計画スタディに関するプレビュー画像を表示します。

- SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして使用している。
- 選択した患者について、SICAT Airの3D治療計画スタディが作成済みである。



- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 気道セグメンテーションの可用 | 4 計画 |
| 2 光学印象の可用 | 5 注文 |
| 3 気道比較の可用 | |

プレビュービューでは、以下の情報をお知らせします。

- 気道セグメンテーションの可用
- 光学印象の可用
- 気道比較の可用
- 治療計画について、未作成、編集中、作成完了の別
- 注文について、未注文、注文する顎関節症治療用スプリントがカート内にある、注文をアップロード済みの別

アイコンが明るく表示されていれば、それに該当するアイテムは、3D治療計画スタディの中に含まれています。

10.5 SICAT SUITE をスタートする



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがある場合は、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT Suiteを起動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。
- ☑ SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されている。この更新に関する内容は、*SICAT Suite*をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ ページ 35]の節をご覧ください。SICAT SuiteをSIDEXIS 4にインストールしたときに、登録が自動で行われることがあります。
- ☑ SIDEXIS 4で、すでに選択済みの3D X線撮影画像がある。



1. **3D検査に表示** のボタンの横に **表示** のアイコンがありますので、それをクリックします。



2. **表示** のウィンドウで、**SICAT Suite**のアイコンをクリックします。

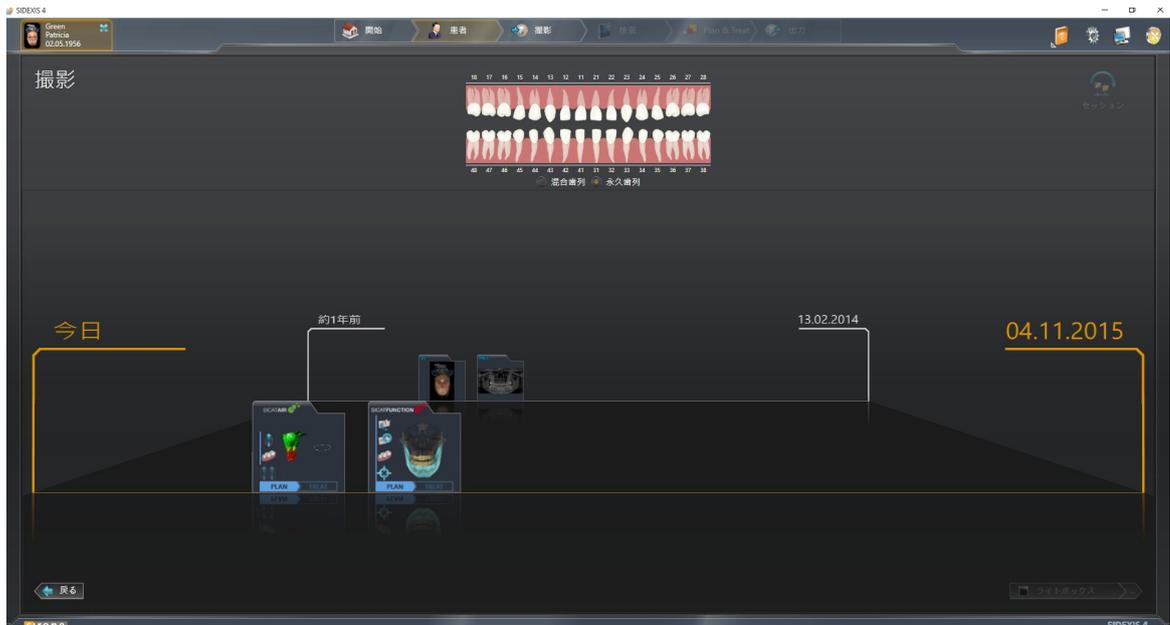
- ▶ SIDEXIS 4のフェーズは、**治療計画立案**、**治療**に切り替わります。
- ▶ SICAT Suiteでは、SICATのアプリケーションで、3D X線撮影画像が開きます。



3D X線撮影画像を、それが関係する3D治療計画スタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数の3D治療計画スタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、3D治療計画スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。3D治療計画スタディを明確に指定して開いたときは、それに関係する、SICATのアプリケーションが常に起動します。

3D X線撮影画像を開いた後は、SICATの別アプリケーションへ切り替えることができます。この切替に関する内容は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える* [▶ ページ 42]の節をご覧ください。

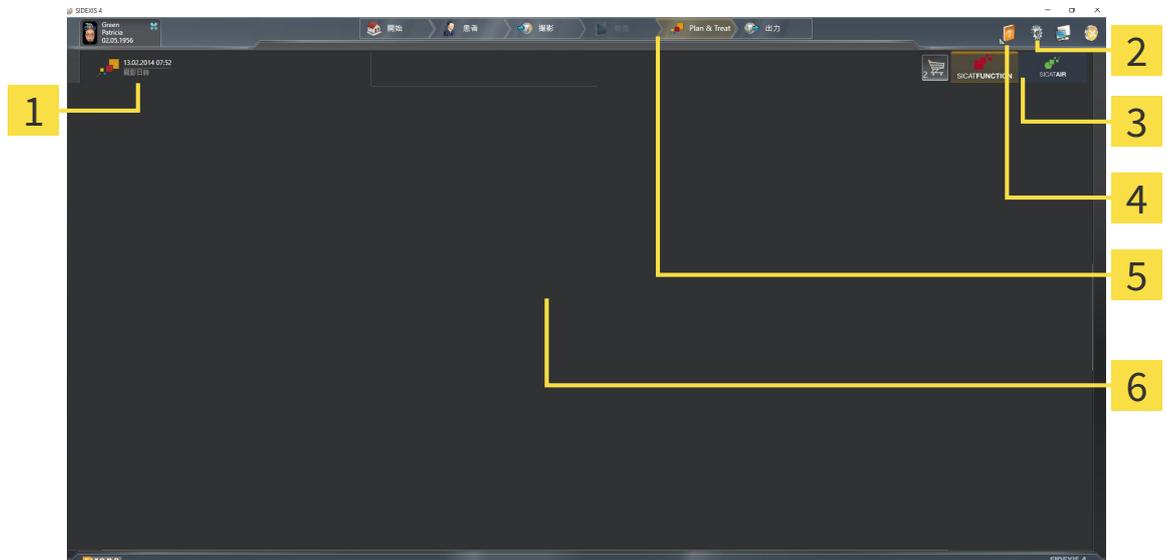
アプリケーション固有の3D治療計画スタディで保存済みのものがあるときは、この3D治療計画スタディを**撮影図**のウィンドウから直接、選択して、そのスタディが関係する、SICATのアプリケーションで開くことができます。すでにショッピングカートに入れた商品で、この3D治療計画スタディをベースとするものがあるときは、ショッピングカートが開きます。



SIDEXIS 4でも同様に、**最後の撮影図**のコーナーにある、**患者の詳細**のウィンドウで3D治療計画スタディを表示します。この表示に関する内容は、*SIDEXIS 4のSICAT Air撮影結果* [▶ ページ 37]の節をご覧ください。

10.6 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SIDEXIS 4のモジュールとしてインストールしたSICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1 現時点で開いている3D治療計画スタディ | 4 ヘルプ |
| 2 設定 | 5 SIDEXIS 4のフェーズバー |
| 3 アプリケーション切替用のボタン、ボタンのカート | 6 アプリケーション領域 |

- 現時点で開いている3D治療計画スタディ – 現時点で開いている3D治療計画スタディに関する内容とSICAT Suiteを閉じるボタンを表示します。
- 設定 – 各種設定に関する内容は、[設定](#) [▶ ページ 175]の節をご覧ください。
- アプリケーション切替用のボタン、カート – これらのボタンに関する内容は、[SICATのアプリケーションを相互に切り替える](#) [▶ ページ 42]、[注文プロセス](#) [▶ ページ 152]の各節をご覧ください。
- ヘルプ - 取扱説明書に関する内容は、[オンラインヘルプを開く](#) [▶ ページ 43]の節をご覧ください。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

10.6.1 SICATのアプリケーションを相互に切り替える



- SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されているボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

10.7 オンラインヘルプを開く

SIDEXIS 4では、ヘルプのメニューから、PDFファイルの形式で、SICATのアプリケーションの取扱説明書呼び出すことができます。SICATのアプリケーションの取扱説明書を開くときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. ヘルプのアイコンをクリックします。
 - ▶ 利用可能な取扱説明書のリストが開きます。



2. お好みの使用説明書をクリックします。
 - ▶ 選択した使用説明書が開きます。

10.8 ライセンス



SICATライセンスの取得については、現地にある担当の販売店にお問い合わせください。テストのために、SICATデモライセンスがあります。このライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。

SICATの各種アプリケーションや機能個別の各ライセンスをアクティベーションするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 一つまたは複数のライセンスを取得すると、SICATからあなた、またはあなたの組織に個人用アクティベーションキーが付与されます。このアクティベーションキーを使用して、SICAT Suiteがインストールされている様々なコンピューター上でライセンスを有効にすることができます。
- SICATライセンスサーバーにあるライセンスプールは、各SICATアプリケーションおよび個々の機能に関して取得しているライセンス数が表示されます。
- コンピューター上でライセンスを有効にすると、このライセンスは使用中のコンピューターに組み込まれます。そのライセンスはライセンスプールから取り除かれ、別のコンピューター上で有効にできなくなります。
- 有効なライセンスは、一つまたは複数のアプリケーション、あるいは個々の機能のフルバージョンを解除します。ライセンスのないアプリケーションはビューアモードで作動します。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。その際、アプリケーションまたは個々の機能のライセンスが対象となります。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 46]の節をご覧ください。

ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。このアクティベーションに関する内容は、**インターネット接続を使用してライセンスを有効にする** [▶ ページ 47]の節をご覧ください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。このアクティベーションに関する内容は、**ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする** [▶ ページ 49]の節をご覧ください。

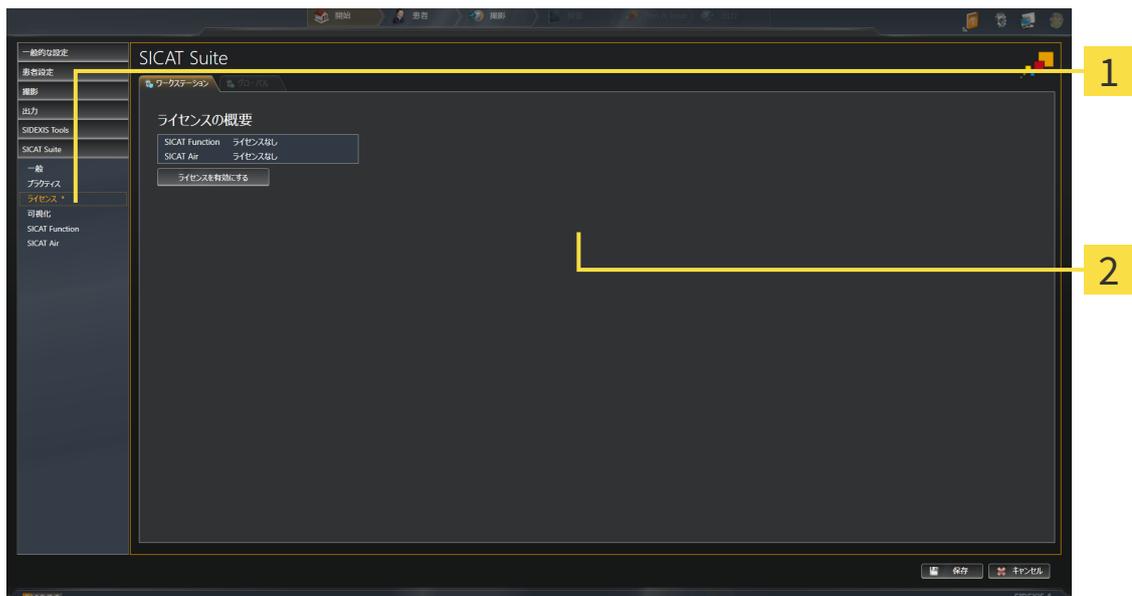
各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にして、ライセンスプールに返却することができます。その際、SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていなくてはなりません。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。ライセンスの返却に関する内容は、**ライセンスをライセンスプールへ返却する** [▶ ページ 51]の節をご覧ください。



バウチャーコードを使用する手順は、バウチャーコードを使用する [▶ ページ52]の節をご覧ください。

10.8.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く

1. SIDEKIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **ライセンス**のボタンをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ ライセンス

2 ウィンドウ ライセンスの概要

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 47]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 49]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 51]

10.8.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

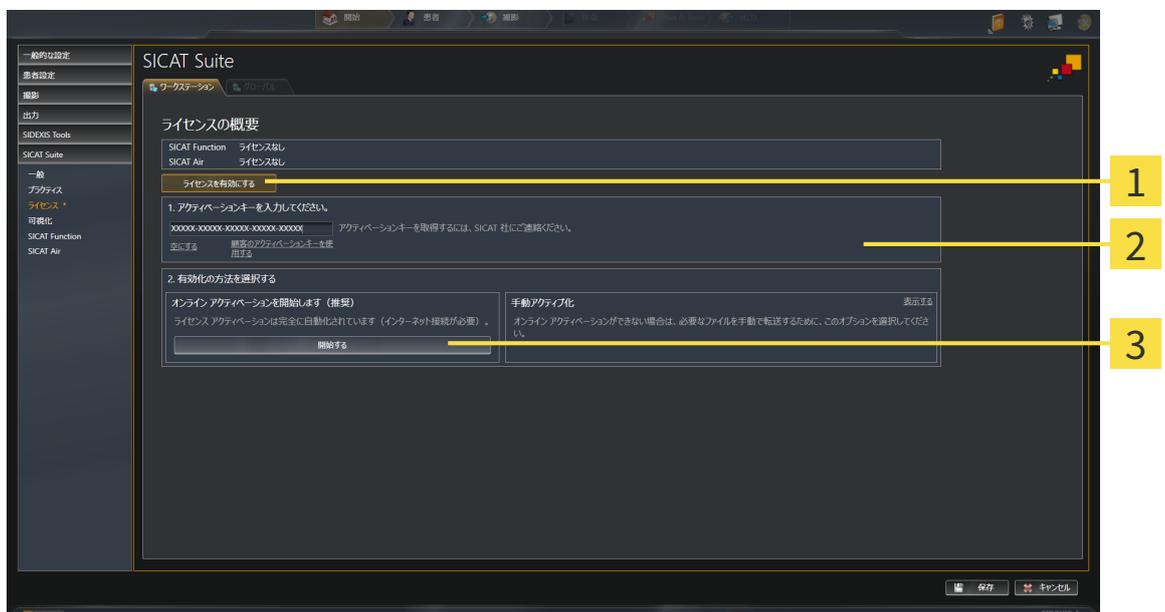
注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ46]の節をご覧ください。

1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンして展開します。



1 ボタン **ライセンスを有効にする**

2 エリア

3 ボタン **開始する**

2. お手元のクライアント用アクティベーションキーか、または、デモライセンス用アクティベーションキーのいずれかを、 のボックスに入力します。

3. **開始する** のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**



SICAT Suiteのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、**顧客のアクティベーションキーを使用する**のボタンをクリックすると、お手元のクライアント用アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、のコーナーで、**空にする**のボタンをクリックしてください。

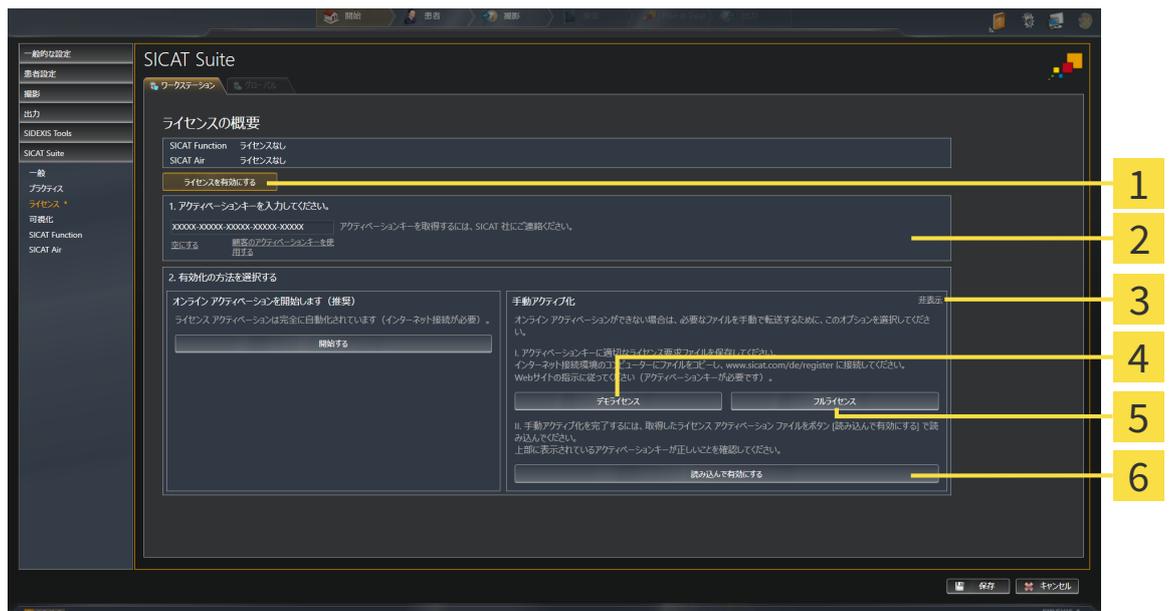
10.8.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 46]の節をご覧ください。
1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化**のコーナーで、**表示する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **手動アクティブ化**のコーナーがドロップダウンして展開します。



1 ボタン **ライセンスを有効にする**

4 ボタン **デモライセンス**

2 エリア

5 ボタン **フルライセンス**

3 ボタン **表示する**

6 ボタン **読み込んで有効にする**

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

- ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。
5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
 6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
 7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
 8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
 9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
 10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
 11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。
 12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**

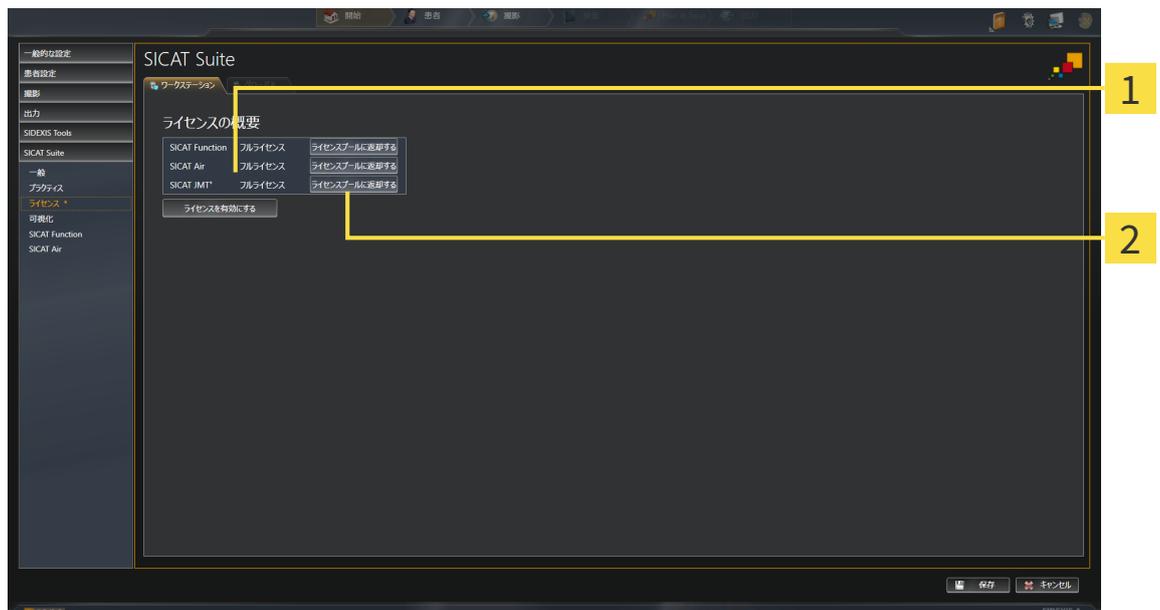
10.8.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ46]の節をご覧ください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン **ライセンスプールに返却する**

- **ライセンスの概要**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

10.8.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
 - ▶ SICATのポータルページにライセンスが1件、表示されます。
6. このライセンスは、お手元のコンピュータをローカルとして、バックアップ保存しておきます。
7. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

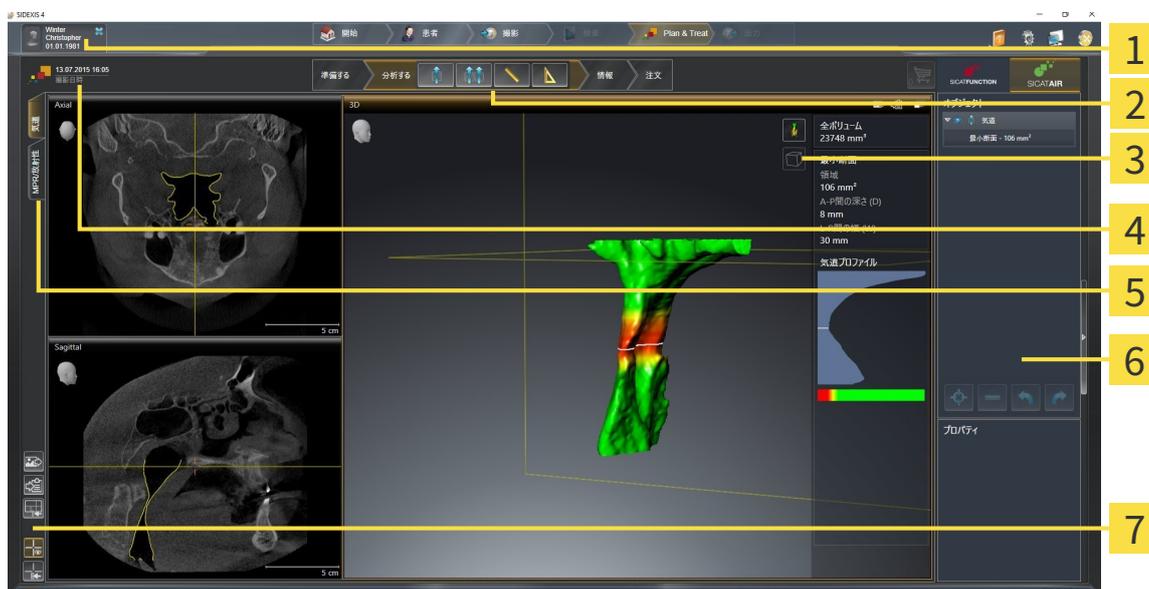
バウチャーコードの使用に関する内容は、インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 47]、および、ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 49]の各節をご覧ください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

10.9 SICAT AIRのユーザーインターフェース

SICAT Airのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています:



- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 タブ 有効な患者ファイル | 5 ワークスペースの切替用ボタン |
| 2 ワークフローのツールバー | 6 オブジェクトバー |
| 3 画像のツールバー | 7 ワークスペースのツールバー |
| 4 開いている3D X線撮影画像に関する情報 | |

- **有効な患者ファイル** のタブには、開いている患者ファイルの属性を表示します。
- **ワークフローのツールバー** は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。このツールバーに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 55]の節をご覧ください。
- **ワークスペースエリア** は、**ワークフローのツールバー** の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Airで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は**気道ワークスペースの概要** [▶ ページ 71]に記載されています。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。このツールバーに関する内容は、**ビューの調整** [▶ ページ 77]、および、**3Dビューの調整** [▶ ページ 88]の各節をご覧ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの（オブジェクト）を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は**オブジェクトバー** [▶ ページ 58]と**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 64]に記載されています。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。このツールバーに関する内容は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 85]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 86]、**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 74]、**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 75]の各節をご覧ください。

10.9.1 ワークフローのツールバー

SICAT Airでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備する
2. 分析する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフロー・ステップ「準備する」



ワークフロー・ステップ「準備する」では、以下のツールが使用できます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します。これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 102]と**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 107]に記載されています。

2. ワークフロー・ステップ「分析する」



ワークフロー・ステップ「分析する」では、以下のツールが使用できます。



- **気道をセグメントします** - これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 118]に記載されています。



- **気道比較** これに関する情報は**気道比較を行う** [▶ ページ 136]に記載されています。



- **距離測定を追加する(D)** - このツールに関する内容は、**距離測定を追加する** [▶ ページ 112]の節をご覧ください。



- **角度測定を追加する(A)** - このツールに関する内容は、**角度測定を追加する** [▶ ページ 113]の節をご覧ください。

3. ワークフロー・ステップ「説明する」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- **矢印を描く** - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 143]に記載されています。



- **円を描く** - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 143]に記載されています。



- **ハンドアウトを作成します** - これに関する情報は *ハンドアウトの準備* [▶ ページ 146]に記載されています。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「注文する」では、以下のツールが使用できます。



- **光学印象をインポートし記録する** - このツールに関する内容は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 158]の節をご覧ください。



- **治療スプリントを注文します** - このツールに関する内容は、*治療スプリントをショッピングカートに入れる* [▶ ページ 153]の節をご覧ください。

10.9.2 オブジェクトバー



1 オブジェクトブラウザ

2 ボタンのオブジェクトバーを非表示にする、ボタンのオブジェクトバーを表示する

3 オブジェクトツールバー

4 エリア プロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点の3D治療計画スタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 60]の節をご覧ください。
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。オブジェクトツールバーに関する内容は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 62]の節をご覧ください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

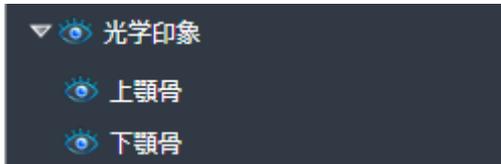
SICAT Air で作業対象として選択可能なオブジェクトは、**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 64]の節をご覧ください。

オブジェクトバーの右側には、**オブジェクトバーを非表示にする**のボタンと**オブジェクトバーを表示する**のボタンがありますが、これらをクリックすると、**オブジェクトバー**の表示および非表示設定を行うことができます。

10.9.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。
 - 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Air は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Air は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **非表示** のが表示されません。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **表示** のが表示されます。

10.9.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 60\]](#)の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
 - ▶ SICAT Air には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 60\]](#)の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)** のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. **オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)** のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



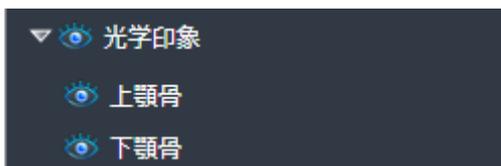
SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

10.9.5 SICAT AIRオブジェクト

SICAT Airでは、**オブジェクトブラウザ**で、アプリケーション固有のオブジェクトが以下のグループに分類されます。

- 光学印象
- 気道
 - 最小断面
- 気道比較
- ハンドアウト
 - 画像
 - スクリーンショット
 - 気道比較

光学印象オブジェクト



光学印象のオブジェクトは、以下の下位オブジェクトから構成されます。

- 上顎骨
- 下顎骨

下位オブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Airでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

上顎骨のオブジェクトや下顎骨のオブジェクトを削除すると、SICAT Airでは、既存の光学印象がもれなく3D治療計画スタディから削除されます。

気道オブジェクト



気道をセグメントした後、SICAT Airオブジェクトは**気道オブジェクトブラウザ**に表示されます。
オブジェクトバーはプロパティのエリアに、このオブジェクトの次の要素を表示します：

- スイッチで色分けを有効または無効にすることができます。
- スライダー付の**切断面の色分け**は、グラデーションの最小断面積の最小と最大値を mm^2 で設定をすることができます。
- ボタンで色分けのための値を**リセットする**SICAT Air設定でリセットすることができます。
SICAT Air設定で標準値を確定する手順は**SICAT Air設定の変更** [▶ ページ 183]に記載されています。
- セグメントされた気道エリアの**全ボリューム**

SICAT Air は、プロパティの変更を直ちに**3D**ビュー内の気道に適用します。

気道オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはワークスペースエリアを次のように調整します：

- まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道**ワークスペースを有効にします。
- SICAT Air は、最小断面積の中央のすべてのビューの焦点を合わせます。

気道オブジェクトが非表示の場合、SICAT Airは気道分析領域も非表示にします。

マウスポインタを**気道オブジェクト**上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**気道をセグメントする**ウインドウを開きます。

最小断面オブジェクト



次は、**最小断面オブジェクト**に適用されます：

- **最小断面オブジェクト**は**気道オブジェクト**の下部にあります。
- **最小断面オブジェクト**の名称には、mm²単位の**最小断面積**が含まれています。
- **プロパティエリア**では、オブジェクトはレイヤーの断面を追加表示します。
- **最小断面オブジェクト**に焦点を合わせた場合、2Dレイヤーは**最小断面積**のビューを表示します。

気道比較オブジェクト



次は、**気道比較**オブジェクトに適用されます：

- マウスポインタを**気道比較**オブジェクト上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**気道比較**ウインドウを開きます。
- **気道比較**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**を使用し、**気道比較**オブジェクトを削除することができます。削除後はこれまでの**気道比較**オブジェクトを復元することはできず、**気道比較**を再実行する必要があります。

ハンドアウトオブジェクト



次は、**ハンドアウト**オブジェクトに適用されます：

- マウスポインタを**ハンドアウト**オブジェクト上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**ハンドアウト**を作成するウインドウを開きます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**を使用し、**ハンドアウト**オブジェクトを削除することができます。SICAT Airは、すべての付属の**画像**オブジェクトと**スクリーンショット**オブジェクトを削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像オブジェクト**は**ハンドアウトオブジェクト**の下部にあります。
- SICAT Air は、各2Dビューのためにレイヤーのすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- SICAT Air は、**3Dビュー**のために特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- **画像オブジェクト**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティエリア**に次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)**と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)**を個々の矢印と円に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用し、**画像オブジェクト**とそこに含まれるすべての矢印と円を削除することができます。SICAT Air は、**画像オブジェクト**を**オブジェクトブラウザ**と**ハンドアウト**を作成するウィンドウから削除します。
- **画像オブジェクト**に焦点を合わせた場合、SICAT Airは前回作成した矢印と円が含む時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショットオブジェクトはハンドアウトオブジェクトの下部にあります。
- SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショット毎に作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトを**オブジェクトブラウザ**と**ハンドアウト**を作成するウィンドウから削除します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはオブジェクトを作成した時点で該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

10.10 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、3D治療計画スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Airには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

気道

- **気道ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*気道ワークスペースの概要* [▶ ページ 71]の節をご覧ください。

MPR/放射性

- **MPR/放射性ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*MPR/放射性ワークスペースの概要* [▶ ページ 72]の節をご覧ください。

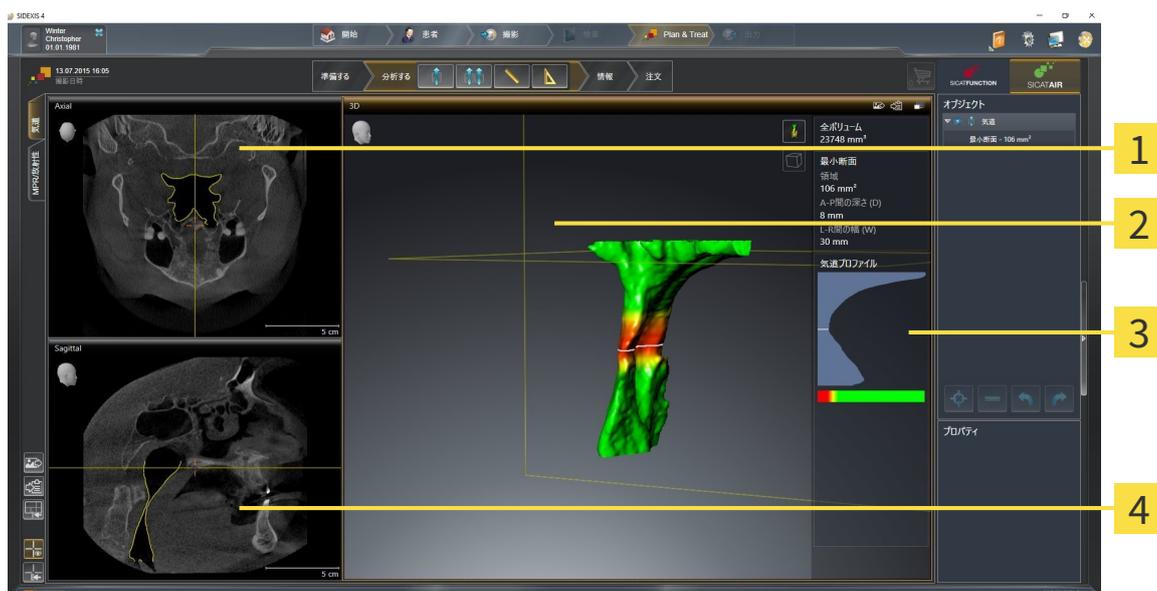


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 73]。
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 74]。
- ビューの調整 [▶ ページ 77]。
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 88]の節をご覧ください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。この記録に関する内容は、*ワークスペースのスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 75]の節をご覧ください。

10.10.1 気道ワークスペースの概要



1 軸方向ビュー

2 3Dビュー

3 気道分析領域

4 矢状方向ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 181]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 181]の節をご覧ください。

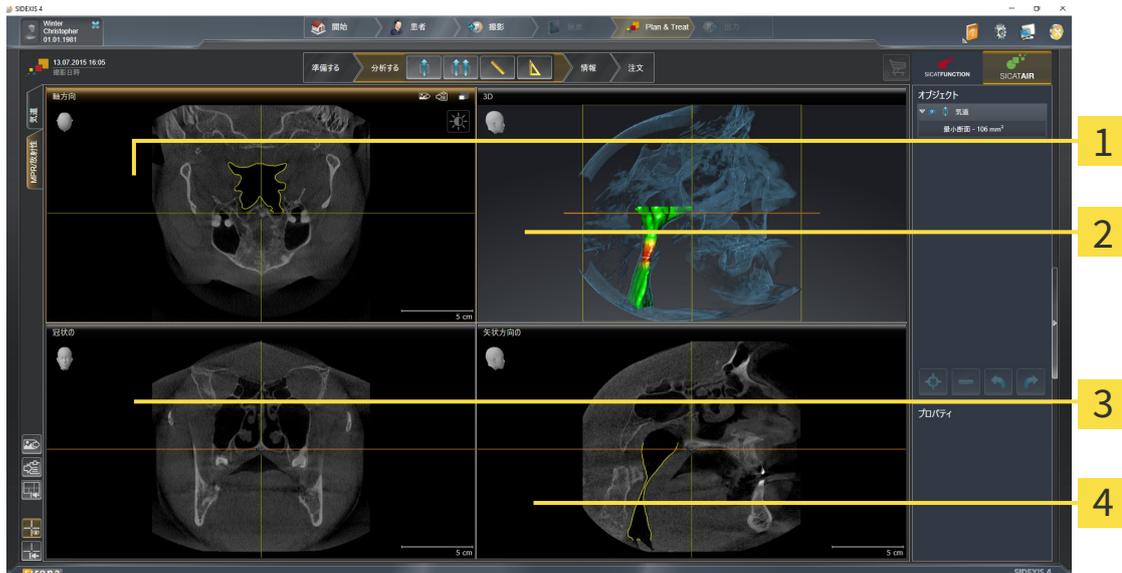


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 77]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 88]の各節をご覧ください。

気道のセグメンテーションで気道オブジェクトを作成した場合は、3Dビューの気道分析領域を使用することができます。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 64]、[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 117]および[気道プロファイルとの連携](#) [▶ ページ 132]に記載されています。

10.10.2 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 軸方向ビュー

2 3Dビュー

3 冠状ビュー

4 矢状方向ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方から見たレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 181]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 181]の節をご覧ください。



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 77]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 88]の各節をご覧ください。

10.10.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



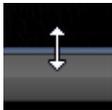
- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

10.10.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

10.10.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。この切替に関する内容は、**アクティブなワークスペースを切り替える**。[▶ ページ 73]の節をご覧ください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4出力に追加する**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、ワークスペースのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。この切替に関する内容は、**アクティブなワークスペースを切り替える**。[▶ ページ 73]の節をご覧ください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

10.11 ビュー

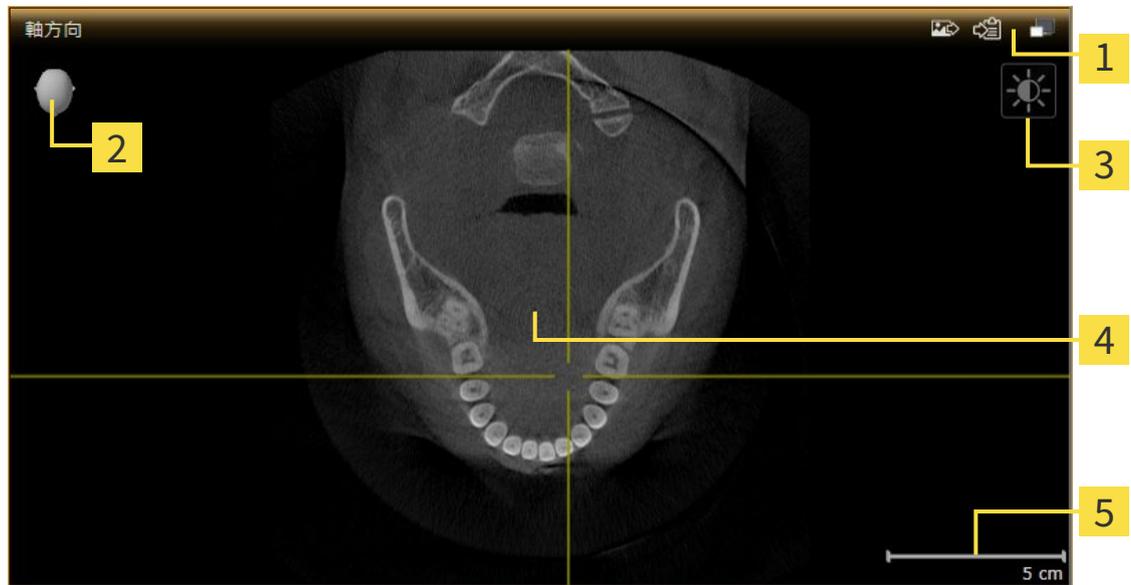
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は、ワークスペース [▶ ページ 70]の節をご覧ください。

ビューを調整することができます。このツールバーに関する内容は、*ビューの調整* [▶ ページ 77]、および、*3Dビューの調整* [▶ ページ 88]の各節をご覧ください。

10.11.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、[アクティブなビューの切り替え \[▶ ページ 79\]](#)の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Airでは、すべてのレイヤービューが互いに同期します。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

2Dレイヤービューには尺度が付いています。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 79]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 80]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 81]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 83]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 84]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 85]
- ビューをリセットする [▶ ページ 86]

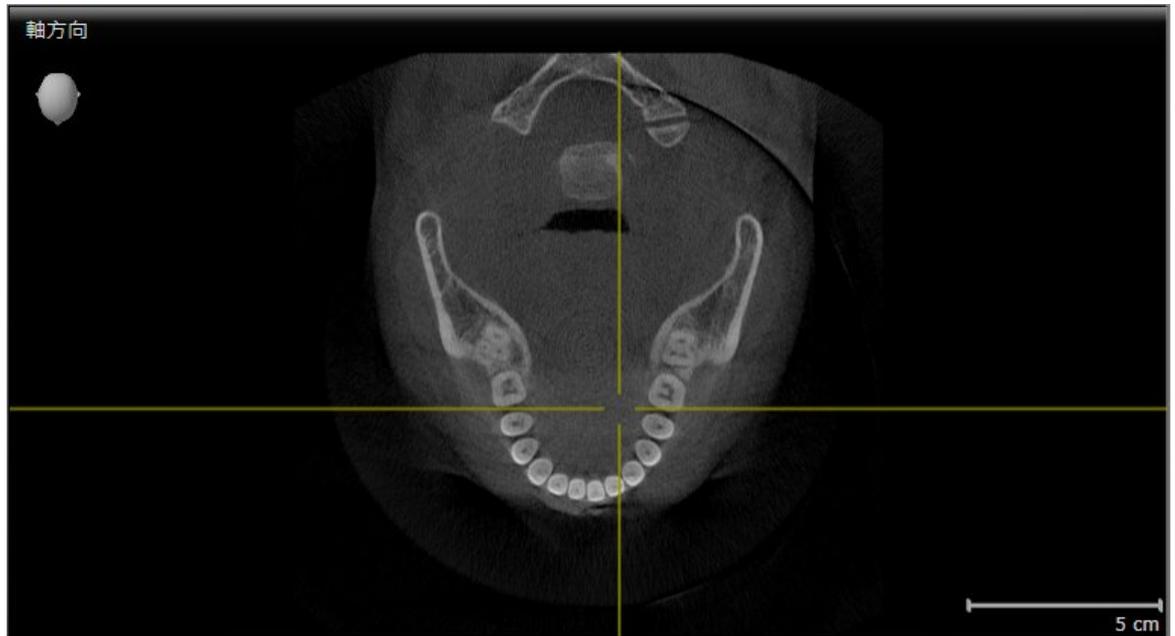
3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 88]の節をご覧ください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。この記録に関する内容は、[画像のスクリーンショットを作成する](#) [▶ ページ 87]の節をご覧ください。

10.11.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

ビューをアクティブにするには、次のように行います。



- 希望のビューをクリックします。
- ▶ SICAT Air がビューをアクティブにします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

10.11.3 ビューの最大化および復元

ビュービューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 79]の節をご覧ください。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Air がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Air では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

10.11.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え \[▶ ページ 79\]](#)の節をご覧ください。



1. 2Dビューの**画像のツールバーに輝度およびコントラストの調整のアイコン**がありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Air では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Air は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Air では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Air は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

- マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。



2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

10.11.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Air では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

10.11.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Air では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

10.11.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

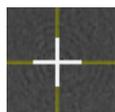
十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。

▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

3. マウスを動かします。

▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。

▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。

▶ SICAT Air では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。

4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Air では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

現在、すべての字線とフレームが表示されています。



1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。

▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが隠れます。



2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。

▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが表示されます。

10.11.8 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Airでは、すべてのビューで、ズーム、トリミング画像の移動、スクロール、十字線の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Airでは、**3Dビュー**で視線方向がデフォルト値に復元されます。

10.11.9 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEXIS 4の出力ページに追加する
- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

- ☑ SICAT Airは、SIDEXIS 4から起動させておきます。
- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 79]の節をご覧ください。



- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、画像のスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 79]の節をご覧ください。



- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

10.12 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、[3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 89\]](#)の節をご覧ください。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 92\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 93\]](#)
- [3Dビューの切り抜きモードの切り替え \[▶ ページ 98\]](#)



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

10.12.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

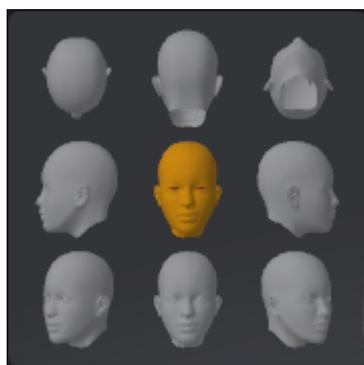
1. マウスポインタを 3D 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 3Dビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ 目線の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ 目線の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、目線の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ 目線の透明なウィンドウが閉じます。

10.12.2 3Dビューの表示タイプ

3Dビューに関する一般的な内容は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 88]の節をご覧ください。

SICAT Air は、3Dビューのために、ワークスペースMPR/放射性とワークスペース気道で様々な表示タイプを提供しています：



- **組織輪郭での容量表示**は軟部組織のみ示します。



- **表面表示**は、ボリュームを貫く透明でないセグメントを表示します。



- **骨と組織輪郭での容量表示**は**組織輪郭での容量表示**と**骨での容量表示**を組み合わせます。



- **骨での容量表示**は骨のみ示します。



- **気管の不透明なビュー**はセグメントされた気道のみ示します。気道はSICAT Airの**気道オブジェクト**に適合しています。**気道オブジェクト**の設定は**気管の不透明なビュー**に影響を及ぼします。これに関する情報はSICAT Airオブジェクト [▶ ページ 64]に記載されています。

3Dビューの表示タイプを選択する手順は、[3Dビューの表示タイプを切り替える](#) [▶ ページ 92]の節をご覧ください。

選択している表示タイプの構成設定を行う手順は、[3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する](#) [▶ ページ 93]の節をご覧ください。

様々な表示タイプを様々な切り抜きモードと共に使用する手順は、[3Dビューの切り抜きモード](#) [▶ ページ 95]に記載されています。

10.12.3 3Dビューの表示タイプを切り替える



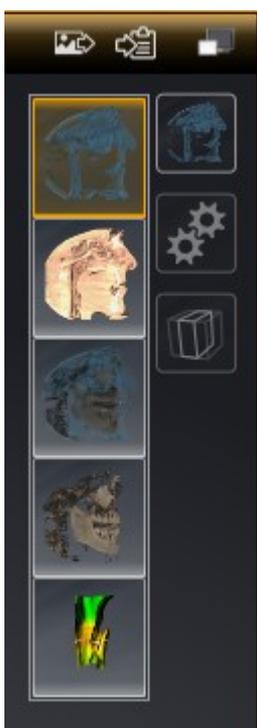
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 79]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

10.12.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



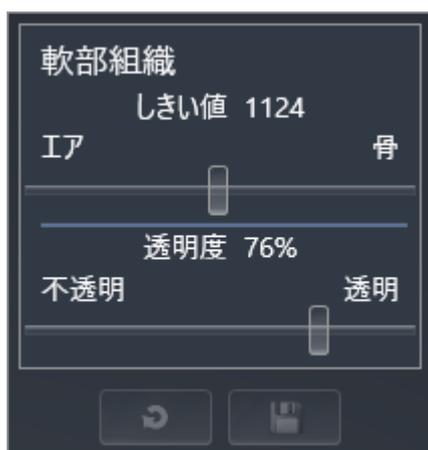
アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 79]の節をご覧ください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。表示タイプの選択に関する内容は、[3Dビューの表示タイプを切り替える](#) [▶ ページ 92]の節をご覧ください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、**アクティブな表示モードを設定するのアイコン**にマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウ**が開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。
 - ▶ **詳細設定**のコーナーがドロップダウンで展開します。
4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。
5. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

10.12.5 3Dビューの切り抜きモード

3Dビューに関する一般的な内容は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 88]の節をご覧ください。

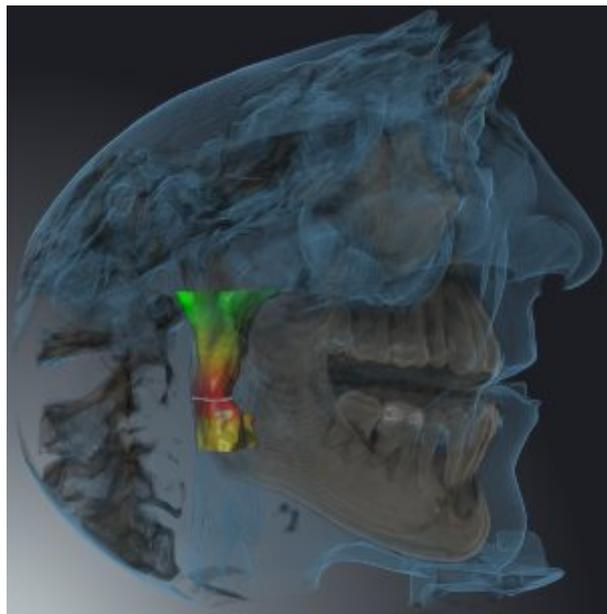
切り抜きモードでボリュームの一部を3Dビュー内で非表示にすることができます。

SICAT Air は、3Dビュー内で表示タイプに応じて様々な切り抜きモードを提供しています：

切り抜き：すべて



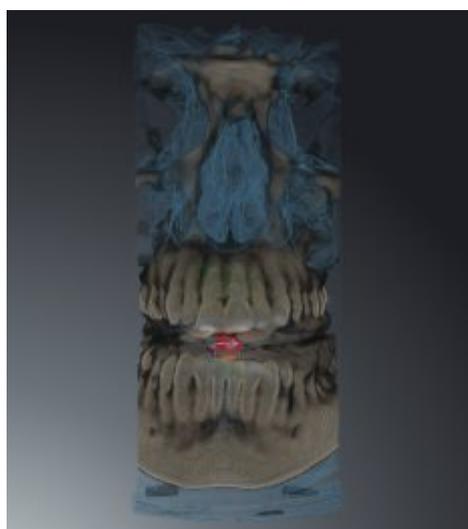
SICAT Air は、有効な表示タイプに含まれるボリュームのすべての部分を示します。



切り抜き：気道プレート



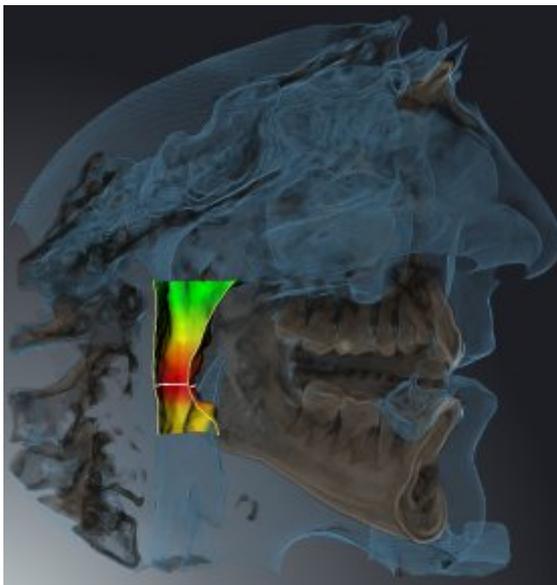
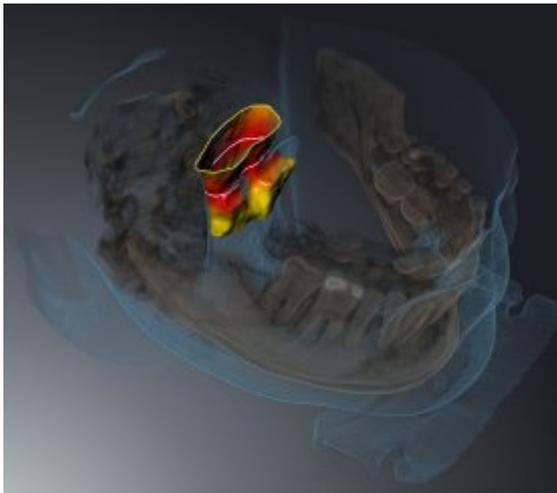
SICAT Air は、気道エリア側面のボリュームのすべての部分を非表示にします。気道エリアを設定する手順は[気道エリアの設定](#) [▶ ページ 118]に記載されています。気道エリアを設定していない場合、SICAT Airは標準値を適用します。



切り抜き：アクティブなレイヤービュー



SICAT Airは、選択したレイヤーのあるボリュームのすべての部分を非表示にします。レイヤーは切り抜きモードに応じて、**軸方向レイヤービュー**、**冠状レイヤービュー**または**矢状方向レイヤービュー**で設定できます。このスクロールに関する内容は、**レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール** [▶ ページ 84]の節をご覧ください。ワークスペースは、該当するレイヤービューを含んだレイヤー切り抜きモードのみ提供しています。**気道ワークスペース**または**気道プロファイル**で軸方向レイヤーを設定することができます。これに関する情報は**気道プロファイルとの連携** [▶ ページ 132]に記載されています。



特定の表示タイプでの切り抜きモード

次の表は、表示タイプでどの切り抜きモードが使用できるかを示しています：

	切り抜き：すべて	切り抜き：気道プレート	切り抜き：アクティブなレイヤービュー
組織輪郭での容量表示	有	はい*	有
表面表示	無	無	はい、矢状方向*
骨と組織輪郭での容量表示	はい*	有	有
骨での容量表示	はい*	無	有
気管の不透明なビュー	はい*	無	有

*標準

3Dビューの切り抜きモードをアクティブにする手順は3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ ページ 98](#)に記載されています。

10.12.6 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います：

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 79]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの**画像のツールバー**で、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

10.13 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

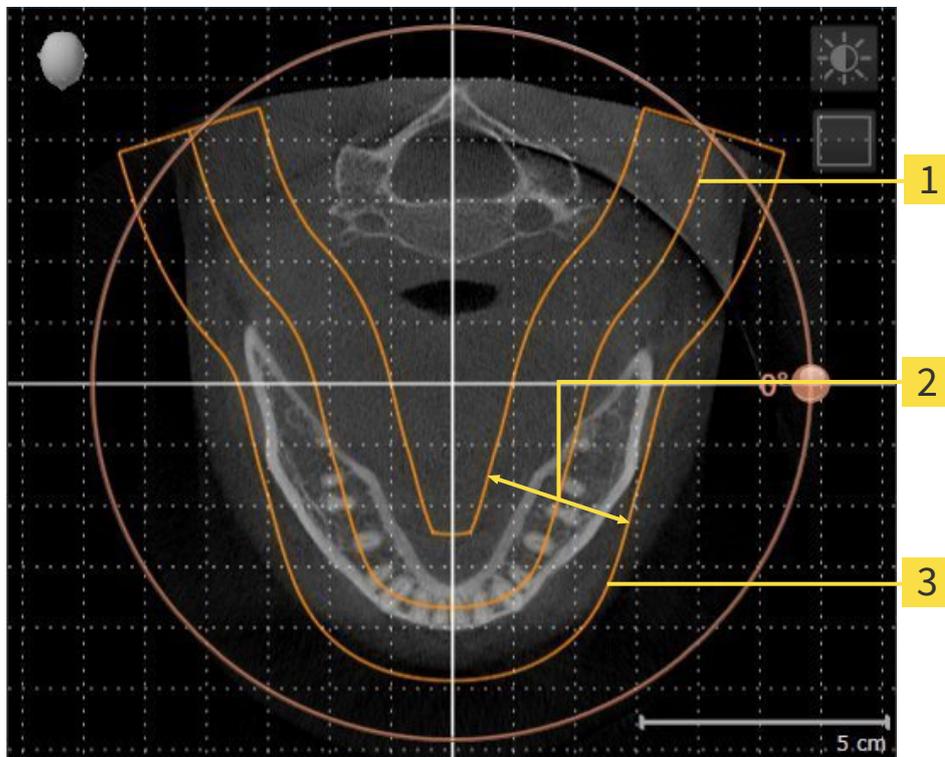
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Airで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 102]の節をご覧ください。

パノラマエリア

SICAT Airでは、ボリュームとパノラマエリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマエリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



- 1** パノラマ曲線
- 2** 厚さ
- 3** パノラマエリア

パノラマエリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマエリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマエリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマエリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Airで、パノラマエリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

SICAT AIR とSIDEXIS 4でデータを互いに同期させる

SICAT Air とSIDEXIS 4の間では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、互いの両方向で同期が行われます。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Air ボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- 診断や治療計画の各対象（以下、オブジェクト）で、別のボリュームの配置をベースとするものが、すでに追加されているときに、ボリュームの配置を同期させると、それらのオブジェクトに影響が及ぶ場合は、SICAT Air のメッセージボックスが表示されます。このメッセージボックスでは、同期による影響の詳細をお知らせしますので、以下に挙げるオプションから、いずれかを選択します。
 - 同期する
 - 今ではない
 - 一度もない SIDEXIS 4で、3D X線撮影画像やボリュームの配置について、いずれも現時点のものがあるときは、こちらを選択します
- SICAT Air サポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Air サポートするパノラマエリアは、幅が10 mm以上のものに限りです。
- SICAT Air サポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限りです。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Air とSIDEXIS 4の両方で、ボリュームの配置とパノラマエリア、または、パノラマエリア単独のいずれかについては、同期を行いません。



SICAT Air では、この場合に、その時点の3D X線撮影画像に関する情報の横に、お知らせアイコンを表示します。このお知らせアイコンにマウスポインタを重ねると、同期しなくなっているデータの情報と、そのデータを再度、同期させるようにするための操作手順をお知らせします。

10.13.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関して、一般的な内容は、**ボリュームの配置およびパノラマエリア** [▶ ページ 99]の節をご覧ください。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

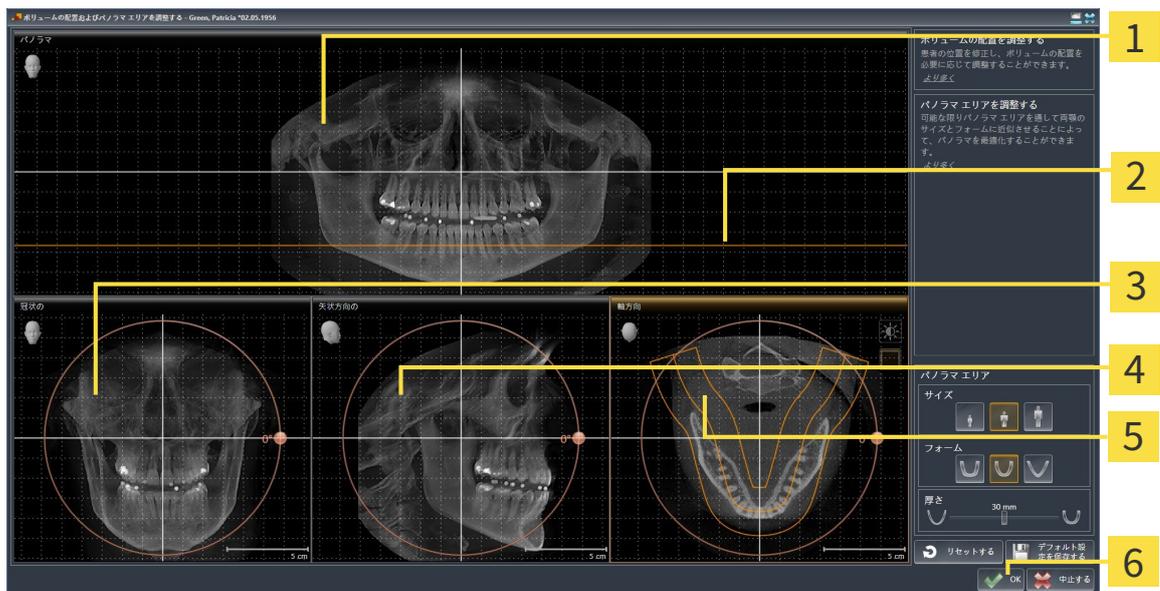
- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- **冠状ビュー**でボリュームを回す
- **矢状方向ビュー**でボリュームを回す
- **軸方向ビュー**でボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



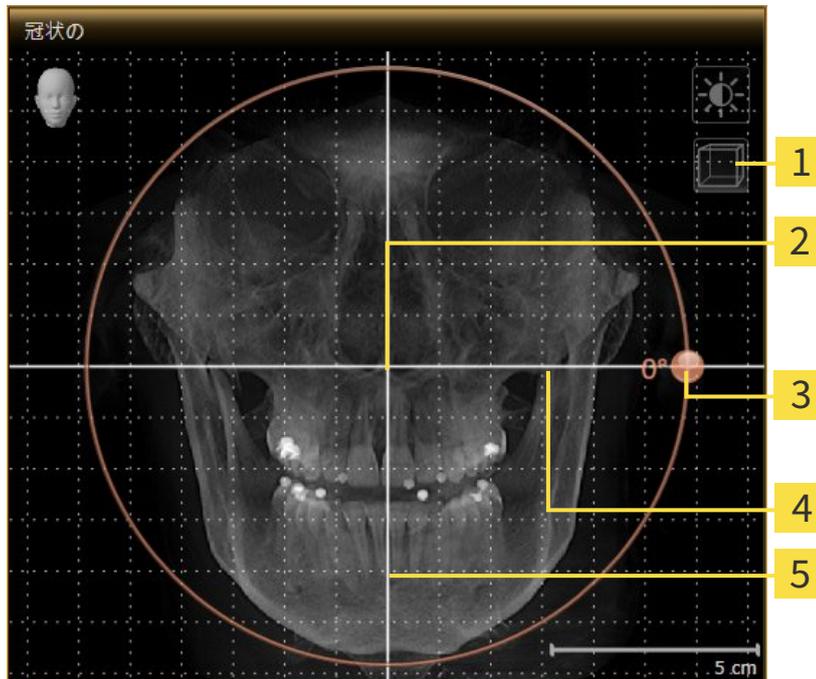
- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します**のアイコンをクリックします。
- ▶ **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 パノラマビュー</p> <p>2 軸方向基準線</p> <p>3 冠状ビューと回転スライダー</p> | <p>4 矢状方向ビューと回転スライダー</p> <p>5 軸方向ビューと回転スライダー</p> <p>6 ボタン OK</p> |
|--|---|

冠状ビューでボリュームを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

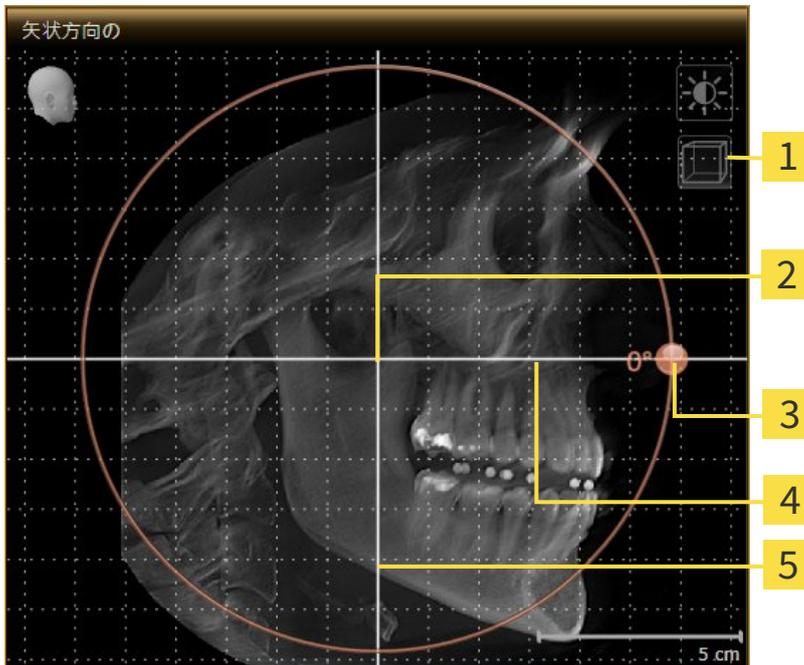


- | | |
|--|--|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン</p> <p>2 回転中心</p> <p>3 回転調整つまみ</p> | <p>4 投影モードをアクティブにする</p> <p>4 水平基準線</p> <p>5 垂直基準線</p> |
|--|--|

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

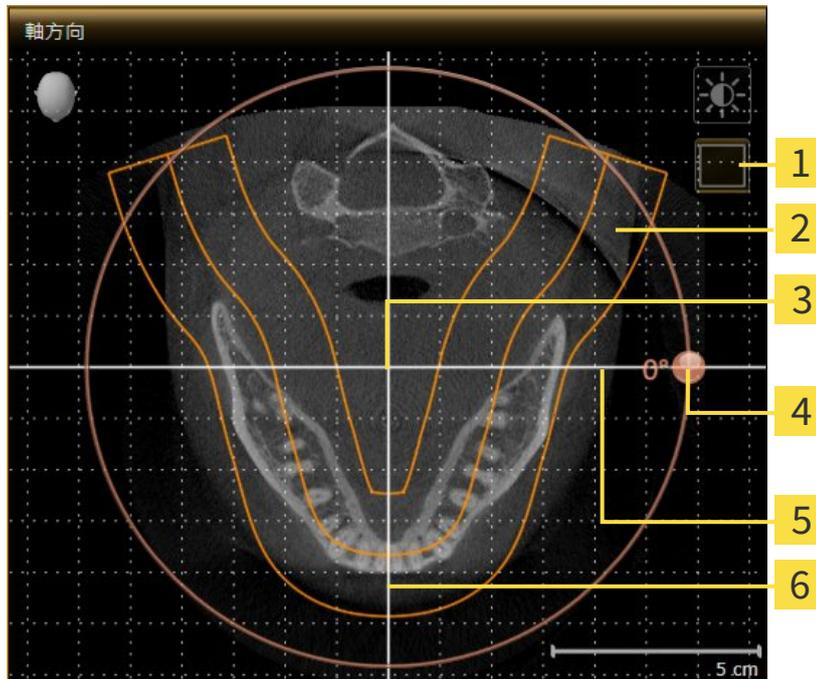


- | | |
|---|---|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン 投影モードをアクティブにする</p> <p>2 回転中心</p> <p>3 回転調整つまみ</p> | <p>4 水平基準線</p> <p>5 垂直基準線</p> |
|---|---|

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



- | | | | |
|----------|---|----------|---------|
| 1 | アイコンまたは 投影モード をアクティブにするアイコン レイヤーモード をアクティブにする | 4 | 回転調整つまみ |
| 2 | パノラマエリア | 5 | 水平基準線 |
| 3 | 回転中心 | 6 | 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**レイヤーモード**を**アクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Airでは、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Airでは、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Airで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。
10. ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 81]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

10.13.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関して、一般的な内容は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [▶ ページ 99]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

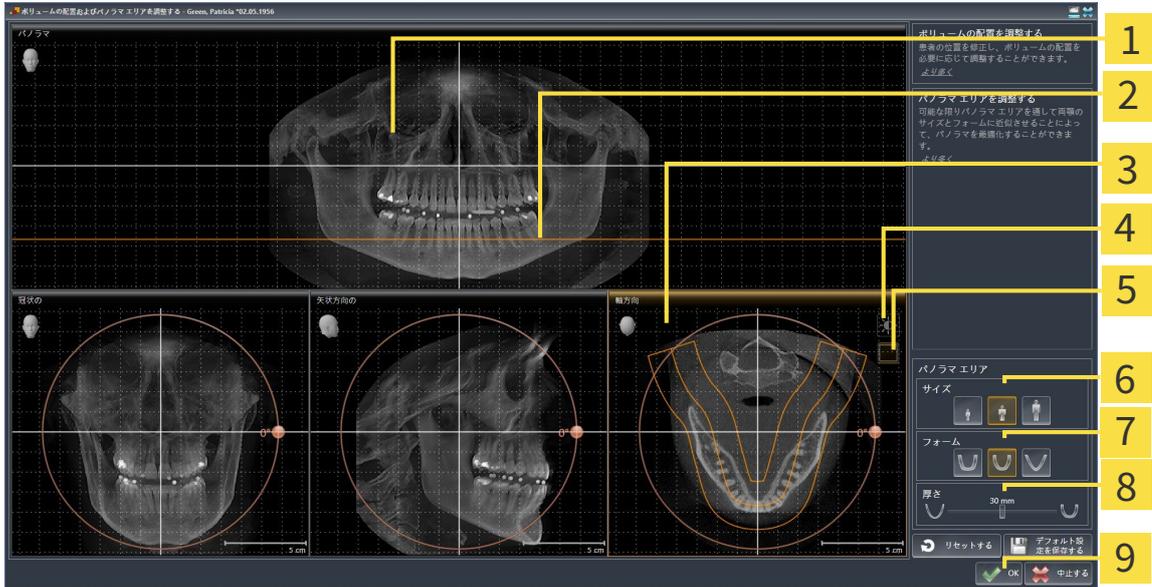
- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリュームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**」のウィンドウを開く

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する のウィンドウが開きます。



- | | |
|---|------------------|
| 1 パノラマビュー | 6 サイズボタン |
| 2 軸方向基準線 | 7 フォームボタン |
| 3 軸方向ビューと回転スライダー | 8 厚さスライダー |
| 4 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 9 ボタン OK |
| 5 アイコンまたは投影モードをアクティブにするアイコン レイヤーモードをアクティブにする | |

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、レイヤーモードをアクティブにするのアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、軸方向ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向画像のレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタをパノラマ エリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ SICAT Air では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマ エリアの調整が行われます。
4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
▶ パノラマ エリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向ビュー**で、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
▶ SICAT Air では、**軸方向ビュー**で、**回転調整つまみ**に合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマ エリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマ エリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向ビュー**で、**投影モード**が選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマ エリアの**厚さ**を選択します。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Airでは、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。



説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 81]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

10.14 距離/角度測定

SICAT Airには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



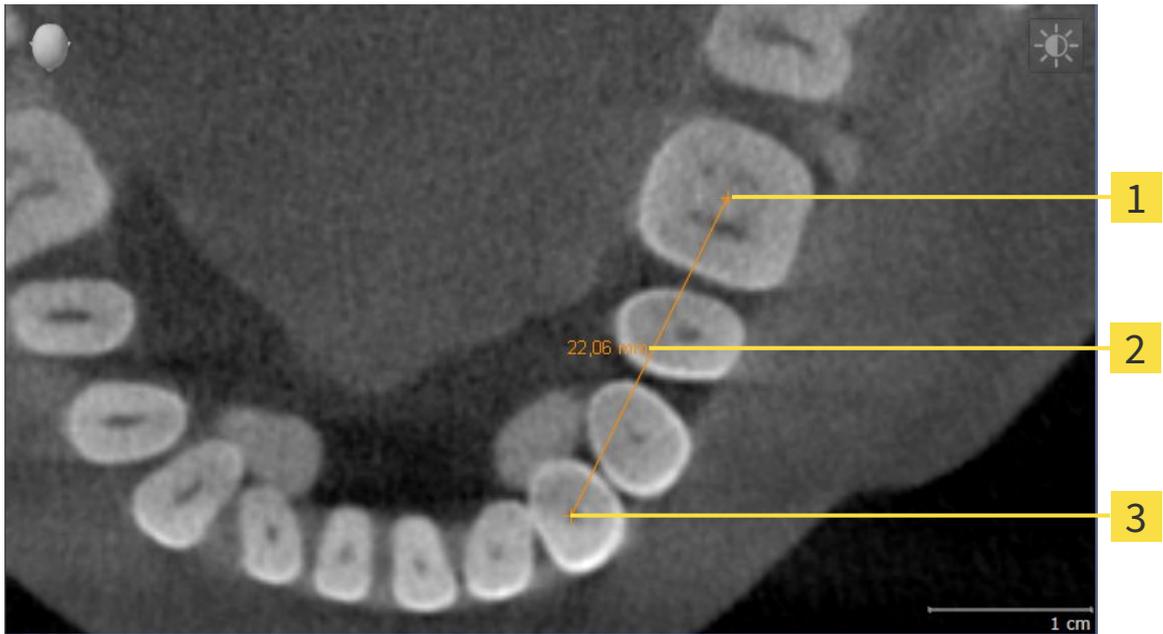
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Airはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する* [▶ ページ 112]
- *角度測定を追加する* [▶ ページ 113]
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する* [▶ ページ 115]
- 測定のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、オブジェクトブラウザを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 60]の節をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 62]の節をご覧ください。

10.14.1 距離測定を追加する



- 1** 始点
- 2** 測定値
- 3** 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

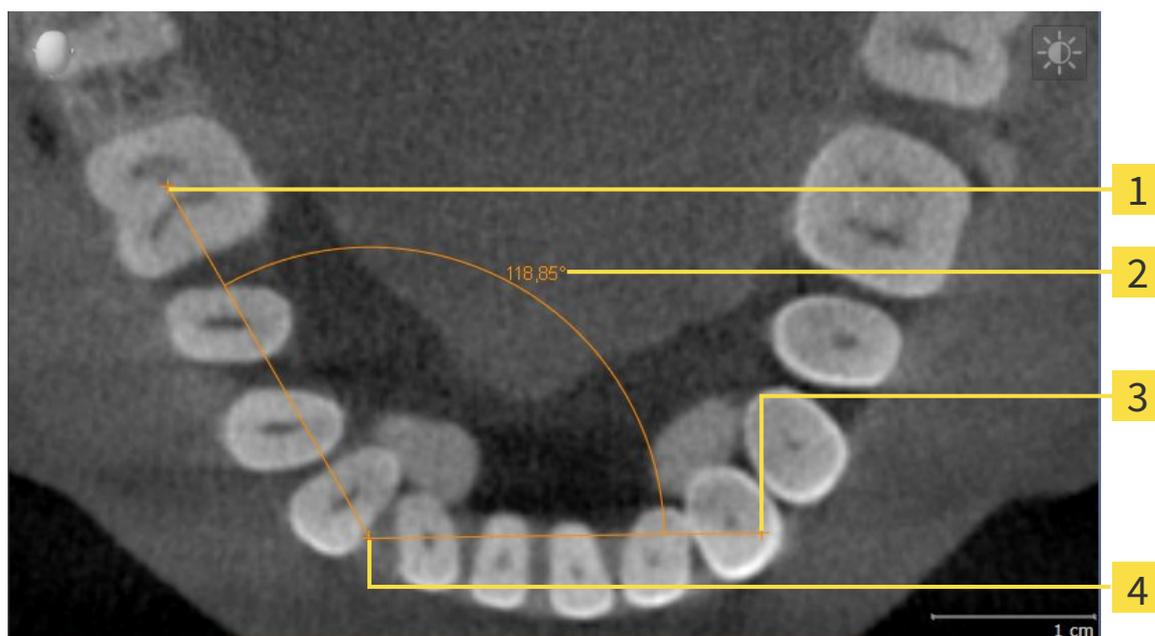


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Air 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

10.14.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

4 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Air 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

10.14.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 60\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 62\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 60\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 62\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 60]、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 62]の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定の値を移動すると、SICAT Airはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

10.15 気道のセグメンテーション

注記

気道のセグメンテーションの前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 102]の節をご覧ください。ボリュームを気道のセグメンテーション後に配置する場合は、SICAT Airが気道オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

SICAT Airでは、気道分析のために**気道オブジェクト**が必要です。気道をセグメントして、**気道オブジェクト**を作成します。この**気道オブジェクト**は気道を個別に表わし、基本的な情報を表示して追加の相互作用の可能性を提供しています。

気道のセグメンテーションのために、SICAT Airは気道エリアが必要です。気道エリアを2つの解剖学的な基準点でウィンドウ**気道をセグメントする**内に設定してください。その後、SICAT Airは気道エリアを立方体のフォームで作成します。ソフトウェアは、基準点と調整可能な横方向幅で気道エリアを定義します。最終的にSICAT Airは気道エリアで気道の自動セグメンテーションを実行します。基準点の移動と横方向幅の変更は後からできます。その際、ソフトウェアは気道の自動セグメンテーションを再実行します。

SICAT Airは、3Dビューのソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします。ボリュームのSICAT Air部が正しく配置されていない場合は、修正ツールを使用できます。

気道のセグメンテーションは次のステップで構成されています：

- **気道エリアの設定** [▶ ページ 118]

次のステップはオプションです：

- **気道セグメンテーションの修正** [▶ ページ 122]
- **必要でないエリアを気道から削除する** [▶ ページ 124]

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は**気道を手動でセグメントする** [▶ ページ 126]に記載されています。

10.15.1 気道エリアの設定



注意

3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロフィールの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロフィールを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。

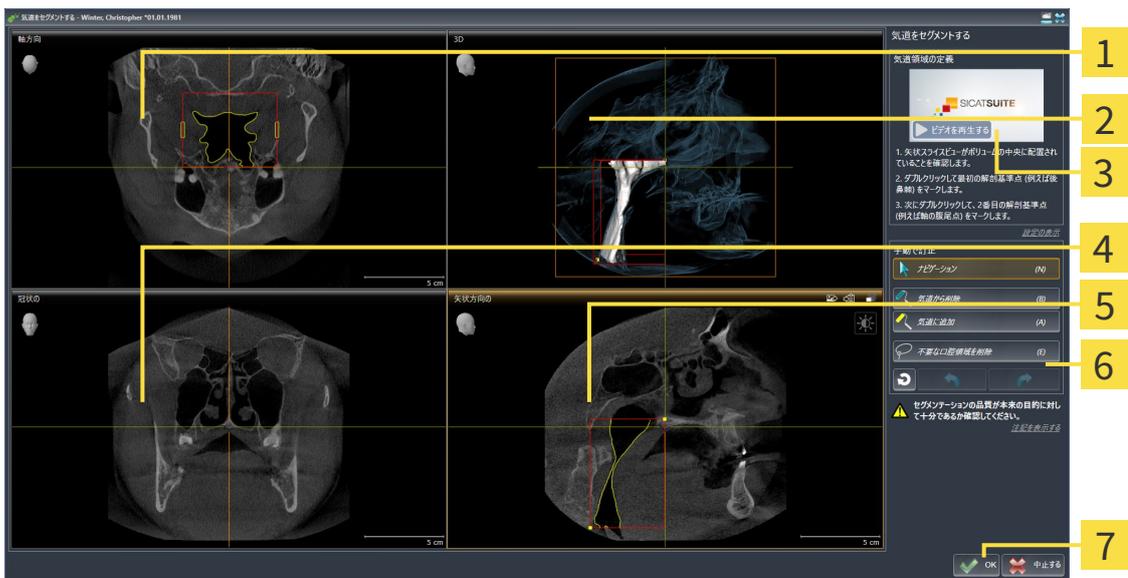
気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 117]に記載されています。

「気道をセグメントする」のウィンドウを開く

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 102]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの分析するは、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



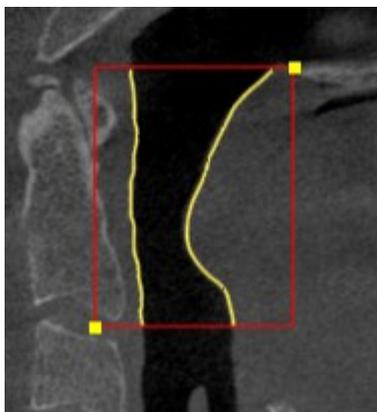
- **気道をセグメントしますのアイコンをクリックします。**
- ▶ **気道をセグメントする のウィンドウが開きます。**



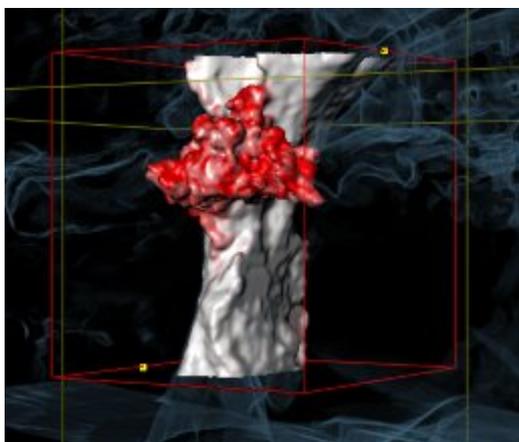
- | | |
|--|--|
| <p>1 軸方向ビュー</p> <p>2 3Dビュー</p> <p>3 事例ビデオ</p> <p>4 冠状ビュー</p> | <p>5 矢状方向ビュー</p> <p>6 ツール領域</p> <p>7 ボタン OK</p> |
|--|--|

気道エリア定義のための解剖学的基準点の配置

1. 矢状方向ビューが気道の上部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
2. 矢状方向ビューで気道エリアの上部基準点位置をダブルクリックしてください：



- ▶ SICAT Air は上部基準点を黄色い四角形でマークします。
 - ▶ これ以後、下部基準点はマウスポインタの位置に一致します。
 - ▶ SICAT Air は気道エリアを赤色のフレームでマークします。
3. 矢状方向ビューが気道の下部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
 4. 矢状方向ビューで気道エリアの下部基準点位置をダブルクリックしてください：
 - ▶ SICAT Air は下部基準点を黄色い四角形でマークします。
- ▶ SICAT Air は、気道エリアを基準点の位置に応じて設定します。
 - ▶ SICAT Air は、気道エリアに基づいて自動的に気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道エリアの基準点の移動

基準点をすべての2Dビューに移動できます。



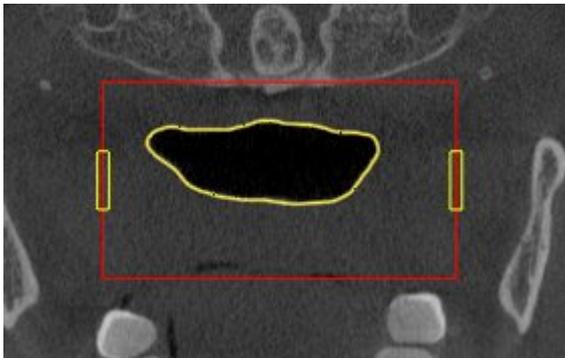
1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. 希望する2Dビューが任意の基準点を示していることを確認してください。必要な場合は、レイヤーをスクロールしてください。
3. マウスポインタを基準点に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字線になります。
4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
5. マウスポインタを新しい基準点の位置に動かします。
 - ▶ 基準点はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は、気道エリアを基準点の位置に応じて調整します。
6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は、新しい基準点を保持します。
 - ▶ SICAT Air は、新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：

気道エリアの横方向サイズの変更

横方向サイズは通常60 mmです。



1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. **軸方向**ビューが横方向サイズのマーキングを示しているか確認してください。必要な場合は、**軸方向**ビューでレイヤーをスクロールしてください：



3. マウスポインタを横方向サイズのマーキング上に動かします。

- ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
- 4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
- 5. マウスポインタを任意のマーキング位置に動かします。
 - ▶ マーキングはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は、気道エリアを新しい横方向サイズに応じて調整します。
- 6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は新しいマーキングポイントを保持します。
 - ▶ SICAT Air は、新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、*気道のセグメンテーションを完了してください* [▶ ページ 127]に進みます。

セグメンテーションが解剖学的条件と一致していない場合、*気道セグメンテーションの修正* [▶ ページ 122]または*必要でないエリアを気道から削除する* [▶ ページ 124]に進みます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**気道をセグメントする**で使用できます。



- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 81]の節をご覧ください。
- **スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックして、個々のビューのスクリーンショットをクリップボードとハンドアウトにコピーすることができます。この記録に関する内容は、*画像のスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 87]の節をご覧ください。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**戻る (Ctrl+Z)** ボタンをクリックします。
- 前回のステップを繰り返したい場合は、**繰り返す (CTRL+Y)** ボタンをクリックします。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**気道セグメンテーションを削除し、すべての変更を破棄する** ボタンをクリックし、それを通知ウィンドウで確認するにはOKをクリックします。
- 気道のセグメンテーションを中断したい場合は、**中止する** をクリックします。

機能**戻る (Ctrl+Z)**と**繰り返す (CTRL+Y)**を使用できるのは**気道をセグメントする**ウィンドウが開いている間のみです。

10.15.2 気道セグメンテーションの修正



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 117]に記載されています。

誤って検出された気道エリアから削除する

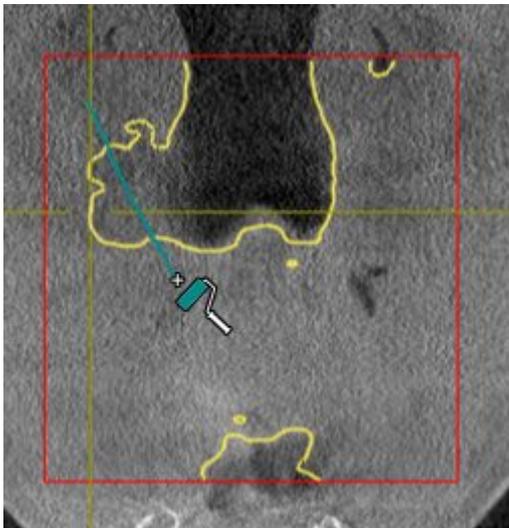
気道のすべての2Dビューエリアを削除できます。

修正の際、特に3Dビューの赤でマークされたエリアに考慮してください。このエリアは、SICAT Airが気道と誤って検出したエリアではない可能性があります。

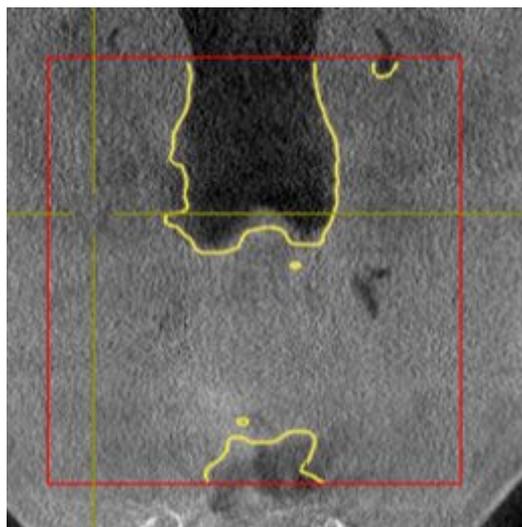
- ☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は[気道エリアの設定](#) [▶ ページ 118]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道から削除する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは青色の塗料ローラーになります。
2. 気道エリア内の2DビューにSICAT Airが気道と誤って検出した面をマークします：



- ▶ SICAT Air はマークした気道のエリアを削除します：



誤って検出されたエリアを気道に追加する

すべての2Dビューに、気道としての追加のエリアをマークすることができます。

- 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 118]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道に追加する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは黄色の塗料ローラーになります。
2. 気道エリア内の2Dビューに気道としての追加面をマークします。
 - ▶ SICAT Air は気道としてマークされたエリアを検出します。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**気道のセグメンテーションを完了** してください [▶ ページ 127]に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は**気道を手動でセグメントする** [▶ ページ 126]に記載されています。

10.15.3 必要でないエリアを気道から削除する

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は**気道のセグメンテーション** [▶ ページ 117]に記載されています。

不要な口腔エリアを除去する ツールを気道関連が含まれていない空気エリアに使用してください。それには口内や隆起などが含まれています。

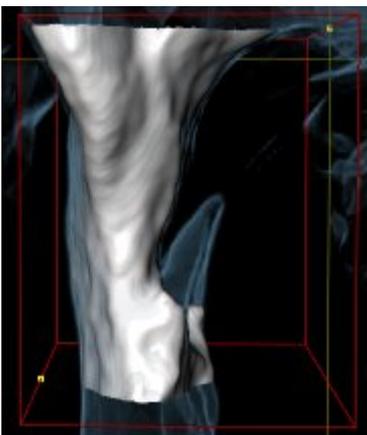
☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 118]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**不要な口腔エリアを除去する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは投げ縄になります。
2. **3Dビュー**で検出から完全に切り出したいエリアを縁取ってください。気道または気道外のエリアであるかどうかは問題ではありません：



▶ SICAT Air はマーキングの背後のすべてのエリアをボリュームから取り出します。つまり、SICAT Airはこのエリアが気道または気道外のエリアであるかどうかはこれ以上認識できません：



不要な口腔エリアを除去する 機能も2Dビューで使用することができます。この場合、SICAT Airは現在のレイヤーでのみ変更を行います。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**気道のセグメンテーション**を完了してください [▶ ページ 127]に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は[気道を手動でセグメントする](#) [▶ ページ 126]に記載されています。

10.15.4 気道を手動でセグメントする



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 117] に記載されています。

特定の3D X線撮影図の場合は、修正ツールを使用してもSICAT Airは適切な気道のセグメンテーションを自動的に実行できないことがあります。この場合は、気道のセグメンテーションを行ってください：

気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 118] に記載されています。

1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**設定を表示する** のボタンをクリックします。

▶ **設定を表示する** のコーナーがドロップダウンで展開します。

2. **気道を手動でセグメントする** のチェックボックスを有効にします。

▶ SICAT Airがある場合は、気道の自動セグメンテーションとそれに関連する修正を削除します。



3. エリアを気道としてマークするには、気道エリア内の**気道に追加する** 描画ツールを使用してください。



4. 気道外のエリアをマークするには、気道エリア内の**気道から除去する** 描画ツールを使用してください。

▶ SICAT Air はマーキングに応じて気道をセグメントします。

▶ **3Dビュー**でSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道を手動でセグメントする場合には、気道と気道外のエリアをマークする必要があります。それから、SICAT Airがセグメンテーションを実行します。



気道の自動セグメンテーションおよび手動セグメンテーションの修正用ツールを提供しています：

- [気道セグメンテーションの修正](#) [▶ ページ 122]
- [必要でないエリアを気道から削除する](#) [▶ ページ 124]

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、[気道のセグメンテーション](#)を完了してください [▶ ページ 127]に進みます。

10.15.5 気道のセグメンテーションを完了してください

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は気道のセグメンテーション [▶ ページ 117]に記載されています。

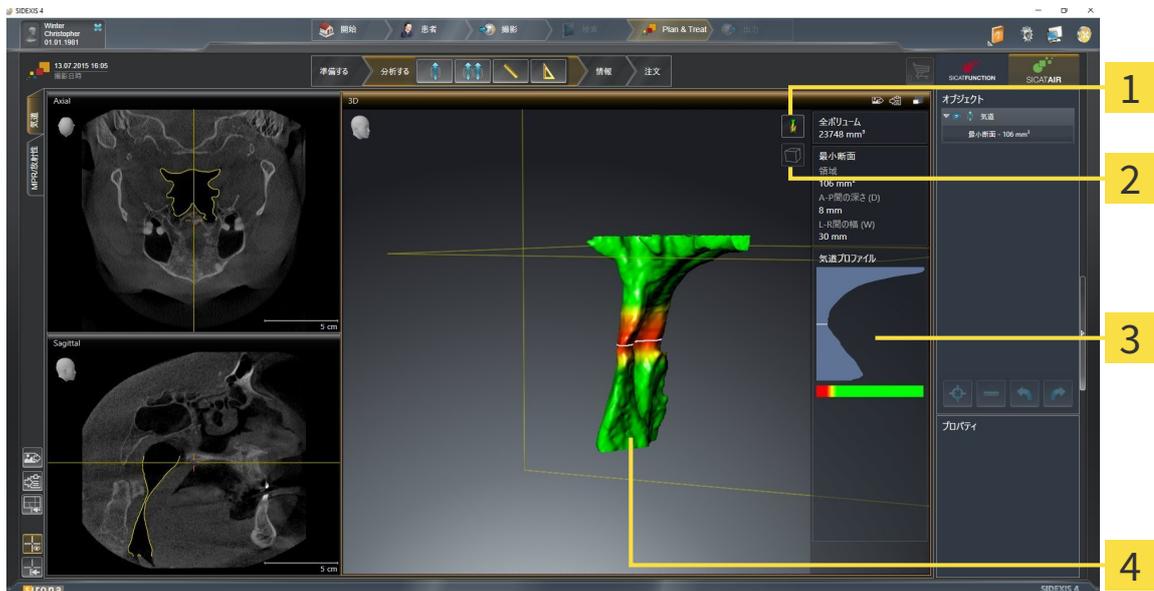
- ☑ **気道をセグメントする** ウィンドウに気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 118]に記載されています。
- セグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**OK**をクリックしてください。
- ▶ SICAT Air はセグメントされた気道を受け入れます。
- ▶ SICAT Air は**気道をセグメントする** ウィンドウを閉じます。
- ▶ まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道ワークスペース**を有効にします。
- ▶ 3DビューでSICAT Airは表示タイプ**気管の不透明なビュー**を有効にします。
- ▶ オブジェクトバーでSICAT Air**気道**オブジェクトを作成します。

10.16 気道分析

気道分析を行う前に、気道をセグメントする必要があります。これに関する情報は**気道のセグメンテーション** [▶ ページ 117]に記載されています。

SICAT Air は気道分析のために、次の可能性を提供しています：

- 気道分析領域
- 表示タイプ
- 切り抜きモード
- 色分け



1 アイコン 表示モードを切り替える

3 気道分析領域

2 アイコン 切り抜きモードを切り替える

4 セグメントされ、色分けされた**気道オブジェクト**

全ボリューム

気道プロフィールの上側に、SICAT Air全ボリュームは**気道オブジェクト**をmm³で示します。

気道分析領域

気道をセグメントした後、SICAT Air気道ワークスペース内に気道分析領域が表示されます。

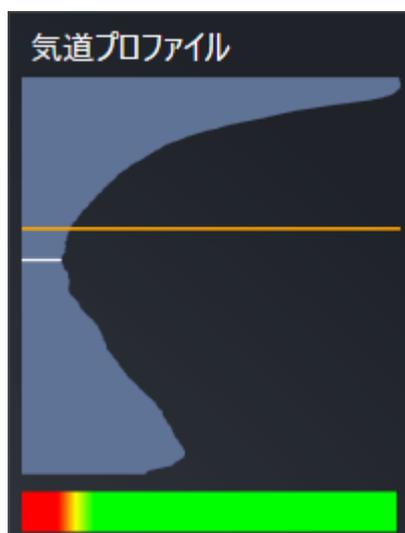
気道分析領域の上部は次のとおりです：



セグメントされた気道に関しては以下の情報を閲覧することができます。

- 最小断面
- A-P間の深さ(D)
- L-R間の幅(D)

気道分析領域の中間部は気道プロフィールを示します。気道プロフィールは気道に沿った軸方向レイヤーの断面積を可視化します：



気道プロフィールには2本の線が含まれており、これには次の意味があります：

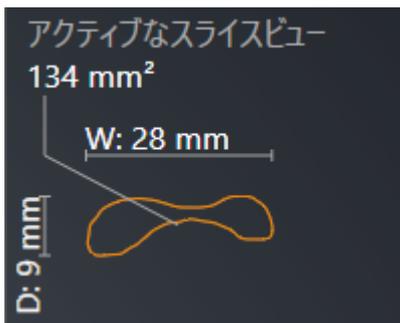
- 白い線はレイヤーを最小断面積で象徴化します。
- オレンジ色の線は選択したレイヤーを象徴化します。

選択したレイヤーは、3Dビューの切り抜き位置と気道分析領域の下部の情報を決定します。

気道プロフィールのレイヤーを選択する手順は気道プロフィールとの連携 [▶ ページ 132]に記載されています。

気道プロフィール下部のグラデーションは色分けと切断面の関連性を確立します。

気道分析領域の下部は次のとおりです：



選択したレイヤーの断面に関しては以下の情報を閲覧することができます：

- 断面の可視化
- 断面積
- 幅
- 奥行き

表示タイプ

3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定の側面を様々な表示タイプで強調することができます。これに関する情報は3Dビューの表示タイプ [▶ ページ 91]に記載されています。

切り抜きモード

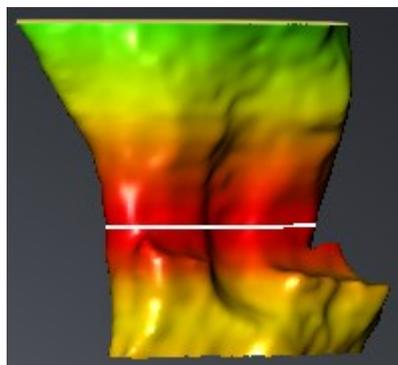
3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定のエリアを様々な切り抜きモードで非表示することができます。これに関する情報は3Dビューの切り抜きモード [▶ ページ 95]に記載されています。

色分け



SICAT Air は色分けでセグメントされた気道を規定します。色分けは気道プロフィールの断面積に一致します。色分けで3Dビューに気道オブジェクトの狭域を強調することができます。

色分けを設定することができます。これに関する情報は *SICAT Air* オブジェクト [▶ ページ 64] に記載されています。気道のすべてのエリアが健康的に見えるように、しきい値上限を選択する必要があります。気道のすべてのエリアが病態的に見えるように、しきい値下限を選択する必要があります。SICAT Air はエリア間をグラデーションで表示します：



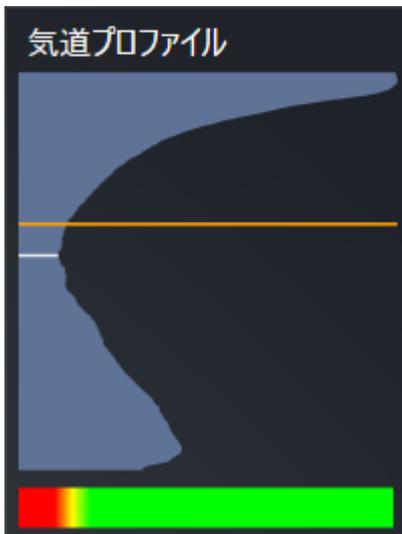
SICAT Air 設定で色分けのための標準値を設定することができます。この変更に関する内容は、*SICAT Air* 設定の変更 [▶ ページ 183] の節をご覧ください。

10.16.1 気道プロフィールとの連携

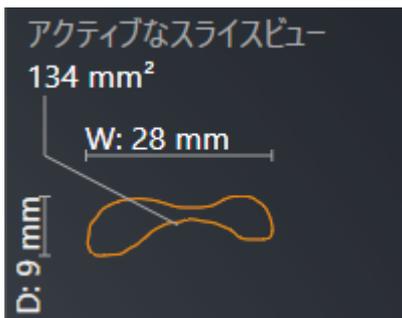
気道分析に関する一般的な情報は気道分析 [▶ ページ 128]に記載されています。

気道プロフィールと連携するには、次のように行います。

- ☑ 気道ワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 73]の節をご覧ください。
 - ☑ 気道はすでにセグメントされています。これに関する情報は気道エリアの設定 [▶ ページ 118]に記載されています。
 - 気道プロフィールの希望するレイヤーをクリックします。
- ▶ 気道プロフィールに選択したレイヤーがオレンジ色の線で示されます：

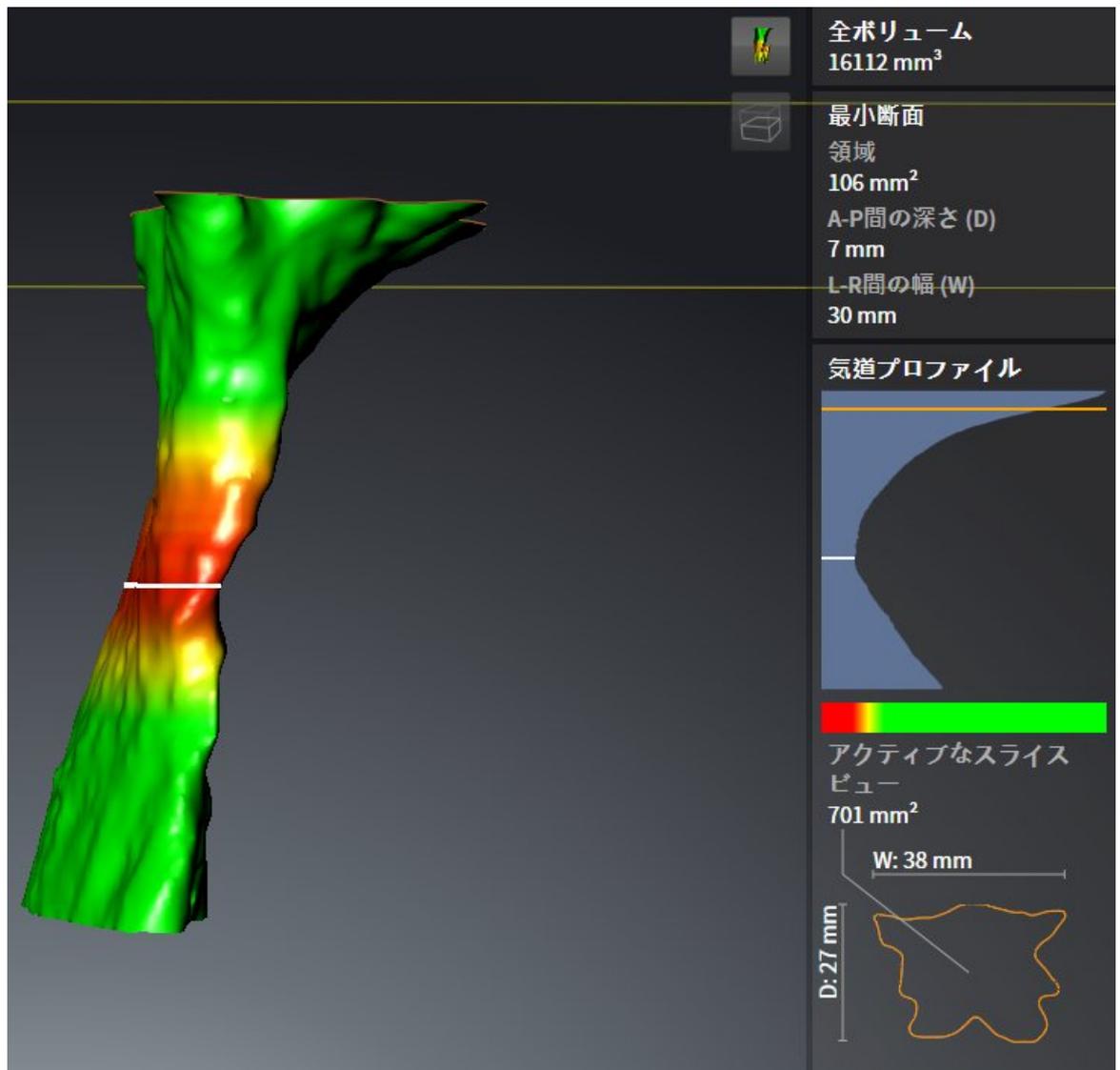


- ▶ SICAT Air は選択したレイヤーのための情報を示します：



- ▶ 3DビューでSICAT Airは切り抜きモード切り抜き：選択したレイヤービュー（レイヤービューでアクティブ化）を有効にします。

▶ 3Dビューは選択したレイヤーの上部エリアを非表示にします：



▶ SICAT Air は2Dビューで気道の中心に十字線で焦点を合わせます。

10.17 気道比較



注意

3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロファイルの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロファイルを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。



注意

気道比較のための誤ったデータの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

気道比較のための気道プロファイルを選択する場合、正しい患者、正しい3D X線撮影図、正しい気道セグメンテーションデータ、正しいエリアおよび正しいサイズを使用してください。

注記

気道のセグメンテーションの前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 260]の節をご覧ください。ボリュームを気道のセグメンテーション後に配置する場合は、SICAT Airが気道オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

気道比較で2つの3D X線撮影図のセグメントされた上部気道を比較することができます：

- 1つの3D X線撮影図は、下顎が未治療の位置にあります。
- 1つの3D X線撮影図は、下顎が突出した治療位置にあります。

気道比較で患者の気道の治療位置の影響を判断することができます。

気道比較は常に現在開かれている3D X線撮影図と他のデータセットに基づいて行われます。他のデータセットはリファレンスデータベースとされています。



気道比較が正しい値を出すには、気道の後壁を同じ配置にする必要があります。

気道比較を行うには、以下の条件を満たす必要があります。

- 2つの3D X線撮影図は解像度が同じです。
- リファレンス3D X線撮影図はすでに気道オブジェクトを有しています。
- 下顎の3D X線撮影図は治療位置で開いています。

すべての条件が満たされた場合、**気道比較**ウインドウを開き、気道比較を行うことができます。これに関する情報は**気道比較を行う** [▶ ページ 136]に記載されています。



気道比較ウインドウの治療位置での3D X線撮影図のセグメンテーションは、気道をセグメントするウインドウのセグメンテーションには依存していません。オブジェクトブラウザの2つのオブジェクトはお互いに独立しています。

10.17.1 気道比較を行う

気道比較に関する一般的な情報は**気道比較** [▶ ページ 134]に記載されています。

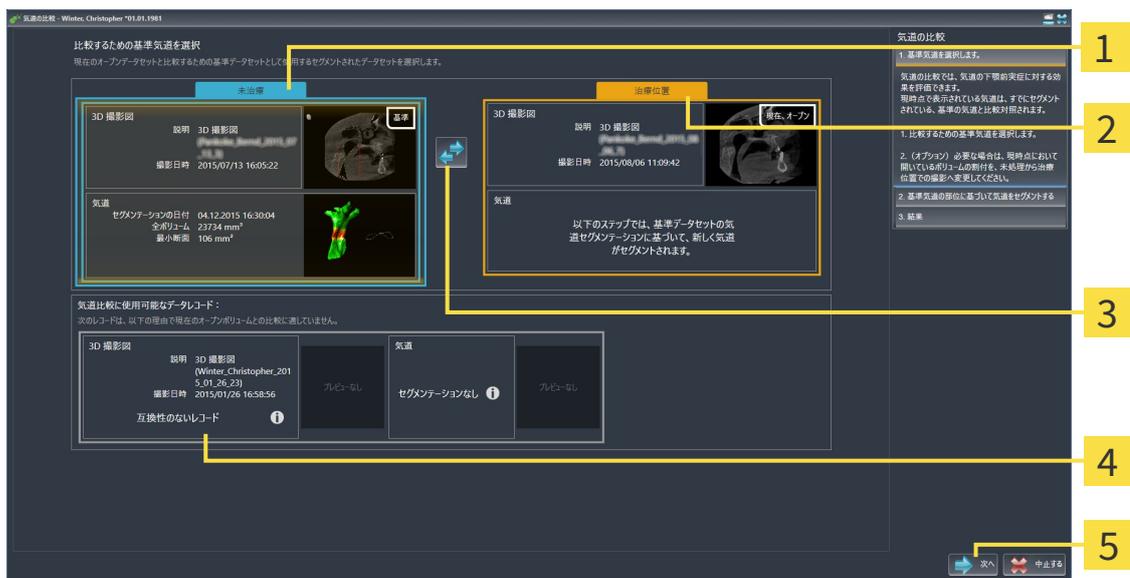
「気道比較」ウィンドウを開く

- ☑ リファレンス3D X線撮影図ですでに気道比較をセグメントしました。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 118]に記載されています。
- ☑ 治療位置を示した3D X線撮影図をすでに開きました。
- ☑ 治療位置を示した3D X線撮影図は要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 102]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**分析する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



- **気道比較**のアイコンをクリックします。
- ▶ **気道比較**ウィンドウが**比較**のためにリファレンス気道を選択するのステップで開きます。

リファレンス気道の選択



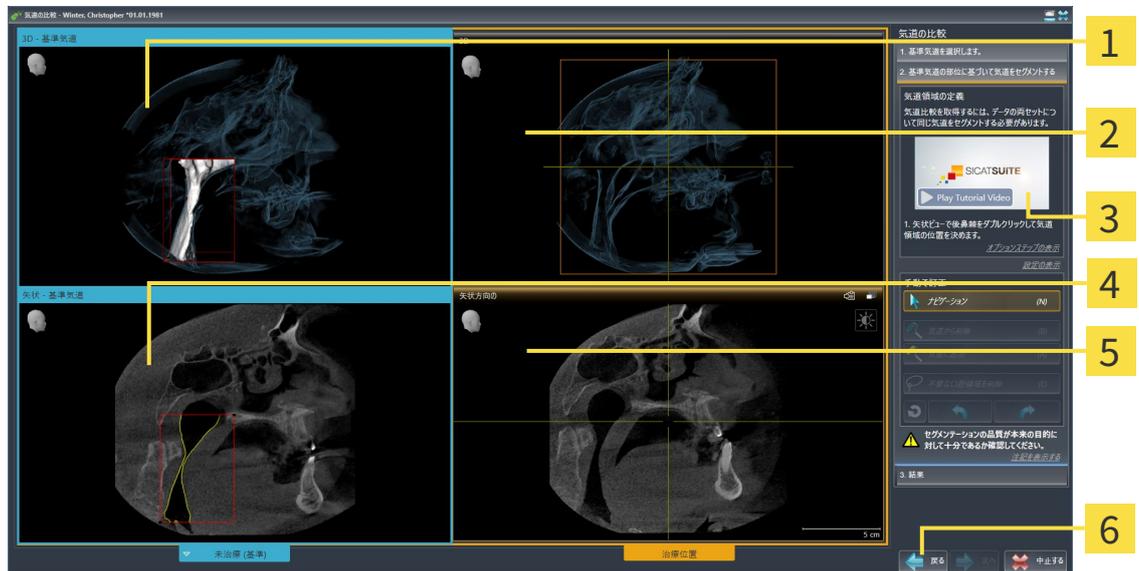
- | | |
|--|---|
| <p>1 のリスト 未治療</p> <p>2 のリスト 治療位置</p> <p>3 アイコン 未処理と治療位置間の割り当てを変更する</p> | <p>4 気道比較に不適切な3D X線撮影図のリスト</p> <p>5 ボタン 次へ</p> |
|--|---|

1. 必要に応じて、希望するリファレンス気道を選択してください。
2. リファレンス気道が未治療位置または治療位置の3D X線撮影図であるかどうかを確定する必要がある場合は、**未処理**と**治療位置**間の割り当てを**変更**するアイコンをクリックしてください。

3. 次へのボタンをクリックします。

▶ のステップが開きます。

比較のための気道をセグメントする

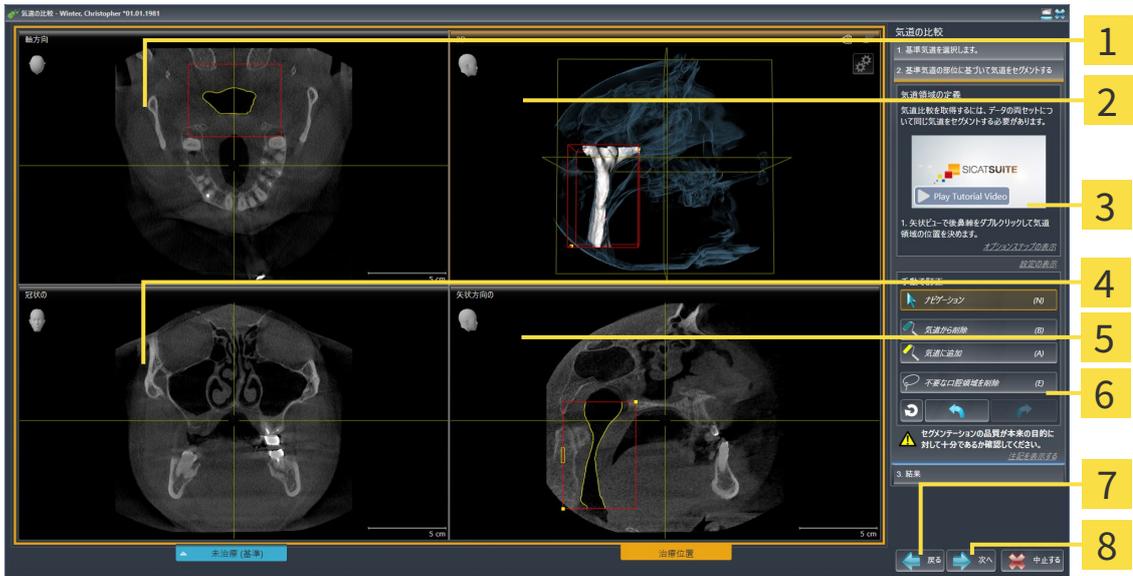


- | | |
|--|--|
| <p>1 3D-リファレンス位置の3D X線撮影図ビュー (このビューは変更不可)</p> <p>2 3D-治療位置の3D X線撮影図ビュー (このビューは変更不可)</p> <p>3 チュートリアルビデオ</p> | <p>4 矢状方向-リファレンス位置のボリュームビュー</p> <p>5 矢状方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー</p> <p>6 ボタン戻る</p> |
|--|--|

2つの気道比較は同じ高さである必要があります。それには、気道エリアの右上の基準点のみを設定します。 SICAT Air は、それから気道エリアの左下の基準点を自動的に設定します。

1. 治療位置の3D X線撮影図をセグメントするには、リファレンス3D X線撮影図の場合と同じように、気道エリアの上部基準点のための矢状方向ビューの同じ部位位置をダブルクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、治療位置の3D X線撮影図を3D X線撮影図のセグメンテーションの場合と同じ寸法で、選択した上部基準点とリファレンス気道エリアでセグメントします。
 - ▶ SICAT Air は、リファレンス3D X線撮影図の3Dビューと矢状方向ビューを非表示にします。

▶ SICAT Air は、治療位置のリファレンス3D X線撮影図の軸方向ビューと冠状ビューを表示します。

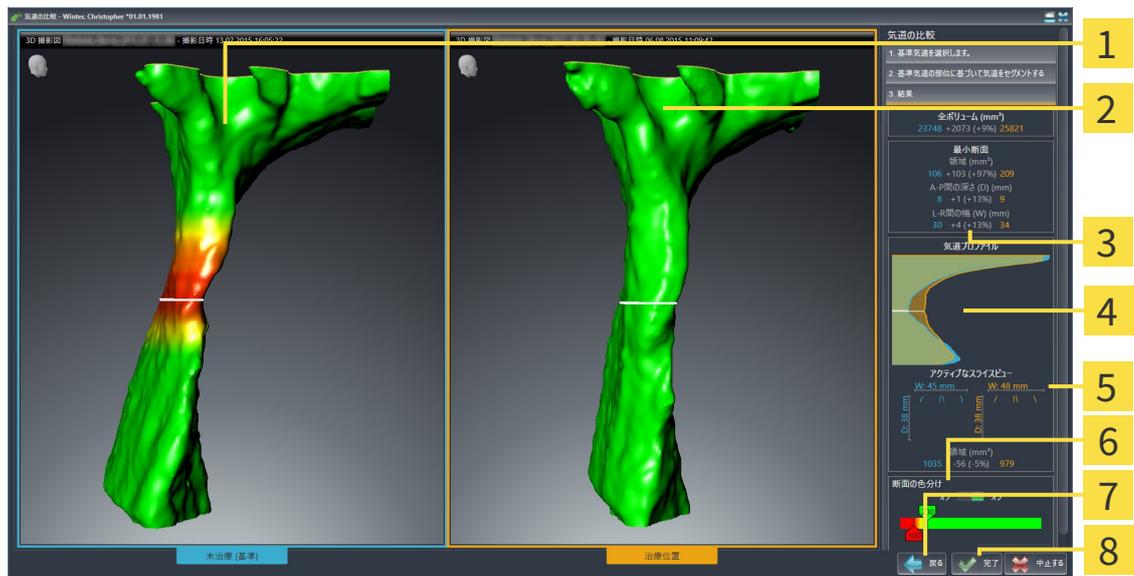


- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 軸方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 5 矢状方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー |
| 2 3D-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 6 ツール領域 |
| 3 チュートリアルビデオ | 7 ボタン 戻る |
| 4 冠状-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 8 ボタン 次へ |

2. 上部基準点の位置を修正する必要がある場合は、これを移動してください。
 - ▶ 上部基準点の移動中、SICAT Airはリファレンス3D X線撮影図の3Dビューと矢状方向ビューを表示します。
3. 必要に応じて、矢状方向ビューの横方向幅を調整してください。
4. 必要に応じて、治療位置のリファレンス3D X線撮影図のセグメンテーションを修正してください。気道をセグメントするウィンドウと同じ修正ツールを使用することができます。これに関する情報は気道セグメンテーションの修正 [▶ ページ 122]と必要でないエリアを気道から削除する [▶ ページ 124]に記載されています。
5. 次へのボタンをクリックします。
 - ▶ のステップが開きます。

治療位置のリファレンス3D X線撮影図の軸方向ビューと冠状ビューを手動で表示/非表示にするには、 アイコンをクリックします。

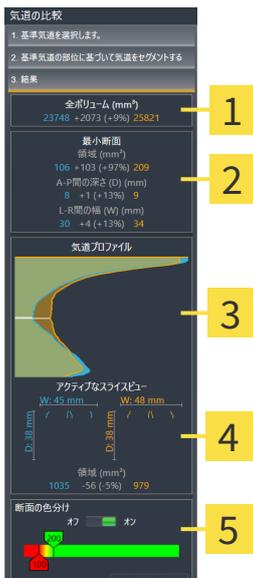
気道の比較



- | | |
|---|-------------------------|
| 1 3D-未治療の気道ビュー | 5 未治療と治療位置の断面の対照 |
| 2 3D-治療位置の3D X線撮影図のセグメントされた気道ビュー | 6 色分け |
| 3 未治療と治療位置のセグメントされた気道データの対照 | 7 ボタン戻る |
| 4 未治療と治療位置の気道プロフィールの対照 | 8 ボタン完了 |

- 2つの気道がよく比較できるように、セグメントされた気道を移動します。SICAT Airは移動を同期しません。
- セグメントされた気道を回します。SICAT Airは回転を同期します。

3. セグメントされた気道をズームします。SICAT Air はズームを同期します。



1 総量 (mm³)

4 アクティブなレイヤービュー

2 最小断面

5 切断面の色分け

3 気道プロフィール

4. 断面の表示と右側の気道比較エリアのデータを使用し、セグメントされた気道を比較してください。青色の値は未治療の気道に属し、オレンジ色の値は治療位置の気道に属しています。パーセンテージは未治療の気道から治療位置の気道の変更を示します。ビューにはその以外に気道分析エリアと同じ要素が含まれています。これに関する情報は[気道分析](#) [▶ ページ 128]に記載されています。

5. SICAT Airで3Dビューの気道表示が交差するレイヤーを選択するために、**気道プロフィール** エリアを使用します。選択したビューは両方の気道に適用されます。

6. 気道の断面積と特に狭域強調するためにグラデーションを調整します。グラデーションの設定は両方の気道に適用されます。

7. **完了** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Air は気道比較を保存します。

▶ SICAT Air は、**気道比較**オブジェクトを**オブジェクトブラウザ**に作成します。

▶ SICAT Air は、ハンドアウトにスクリーンショットと重要な気道比較測定値対照の個別ページを作成します。**オブジェクトブラウザ**でSICAT Airハンドアウトオブジェクト下部の**気道比較**オブジェクトとしてのページを表示します。



気道比較の前のページに戻るには、**戻る**ボタンをクリックします。

気道比較を中断するには、**中止する**ボタンをクリック、**⊗**アイコンをクリック、**ESC**を押す、またはボタンの組合せAlt+F4を押します。SICAT Airは、**気道比較**オブジェクトを作成せず、治療位置のボリュームの気道比較のためのセグメンテーションを保存しません。

撮影結果がすでに**気道比較**オブジェクトに含まれている場合、再セグメンテーションが完全に行われると、SICAT Airはこれを最初に上書きします。

気道比較の実行後に、**気道比較**ウィンドウを開くには、**気道比較**オブジェクトの横の**オブジェクトブラウザ**の**詳細**アイコンをクリックしてください。

気道比較の実行後に撮影結果から始めた場合は、**気道比較**ウィンドウを再度開き、**治療スプリント付きとなしの気道比較**ステップでウィンドウすぐに開きます。

10.18 患者教化



注意

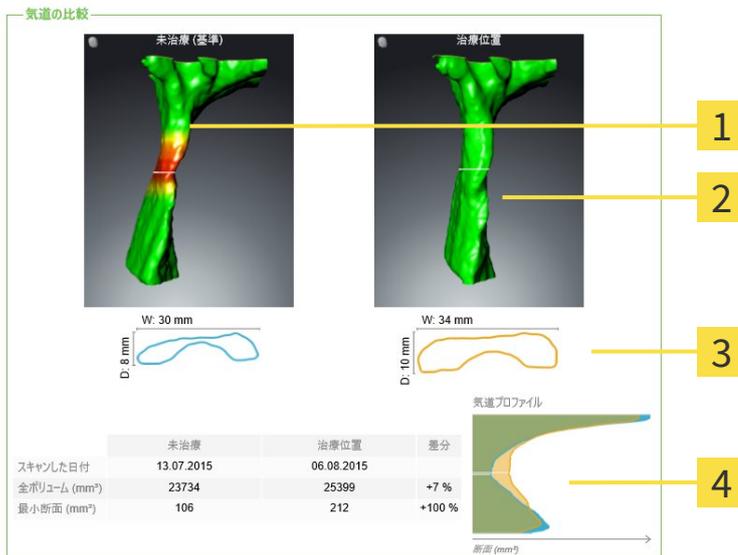
診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、下顎前突の効果を明確にすることができます。SICAT Airで患者教化が2ステップで実行されます：

1. SICAT Airのソフト上
2. ハンドアウトによる患者情報

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイで作成することができます。ソースは描画オブジェクトからなる画像、スクリーンショットおよび気道比較です。気道比較は特別な役割を果たし、ハンドアウトに独自のページを得ます。



- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 スクリーンショット 未治療 | 3 最小断面のレイヤーの対照 |
| 2 スクリーンショット 治療位置 | 4 数値の比較と 気道プロフィール |

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています：

- 画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 143]
- ハンドアウトの準備 [▶ ページ 146]
- ハンドアウトの作成 [▶ ページ 150]

ハンドアウトはプリントするか、またはPDFファイルで保存することができます。PDFファイルは、SICAT AirをサポートしているPDFビューアで開くことができます。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 12]の節をご覧ください。

10.18.1 画像とスクリーンショットの作成

注記

画像とスクリーンショットを作成する前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、*ボリュームの配置を調整する* [▶ ページ 102]の節をご覧ください。ボリュームを画像とスクリーンショット作成後に配置する場合は、SICAT Airが描画オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

患者教化に関する一般的な情報は*患者教化* [▶ ページ 142]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は*SICAT Airオブジェクト* [▶ ページ 64]に記載されています。

描画ツールは2種類あります：

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、*ボリュームの配置を調整する* [▶ ページ 102]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、*ワークフローのツールバー* [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
4. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は*SICAT Airオブジェクト* [▶ ページ 64]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウインドウにあります。
5. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 102]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
4. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 64]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウインドウにあります。
5. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたは**ESC**ボタンを押します。

描画ツールの設定

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

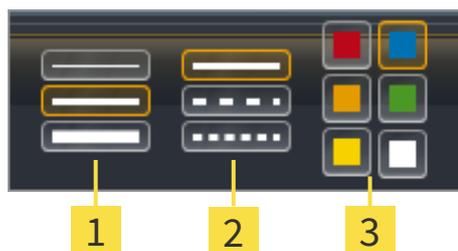
描画ツールを設定するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ**、**線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。
3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

▶ SICAT Air は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Air は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います：



- 希望するビューの**画像のツールバー**にあるスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。これに関する情報は**SICAT Air**オブジェクト [▶ ページ 64] に記載されています。
- ▶ スクリーンショットは**ハンドアウトを作成する**ウィンドウにあります。
- ▶ SICAT Air は選択したビューのスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの準備 [▶ ページ 146]に進みます。

10.18.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 142]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作：

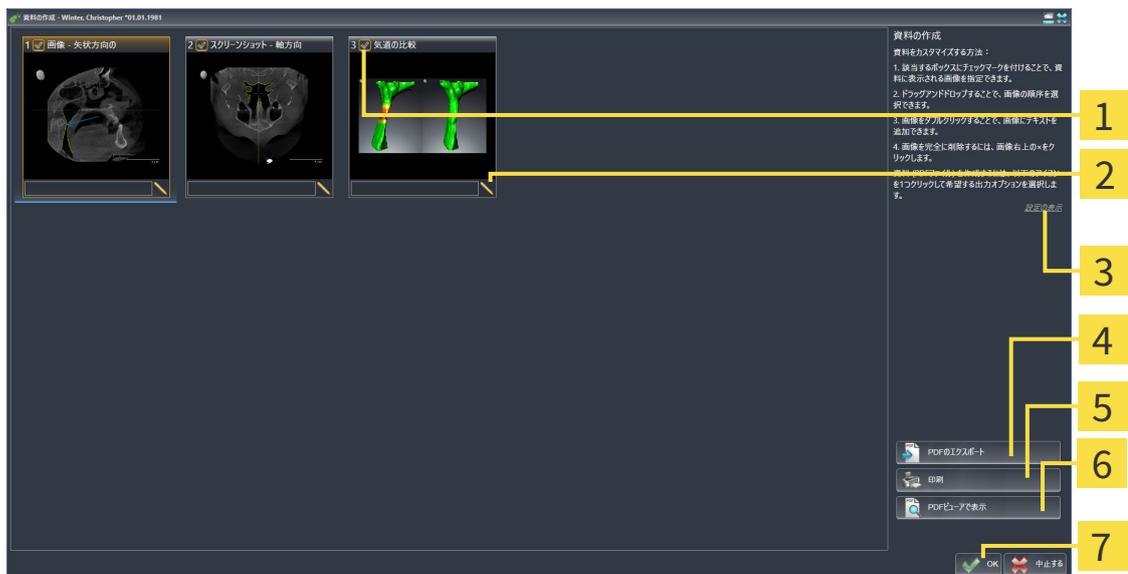
- ハンドアウトを作成するのウィンドウを開く
- 要素を準備する
- ハンドアウトの設定を変更する

「ハンドアウトを作成する」のウィンドウを開く

- 少なくとも、**画像オブジェクト**、**スクリーンショットオブジェクト**または**気道比較オブジェクト**を作成しました。
- ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ハンドアウトを作成するのウィンドウが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 スクリーンショットを有効/無効にするチェックボックス</p> <p>2 アイコン 画像記述を編集する</p> <p>3 設定</p> <p>4 ボタン PDFエクスポート</p> | <p>5 ボタン 印刷する</p> <p>6 ボタン PDFビューアで表示する</p> <p>7 ボタン OK</p> |
|--|---|

ハンドアウトのための要素を準備する

ハンドアウトを作成するウィンドウは画像オブジェクトからスクリーンショット、スクリーンショットオブジェクトからスクリーンショットおよび気道比較オブジェクトから情報を示します。これに関する情報は画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 143]と気道比較を行う [▶ ページ 136]に記載されています。

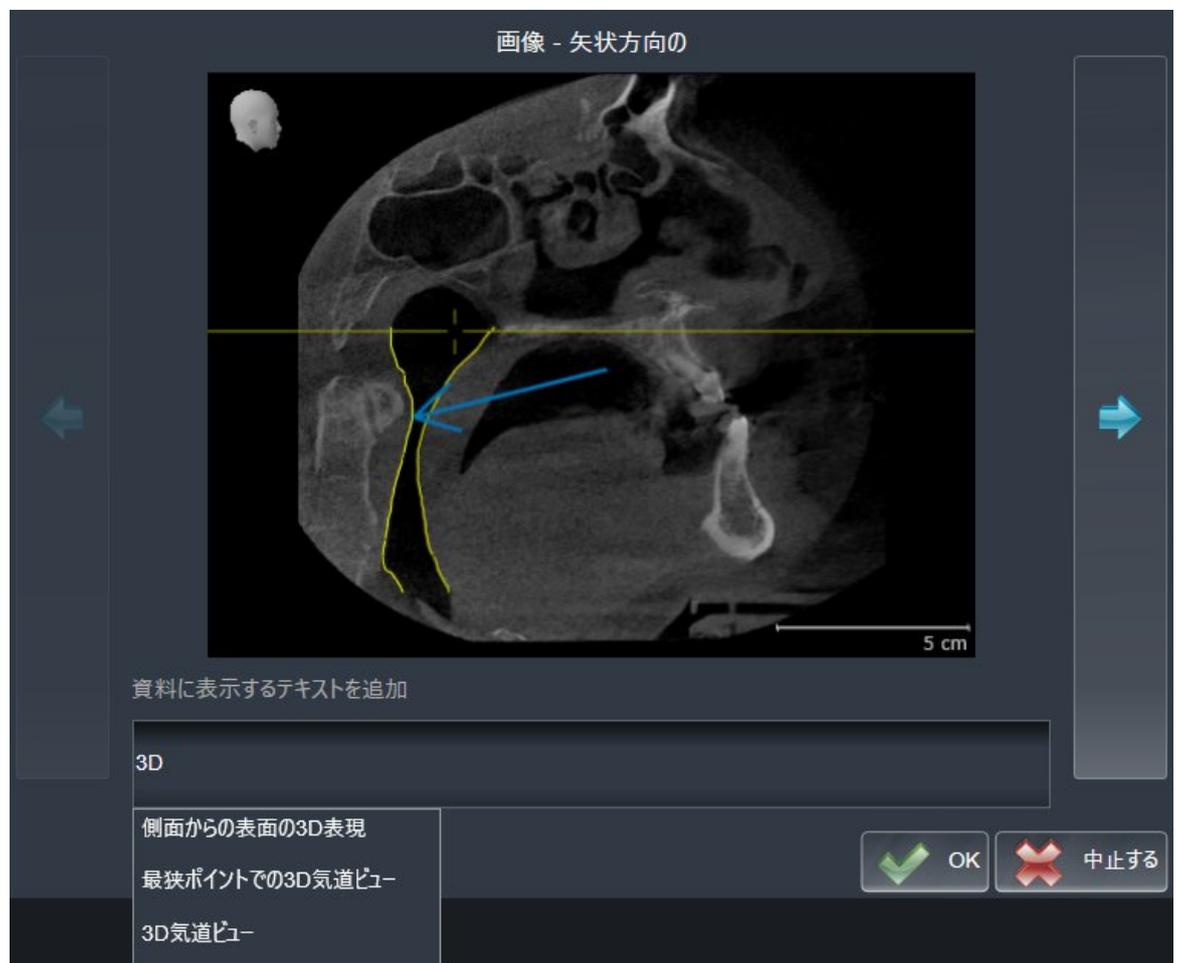
ハンドアウトのための要素を準備するには、次のように行います。

ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。

1. ハンドアウトの要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
▶ SICAT Air はハンドアウトの要素を非表示にします。



2. 要素に説明を追加したい場合は、要素の画像記述を編集するアイコンをクリックしてください。
▶ SICAT Air は要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します：



3. テキスト入力欄にテキストを入力してください。
▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Airはテキストブロックのリストを表示します。
4. 希望のテキストブロックをクリックします。

- ▶ SICAT Air はテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。
- 5. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
- 6. **OK**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air はテキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Airは説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。
- 7. ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Airが**テキストブロックをリストから削除するアイコン**を表示します。**テキストブロックをリストから削除するアイコン**をクリックすると、SICAT Airがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。



次の**アイテム**ボタンと**直前のアイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウィンドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報は**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 62]と**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 64]に記載されています。

ハンドアウトの設定を変更する

- ハンドアウトを作成する**のウィンドウを開いておきます。



1. **設定を表示する**をクリックします。

2. **設定**のコーナーがドロップダウンして展開します。



3. **用紙サイズ**エリアで希望する用紙サイズを選択してください。
4. **設定を非表示にする**をクリックします。

- ▶ **設定**エリアが閉じます。
- ▶ SICAT Air は変更を保存します。

ハンドアウトの作成 [▶ ページ 150]に進みます。



SICAT Air は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。
この表示に関する内容は、**歯科クリニックの説明文を確認する** [▶ ページ 180]の節をご覧ください。

10.18.3 ハンドアウトの作成

ハンドアウトを作成するために使用できる操作：

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする
- ハンドアウトをPDFビューアで表示する

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。



1. **PDFエクスポート** のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名欄**に名前を入力し、**保存**をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Air はハンドアウトをPDFファイルで保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、[システム要件 \[▶ ページ 12\]](#)の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成する** のウィンドウを開いておきます。
1. **印刷する** のボタンをクリックします。
 - ▶ **印刷する** のウィンドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. **印刷する** をクリックします。
 - ▶ SICAT Air はプリンターにハンドアウトを送信します。

ハンドアウトをPDFビューアで表示する



- コンピューターには標準PDFビューアがインストールされています。
- ハンドアウトを作成する** のウィンドウを開いておきます。
- **PDFビューアで表示する** のボタンをクリックします。
- ▶ コンピューターの標準PDFビューアがハンドアウトを開きます。

10.19 データエクスポート

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の機能を利用してください。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

10.20 注文プロセス

治療スプリントを注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Airで、治療スプリントのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。この表示に関する内容は、[治療スプリントをショッピングカートに入れる \[▶ ページ 153\]](#)の節をご覧ください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。この表示に関する内容は、[カートをチェックして、注文プロセスを完了する \[▶ ページ 166\]](#)の節をご覧ください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。この表示に関する内容は、[インターネット接続を使用した注文の終了 \[▶ ページ 167\]](#)か、または、[インターネット接続を使用しない注文の終了 \[▶ ページ 171\]](#)のいずれかの節をご覧ください。



同一の3D X線撮影画像に関する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。

10.20.1 治療スプリントをショッピングカートに入れる



注意

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 152]の節をご覧ください。

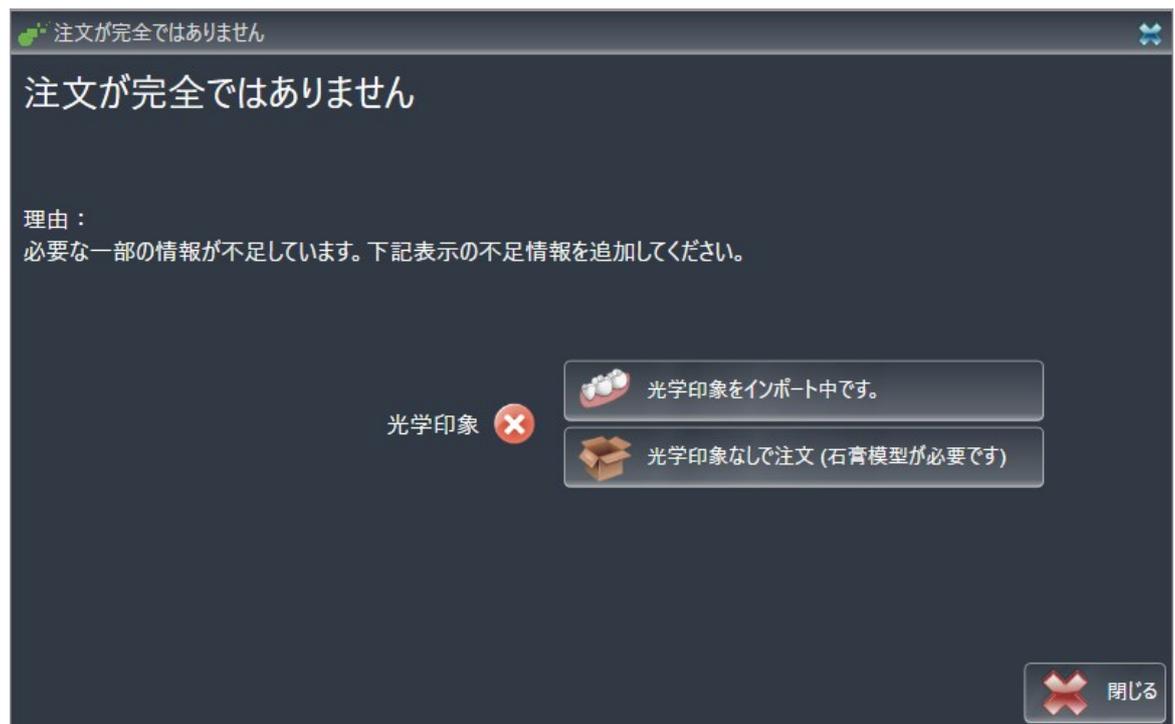
SICAT Airでの治療レール注文プロセスの最初の部分は次のステップで構成されています：

光学印象をまだ追加していない場合

- ☑ 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ☑ ワークフロー・ステップの**注文**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



1. **治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。**
 - ▶ **注文が完全ではありません**のウィンドウが開きます。



2. **光学印象をインポートし記録する**ボタンをクリックし、3D X線撮影図のための適切な光学印象をインポートします。この手順に関する内容は、[光学印象をインポートし記録する](#) [▶ ページ 158]の節をご覧ください。

- ▶ **治療スプリントを注文する**のウィンドウが開きます。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。パノラマエリアを調整するボタンをクリックすることにより、ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するウィンドウを光学印象をインポートし記録するウィンドウから直接呼び出すことができます。この調整に関する内容は、パノラマエリアを調整する [▶ ページ 107]の節をご覧ください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、注文が完全ではありませんウィンドウの光学印象なしで注文する（石膏モデルが必要）ボタンをクリックし、治療スプリントを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ治療スプリントを注文するは情報この注文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

光学印象がすでに追加されている場合

- ☑ 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ☑ ワークフロー・ステップの注文は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 55]の節をご覧ください。



- 治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ 治療スプリントを注文するのウィンドウが開きます。

「治療スプリントを注文する」ウィンドウの注文を確認してください

- 治療スプリントを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリア**と**注文への詳細エリア**を確認してください。
2. 撮影図が治療位置に作成されているかどうか**2Dビュー**を確認してください。
3. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。



4. **ショッピングカートに追加する** のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Air 治療スプリントに適用する治療計画のデータで、お好みのものがSICAT Suiteのカートに入ります。
- ▶ **治療スプリントを注文する** ウィンドウが閉じます。
- ▶ SICAT Air SICAT Suiteのカートが開きます。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象に上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象を上書きまたは削除した場合は、同じ治療スプリントを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 166]の節に沿って、操作を続けてください。

10.20.2 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Air 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Airで使用するには、次の操作が必要となります。

- 下顎骨の撮影ビューと上顎骨の撮影ビューから構成される光学印象のファイルをインポートする。このファイルには、例えば、Open GALILEOSのライセンスが付属するCERECなどの光学印象システムで採得した光学印象のデータを含めます。
- X線データへの光学印象の記録

SICAT Air は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- STLファイル（下顎骨の光学印象が含まれます）（ライセンスが必要です）。

次のツールは光学印象に使用することができます。

- [光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 158\]](#)
- [他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する \[▶ ページ 163\]](#)
- 光学印象のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 60\]](#)の節をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 62\]](#)の節をご覧ください。

10.20.3 光学印象をインポートし記録する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

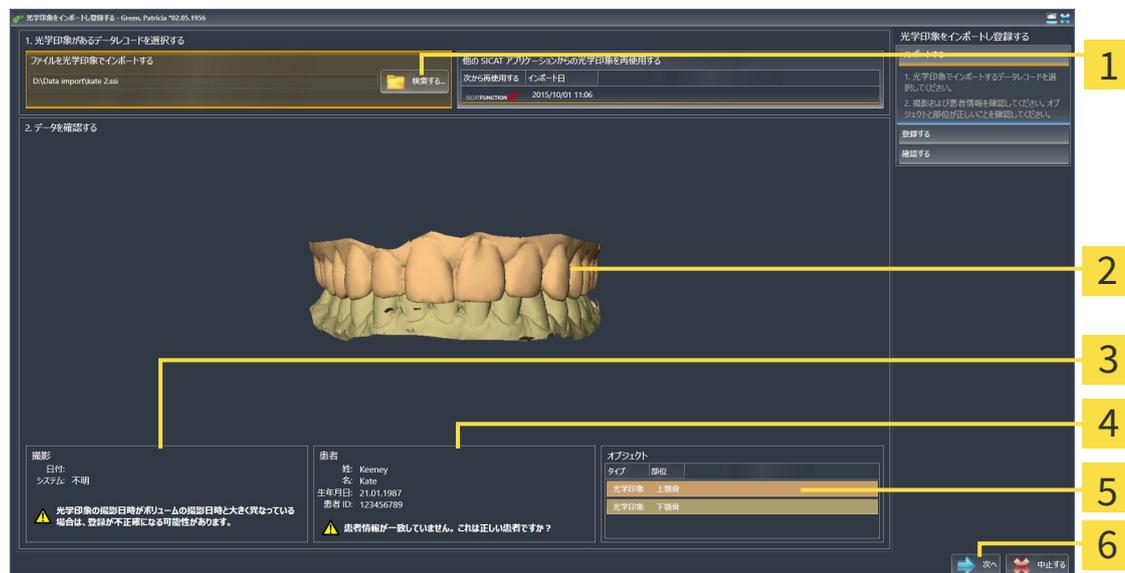
光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 157]の節をご覧ください。

光学印象のインポートおよび記録は、次のように行います。

☑ ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。

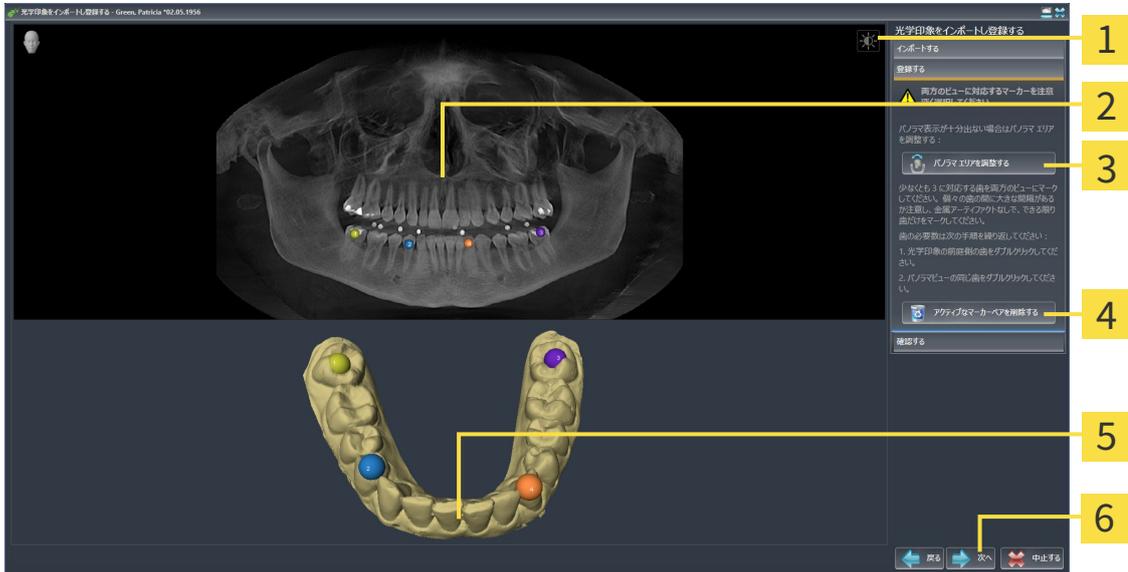


1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **インポートする**のステップで、**アシスタント機能光学印象をインポートし記録する**が開いています。
2. **検索する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。
3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Airは、選択した光学印象を含むファイルを開きます：



- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1 エリア ファイルを光学印象でインポートする | 4 患者情報 |
| 2 3D光学印象のビュー | 5 オブジェクトリスト |
| 3 撮影図情報 | 6 ボタン 次へ |

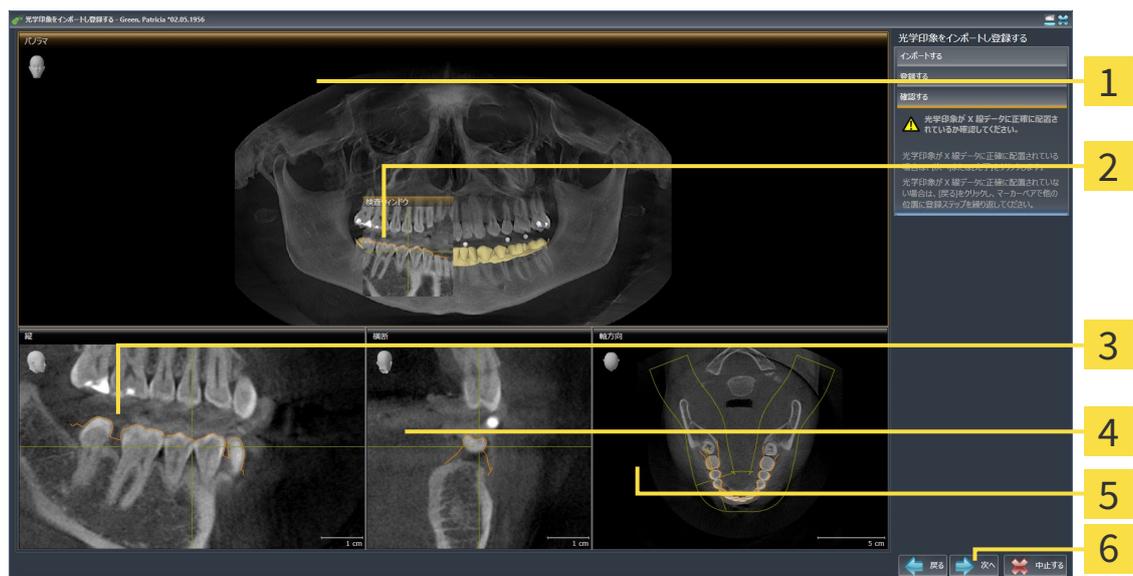
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
5. 次へをクリックします。
 - ▶ 最初の光学印象用に登録するのステップが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 アイコン 輝度およびコントラストの調整</p> <p>2 パノラマビュー</p> <p>3 ボタン パノラマエリアを調整する</p> | <p>4 ボタン アクティブなマーカークーパを削除する</p> <p>5 3Dビュー（最初の光学印象が表示されます）</p> <p>6 ボタン 次へ</p> |
|--|---|

6. 最初の光学印象に関して、パノラマビューと3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。
 - ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、最初の光学印象の割り当てられた歯を示しています。
7. 次へをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、X線データによる最初の光学印象の記録を計算します。

▶ 最初の光学印象用に**確認する**のステップが開きます。



1 パノラマビュー

4 横断ビュー

2 検査ウィンドウ

5 軸方向ビュー

3 縦ビュー

6 ボタン次へ

8. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

9. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカのペアで **登録する** の手順を繰り返します。

10. 最初の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**次へ**ボタンをクリックします。

▶ 2番目の光学印象用に **登録する** のステップが開きます。

11. 2番目の光学印象に関して、**パノラマビュー**と**3Dビュー**の光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、できるだけ金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。

▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、2番目の光学印象の割り当てられた歯を示しています。

12. **次へ**をクリックします。

▶ SICAT Air は、X線データによる2番目の光学印象の記録を計算します。

▶ 2番目の光学印象用に **確認する** のステップが開きます。

13. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

14. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで **登録する** の手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。
 15. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了** ボタンをクリックします。
- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
 - ▶ SICAT Air 選択した光学印象を **オブジェクトブラウザ** に追加する
 - ▶ SICAT Air に記録されている光学印象が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。



- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 81]の節をご覧ください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する* [▶ ページ 107]の節をご覧ください。
- **登録する** で特定のマーカーペアを削除する場合、ペアのマーカーを選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する** ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する** をクリックします。

10.20.4 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

光学印象に関する一般的な情報は、[光学印象](#) [▶ ページ 157]の節をご覧ください。

他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

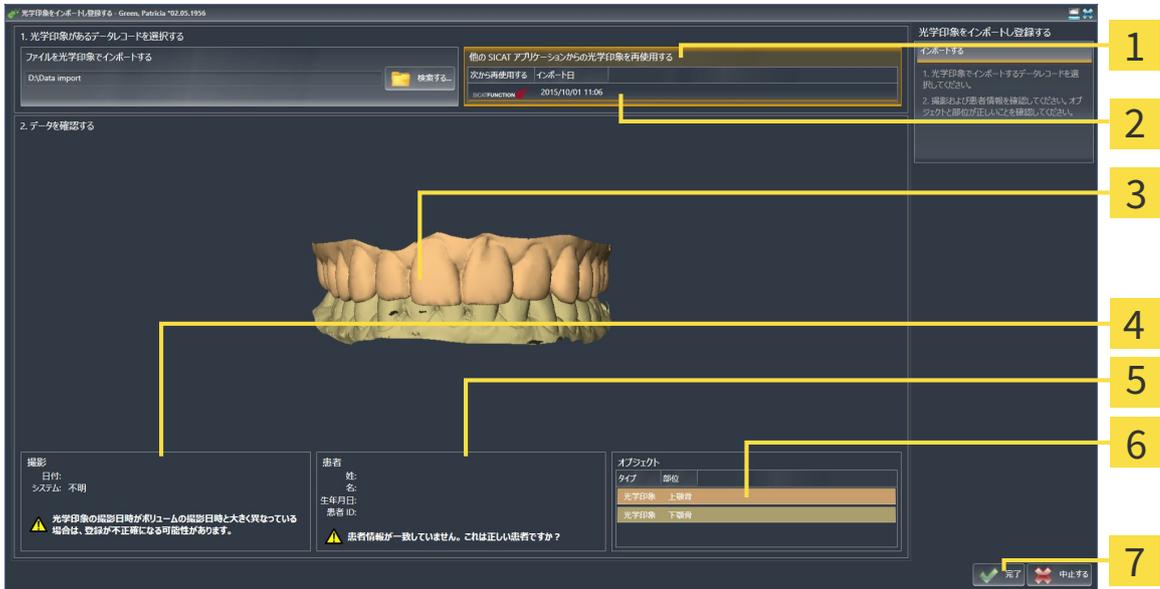
- ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。
- 開いている撮影結果のために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Airでまだ使用していません。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。

2. 他のSICATアプリケーションからの**光学印象を再使用する**エリアで希望の光学印象のある行をクリックします。
3. SICAT Air に選択した**光学印象**が表示されます。



- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 エリア 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する 2 他のSICATアプリケーションからの光学印象のリスト 3 3D光学印象のビュー 4 撮影図情報 | <ol style="list-style-type: none"> 5 患者情報 6 オブジェクトリスト 7 ボタン 完了 |
|---|--|

4. **撮影**図情報と**患者**情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は**3D**ビューでのオブジェクトの色に相当します。

5. **完了**のボタンをクリックします。

- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
- ▶ SICAT Air 選択した**光学印象**を**オブジェクトブラウザ**に追加します
- ▶ SICAT Air に選択した**光学印象**が表示されます。

他のSICATアプリケーションからの**光学印象**の引き継ぎを中断する場合は、**中止する**をクリックします。

10.20.5 カートを開く

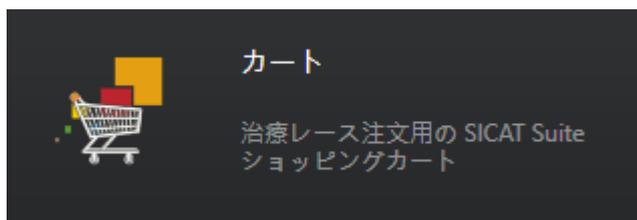
- ☑ カートには、治療プリントを1個以上、入れておきます。
- ☑ **出力**のフェーズで、カートの表示を開いておきます。この操作に関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書をご覧ください。



- ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートボタンをクリックします。

▶ カートのウィンドウが開きます。

上記に代えて、**出力**のフェーズで、**カート**ボタンをクリックしても結構です。

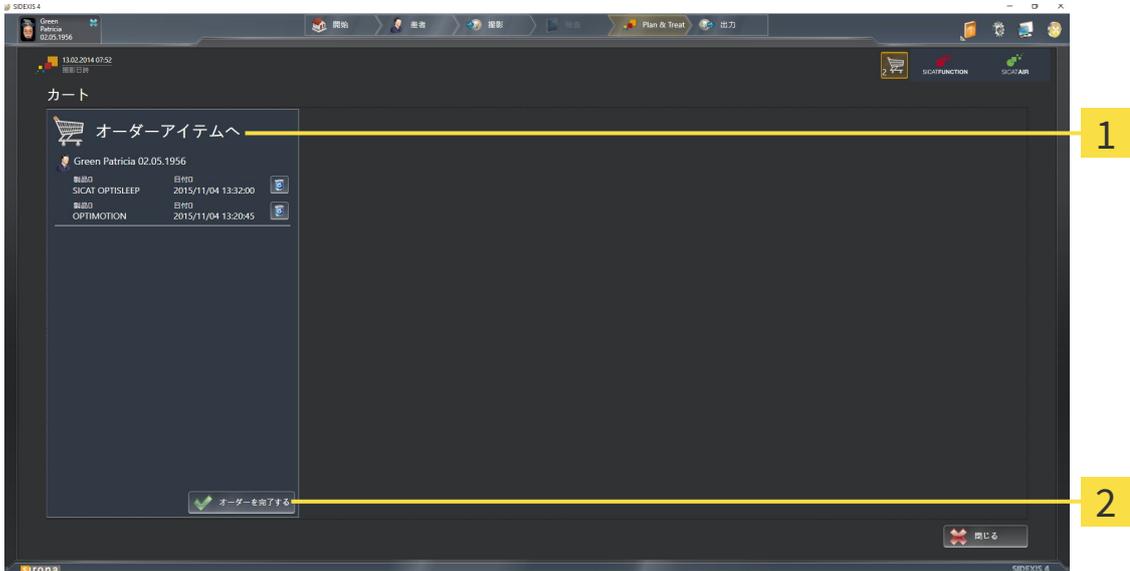


以下の操作で、処理を続けてください。

- カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 166]

10.20.6 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

- ☑ カートのウィンドウを開いておきます。この操作に関する内容は、[カートを開く \[▶ ページ 165\]](#)の節をご覧ください。



1 のリスト **オーダーアイテムへ**

2 ボタン **オーダーを完了する**

1. カートウィンドウで、希望の治療スプリントが含まれてるか確認します。
2. **オーダーを完了する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [[▶ ページ 167](#)]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [[▶ ページ 171](#)]

10.20.7 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
- 1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている治療スプリントおよび価格が患者毎にグループ分けして表示されます。
- 2. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 168]の指示に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。
 - ▶ SIDEXIS 4のタイムラインで撮影結果のアイコンを変更するため、エントリトリートが強調されています。



SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで現在のSIDEXISサーバーを利用している場合は、他のコンピューターでアップロードされる注文にもこれは適応されます。注文内容のアップロードを開始したコンピューターであれば、そのコンピューターで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

10.20.8 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の治療プリントが含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全治療プリントを注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属プリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び治療プリントの構成にフルアクセスすることができます。

10.20.9 SICAT WEBCONNECTOR



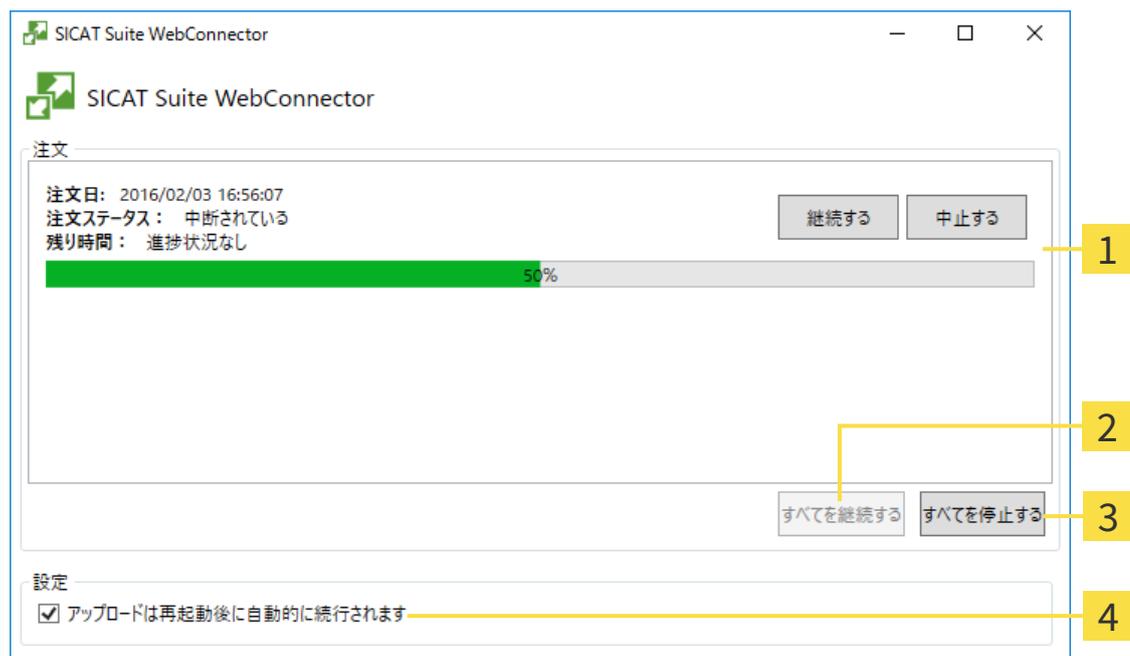
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Air 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われなことがあるかもしれませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、SICAT Suite WebConnectorアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Suite WebConnector のウィンドウが開きます。



1 のリスト 注文

2 ボタン すべてを再開する

3 ボタン すべてを停止する

4 のチェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

1. **すべて停止する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

■ **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

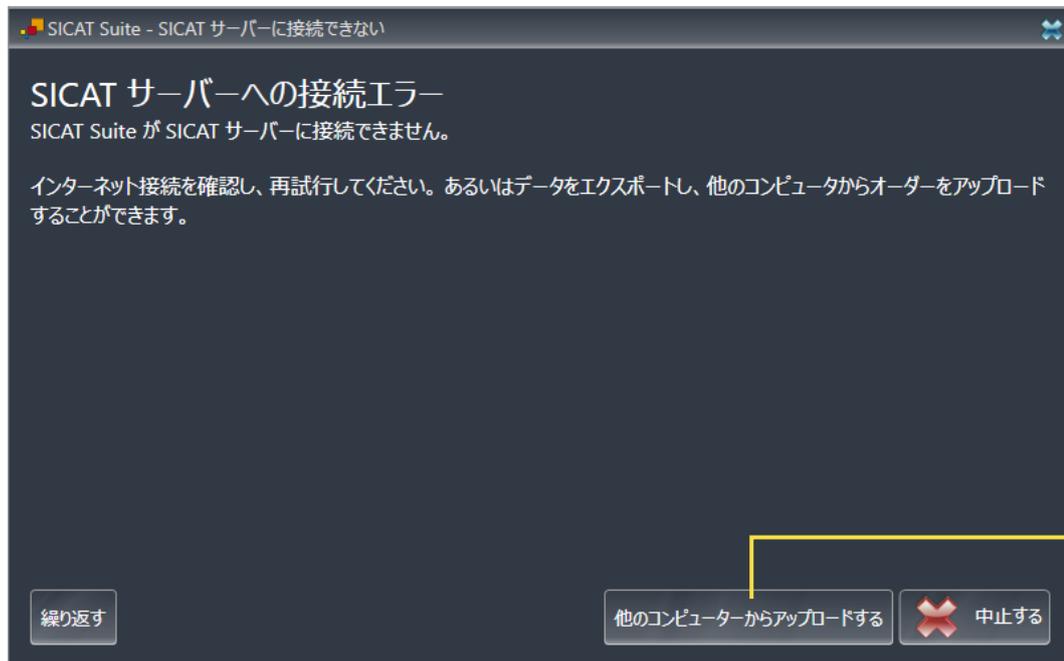
▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

10.20.1 インターネット接続を使用しない注文の終了

- 0 SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、転送はXMLファイルとZipアーカイブで行い、インターネットに接続された別のコンピューターでウェブブラウザを使ってアップロードすることができます。この場合、SICAT Suiteは一度に全ての治療スプリントをショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。その後、SICATポータルでは、患者毎に一つの治療スプリントをアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

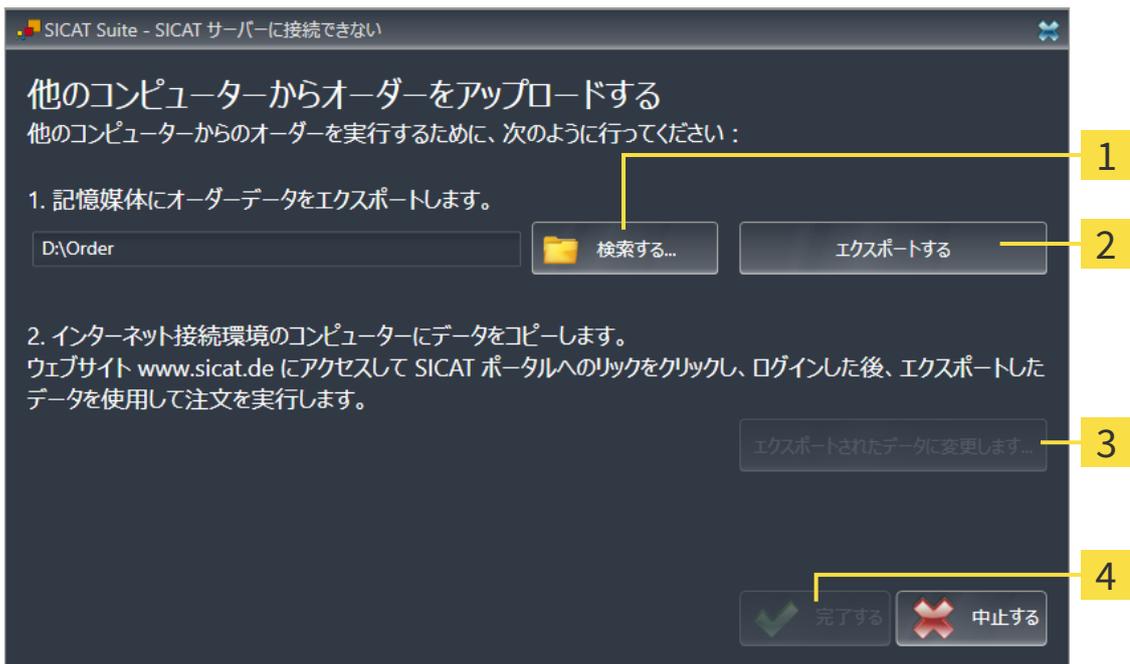
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。
- ウィンドウに表示されるメッセージ：**SICAT サーバーへの接続エラー**



1 ボタン 他のコンピューターからアップロードする

1. 他のコンピューターからアップロードする のボタンをクリックします。

▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする** のウィンドウが開きます。



1 ボタン **検索する**

3 ボタン **エクスポートされたデータに変更します**

2 ボタン **エクスポートする**

4 ボタン **完了する**

2. **検索する** のボタンをクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。

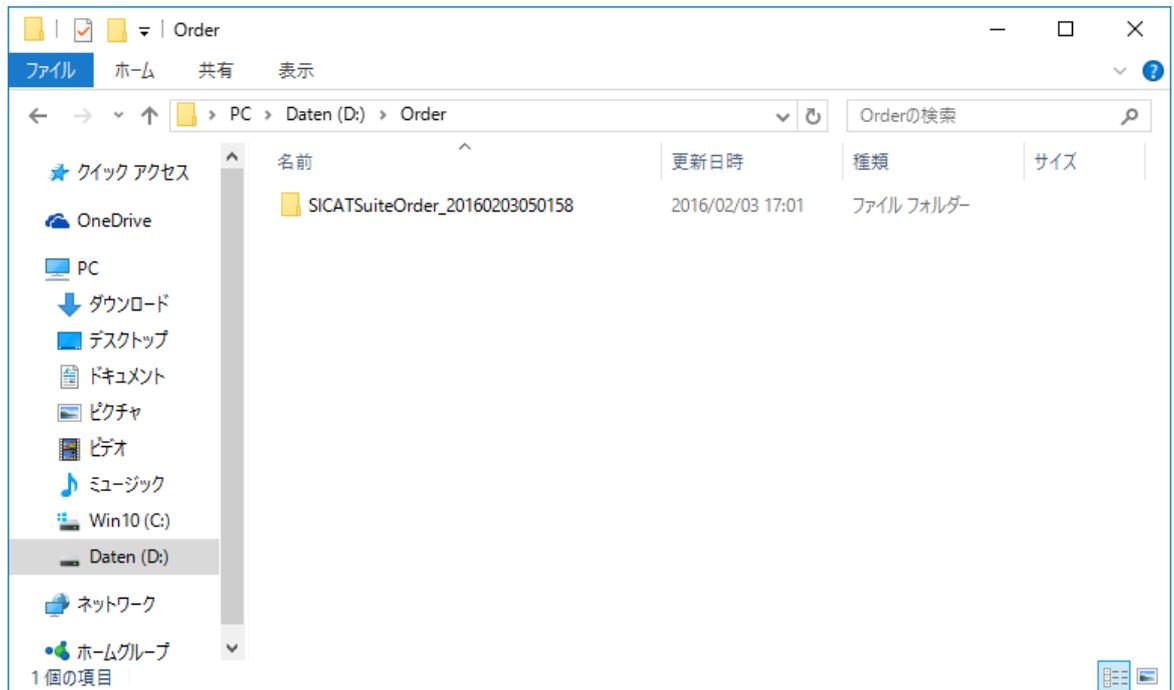
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します** のボタンをクリックします。

- ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピュータからオーダーをアップロードするウィンドウの完了するをクリックします。**
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピュータからオーダーをアップロードするウィンドウを閉じます。**
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての治療スプリントをショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピュータ上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピュータで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の治療スプリントおよび価格が表示されます。

13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 168]の指示に従ってください。
 14. 治療スプリントの治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
 15. インターネットに接続したコンピューターで適切なスプリントデータを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が **SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
- ▶ 注文を実行した場合、ブラウザはスプリントデータが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

10.21 設定



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Airで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定のグループをクリックすると、メニューで左側に以下のボタンが表示されます。

- **一般** – この表示に関する内容は、一般的な設定内容を確認する、変更する [▶ ページ 176]の節をご覧ください。
- **ライセンス** – この表示に関する内容は、ライセンス [▶ ページ 44]の節をご覧ください。
- **プラクティス** - 施設のロゴおよび情報テキストを閲覧します（例えば、プリントアウトして使用するため）。この表示に関する内容は、**歯科クリニックの説明文を確認する** [▶ ページ 180]の節をご覧ください。
- **可視化** – ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。この切替に関する内容は、**可視化設定の変更** [▶ ページ 181]の節をご覧ください。
- **SICAT Air** – SICAT Airで、アプリケーション固有の設定内容を変更します。この変更に関する内容は、**SICAT Air設定の変更** [▶ ページ 183]の節をご覧ください。



SICAT SuiteとSICATの各種アプリケーションについては、SIDEXIS 4の各種設定にあるワークステーションエリアで、それぞれの設定内容が確認できますが、これらの設定内容は、その時点で使用中のワークステーション SICAT Suiteでは、設定内容に変更があれば、それらが直ちに適用されますが、変更後の内容を維持するには、SIDEXIS 4を再起動したうえで、**保存**のボタンをクリックする必要があります。SICAT Suiteでは、各種設定で別の種類へ切り替えても、変更後の設定内容を継続的に保存して、同様に維持します。

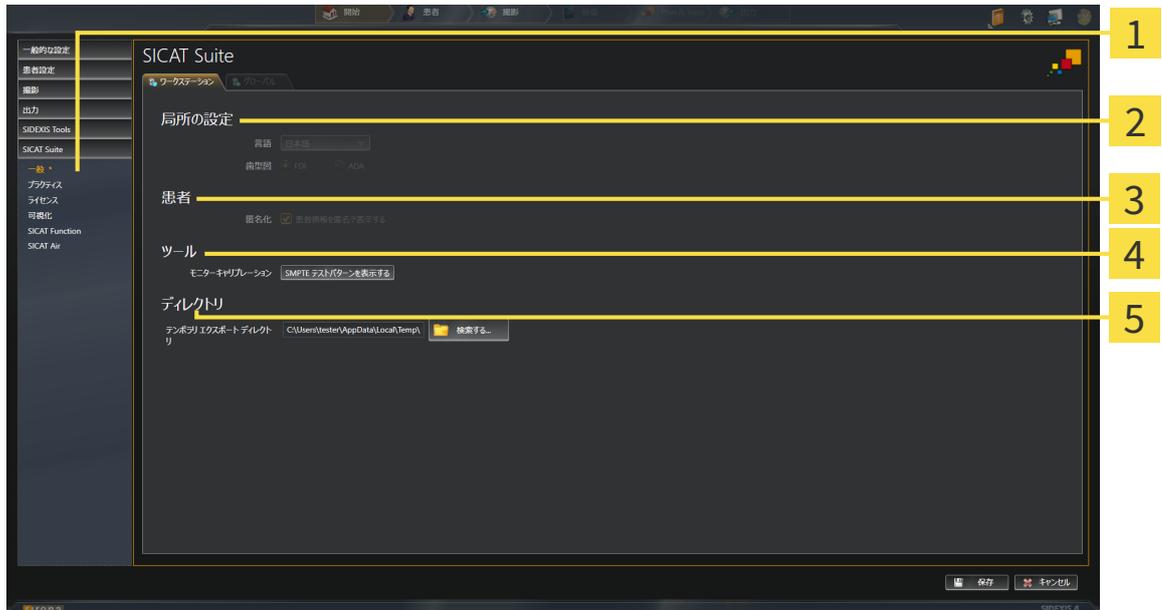
10.21.1 一般的な設定内容を確認する、変更する



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Airで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
 - ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **一般**のボタンをクリックします。
 - ▶ **一般**のウィンドウが開きます。



- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 ボタン 一般 | 4 エリア ツール |
| 2 エリア 局所の設定 | 5 エリア ディレクトリ |
| 3 エリア 患者 | |

SICAT Air では、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- **局所の設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- **局所の設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を閲覧できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Airでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリー エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。

一般設定の閲覧の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール、モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**ボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 178]をご覧ください。



SICAT Airがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Airでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。



対応している歯型図はFDIとADAです。

10.21.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



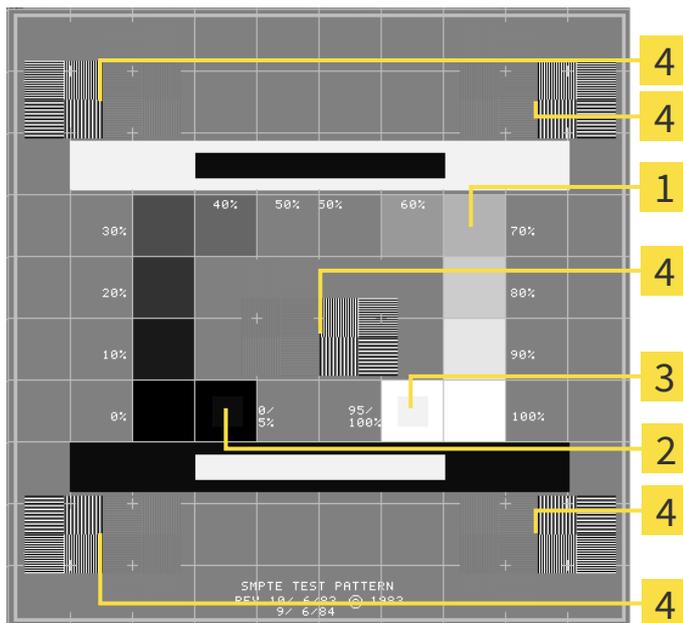
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- ☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

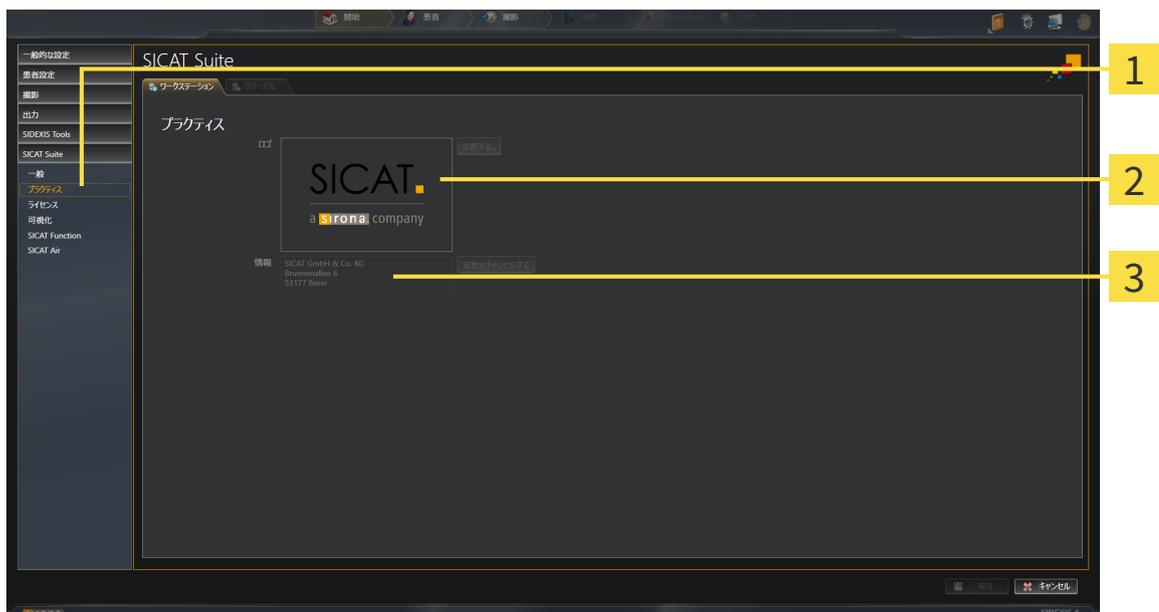
10.21.3 歯科クリニックの説明文を確認する

SIDEXIS 4モジュールとして、SICAT Suiteは施設ロゴおよび情報テキストをSIDEXIS 4から引き継ぎます。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。変更のご希望があるときは、SIDEXIS 4の設定内容に変更を加えてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
 - ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **プラクティス**のボタンをクリックします。
 - ▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 ボタン **プラクティス**

2 エリア **ロゴ**

3 エリア **情報**

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

10.21.4 可視化設定の変更



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

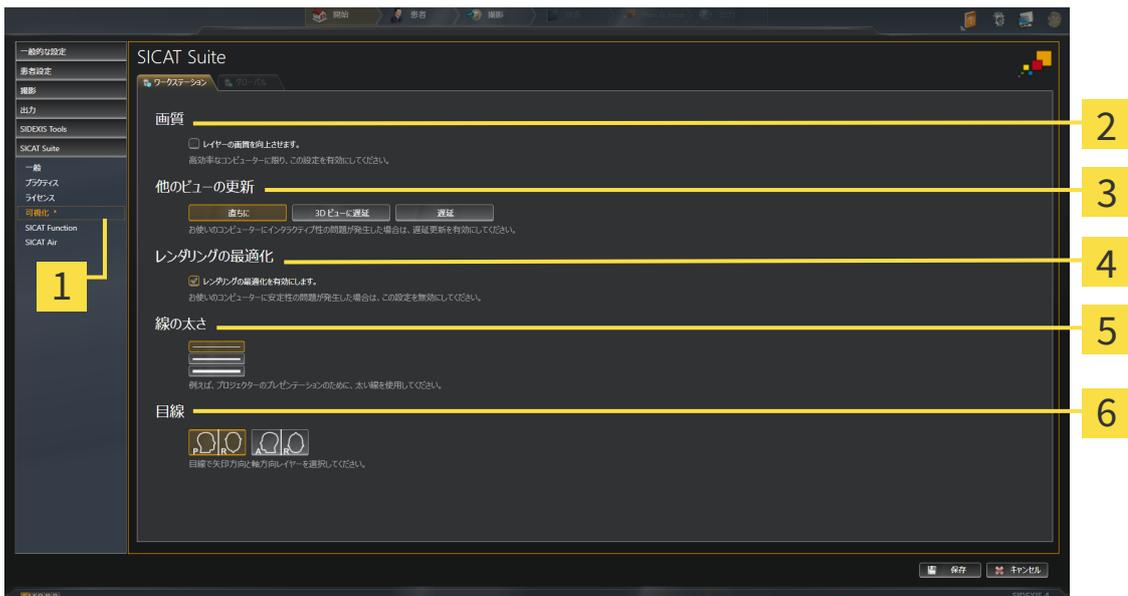
1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
 - ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **可視化**のボタンをクリックします。

▶ 可視化のウィンドウが開きます。



- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 ボタン 可視化 | 4 エリア レンダリングの最適化 |
| 2 エリア 画質 | 5 エリア 線の太さ |
| 3 エリア 他のビューの更新 | 6 エリア 目線 |

4. 任意の可視化設定を選択します。

▶ SICAT Air 変更後の設定内容が適用されます。

▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。

設定：

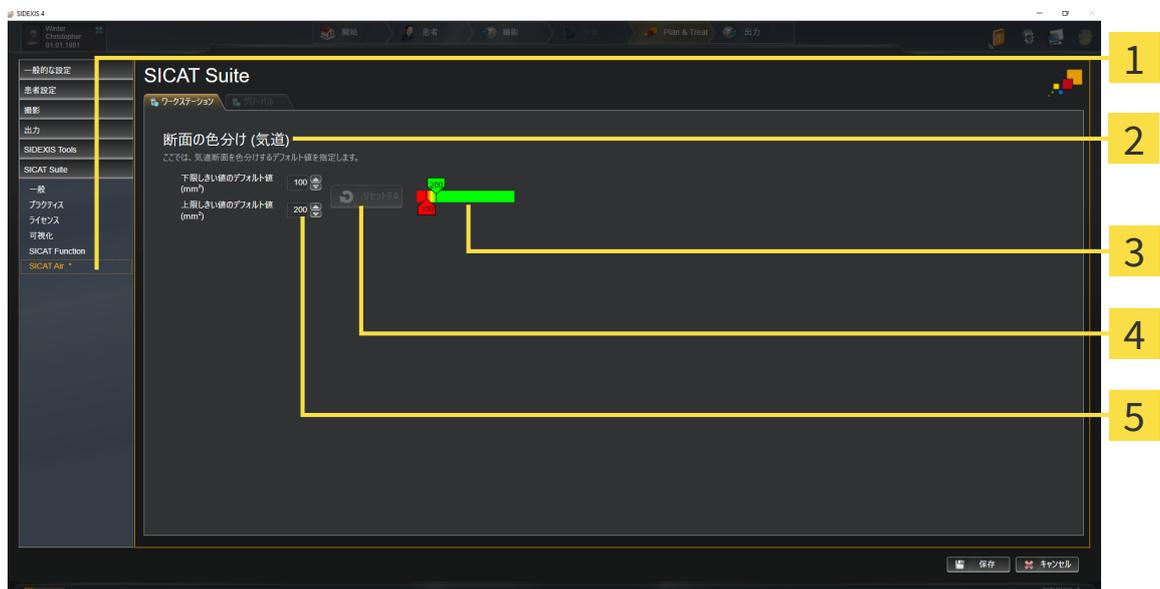
- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **レンダリングの最適化をアクティブにします。** - この設定は、コンピューターに安定性の不具合が確認された場合のみ無効にします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

10.21.5 SICAT AIR設定の変更

SICAT Air設定はSICAT Airの**気道**オブジェクトのグラデーションを決定します。

SICAT Air設定を変更するには、次の手順で行います。

1. SIDEKIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
 - ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **SICAT Air**のボタンをクリックします。
 - ▶ **SICAT Air**のウィンドウが開きます。



- | | |
|---|---|
| <p>1 ボタン SICAT Air</p> <p>2 エリア 切断面の色分け (気道)</p> <p>3 色分け スライダー付</p> | <p>4 ボタン リセットする</p> <p>5 欄下限の標準値 (mm²)と欄 上限の標準値 (mm²)</p> |
|---|---|

4. 希望するグラデーションの標準値を選択します。
 - ▶ SICAT Air は標準値をユーザープロファイルに保存します。
 - ▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (3D X線撮影図を初めて開いて気道をセグメントした場合)。
 - ▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (気道オブジェクトの値をリセットした場合)。

設定：

- **下限の標準値 (mm²)** は、色分けから完全な赤色でスタートする断面積の低値をmm²で設定します。
- **上限の標準値 (mm²)** は、色分けから完全な緑色でスタートする断面積の高値をmm²で設定します。

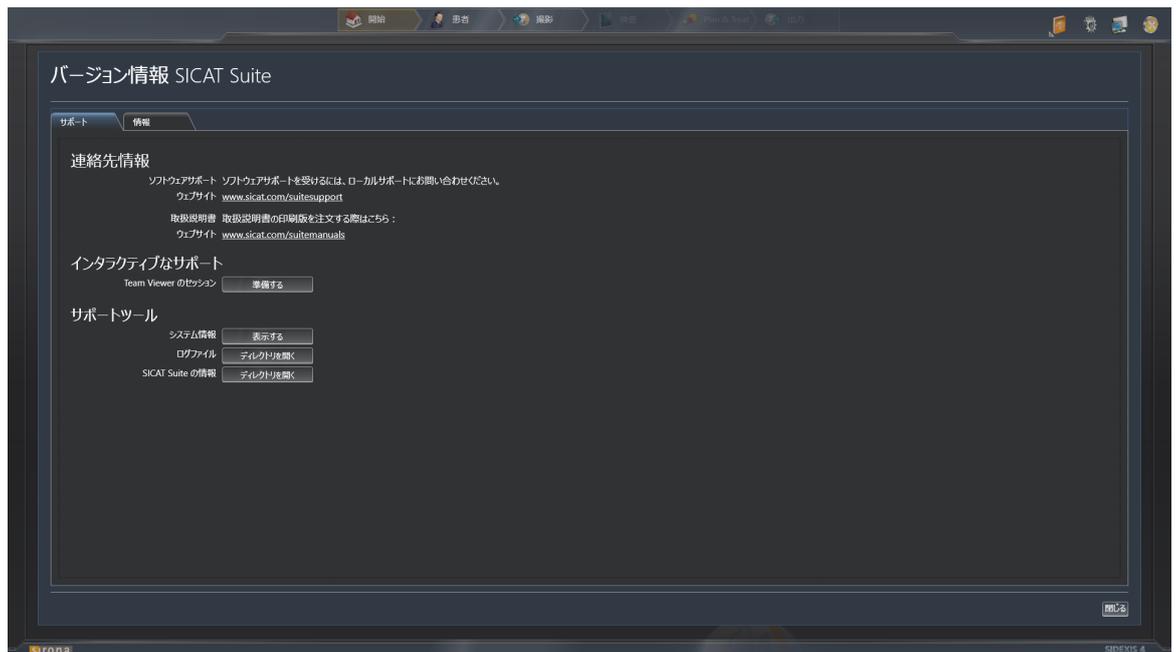
値を**下限の標準値 (mm²)**と**上限の標準値 (mm²)**欄で変更した場合、スライダーはその影響を**色分け**に表示します。スライダーを**色分け**に移動する場合は、欄の値をそれに応じて調整してください。

下限の標準値 (mm²)と**上限の標準値 (mm²)**の設定をSICAT Airの標準設定リセットするには、**リセットする**ボタンをクリックします。

10.22 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- オンラインヘルプ
 - 連絡先情報
 - SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内
- 以下の操作で、処理を続けてください。
- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 186]



10.22.1 サポート態勢のページを開く

SICAT Suite の**情報** ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. ヘルプのアイコンをクリックします。
2. SICAT Suite の**情報**項目をクリックします。

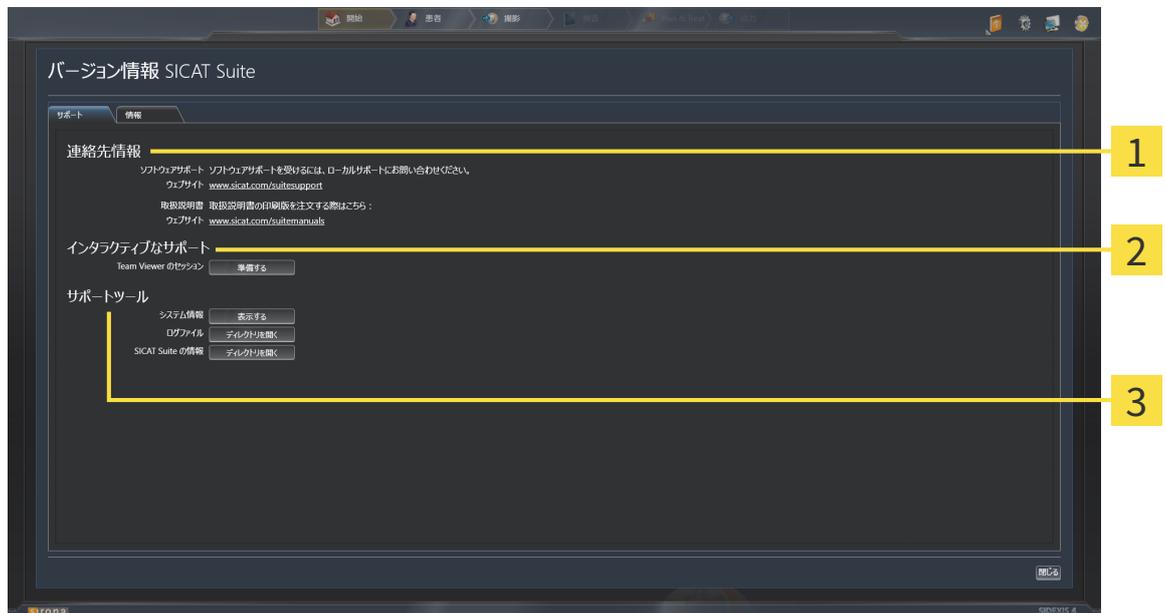
▶ SICAT Suite の**情報** のウィンドウが開きます。

SICAT Suite の**情報**ウィンドウは次のタブで構成されています：

- **サポート** – この表示に関する内容は、**サポート** [▶ ページ 185]の節をご覧ください。
- **インフォメーション** – この表示に関する内容は、**インフォメーション** [▶ ページ 188]の節をご覧ください。

10.22.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 エリア 連絡先情報

3 エリア サポートツール

2 エリア インタラクティブなサポート

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

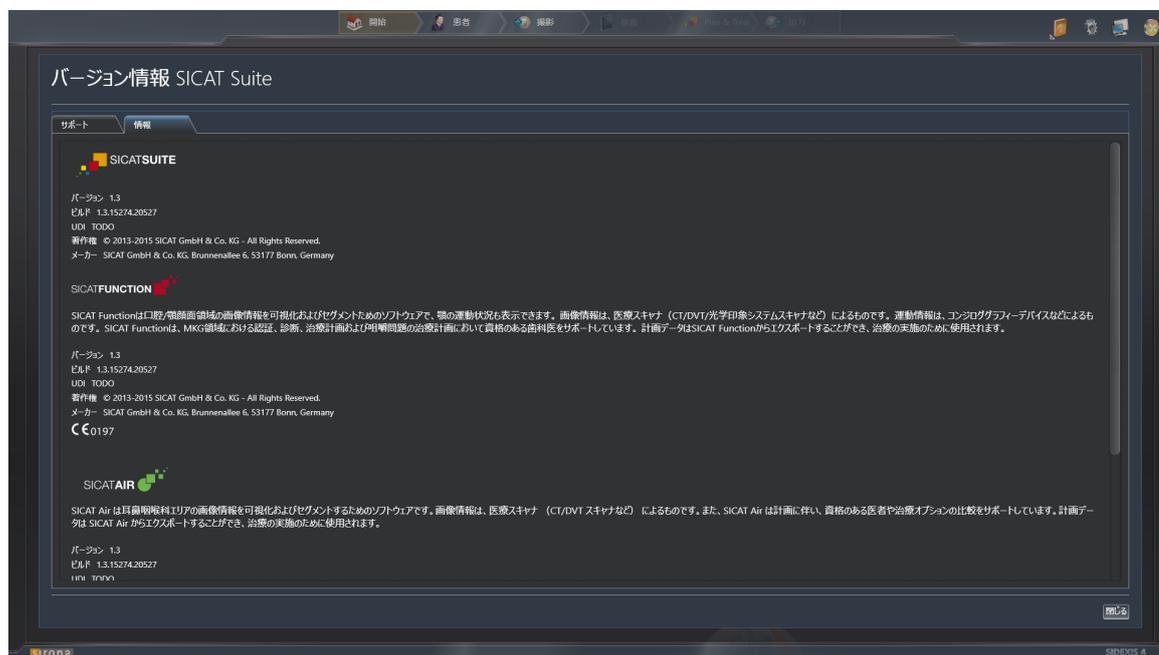
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Airでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Air では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。

10.22.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウに、SICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



10.23 データを書き込み禁止で開く

SIDEXIS 4モジュールとしてインストールしたSICAT Airでは、データとして変更や保存はできませんが、確認が可能なものがありますが、いずれのデータがそれに該当するのかは、ライセンスのステータスに応じて異なります。

アクティブなSICAT AIRライセンス	変更の可否
無	無
有	有



SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この一括インストールに含まれているときは、データセットを開いていても、結果として、他のワークステーションが原因で書込権限を失ってしまう可能性が大いにあります。こうしたケースが発生したときは、SIDEXIS 4がデータセットを直ちに閉じて終了しますので、SICAT Airの3D治療計画スタディでは、変更内容を保存できなくなります。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Airでは、ライセンスのアクティベーションが完了していない状態にしておきます。
- SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSirona SIDEXIS 4から起動します。この起動に関する内容は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 39]の節をご覧ください。
- ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS 4検査からビューアモードで開きます。

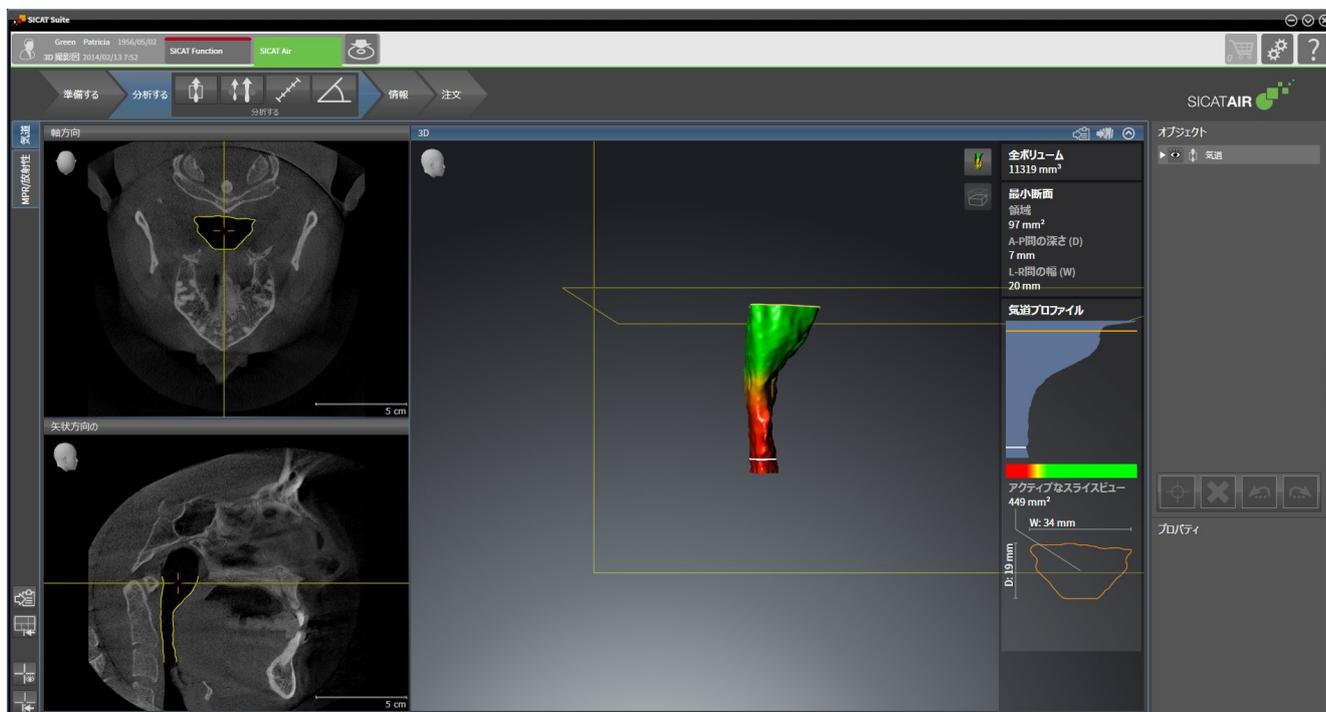
10.24 SICAT SUITEを閉じる



- 現時点で開いている3D治療計画スタディの左上隅にある閉じるボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。
- ▶ SICAT Suiteでは、SICATの各種アプリケーションのうち、フルバージョンで実行させているものすべてで、変更後の治療計画プロジェクトがSIDEXIS 4に保存されます。

11 SIDEXIS XGのプラグイン

SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteをインストールすると、SICAT Suiteは、SIDEXIS XGと結合しますが、しかしながら、SICAT Suiteは、独立したアプリケーションとして開きます。これにより、SICATの各種アプリケーション、SICATの設定内容、SICATのサポートツールは、いずれも専用のウィンドウ1つで表示します。



11.1 SIDEXIS XGバージョンの特徴

SIDEXIS XGのプラグインとしてマニュアル操作により記録します

SICAT Suiteは、インストール中に自動で埋込が行われますが、さらに、SIDEXIS XGのプラグインとしてマニュアル操作により記録や削除を行うことができます。この表示に関する内容は、*SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する* [▶ ページ 197]の節をご覧ください。

プログラムの起動

SIDEXIS XGのプラグインとした場合、SICAT Suiteは、外部のアプリケーションとして起動します。SIDEXIS XGのプラグインとしたSICAT Suiteを起動させる手順は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 199]の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXIS XGに結合したバージョンのSICAT Airでは、SIDEXIS XGの患者データとボリュームデータを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS 4向けで設定されている手順に沿って行われます。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに `%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG` と `%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG` を入力してください。

気道比較

気道比較はSIDEXIS XGには使用できません。

設定

SIDEXIS XGに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくつかの設定内容のものにのみ限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXIS XGの設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

3D治療計画スタディで、書込権限のあるものとなないものを開く



SIDEXIS XGとSICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、SIDEXIS XGとネットワーク構成がこれを可能にするなら、SIDEXIS XGはマルチワークステーションインストールの一部となることができます。これにより、別のワークステーションで開かれているデータセットを書き込み禁止のモードのみで開けるようになります。

SICAT Airの3D治療計画スタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておく必要があります。

- SICAT Airのライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。
- SICAT Airの3D治療計画スタディが所属する3D X線撮影画像を開いているワークステーションが他にないこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Airの3D治療計画スタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。ただし、3D X線撮影画像とSICAT Airの3D治療計画スタディの内容を確認することは、可能です。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	ライセンスはアクティベーション済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有
設定領域	有	有
変更内容の保存	有	無
変更内容を保存せず、データを 確認する	無	有

条件によっては、アプリケーションのライセンスがアクティベーションを完了していても、SICAT Airの3D治療計画スタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれも不可能になることがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細な内容は、[データを書き込み禁止で開く \[▶ ページ 341\]](#)の節をご覧ください。

11.2 SICAT AIRの標準ワークフロー



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



注意

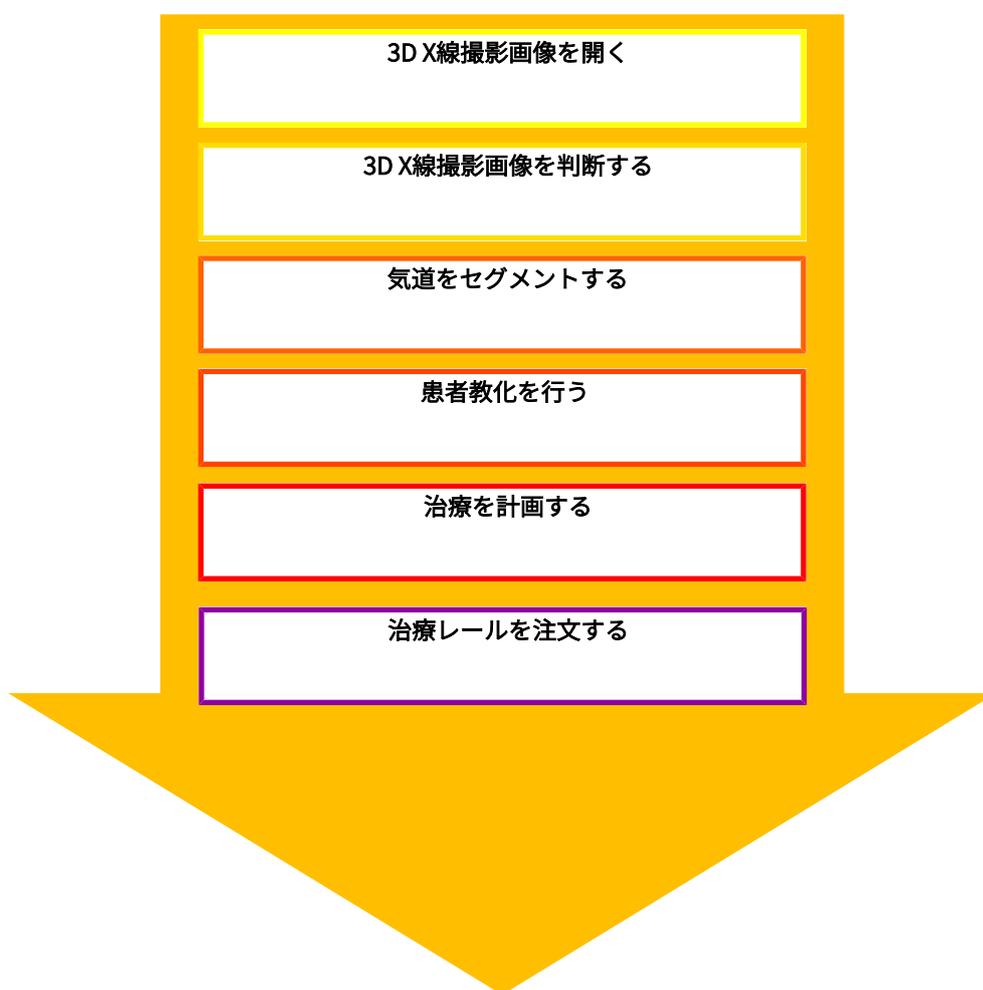
ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

SICAT AIRの作業手順



データセットを開く

- SIDEXIS XGのデータを使って作業するために、SIDEXIS XGで3D X線撮影画像が含まれる検査を開き、SICAT Suiteをスタートします。この起動に関する内容は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 199]の節をご覧ください。

SICAT AIRのデータベースを編集する

1. 要件に応じて3D X線撮影図を調整してください。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 260]の節をご覧ください。
2. 3D X線撮影図を判断して、上部気道に関しての最初の一覧を整えてください。
3. 気道をセグメントします。これに関する情報は[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 274]に記載されています。
4. **気道**ワークスペースの気道を判断してください。これに関する情報は[気道分析](#) [▶ ページ 285]に記載されています。
5. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は[患者教化](#) [▶ ページ 291]に記載されています。
6. 従来の治療計画を実行してください。
7. 突出した治療位置の顎の患者の3D X線撮影図を作成してください。SICAT Airの撮影を開いてください。
8. 治療レールの効果を確認してください。特に気道の変更と顎関節の影響に考慮してください。
9. 患者対応の治療スプリントを注文してください。この注文に関する内容は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 304]の節をご覧ください。
10. セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。このエクスポートに関する内容は、[データエクスポート](#) [▶ ページ 300]の節をご覧ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、SICAT Suiteを閉じて、これを保存してください。この終了や中断に関する内容は、[SICAT Suiteを閉じる](#) [▶ ページ 342]の節をご覧ください。
- ▶ SICAT Air 気道オブジェクト、ハンドアウト、セグメンテーションおよび光学印象を3D X線撮影画像をベースにした撮影結果に保存します。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。取扱説明書に関する内容は、[オンラインヘルプを開く](#) [▶ ページ 204]の節をご覧ください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。このサポートに関する内容は、[サポート](#) [▶ ページ 337]の節をご覧ください。

11.3 SIDEKIS XGのプラグインとしてSICAT SUITEを登録、削除する



SICAT SuiteをSIDEKIS XGへインストールし、該当するチェックボックスにチェックマークを入れておくと、SICAT Suiteのインストールプログラムは、プラグインとしての登録を自動で行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。

「NGPLUGINMANAGER」ウィンドウを開く

1. **Windows**のキーを押して、**SIDEKIS Manager**を入力し、**SIDEKIS Manager**アイコンをクリックします。
 - ▶ **SIDEKIS Manager** のウィンドウが開きます。
2. **SIDEKIS Manager** のウィンドウで、**NGPluginManager**のアイコンをクリックします。
3. 必要に応じて、Windowsのユーザーアカウント制御のメッセージが出力されますので、それを承諾します。
 - ▶ **プラグイン・マネジャー** のウィンドウが開きます。

SICAT SUITEを登録する

- SICAT Suiteを正常にインストールします。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。
 - プラグイン・マネジャー** のウィンドウを開いておきます。
1. **Add** のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
 2. SICAT Suiteのインストールディレクトリに切り替えます。名称は、例えば、C:\Program Files\SICAT\SICAT Suiteになっています。
 3. Sicat.PlanAndTreat.XG.exeのファイルを選択します。
 4. **開く** のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、SIDEKISのプラグインとして登録しておきます。

SICAT SUITEアイコンをセットする

1. ビューのメニューで、**設定**のアイテムをクリックします。
 - ▶ **設定**ウィンドウが開き、そこに**コマンド**のタブがあります。
2. **カテゴリ**で、**プラグイン・プログラム**項目をクリックします。
3. **設定**ウィンドウから、SIDEXIS XGアイコンバー内でご希望の位置まで、**SICAT Suite**のアイコンをドラッグします。

SICAT SUITEを削除する

- SICAT Suiteは、プラグインとしてSIDEXISに登録してある状態にしておきます。
 - プラグイン・マネジャー**のウィンドウを開いておきます。
1. **SICAT Suite**項目を選択します。
 2. **Remove**のボタンをクリックします。
 3. SIDEXISを再起動します。
- ▶ 以上で、SICAT SuiteをSIDEXISのプラグインとして使用することは、できなくなります。

11.4 SICAT SUITE をスタートする



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SIDEXIS XGのプラグインとしたSICAT Suiteを起動させるときは、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。
- ☑ SICAT Suiteは、SIDEXIS XGのプラグインとして登録を完了させておきます。この表示に関する内容は、*SIDEXIS XGのプラグインとしてSICAT Suiteを登録、削除する* [▶ ページ 197]の節をご覧ください。SIDEXIS XGへSICAT Suiteをインストールすると、登録は、自動で行うことが可能です。
- ☑ SICAT Suiteボタンは、すでにSIDEXIS XGに作成されています。
- ☑ SIDEXIS XGで、3D X線撮影画像を開いておきます。

- SICAT Suiteのボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteにより、SICATのアプリケーションの1つでデータセットが開きます。



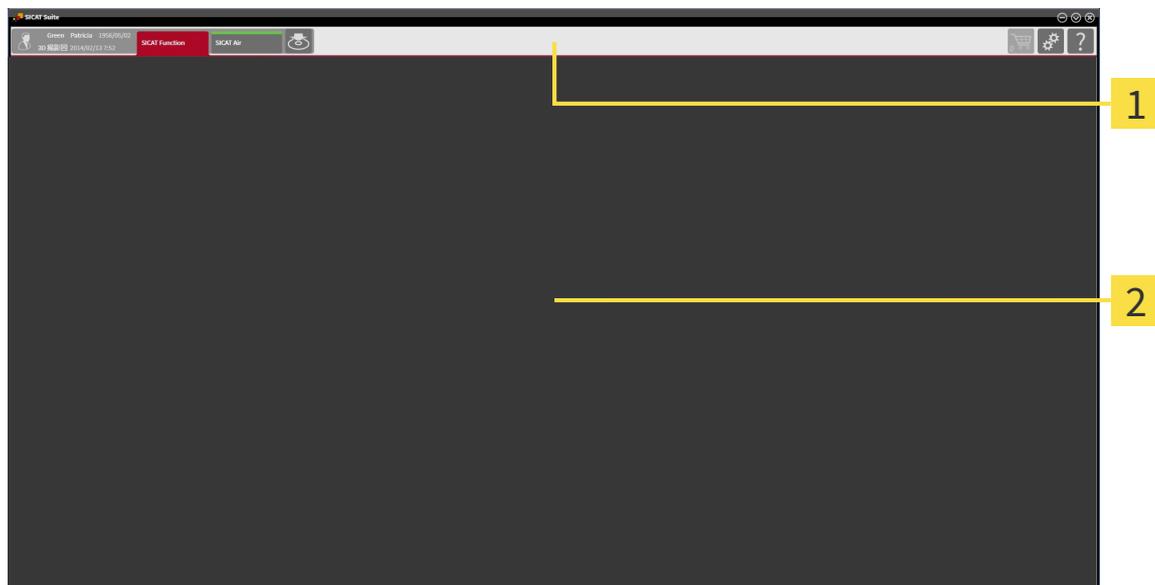
3D X線撮影画像を、それが関係する3D治療計画スタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数の3D治療計画スタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、3D治療計画スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。3D治療計画スタディを明確に指定して開いたときは、それに関係する、SICATのアプリケーションが常に起動します。



次の2つの場合、データセットはビューアモードでしか開きません：ライセンスがアクティブになっていない場合、または別のSIDEXIS XGワークステーションがそのデータセットを使用している場合。ビューアモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 341]の節をご覧ください。

11.5 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SIDEXIS XGのプラグインとしたSICAT Suiteでは、ユーザーインターフェースが以下のアイテムで構成されています。



1 ナビゲーションバー

2 アプリケーション領域

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは、2つの異なるエリアから構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。

左側のエリアには次のタブがあります。



- **患者データ、ボリュームデータ** – 作業対象として選択している患者データとボリュームデータの属性で、SIDEXIS XGの設定内容に応じて異なります。
- **アプリケーション** – このボタンを利用すると、SICATの各種アプリケーションを相互に切り替えることができます。この切替に関する内容は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える* [▶ ページ 203]の節をご覧ください。



- **データを共有する** – この表示に関する内容は、[データエクスポート](#) [▶ ページ 300]の節をご覧ください。

右側のエリアには次のタブがあります。



- **カート** – この表示に関する内容は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 304]の節をご覧ください。



- **設定** – 各種設定に関する内容は、[設定](#) [▶ ページ 327]の節をご覧ください。



- **サポート** – この表示に関する内容は、[サポート](#) [▶ ページ 337]の節をご覧ください。

11.5.1 SICATのアプリケーションを相互に切り替える



- ナビゲーションバーから、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

11.6 オンラインヘルプを開く

SICATの各種アプリケーションにつきましては、それぞれの取扱説明書をオンラインヘルプの形で、サポートウィンドウ内にまとめて用意してあります。



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。



1 タブ 取扱説明書

2 ウィンドウ 取扱説明書

11.7 ライセンス



SICATライセンスの取得については、現地にある担当の販売店にお問い合わせください。テストのために、SICATデモライセンスがあります。このライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。

SICATの各種アプリケーションや機能個別の各ライセンスをアクティベーションするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 一つまたは複数のライセンスを取得すると、SICATからあなた、またはあなたの組織に個人用アクティベーションキーが付与されます。このアクティベーションキーを使用して、SICAT Suiteがインストールされている様々なコンピューター上でライセンスを有効にすることができます。
- SICATライセンスサーバーにあるライセンスプールは、各SICATアプリケーションおよび個々の機能に関して取得しているライセンス数が表示されます。
- コンピューター上でライセンスを有効にすると、このライセンスは使用中のコンピューターに組み込まれます。そのライセンスはライセンスプールから取り除かれ、別のコンピューター上で有効にできなくなります。
- 有効なライセンスは、一つまたは複数のアプリケーション、あるいは個々の機能のフルバージョンを解除します。ライセンスのないアプリケーションはビューアモードで作動します。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。その際、アプリケーションまたは個々の機能のライセンスが対象となります。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 207]の節をご覧ください。

ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。このアクティベーションに関する内容は、**インターネット接続を使用してライセンスを有効にする** [▶ ページ 208]の節をご覧ください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。このアクティベーションに関する内容は、**ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする** [▶ ページ 210]の節をご覧ください。

各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にして、ライセンスプールに返却することができます。その際、SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていなくてはなりません。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。ライセンスの返却に関する内容は、**ライセンスをライセンスプールへ返却する** [▶ ページ 212]の節をご覧ください。



バウチャーコードを使用する手順は、バウチャーコードを使用する [▶ ページ 213]の節をご覧ください。

11.7.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く



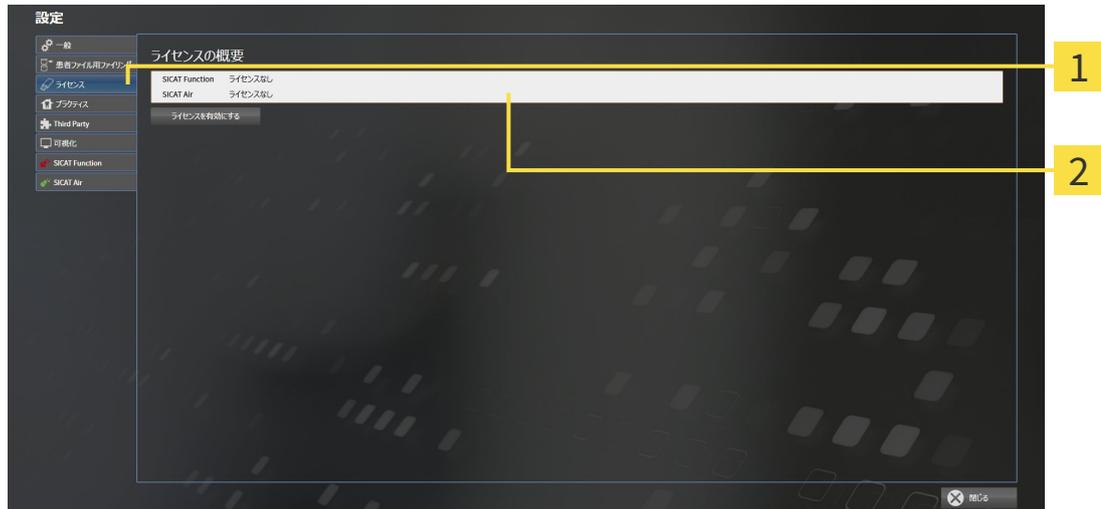
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **ライセンス**タブをクリックします。

▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ **ライセンス**

2 ウィンドウ **ライセンスの概要**

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 208]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 210]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 212]

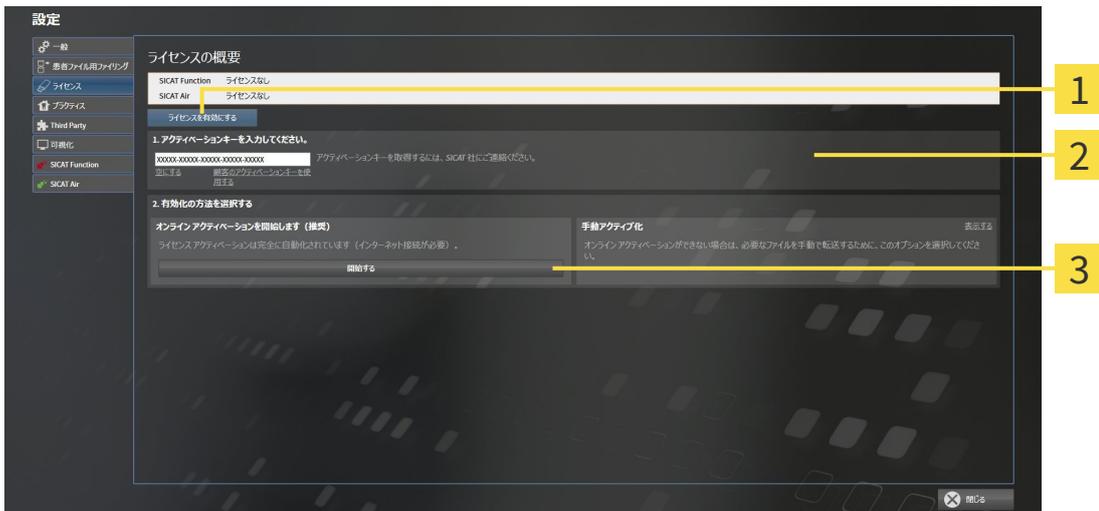
11.7.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 207]の節をご覧ください。

1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。

▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンして展開します。



1 ボタン **ライセンスを有効にする**

2 エリア

3 ボタン **開始する**

2. お手元のクライアント用アクティベーションキーか、または、デモライセンス用アクティベーションキーのいずれかを、のボックスに入力します。

3. **開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。

▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**

注記**再起動が必要**

SICAT SuiteのバージョンをSIDEXIS XGに結合したときは、再起動を行ってライセンスの変更内容をアクティブにしてください。



SICAT Suiteのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、**顧客のアクティベーションキーを使用する**のボタンをクリックすると、お手元のクライアント用アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、のコーナーで、**空にする**のボタンをクリックしてください。

11.7.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 207]の節をご覧ください。
1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化**のコーナーで、**表示する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **手動アクティブ化**のコーナーがドロップダウンして展開します。



- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1 ボタン ライセンスを有効にする | 4 ボタン デモライセンス |
| 2 エリア | 5 ボタン フルライセンス |
| 3 ボタン 表示する | 6 ボタン 読み込んで有効にする |

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。
5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。

6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。
12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**

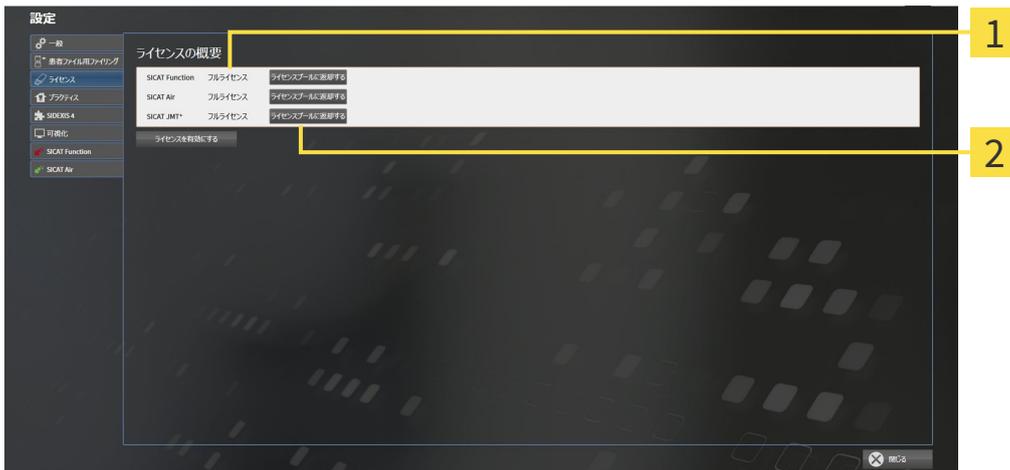
注記**再起動が必要**

SICAT SuiteのバージョンをSIDEXIS XGに結合したときは、再起動を行ってライセンスの変更内容をアクティブにしてください。

11.7.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く【▶ ページ 207】の節をご覧ください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン **ライセンスプールに返却する**

- **ライセンスの概要**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

再起動が必要

注記

SICAT SuiteのバージョンをSIDEXIS XGに結合したときは、再起動を行ってライセンスの変更内容をアクティブにしてください。

11.7.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピュータ上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
 - ▶ SICATのポータルページにライセンスが1件、表示されます。
6. このライセンスは、お手元のコンピュータをローカルとして、バックアップ保存しておきます。
7. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

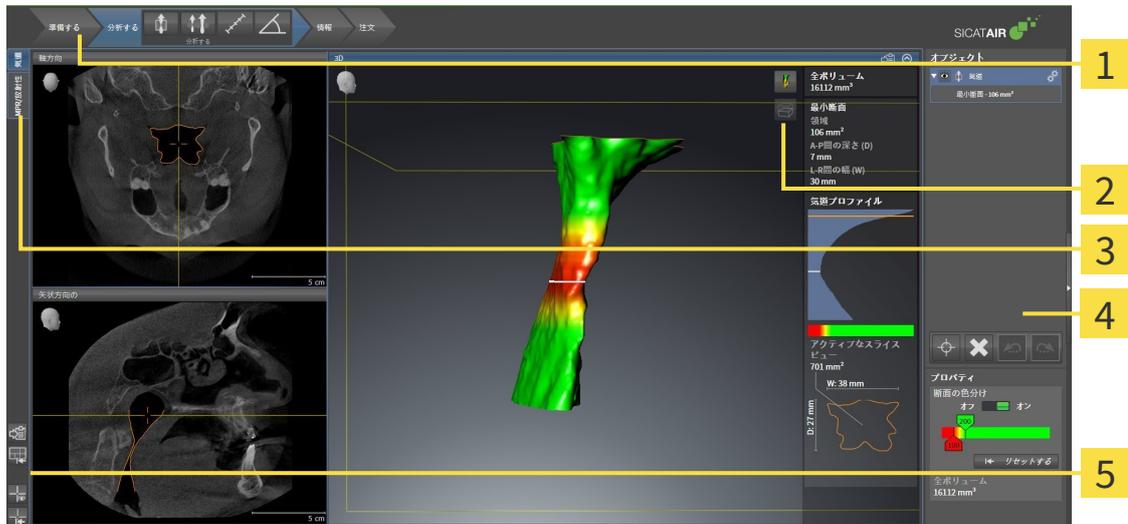
バウチャーコードの使用に関する内容は、インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 208]、および、ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 210]の各節をご覧ください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

11.8 SICAT AIRのユーザーインターフェース

SICAT Airのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています：



1 ワークフローのツールバー

4 オブジェクトバー

2 画像のツールバー

5 ワークスペースのツールバー

3 ワークスペースの切替用ボタン

- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。ワークフローステップに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 215]の節をご覧ください。
- **ワークスペースエリア**は、**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Airで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。このワークスペースに関する内容は、**ワークスペース** [▶ ページ 229]の節をご覧ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。このツールバーに関する内容は、**ビューの調整** [▶ ページ 236]および**3Dビューの調整** [▶ ページ 247]の各節をご覧ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの（オブジェクト）を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、**オブジェクトバー** [▶ ページ 218]および**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 224]に記載されています。
- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。このツールバーに関する内容は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 244]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 245]、**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 233]、および**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 234]の各節をご覧ください。

11.8.1 ワークフローのツールバー

SICAT Airでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備する
2. 分析する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフロー・ステップ「準備する」



ワークフロー・ステップ「準備する」では、以下のツールが使用できます。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します** これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 260]と**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 265]に記載されています。

2. ワークフロー・ステップ「分析する」



ワークフロー・ステップ「分析する」では、以下のツールが使用できます。



- **気道をセグメントします** - これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 275]に記載されています。



- **気道比較** - 気道比較はSIDEXIS XGには使用できません。



- **距離測定を追加する(D)** - このツールに関する内容は、**距離測定を追加する** [▶ ページ 269]の節をご覧ください。



- **角度測定を追加する(A)** - このツールに関する内容は、**角度測定を追加する** [▶ ページ 270]の節をご覧ください。

3. ワークフロー・ステップ「説明する」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- 矢印を描く - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 292]に記載されています。



- 円を描く - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 292]に記載されています。



- ハンドアウトを作成します - これに関する情報は *ハンドアウトの準備* [▶ ページ 295]に記載されています。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「注文する」では、以下のツールが使用できます。

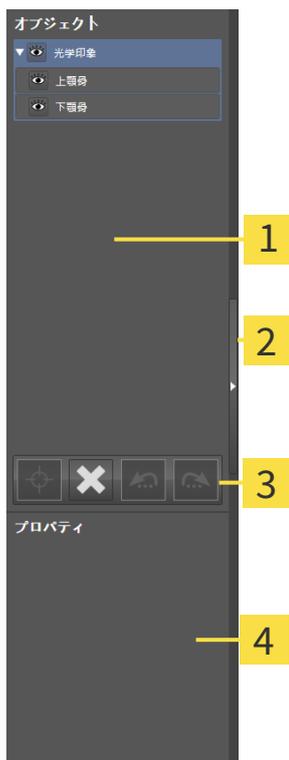


- 光学印象をインポートし記録する - このツールに関する内容は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 310]の節をご覧ください。



- 治療スプリントを注文します - このツールに関する内容は、*治療スプリントをショッピングカートに入れる* [▶ ページ 305]の節をご覧ください。

11.8.2 オブジェクトバー



- 1 オブジェクトブラウザ
- 2 ボタンオブジェクトバーを非表示にするまたはボタン オブジェクトバーを表示する
- 3 オブジェクトツールバー
- 4 エリア プロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点の3D治療計画スタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 220]の節をご覧ください。
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。オブジェクトツールバーに関する内容は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 222]の節をご覧ください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

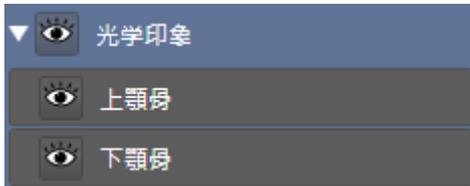
SICAT Airで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Air*オブジェクト [▶ ページ 224]の節をご覧ください。

オブジェクトバーの右側には、**オブジェクトバーを非表示にする**のボタンと**オブジェクトバーを表示する**のボタンがありますが、これらをクリックすると、**オブジェクトバー**の表示および非表示設定を行うことができます。

11.8.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Air は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Air は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **非表示** のが表示されます。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **表示** のが表示されます。

11.8.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 220]の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
 - ▶ SICAT Air には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 220]の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



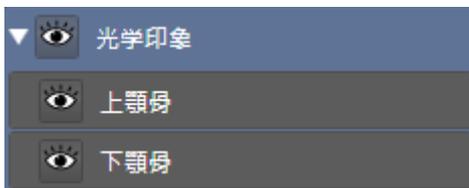
SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

11.8.5 SICAT AIRオブジェクト

SICAT Airでは、**オブジェクトブラウザ**で、アプリケーション固有のオブジェクトが以下のグループに分類されます。

- 光学印象
- 気道
 - 最小断面
- ハンドアウト
 - 画像
 - スクリーンショット

光学印象オブジェクト



光学印象のオブジェクトは、以下の下位オブジェクトから構成されます。

- 上顎骨
- 下顎骨

下位オブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Airでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

上顎骨のオブジェクトや下顎骨のオブジェクトを削除すると、SICAT Airでは、既存の光学印象がもれなく3D治療計画スタディから削除されます。

気道オブジェクト



気道をセグメントした後、SICAT Airオブジェクトは**気道オブジェクトブラウザ**に表示されます。オブジェクトバーは**プロパティ**のエリアに、このオブジェクトの次の要素を表示します：

- スイッチで色分けを有効または無効にすることができます。
- スライダー付の**切断面の色分け**は、グラデーションの最小断面積の最小と最大値を mm^2 で設定をすることができます。
- ボタンで色分けのための値を**リセットする**SICAT Air設定でリセットすることができます。SICAT Air設定で標準値を確定する手順は**SICAT Air設定の変更** [▶ ページ 335]に記載されています。
- セグメントされた気道エリアの**全ボリューム**

SICAT Air は、プロパティの変更を直ちに**3Dビュー**内の気道に適用します。

気道オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはワークスペースエリアを次のように調整します：

- まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道ワークスペース**を有効にします。
- SICAT Air は、最小断面積の中央のすべてのビューの焦点を合わせます。

気道オブジェクトが非表示の場合、SICAT Airは気道分析領域も非表示にします。

マウスポインタを**気道オブジェクト**上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**気道をセグメントする**ウインドウを開きます。

最小断面オブジェクト



次は、**最小断面**オブジェクトに適用されます：

- **最小断面**オブジェクトは**気道**オブジェクトの下部にあります。
- **最小断面**オブジェクトの名称には、mm²単位の最小断面積が含まれています。
- **プロパティ**エリアでは、オブジェクトはレイヤーの断面を追加表示します。
- **最小断面**オブジェクトに焦点を合わせた場合、2Dレイヤーは最小断面積のビューを表示します。

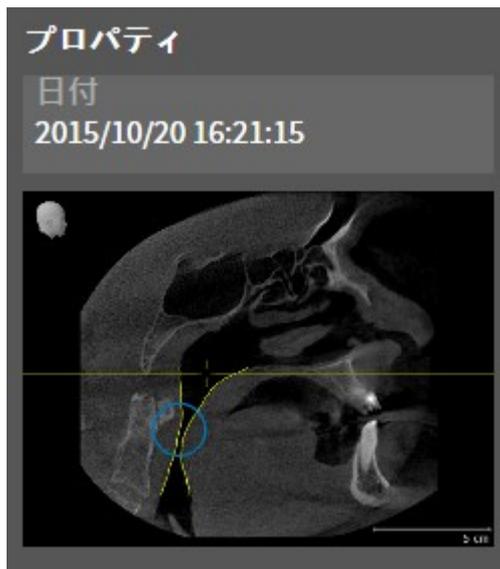
ハンドアウトオブジェクト



次は、**ハンドアウト**オブジェクトに適用されます：

- マウスポインタを**ハンドアウト**オブジェクト上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**ハンドアウト**を作成するウィンドウを開きます。
- **機能アクティブ**オブジェクト/**アクティブグループ**を削除する(Del)を使用し、**ハンドアウト**オブジェクトを削除することができます。SICAT Airは、すべての付属の**画像**オブジェクトと**スクリーンショット**オブジェクトを削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像オブジェクト**は**ハンドアウトオブジェクト**の下部にあります。
- SICAT Air は、各2Dビューのためにレイヤーのすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- SICAT Air は、**3Dビュー**のために特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- **画像オブジェクト**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティエリア**に次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)**と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)**を個々の矢印と円に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用し、**画像オブジェクト**とそこに含まれるすべての矢印と円を削除することができます。SICAT Air は、**画像オブジェクト**を**オブジェクトブラウザ**と**ハンドアウト**を作成するウィンドウから削除します。
- **画像オブジェクト**に焦点を合わせた場合、SICAT Airは前回作成した矢印と円が含む時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショットオブジェクトはハンドアウトオブジェクトの下部にあります。
- SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショット毎に作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、オブジェクトブラウザはプロパティエリアに次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能アクティブオブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトをオブジェクトブラウザとハンドアウトを作成するウィンドウから削除します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはオブジェクトを作成した時点で該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

11.9 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、3D治療計画スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Airには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

気道

MPR/放射性

- **気道ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*気道ワークスペースの概要* [▶ ページ 230]の概要の節をご覧ください。
- **MPR/放射性ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*MPR/放射性ワークスペースの概要* [▶ ページ 231]の節をご覧ください。

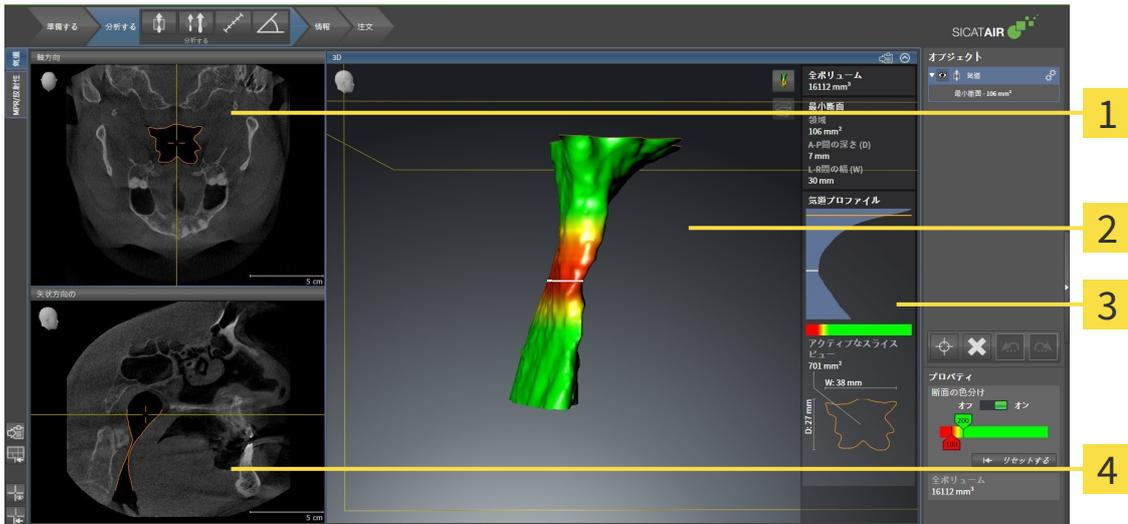


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 232]。
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 233]。
- ビューの調整 [▶ ページ 236]。
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 247]の節をご覧ください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。この記録に関する内容は、*ワークスペースのスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 234]の節をご覧ください。

11.9.1 気道ワークスペースの概要



- 1 軸方向-ビュー
- 2 3D-ビュー
- 3 気道分析領域
- 4 矢状方向-ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 333]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 333]の節をご覧ください。

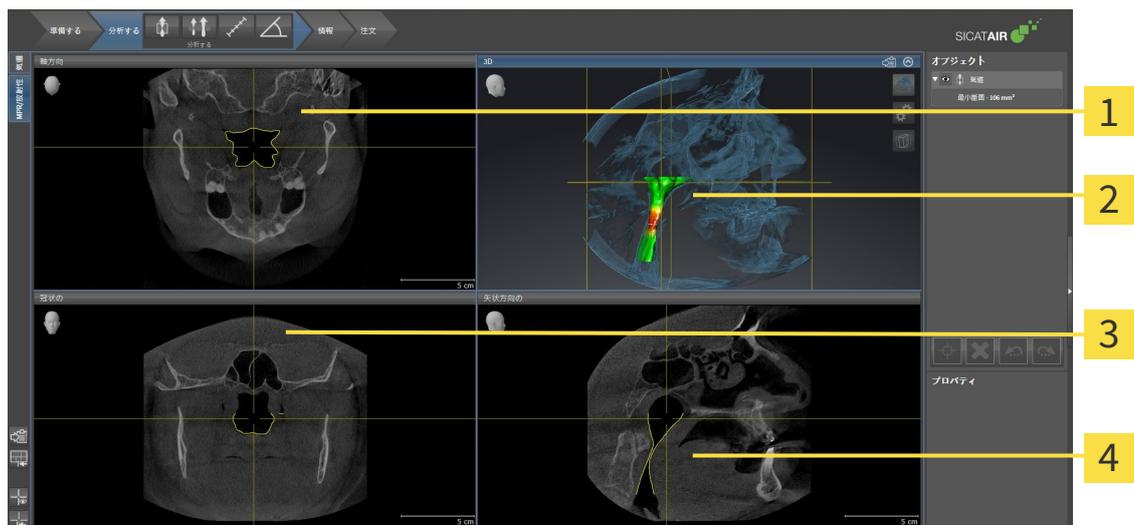


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 236]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 247]の各節をご覧ください。

気道のセグメンテーションで気道オブジェクトを作成した場合は、3Dビューの気道分析領域を使用することができます。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 224]、[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 274]および[気道プロファイルとの連携](#) [▶ ページ 289]に記載されています。

11.9.2 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 軸方向-ビュー

2 3D-ビュー

3 冠状-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方から見たレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 333]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 333]の節をご覧ください。



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 236]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 247]の各節をご覧ください。

11.9.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

気道

MPR/放射線

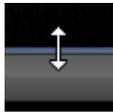
- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

11.9.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

11.9.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。この切替に関する内容は、**アクティブなワークスペースを切り替える**。[\[▶ ページ 232\]](#)の節をご覧ください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Air では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl +V」を使用します。

11.10 ビュー

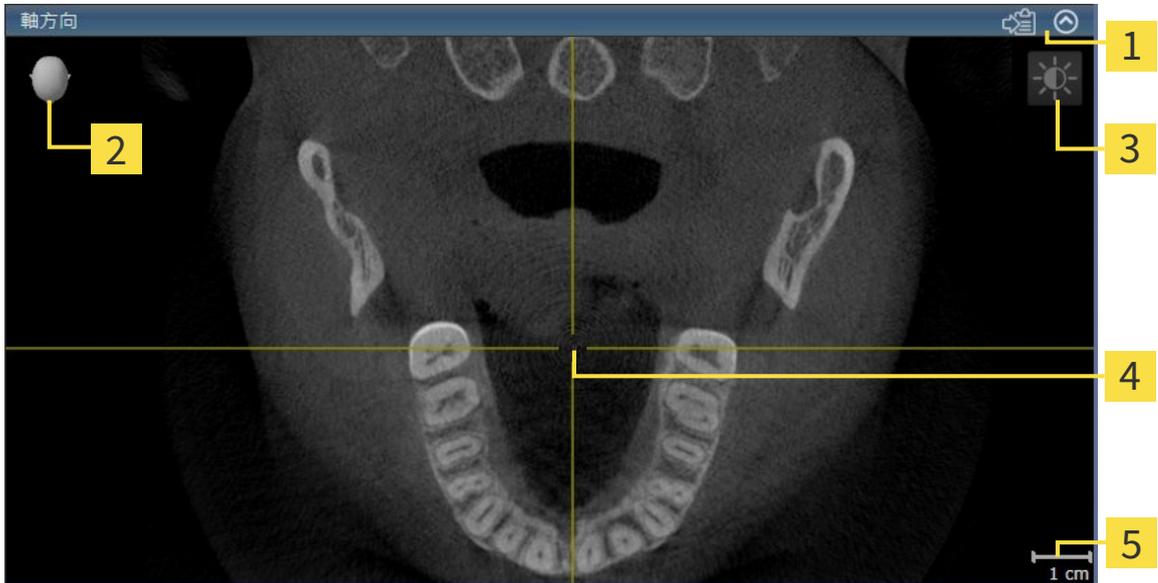
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は、ワークスペース [▶ ページ 229]の節をご覧ください。

ビューを調整することができます。このツールバーに関する内容は、ビューの調整 [▶ ページ 236]および3Dビューの調整 [▶ ページ 247]の各節をご覧ください。

11.10.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 238]の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Air 全てのレイヤービューは相互に同期されます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

2Dレイヤービューには尺度が付いています。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 238]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 239]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 240]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 242]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 243]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 244]
- ビューをリセットする [▶ ページ 245]

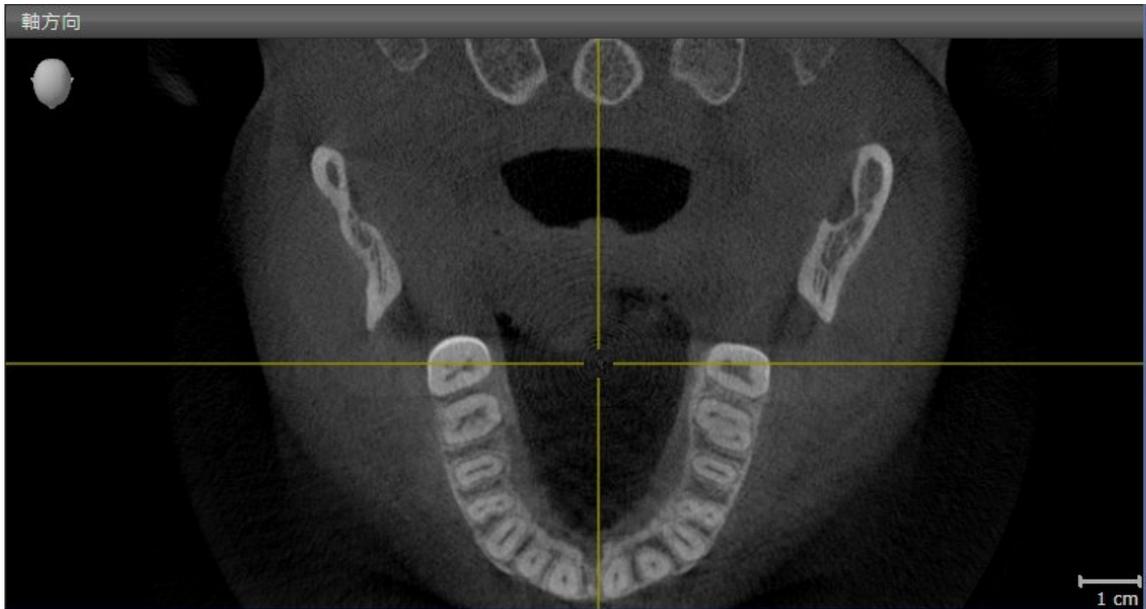
3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、[3Dビューの調整 \[▶ ページ 247\]](#)の節をご覧ください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。この記録に関する内容は、[画像のスクリーンショットを作成する \[▶ ページ 246\]](#)の節をご覧ください。

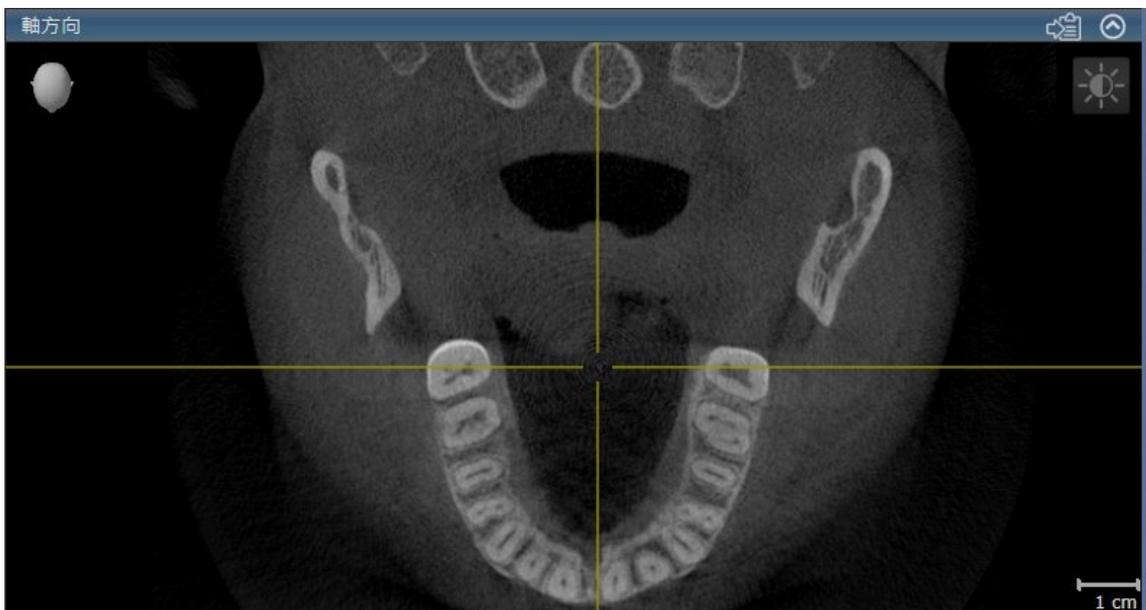
11.10.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

ビューをアクティブにするには、次のように行います。



- 希望のビューをクリックします。
- ▶ SICAT Air がビューをアクティブにします。



作業対象として選択したビューは、タイトルバーが青色になりますので、それとわかります。

11.10.3 ビューの最大化および復元

ビュービューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 238]の節をご覧ください。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

11.10.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 238]の節をご覧ください。



1. 2Dビューの画像のツールバーに**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーを重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーを重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。
7. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。



2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

11.10.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Air では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

11.10.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

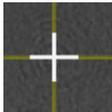
1. マウスポインタを希望の2Dレイヤービュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Air では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

11.10.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。
- 1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
 - ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスを動かします。
 - ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Air では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

- ☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。



- 1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にするのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
 - ▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが隠れます。



- 2. **十字線とフレームを表示するのアイコン**をクリックします。
 - ▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
 - ▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが表示されます。

11.10.8 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Airでは、すべてのビューで、ズーム、トリミング画像の移動、スクロール、十字線の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Airでは、**3Dビュー**で視線方向がデフォルト値に復元されます。

11.10.9 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEKIS XGで現時点の診察ページにエクスポートする。
- Windowsのクリップボードにコピーする

ビューのスクリーンショットを、SIDEKISで現時点の診察ページにエクスポートする

ビューのスクリーンショットを、SIDEKISで現時点の診察ページにエクスポートするときは、次の手順で行います。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 238]の節をご覧ください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをSIDEKISで現在の診察ページにエクスポートするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air ビューのスクリーンショットが、SIDEKISで現在の診察ページにエクスポートされます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 238]の節をご覧ください。



- ビューのタイトルバーから、スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

11.11 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、[3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 248\]](#)の節をご覧ください。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 251\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 252\]](#)
- [3Dビューの切り抜きモードの切り替え \[▶ ページ 257\]](#)



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

11.11.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

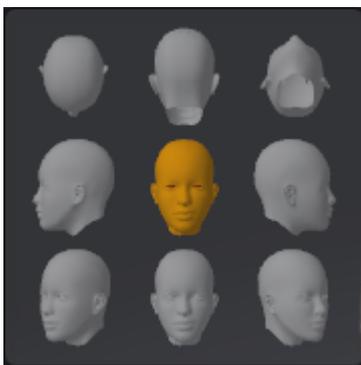
1. マウスポインタを **3D** 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、**3D**ビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

11.11.2 3Dビューの表示タイプ

3D画像に関して、一般的な内容は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 247]の節をご覧ください。

SICAT Air は、3Dビューのために、ワークスペースMPR/放射性とワークスペース気道で様々な表示タイプを提供しています：



- **組織輪郭での容量表示**は軟部組織のみ示します。



- **表面表示**は、ボリュームを貫く透明でないセグメントを表示します。



- **骨と組織輪郭での容量表示**は**組織輪郭での容量表示**と**骨での容量表示**を組み合わせます。



- **骨での容量表示**は骨のみ示します。



- **気管の不透明なビュー**はセグメントされた気道のみ示します。気道はSICAT Airの**気道オブジェクト**に適合しています。**気道オブジェクト**の設定は**気管の不透明なビュー**に影響を及ぼします。これに関する情報はSICAT Airオブジェクト [▶ ページ 224]に記載されています。

3D画像の表示タイプを選択する手順は、*3Dビューの表示タイプを切り替える* [▶ ページ 251]の節をご覧ください。

選択している表示タイプの構成設定を行う手順は、*3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する* [▶ ページ 252]の節をご覧ください。

様々な表示タイプを様々な切り抜きモードと共に使用する手順は、*3Dビューの切り抜きモード* [▶ ページ 254]に記載されています。

11.11.3 3Dビューの表示タイプを切り替える



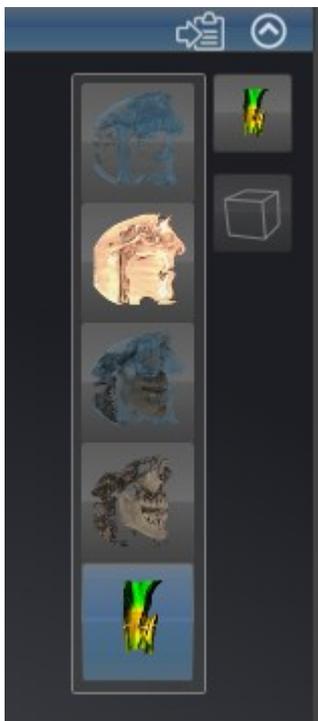
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 238]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

11.11.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

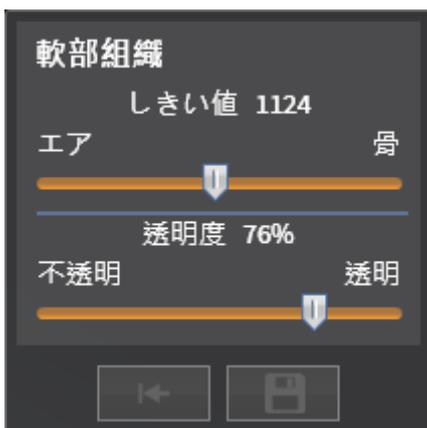
3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 238]の節をご覧ください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。表示タイプの選択に関する内容は、[3Dビューの表示タイプを切り替える](#) [▶ ページ 251]の節をご覧ください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、**アクティブな表示モードを設定するのアイコン**にマウスポインタを重ねます。

▶ **アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウ**が開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。

▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。

▶ **詳細設定**のコーナーがドロップダウンで展開します。

4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。

▶ SICAT Air では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。

5. 希望のスライダーを動かします。

▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

11.11.5 3Dビューの切り抜きモード

3D画像に関して、一般的な内容は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 247]の節をご覧ください。

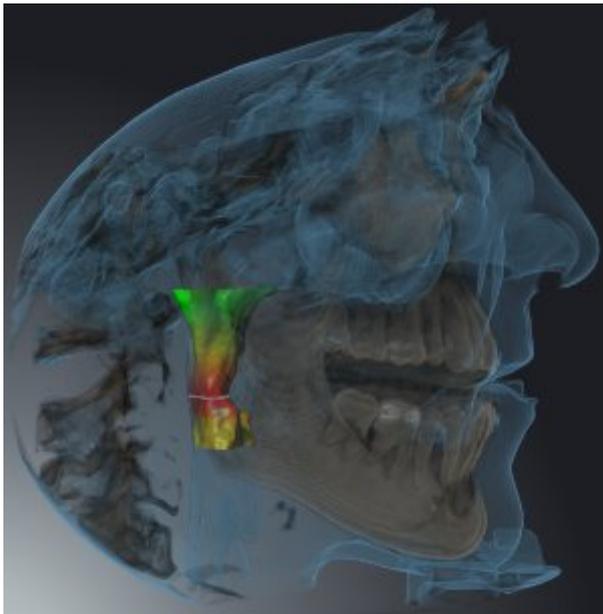
切り抜きモードでボリュームの一部を3Dビュー内で非表示にすることができます。

SICAT Air は、3Dビュー内で表示タイプに応じて様々な切り抜きモードを提供しています：

切り抜き：すべて



SICAT Air は、有効な表示タイプに含まれるボリュームのすべての部分を示します。



切り抜き：気道プレート



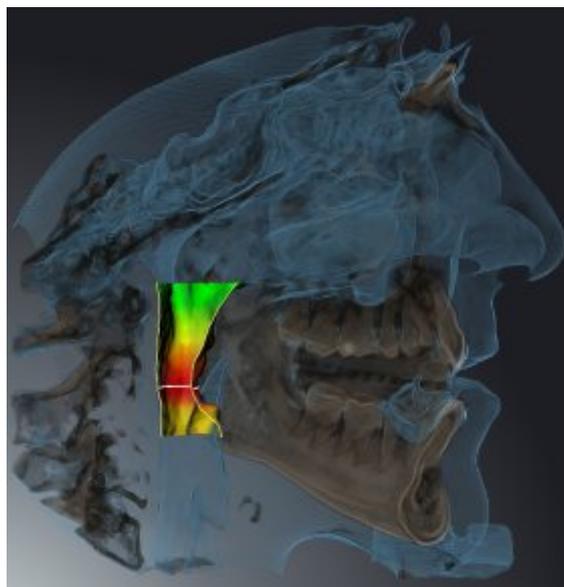
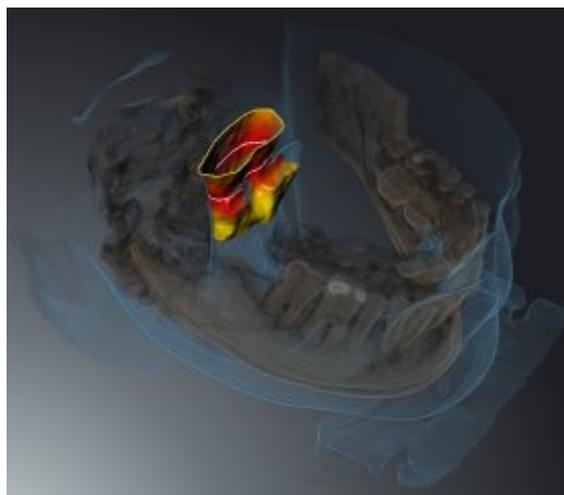
SICAT Air は、気道エリア側面のボリュームのすべての部分を非表示にします。気道エリアを設定する手順は*気道エリアの設定* [▶ ページ 275]に記載されています。気道エリアを設定していない場合、SICAT Airは標準値を適用します。



切り抜き：アクティブなレイヤービュー



SICAT Air は、選択したレイヤーのあるボリウムのすべての部分を非表示にします。レイヤーは切り抜きモードに応じて、**軸方向レイヤービュー**、**冠状レイヤービュー**または**矢状方向レイヤービュー**で設定できます。このスクロールに関する内容は、**レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール** [▶ ページ 243]の節をご覧ください。ワークスペースは、該当するレイヤービューを含んだレイヤー切り抜きモードのみ提供しています。**気道ワークスペース**または**気道プロファイル**で軸方向レイヤーを設定することができます。これに関する情報は**気道プロファイルとの連携** [▶ ページ 289]に記載されています。



特定の表示タイプでの切り抜きモード

次の表は、表示タイプでどの切り抜きモードが使用できるかを示しています：

	切り抜き：すべて	切り抜き：気道プレート	切り抜き：アクティブなレイヤービュー
組織輪郭での容量表示	有	はい*	有
表面表示	無	無	はい、矢状方向*
骨と組織輪郭での容量表示	はい*	有	有
骨での容量表示	はい*	無	有
気管の不透明なビュー	はい*	無	有

*標準

3Dビューの切り抜きモードをアクティブにする手順は3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ ページ 257]に記載されています。

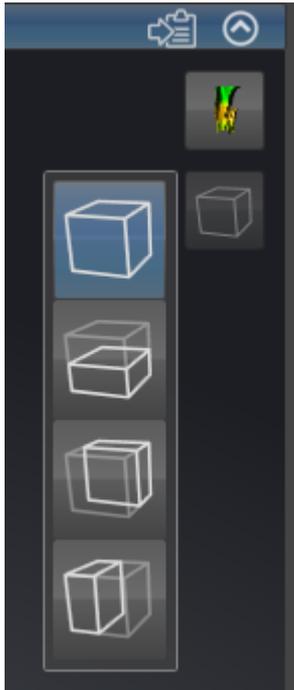
11.11.6 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います：

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 238]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの**画像のツールバー**で、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

11.12 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

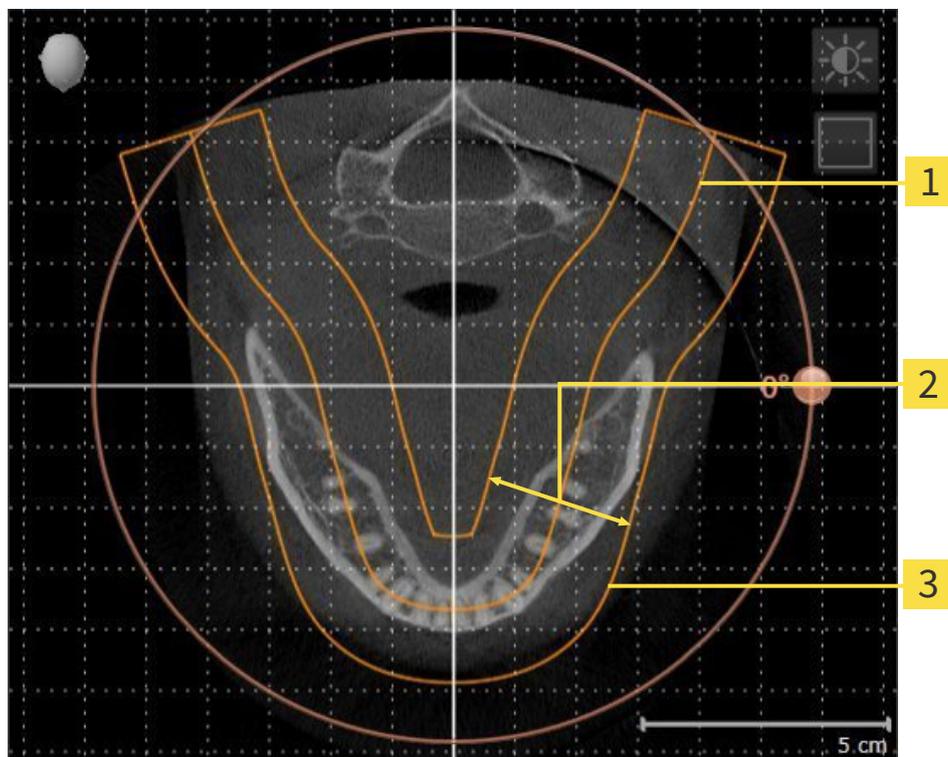
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Airで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する \[▶ ページ 260\]](#)の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Air では、ボリュームとパノラマエリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマエリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



- 1 パノラマ曲線
- 2 厚さ
- 3 パノラマエリア

パノラマエリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマエリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマエリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマエリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Air で、パノラマエリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

パノラマエリアを調整する手順は、[パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 265]の節をご覧ください。

11.12.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関して、一般的な内容は、**ボリュームの配置およびパノラマエリア** [▶ ページ 258]の節をご覧ください。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

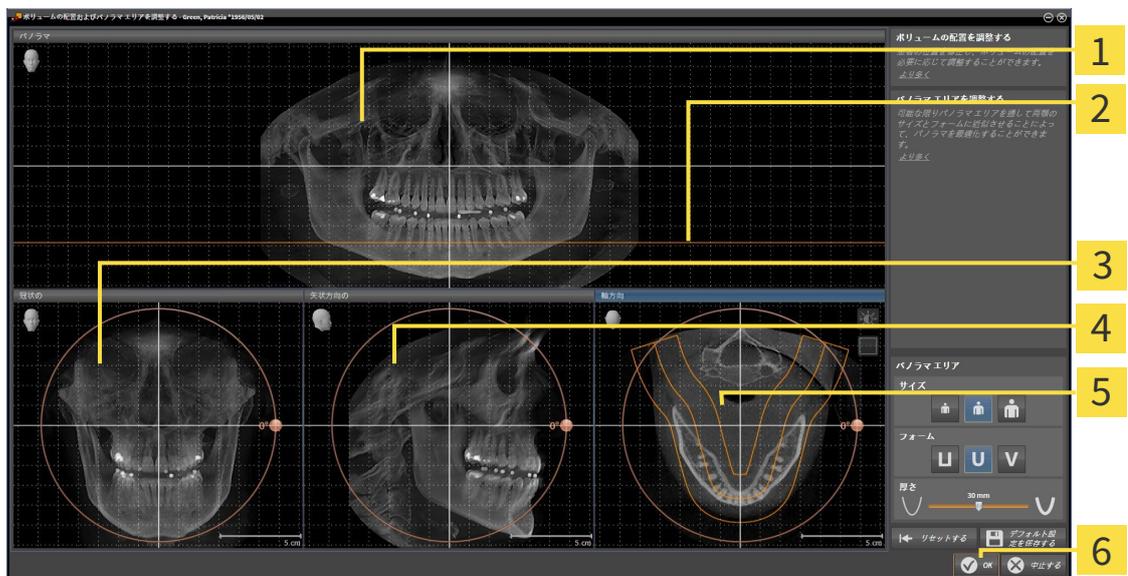
- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリュームを回す
- 矢状方向ビューでボリュームを回す
- 軸方向ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



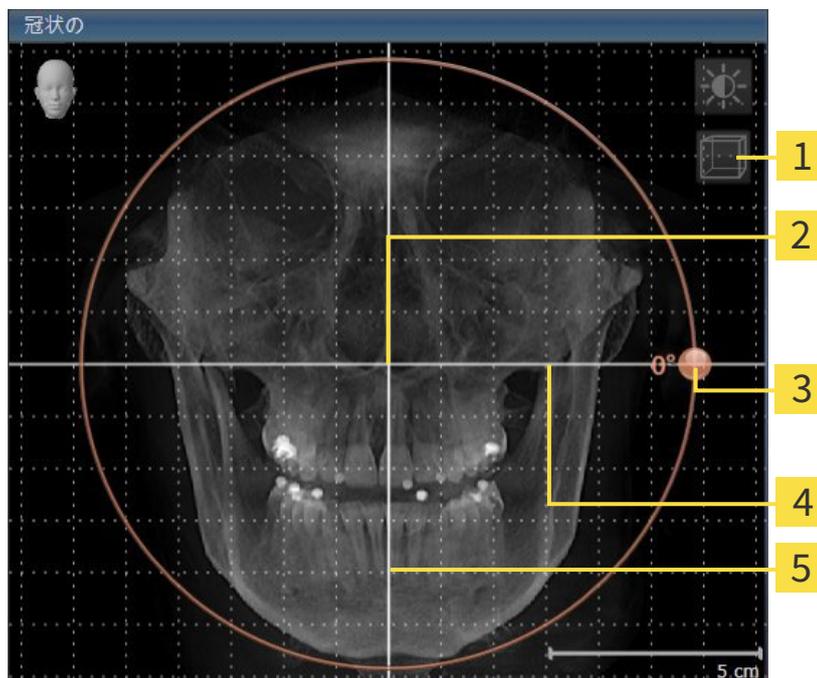
- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 パノラマビュー</p> <p>2 軸方向基準線</p> <p>3 冠状ビューと回転スライダー</p> | <p>4 矢状方向ビューと回転スライダー</p> <p>5 軸方向ビューと回転スライダー</p> <p>6 ボタン OK</p> |
|--|---|

冠状ビューでボリュームを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

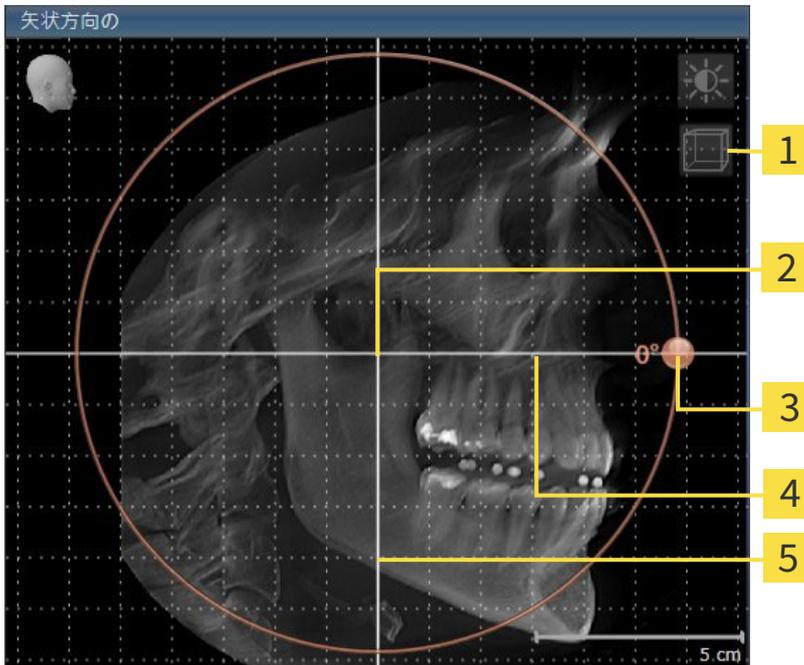


- | | |
|--|---|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン</p> <p>2 回転中心</p> <p>3 回転調整つまみ</p> | <p>4 水平基準線</p> <p>5 垂直基準線</p> |
|--|---|

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

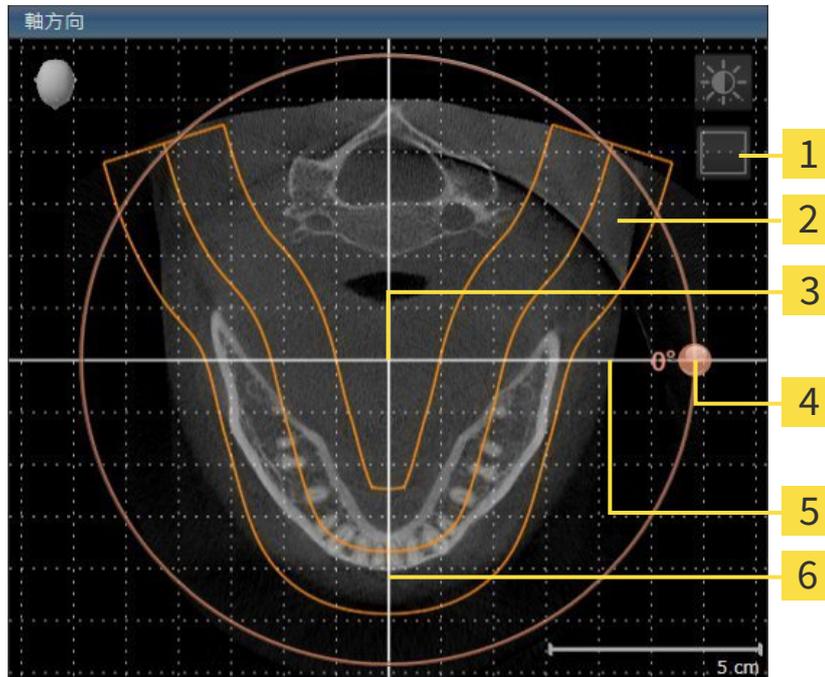


- | | |
|---|---|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン 投影モードをアクティブにする</p> <p>2 回転中心</p> <p>3 回転調整つまみ</p> | <p>4 水平基準線</p> <p>5 垂直基準線</p> |
|---|---|

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



- | | | | |
|----------|---|----------|---------|
| 1 | アイコンまたは 投影モードをアクティブにするアイコン レイヤーモードをアクティブにする | 4 | 回転調整つまみ |
| 2 | パノラマエリア | 5 | 水平基準線 |
| 3 | 回転中心 | 6 | 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにするのアイコン**をクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Airでは、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Airでは、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Airで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細についてお知らせします。
10. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 240]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

11.12.2 パノラマエリアを調整する

パノラマエリアに関して、一般的な内容は、**ボリュームの配置およびパノラマエリア** [▶ ページ 258]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

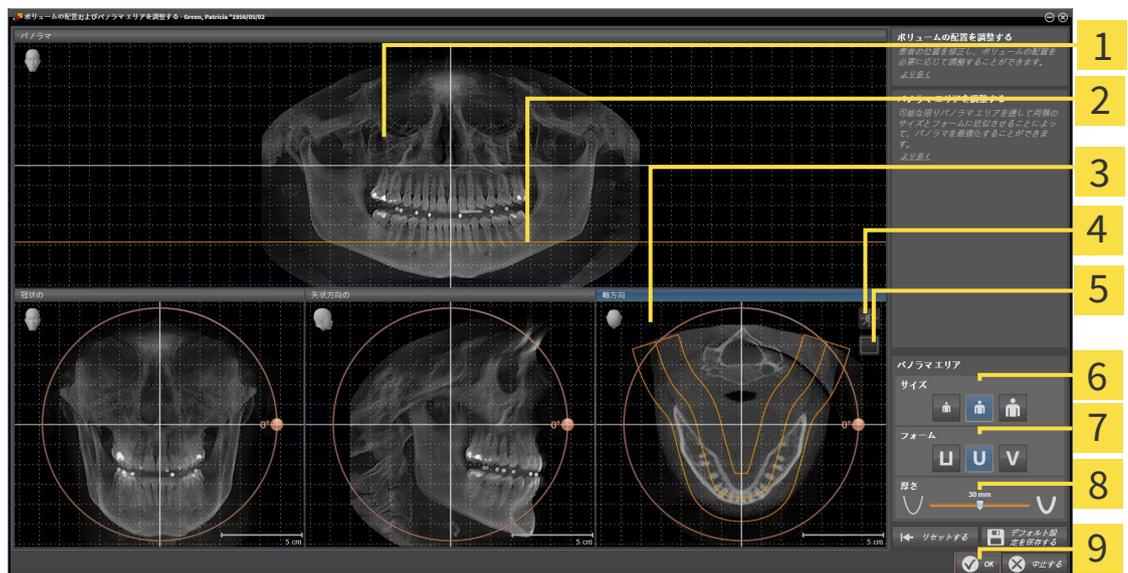
- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリュームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整**しますのアイコンをクリックします。
- ▶ **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウが開きます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 パノラマビュー</p> <p>2 軸方向基準線</p> <p>3 軸方向ビューと回転スライダー</p> <p>4 アイコン 輝度およびコントラストの調整</p> <p>5 アイコンまたは投影モードをアクティブにするアイコン レイヤーモードをアクティブにする</p> | <p>6 サイズボタン</p> <p>7 フォームボタン</p> <p>8 厚さスライダー</p> <p>9 ボタン OK</p> |
|--|---|

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向ビュー**の現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向画像のレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. 軸方向ビューで、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われます。
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューで、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**軸方向ビュー**で、**回転調整つまみ**に合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向ビュー**で、**投影モード**が選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマエリアの**厚さ**を選択します。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Air では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、**2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット** [▶ ページ 240]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

11.13 距離/角度測定

SICAT Airには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



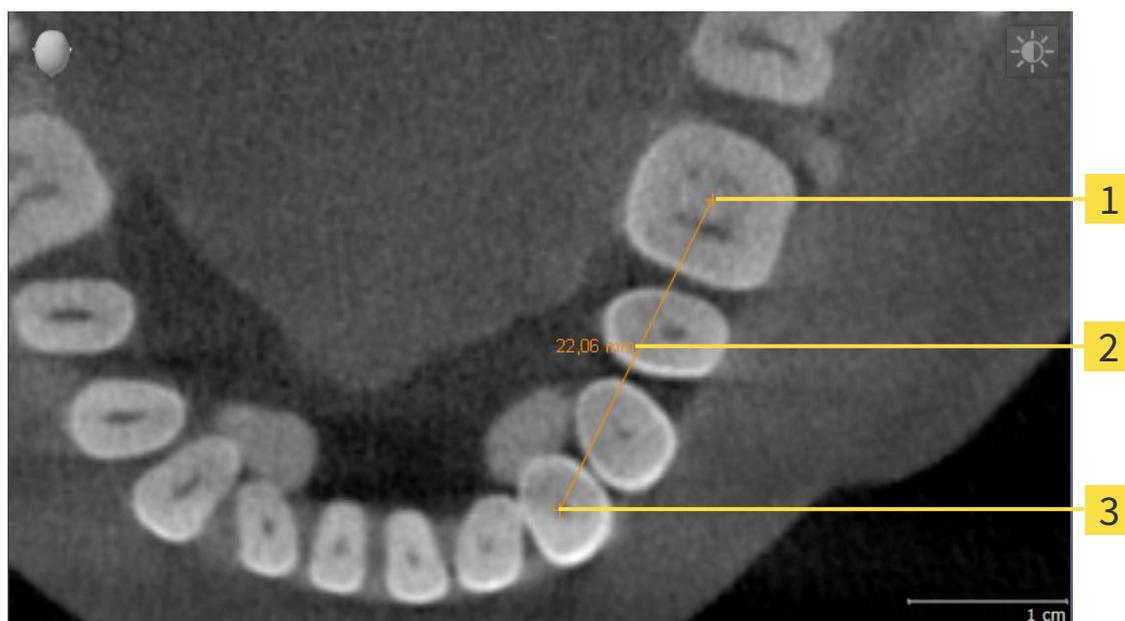
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Airはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する* [▶ ページ 269]
- *角度測定を追加する* [▶ ページ 270]
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する* [▶ ページ 272]
- 測定のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、オブジェクトブラウザを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 220]の節をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 222]の節をご覧ください。

11.13.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

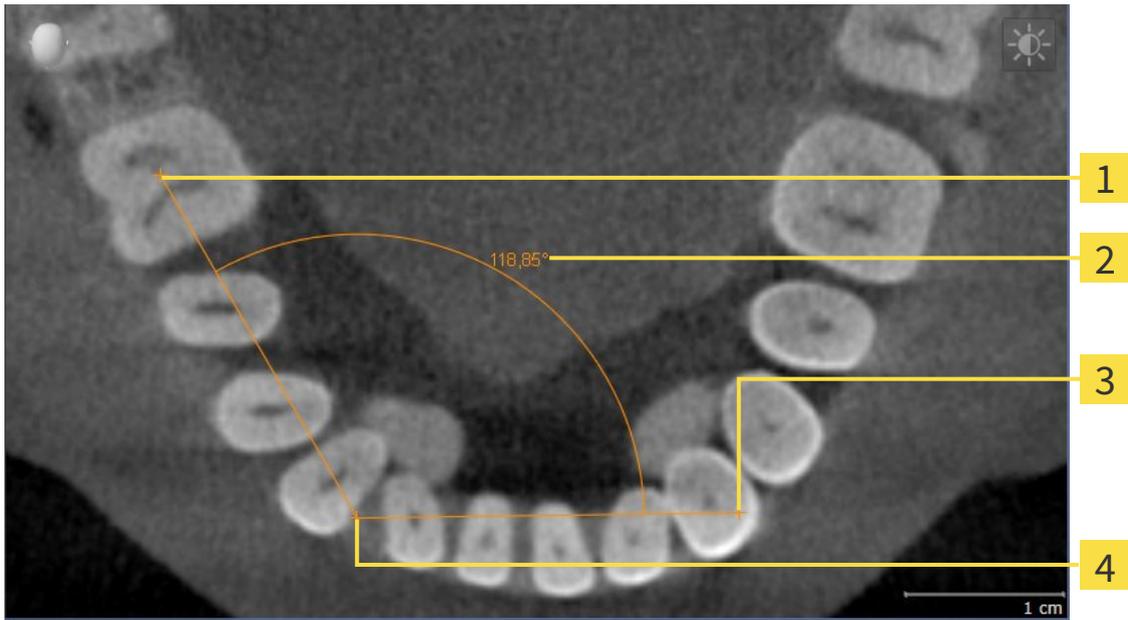


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Air 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

11.13.2 角度測定を追加する



- 1** 始点
- 2** 測定値
- 3** 終点
- 4** 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Air 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

11.13.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 220\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 222\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Air は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 220\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 222\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
▶ SICAT Air は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 220\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 222\]](#)の各節をご覧ください。
- 1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
- 2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
- 3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
- 4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定値を移動すると、SICAT Airはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

11.14 気道のセグメンテーション

注記

気道のセグメンテーションの前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 260]の節をご覧ください。ボリュームを気道のセグメンテーション後に配置する場合は、SICAT Airが気道オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

SICAT Airでは、気道分析のために**気道オブジェクト**が必要です。気道をセグメントして、**気道オブジェクト**を作成します。この**気道オブジェクト**は気道を個別に表わし、基本的な情報を表示して追加の相互作用の可能性を提供しています。

気道のセグメンテーションのために、SICAT Airは気道エリアが必要です。気道エリアを2つの解剖学的な基準点でウィンドウ**気道をセグメントする**内に設定してください。その後、SICAT Airは気道エリアを立方体のフォームで作成します。ソフトウェアは、基準点と調整可能な横方向幅で気道エリアを定義します。最終的にSICAT Airは気道エリアで気道の自動セグメンテーションを実行します。基準点の移動と横方向幅の変更は後からできます。その際、ソフトウェアは気道の自動セグメンテーションを再実行します。

SICAT Airは、3Dビューのソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします。ボリュームのSICAT Air部が正しく配置されていない場合は、修正ツールを使用できます。

気道のセグメンテーションは次のステップで構成されています：

- **気道エリアの設定** [▶ ページ 275]

次のステップはオプションです：

- **気道セグメンテーションの修正** [▶ ページ 279]
- **必要でないエリアを気道から削除する** [▶ ページ 281]

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は**気道を手動でセグメントする** [▶ ページ 283]に記載されています。

11.14.1 気道エリアの設定



注意

3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロファイルの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロファイルを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。

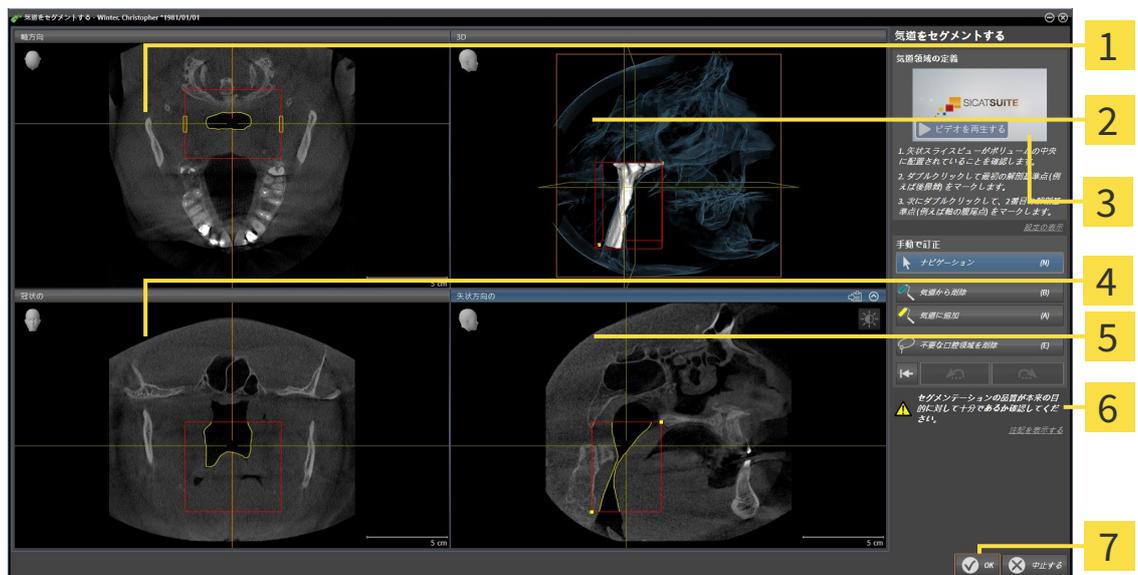
気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は気道のセグメンテーション [▶ ページ 274] に記載されています。

「気道をセグメントする」のウィンドウを開く

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、ボリュームの配置を調整する [▶ ページ 260]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの分析するは、展開させておきます。ワークフローステップに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



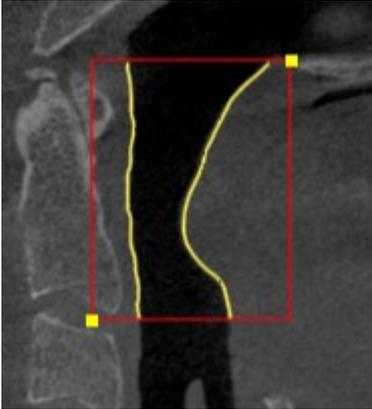
- 気道をセグメントしますのアイコンをクリックします。
- ▶ 気道をセグメントする のウィンドウが開きます。



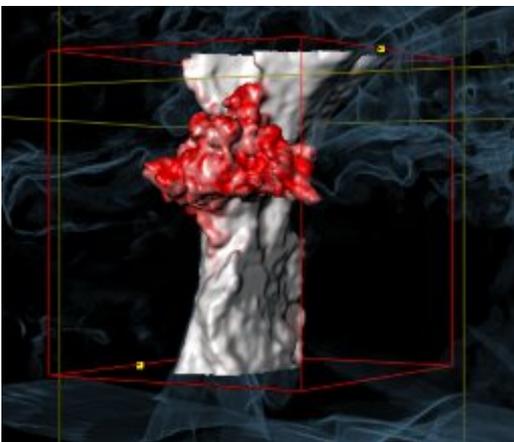
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 軸方向ビュー 2 3Dビュー 3 事例ビデオ 4 冠状ビュー | <ul style="list-style-type: none"> 5 矢状方向ビュー 6 ツール領域 7 ボタン OK |
|---|--|

気道エリア定義のための解剖学的基準点の配置

1. 矢状方向ビューが気道の上部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
2. 矢状方向ビューで気道エリアの下部基準点位置をダブルクリックしてください：



- ▶ SICAT Air 上部基準点を黄色い四角形でマークします。
 - ▶ これ以後、下部基準点はマウスポインタの位置に一致します。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを赤色のフレームでマークします。
3. 矢状方向ビューが気道の下部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
 4. 矢状方向ビューで気道エリアの下部基準点位置をダブルクリックしてください：
 - ▶ SICAT Air 下部基準点を黄色い四角形でマークします。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを基準点の位置に応じて設定します。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアに基づいて自動的に気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道エリアの基準点の移動

基準点をすべての2Dビューに移動できます。



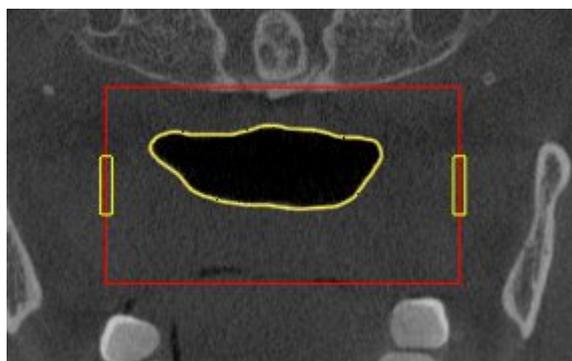
1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. 希望する2Dビューが任意の基準点を示していることを確認してください。必要な場合は、レイヤーをスクロールしてください。
3. マウスポインタを基準点に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字線になります。
4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
5. マウスポインタを新しい基準点の位置に動かします。
 - ▶ 基準点はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを基準点の位置に応じて調整します。
6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air 新しい基準点を保持します。
 - ▶ SICAT Air 新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：

気道エリアの横方向サイズの変更

横方向サイズは通常60 mmです。



1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. **軸方向**ビューが横方向サイズのマーキングを示しているか確認してください。必要な場合は、**軸方向**ビューでレイヤーをスクロールしてください：



3. マウスポインタを横方向サイズのマーキング上に動かします。

- ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
- 4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
- 5. マウスポインタを任意のマーキング位置に動かします。
 - ▶ マーキングはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを新しい横方向サイズに応じて調整します。
- 6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air 新しいマーキングポイントを保持します。
 - ▶ SICAT Air 新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、*気道のセグメンテーションを完了してください* [▶ ページ 284]に進みます。

セグメンテーションが解剖学的条件と一致していない場合、*気道セグメンテーションの修正* [▶ ページ 279]または*必要でないエリアを気道から削除する* [▶ ページ 281]に進みます。



記載されている手順に加え、以下の操作が**気道をセグメントする**で使用できます。

- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 240]の節をご覧ください。
- **スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックして、個々のビューのスクリーンショットをクリップボードとハンドアウトにコピーすることができます。この記録に関する内容は、*画像のスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 246]の節をご覧ください。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**戻る (Ctrl+Z)** ボタンをクリックします。
- 前回のステップを繰り返したい場合は、**繰り返す (CTRL+Y)** ボタンをクリックします。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**気道セグメンテーションを削除し、すべての変更を破棄する** ボタンをクリックし、それを通知ウィンドウで確認するには**OK**をクリックします。
- 気道のセグメンテーションを中断したい場合は、**中止する**をクリックします。

機能**戻る (Ctrl+Z)**と**繰り返す (CTRL+Y)**を使用できるのは**気道をセグメントする**ウィンドウが開いている間のみです。

11.14.2 気道セグメンテーションの修正



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 274] に記載されています。

誤って検出された気道エリアから削除する

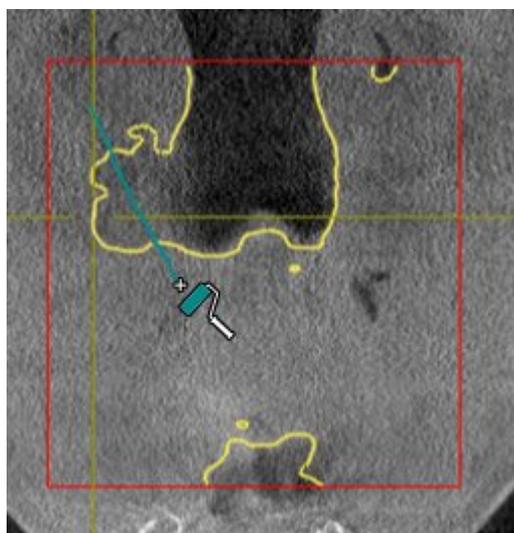
気道のすべての2Dビューエリアを削除できます。

修正の際、特に3Dビューの赤でマークされたエリアに考慮してください。このエリアは、SICAT Airが気道と誤って検出したエリアではない可能性があります。

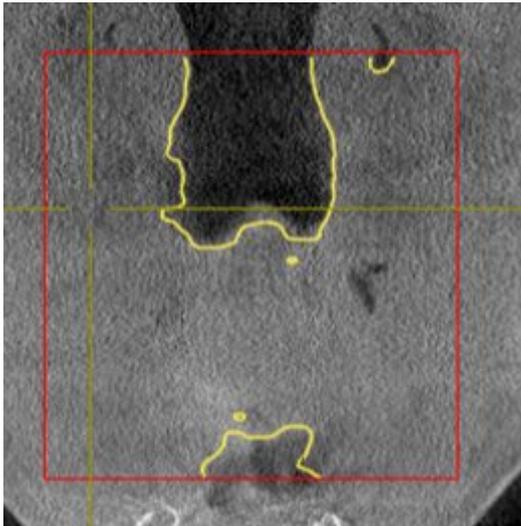
- 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 275] に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道から除去する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは青色の塗料ローラーになります。
2. 気道エリア内の2DビューにSICAT Airが気道と誤って検出した面をマークします：



▶ SICAT Air はマークした気道のエリアを削除します：



誤って検出されたエリアを気道に追加する

すべての2Dビューに、気道としての追加のエリアをマークすることができます。

☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は[気道エリアの設定](#) [▶ ページ 275]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道に追加する** のボタンをクリックします。

▶ マウスポインタは黄色の塗料ローラーになります。

2. 気道エリア内の2Dビューに気道としての追加面をマークします。

▶ SICAT Air は気道としてマークされたエリアを検出します。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、[気道のセグメンテーションを完了してください](#) [▶ ページ 284]に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は[気道を手動でセグメントする](#) [▶ ページ 283]に記載されています。

11.14.3 必要でないエリアを気道から削除する

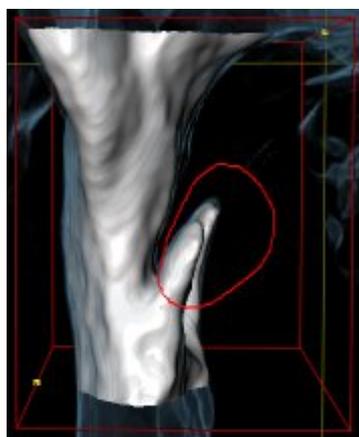
気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は**気道のセグメンテーション** [▶ ページ 274]に記載されています。

不要な口腔エリアを除去する ツールを気道関連が含まれていない空気エリアに使用してください。それには口内や隆起などが含まれています。

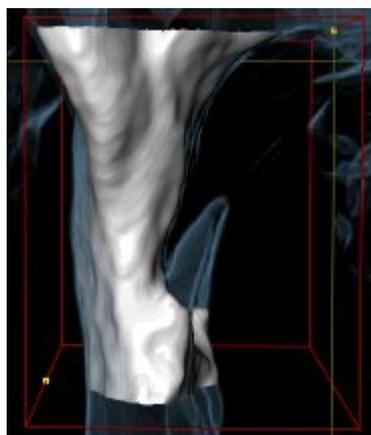
- ☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 275]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**不要な口腔エリアを除去する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは投げ縄になります。
2. **3Dビュー**で検出から完全に取り出したいエリアを縁取ってください。気道または気道外のエリアであるかどうかは問題ではありません：



- ▶ SICAT Air はマーキングの背後のすべてのエリアをボリュームから取り出します。つまり、SICAT Airはこのエリアが気道または気道外のエリアであるかどうかはこれ以上認識できません：



不要な口腔エリアを除去する 機能も2Dビューで使用することができます。この場合、SICAT Airは現在のレイヤーでのみ変更を行います。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**気道のセグメンテーションを完了** してください [▶ ページ 284]に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は[気道を手動でセグメントする](#) [▶ ページ 283]に記載されています。

11.14.4 気道を手動でセグメントする



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 274] に記載されています。

特定の3D X線撮影図の場合は、修正ツールを使用してもSICAT Airは適切な気道のセグメンテーションを自動的に実行できないことがあります。この場合は、気道のセグメンテーションを行ってください：

- ☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 275] に記載されています。

1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**設定を表示する** のボタンをクリックします。

▶ **設定を表示する** のコーナーがドロップダウンで展開します。

2. **気道を手動でセグメントする** のチェックボックスを有効にします。

▶ SICAT Airがある場合は、気道の自動セグメンテーションとそれに関連する修正を削除します。



3. エリアを気道としてマークするには、気道エリア内の**気道に追加する**描画ツールを使用してください。



4. 気道外のエリアをマークするには、気道エリア内の**気道から除去する**描画ツールを使用してください。

▶ SICAT Air はマーキングに応じて気道をセグメントします。

▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道を手動でセグメントする場合には、気道と気道外のエリアをマークする必要があります。それから、SICAT Airがセグメンテーションを実行します。



気道の自動セグメンテーションおよび手動セグメンテーションの修正用ツールを提供しています：

- [気道セグメンテーションの修正](#) [▶ ページ 279]
- [必要でないエリアを気道から削除する](#) [▶ ページ 281]

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、[気道のセグメンテーションを完了してください](#) [▶ ページ 284]に進みます。

11.14.5 気道のセグメンテーションを完了してください

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は**気道のセグメンテーション** [▶ ページ 274]に記載されています。

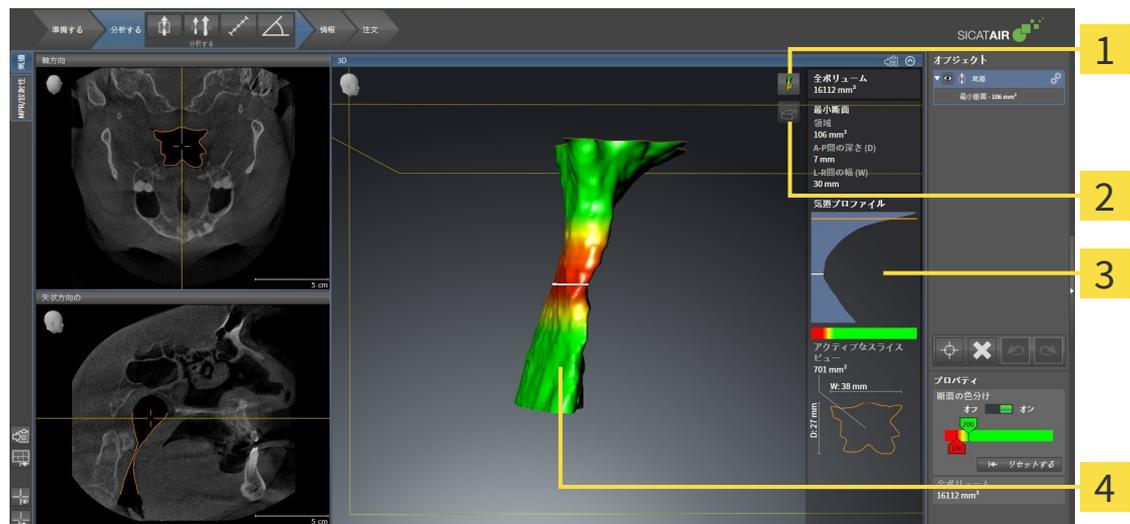
- ☑ **気道をセグメントする** ウィンドウに気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 275]に記載されています。
- セグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**OK**をクリックしてください。
- ▶ SICAT Air はセグメントされた気道を受け入れます。
- ▶ SICAT Air は**気道をセグメントする** ウィンドウを閉じます。
- ▶ まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道**ワークスペースを有効にします。
- ▶ 3DビューでSICAT Airは表示タイプ**気管の不透明なビュー**を有効にします。
- ▶ オブジェクトバーでSICAT Air**気道**オブジェクトを作成します。

11.15 気道分析

気道分析を行う前に、気道をセグメントする必要があります。これに関する情報は**気道のセグメンテーション** [▶ ページ 274]に記載されています。

SICAT Air は気道分析のために、次の可能性を提供しています：

- 気道分析領域
- 表示タイプ
- 切り抜きモード
- 色分け



- | | |
|---|---|
| <p>1 アイコン 表示モードを切り替える</p> <p>2 アイコン 切り抜きモードを切り替える</p> | <p>3 気道分析領域</p> <p>4 セグメントされ、色分けされた気道オブジェクト</p> |
|---|---|

全ボリウム

気道プロフィールの上側に、SICAT Air**全ボリウム**は**気道オブジェクト**を mm^3 で示します。

気道分析領域

気道をセグメントした後、SICAT Air気道ワークスペース内に気道分析領域が表示されます。

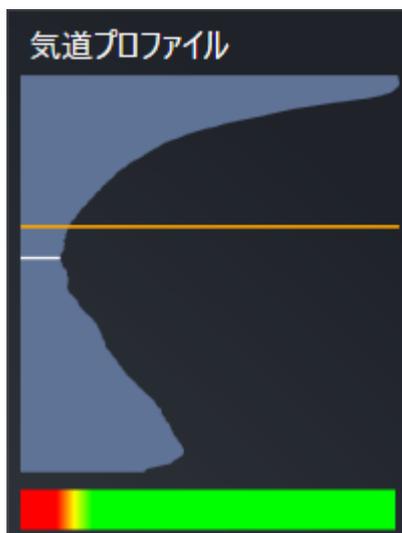
気道分析領域の上部は次のとおりです：



セグメントされた気道に関しては以下の情報を閲覧することができます。

- 最小断面
- A-P関の深さ(D)
- L-R関の幅(D)

気道分析領域の中間部は気道プロフィールを示します。気道プロフィールは気道に沿った軸方向レイヤーの断面積を可視化します：



気道プロフィールには2本の線が含まれており、これには次の意味があります：

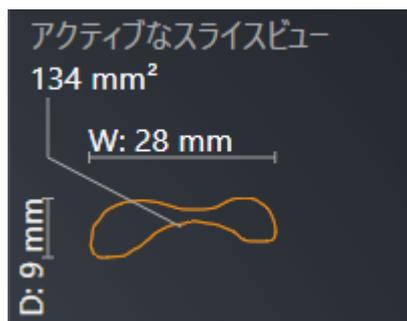
- 白い線はレイヤーを最小断面積で象徴化します。
- オレンジ色の線は選択したレイヤーを象徴化します。

選択したレイヤーは、3Dビューの切り抜き位置と気道分析領域の下部の情報を決定します。

気道プロフィールのレイヤーを選択する手順は気道プロフィールとの連携 [▶ ページ 289]に記載されています。

気道プロフィール下部のグラデーションは色分けと切断面の関連性を確立します。

気道分析領域の下部は次のとおりです：



選択したレイヤーの断面に関しては以下の情報を閲覧することができます：

- 断面の可視化
- 断面積
- 幅
- 奥行き

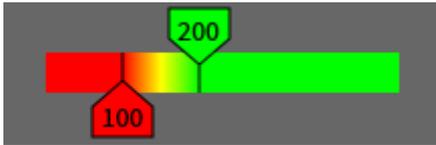
表示タイプ

3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定の側面を様々な表示タイプで強調することができます。これに関する情報は3Dビューの表示タイプ [▶ ページ 250]に記載されています。

切り抜きモード

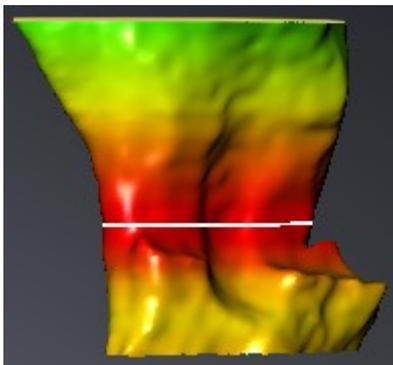
3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定のエリアを様々な切り抜きモードで非表示することができます。これに関する情報は3Dビューの切り抜きモード [▶ ページ 254]に記載されています。

色分け



SICAT Air は色分けでセグメントされた気道を規定します。色分けは気道プロフィールの断面積に一致します。色分けで3Dビューに気道オブジェクトの狭域を強調することができます。

色分けを設定することができます。これに関する情報はSICAT Airオブジェクト [▶ ページ 224] に記載されています。気道のすべてのエリアが健康的に見えるように、しきい値上限を選択する必要があります。気道のすべてのエリアが病態的に見えるように、しきい値下限を選択する必要があります。SICAT Air はエリア間をグラデーションで表示します：



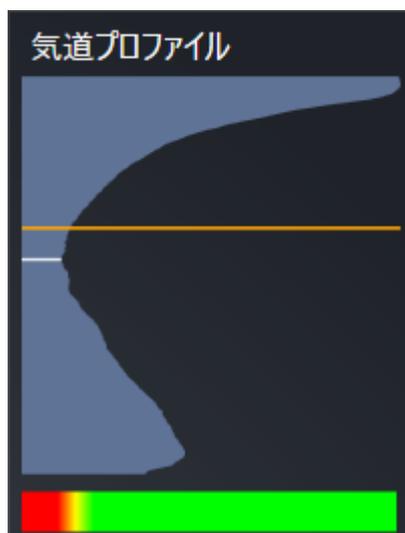
SICAT Air設定で色分けのための標準値を設定することができます。この変更に関する内容は、SICAT Air設定の変更 [▶ ページ 335]の節をご覧ください。

11.15.1 気道プロフィールとの連携

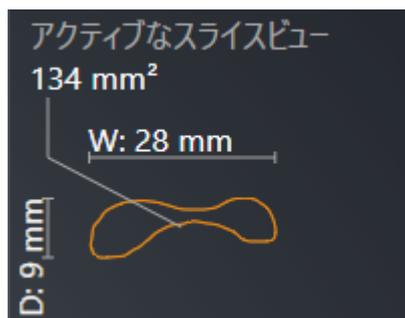
気道分析に関する一般的な情報は気道分析 [▶ ページ 285]に記載されています。

気道プロフィールと連携するには、次のように行います。

- ☑ 気道ワークスペースはすでに開いています。この切替に関する内容は、アクティブなワークスペースを切り替える. [▶ ページ 232]の節をご覧ください。
 - ☑ 気道はすでにセグメントされています。これに関する情報は気道エリアの設定 [▶ ページ 275]に記載されています。
- 気道プロフィールの希望するレイヤーをクリックします。
- ▶ 気道プロフィールに選択したレイヤーがオレンジ色の線で示されます：

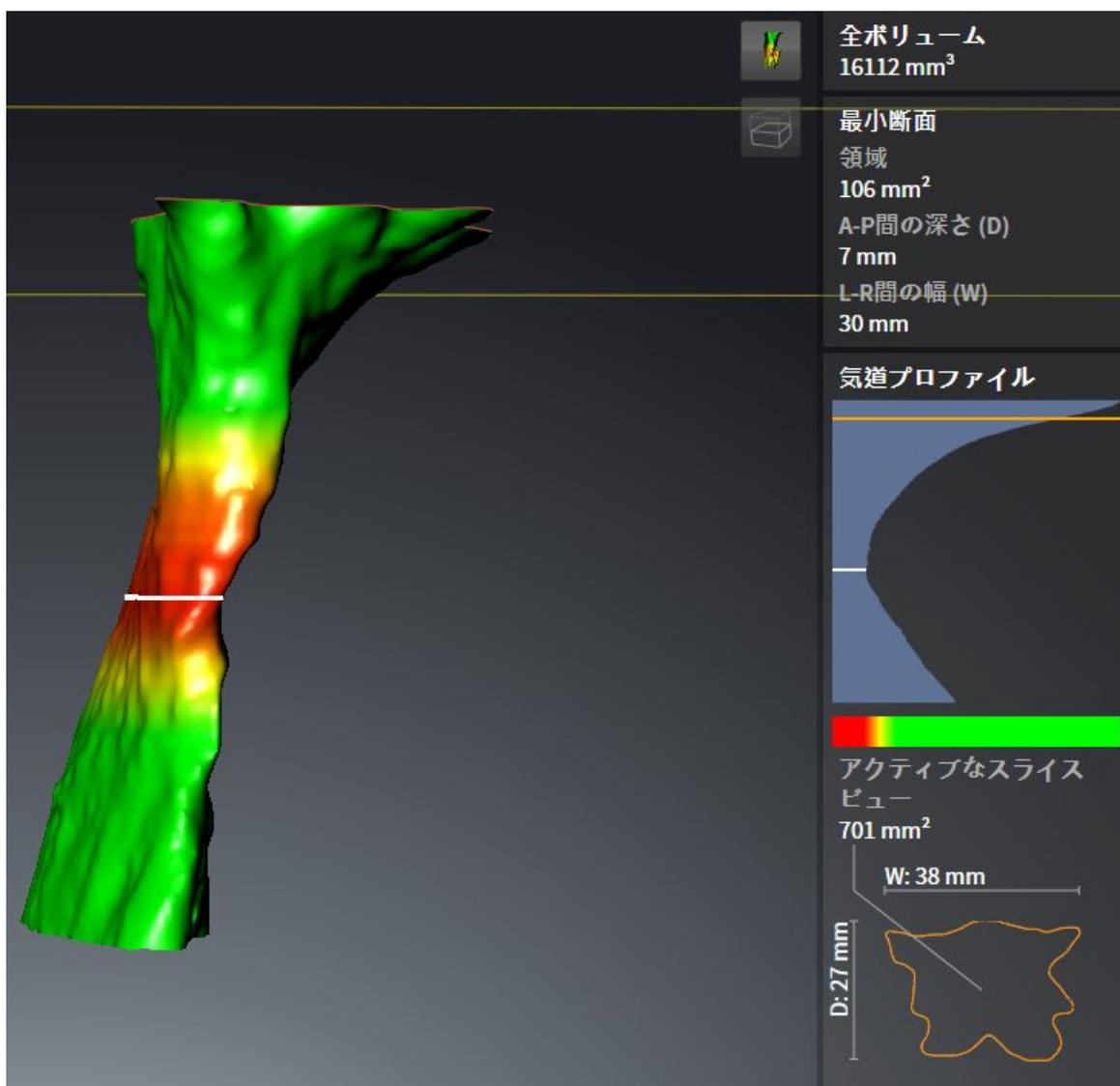


- ▶ SICAT Air は選択したレイヤーのための情報を示します：



- ▶ 3DビューでSICAT Airは切り抜きモード切り抜き：選択したレイヤービュー（レイヤービューでアクティブ化）を有効にします。

▶ 3Dビューは選択したレイヤーの上部エリアを非表示にします：



▶ SICAT Air は2Dビューで気道の中心に十字線で焦点を合わせます。

11.16 患者教化



注意

診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェアユーザーインターフェースの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、下顎前突の効果を明確にすることができます。SICAT Airで患者教化が2ステップで実行されます：

1. SICAT Air内の歯科医院で
2. ハンドアウトによる患者情報

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイで作成することができます。ソースは描画オブジェクトからなる画像とスクリーンショットです。

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができます、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています：

- 画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 292]
- ハンドアウトの準備 [▶ ページ 295]
- ハンドアウトの作成 [▶ ページ 299]

ハンドアウトはプリントするか、またはPDFファイルで保存することができます。PDFファイルは、SICAT AirをサポートしているPDFビューアで開くことができます。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 12]の節をご覧ください。

11.16.1 画像とスクリーンショットの作成

注記

画像とスクリーンショットを作成する前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 260]の節をご覧ください。ボリュームを画像とスクリーンショット作成後に配置する場合は、SICAT Airが描画オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

患者教化に関する一般的な情報は**患者教化** [▶ ページ 291]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 224]に記載されています。

描画ツールは2種類あります：

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 260]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。ワークフローステップに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 215]の節をご覧ください。

- 
1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
 2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
 3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
 4. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 224]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウインドウにあります。
 5. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 260]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。ワークフローステップに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
4. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 224]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウインドウにあります。
5. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたはESCボタンを押します。

描画ツールの設定

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

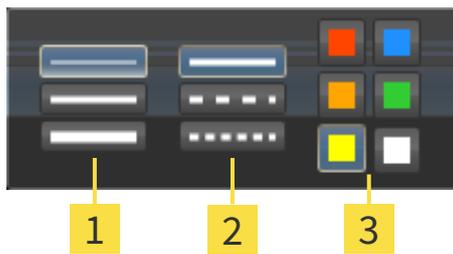
描画ツールを設定するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。ワークフローステップに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ、線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。
3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

▶ SICAT Air は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Air は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います：



- 希望するビューの**画像のツールバー**にあるスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。これに関する情報は**SICAT Air**オブジェクト [▶ ページ 224/]に記載されています。
- ▶ スクリーンショットは**ハンドアウトを作成する**ウィンドウにあります。
- ▶ SICAT Air は選択したビューのスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの準備 [▶ ページ 295/]に進みます。

11.16.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 291]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作：

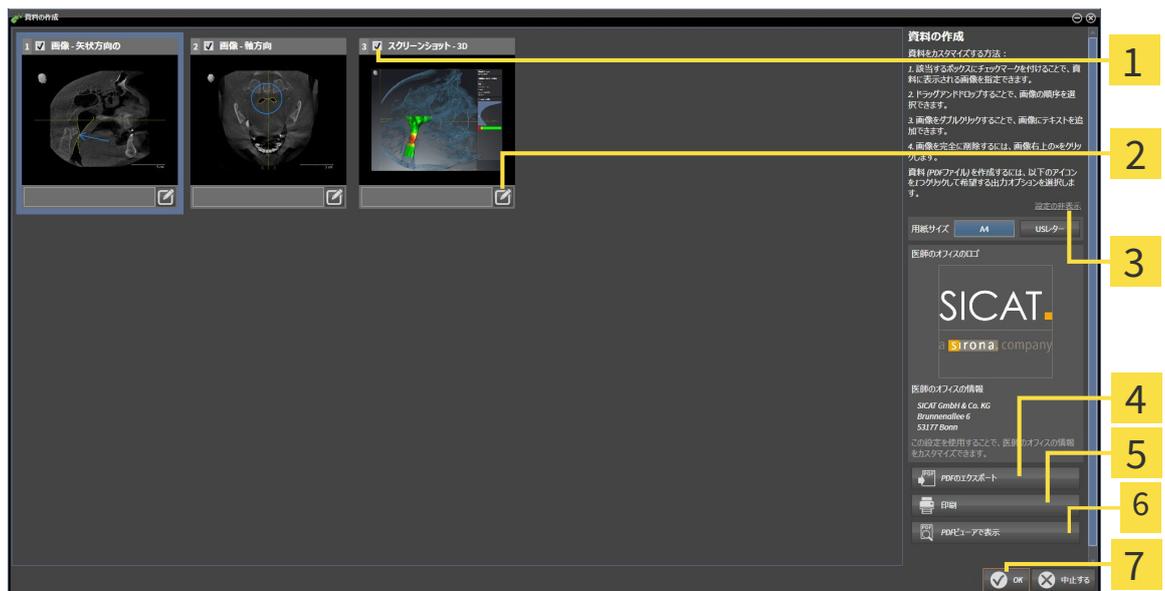
- ハンドアウトを作成するのウィンドウを開く
- 要素を準備する
- ハンドアウトの設定を変更する

「ハンドアウトを作成する」のウィンドウを開く

- ☑ 少なくとも、**画像オブジェクト**または**スクリーンショットオブジェクト**を作成しました。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。ワークフローステップに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ハンドアウトを作成する のウィンドウが開きます。



1 スクリーンショットを有効/無効にするチェックボックス

2 アイコン 画像記述を編集する

3 設定

4 ボタン PDFエクスポート

5 ボタン 印刷する

6 ボタン PDFビューアで表示する

7 ボタン OK

ハンドアウトのための要素を準備する

ハンドアウトを作成するウィンドウは画像オブジェクトからスクリーンショット、スクリーンショットオブジェクトからスクリーンショットを表示します。これに関する情報は画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 292]に記載されています。

ハンドアウトのための要素を準備するには、次のように行います。

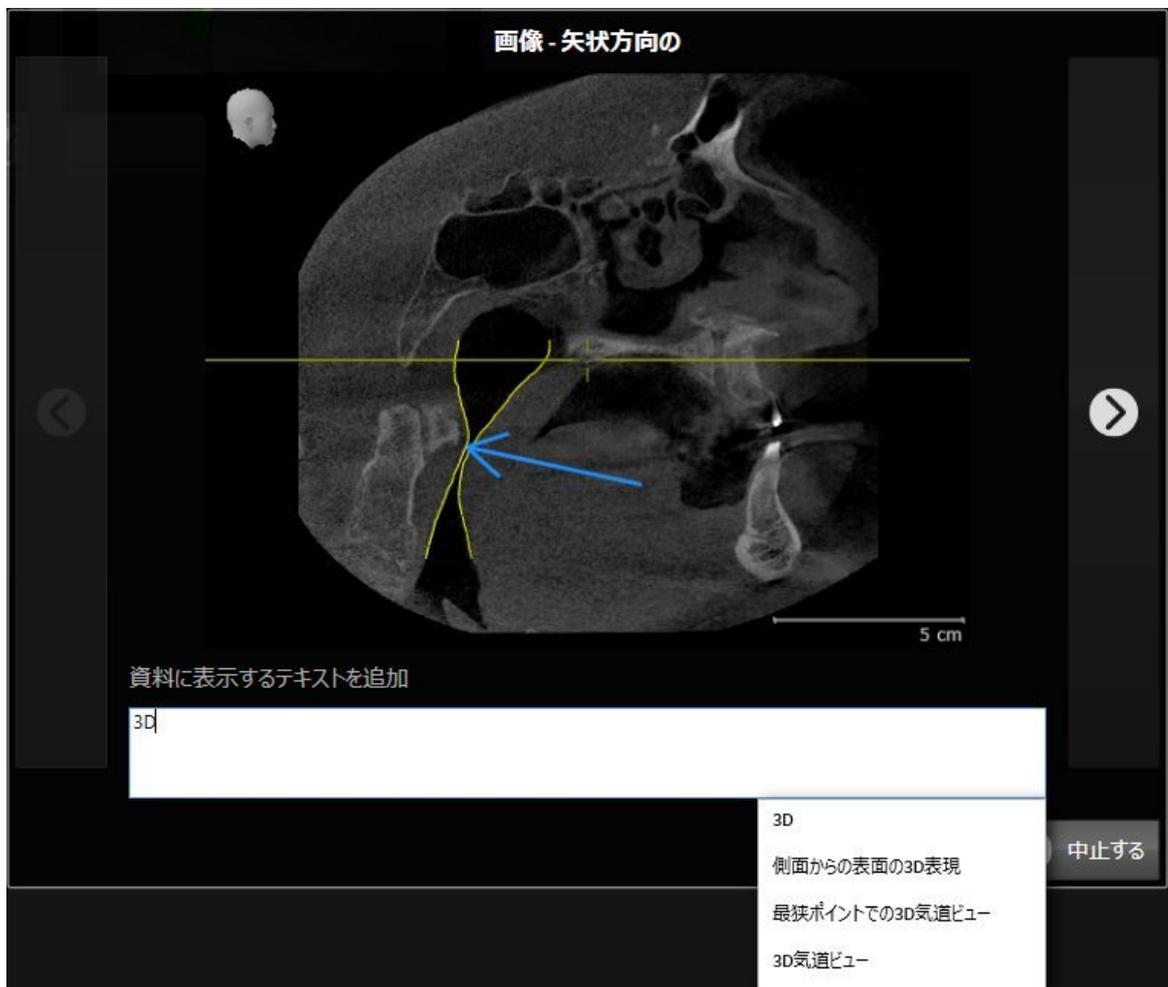
☑ ハンドアウトを作成するウィンドウはすでに開いています。



1. ハンドアウトの要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
▶ SICAT Air ハンドアウトの要素を非表示にします。



2. 要素に説明を追加したい場合は、要素の画像記述を編集するアイコンをクリックしてください。
▶ SICAT Air 要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します：



3. テキスト入力欄にテキストを入力してください。
▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Airはテキストブロックのリストを表示します。
4. 希望のテキストブロックをクリックします。
▶ SICAT Air テキストブロックをテキスト入力欄に追加します。

5. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
6. **OK**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air テキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Airは説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロフィールに保存します。
7. ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Airが**テキストブロックをリストから削除するアイコン**を表示します。**テキストブロックをリストから削除するアイコン**をクリックすると、SICAT Airがテキストブロックをユーザープロフィールから削除します。



次のアイテムボタンと**直前のアイテムボタン**をクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウィンドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報はオブジェクトツールバーを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 222]と**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 224]に記載されています。

ハンドアウトの設定を変更する

- ハンドアウトを作成するウィンドウはすでに開いています。



1. **設定を表示する**をクリックします。

2. 設定エリアが開きます：



3. 用紙サイズエリアで希望する用紙サイズを選択してください。

4. 設定を非表示にするをクリックします。

▶ 設定エリアが閉じます。

▶ SICAT Air は変更を保存します。

ハンドアウトの作成 [▶ ページ 299]に進みます。



SICAT Air は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。
この表示に関する内容は、[歯科クリニックの説明文を確認する \[▶ ページ 332\]](#)の節をご覧ください。

11.16.3 ハンドアウトの作成

ハンドアウトを作成するために使用できる操作：

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする
- ハンドアウトをPDFビューアで表示する

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。



1. PDFエクスポート のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. ファイル名欄に名前を入力し、保存をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Air はハンドアウトをPDFファイルで保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 12]の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。
1. 印刷する のボタンをクリックします。
 - ▶ 印刷する のウィンドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. 印刷するをクリックします。
 - ▶ SICAT Air はプリンターにハンドアウトを送信します。

ハンドアウトをPDFビューアで表示する



- コンピューターには標準PDFビューアがインストールされています。
- ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。
- PDFビューアで表示する のボタンをクリックします。
 - ▶ コンピューターの標準PDFビューアがハンドアウトを開きます。

11.17 データエクスポート

患者データとボリュームデータは、いずれも現時点で開いているものをエクスポートできます。このとき対象となる3D治療計画スタディは、SIDEXIS XGから開いたものになります。

注記	<p style="text-align: center;">エクスポートしたデータの再インポート</p> <p>SICAT SuiteをSIDEXIS XGのプラグインとしてインストールしたときは、SICAT Suiteから事前にエクスポートしたデータをインポートできる先は、SICAT Suiteのスタンドアロン版に限定されます。</p>
-----------	--

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル (DICOM)
- 3D撮影結果
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3D撮影結果	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像と3D治療計画スタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウィンドウを開く。この操作に関する内容は、「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 301]の節をご覧ください。
- 希望のデータをエクスポートします。この表示に関する内容は、データのエクスポート [▶ ページ 302]の節をご覧ください。

11.17.1 「データの転送」ウィンドウを開く

SICAT SuiteをSIDEXIS XGのプラグインとしてインストールした場合に、**データを共有する**ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



- ナビゲーションバーで、**データを共有する**のアイコンをクリックします。
- ▶ **データを共有する**のウィンドウが開きます。



SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

以降の操作は、**データのエクスポート** [▶ ページ 302]の節に沿って、進めてください。

11.17.2 データのエクスポート

3D治療計画スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

- ☑ **データを共有する** のウィンドウを開いておきます。この操作に関する内容は、「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 301]の節をご覧ください。



1 のチェックボックス **匿名にする**

4 欄 **目的のパスを選択してください。**

2 患者ファイルの特性

5 ボタン **データを共有する**

3 3D撮影結果のリスト

6 のチェックボックス **結果をZipファイルにする**

- 希望する場合、**データを共有する** ウィンドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。

- ▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓（患者）、名（匿名）、1月1日（誕生日が誕生年月）**に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

- 希望の患者の任意の3D撮影結果が選択されていることを確認してください。



- 検索する** のボタンをクリックします。

- ▶ **フォルダを検索する** のウィンドウが開きます。

- フォルダを検索する** ウィンドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

- ▶ **フォルダを検索する** ウィンドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパスを選択してください** 欄に転記します。

- 結果をZipファイルにする**のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。



6. **データを共有する** のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択した撮影結果をZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

11.18 注文プロセス

治療スプリントを注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Airで、治療スプリントのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。この表示に関する内容は、[治療スプリントをショッピングカートに入れる \[▶ ページ 305\]](#)の節をご覧ください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。この表示に関する内容は、[カートをチェックして、注文プロセスを完了する \[▶ ページ 318\]](#)の節をご覧ください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。この表示に関する内容は、[インターネット接続を使用した注文の終了 \[▶ ページ 319\]](#)か、または、[インターネット接続を使用しない注文の終了 \[▶ ページ 323\]](#)のいずれかの節をご覧ください。



同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。SICAT Suite終了時にショッピングカートの内容が消失するため、注文は最後まで実行する必要があります。

11.18.1 治療スプリントをショッピングカートに入れる



注意

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 304]の節をご覧ください。

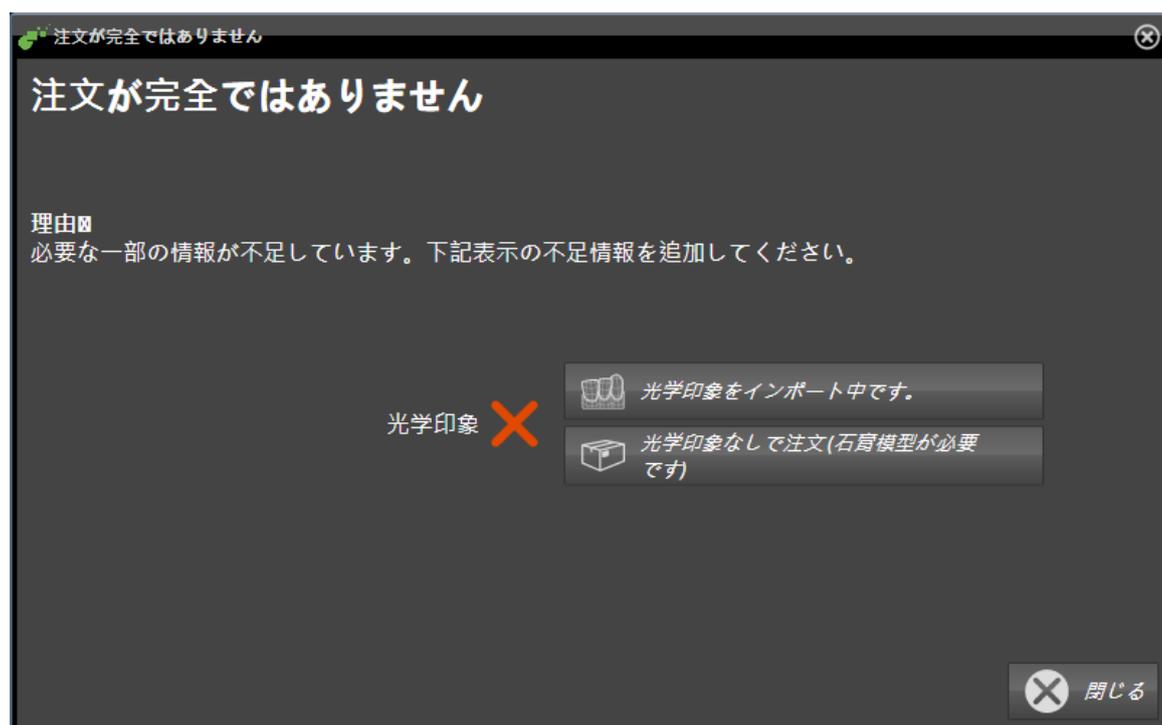
SICAT Airでの治療レール注文プロセスの最初の部分は次のステップで構成されています：

光学印象をまだ追加していない場合

- 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ワークフロー・ステップの**注文**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



1. 治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ 注文が完全ではありませんのウィンドウが開きます。



2. **光学印象をインポートし記録する**ボタンをクリックし、3D X線撮影図のための適切な光学印象をインポートします。この手順に関する内容は、[光学印象をインポートし記録する](#) [▶ ページ 310]の節をご覧ください。

- ▶ 治療スプリントを注文するのウィンドウが開きます。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。パノラマエリアを調整するボタンをクリックすることにより、ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するウィンドウを光学印象をインポートし記録するウィンドウから直接呼び出すことができます。この調整に関する内容は、パノラマエリアを調整する [▶ ページ 265]の節をご覧ください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、注文が完全ではありませんウィンドウの光学印象なしで注文する（石膏モデルが必要）ボタンをクリックし、治療スプリントを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ治療スプリントを注文するは情報この注文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

光学印象がすでに追加されている場合

- ☑ 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ☑ ワークフロー・ステップの注文は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 215]の節をご覧ください。



- 治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ 治療スプリントを注文するのウィンドウが開きます。

「治療スプリントを注文する」ウィンドウの注文を確認してください

- 治療スプリントを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリア**と**注文への詳細エリア**を確認してください。
 2. 撮影図が治療位置に作成されているかどうか**2Dビュー**を確認してください。
 3. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。
 4. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックします。
- ▶ **治療スプリントを注文する**ウィンドウが閉じます。
- ▶ 治療スプリントのための希望の計画データはSICAT Suiteショッピングカート内にあります。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象に上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象を上書きまたは削除した場合は、同じ治療スプリントを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 318]の節に沿って、操作を続けてください。

11.18.2 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Air 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Airで使用するには、次の操作が必要となります。

- 下顎骨の撮影ビューと上顎骨の撮影ビューから構成される光学印象のファイルをインポートする。このファイルには、例えば、Open GALILEOSのライセンスが付属するCERECなどの光学印象システムで採得した光学印象のデータを含めます。
- X線データへの光学印象の記録

SICAT Air は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- STLファイル（下顎骨の光学印象が含まれます）（ライセンスが必要です）。

次のツールは光学印象に使用することができます。

- [光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 310\]](#)
- [他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する \[▶ ページ 315\]](#)
- 光学印象のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 220\]](#)の節をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 222\]](#)の節をご覧ください。

11.18.3 光学印象をインポートし記録する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

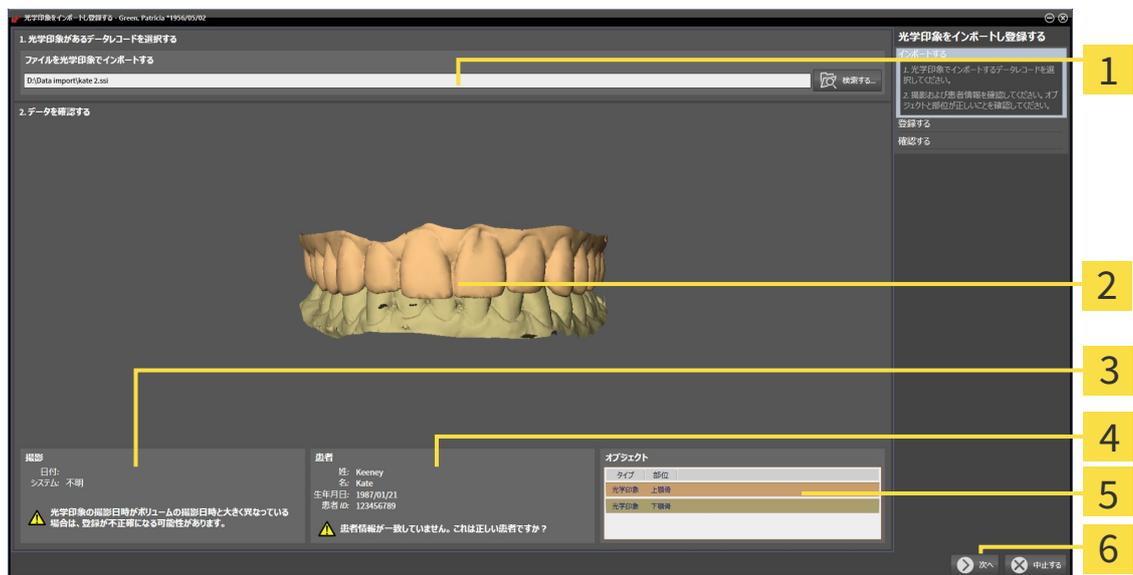
光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 309]の節をご覧ください。

光学印象のインポートおよび記録は、次のように行います。

ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。

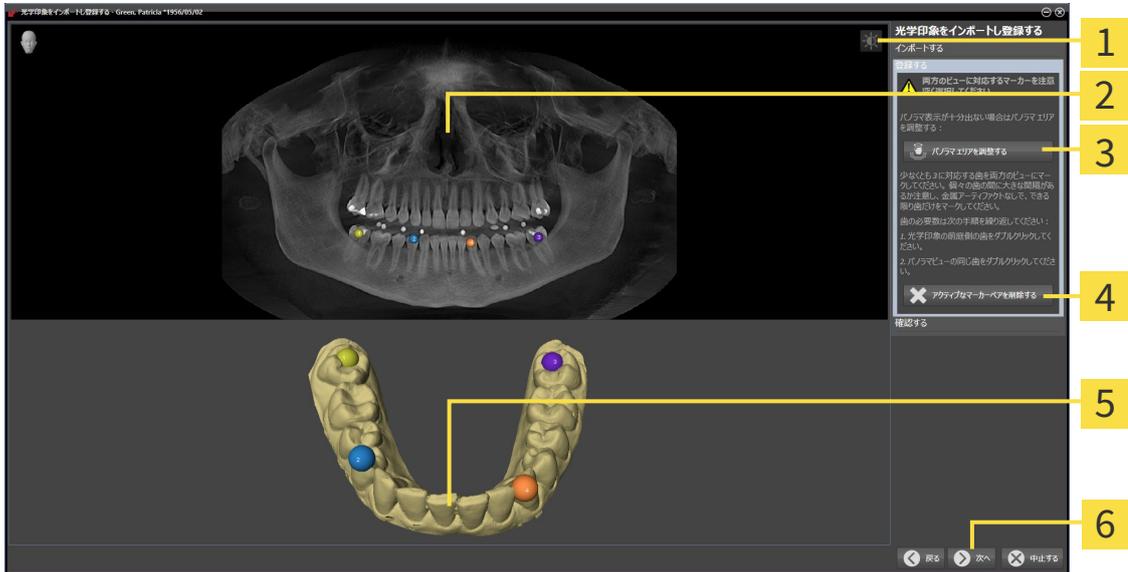


1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。
2. **検索する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。
3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。
 - ▶ **SICAT Air** 選択した光学印象を含むファイルを開きます：



- | | |
|---|--|
| <p>1 エリア ファイルを光学印象でインポートする</p> <p>2 3D光学印象のビュー</p> <p>3 撮影図情報</p> | <p>4 患者情報</p> <p>5 オブジェクトリスト</p> <p>6 ボタン 次へ</p> |
|---|--|

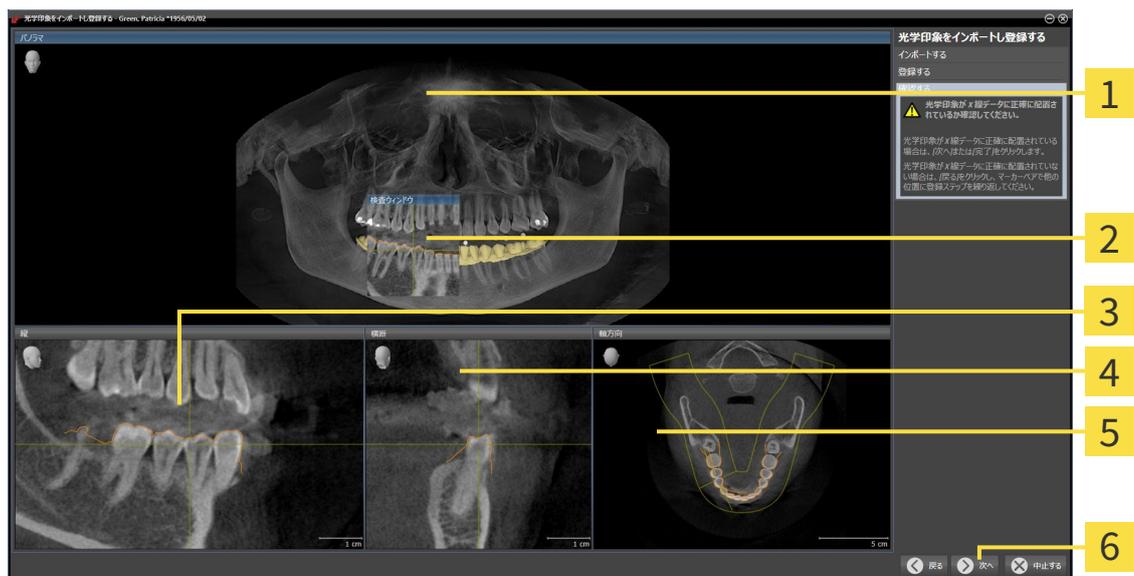
4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
5. 次へをクリックします。
 - ▶ 最初の光学印象用に登録するのステップが開きます。



- | | |
|--|--|
| <p>1 アイコン 輝度およびコントラストの調整</p> <p>2 パノラマビュー</p> <p>3 ボタン パノラマエリアを調整する</p> | <p>4 ボタン アクティブなマーカーペアを削除する</p> <p>5 3Dビュー（最初の光学印象が表示されます）</p> <p>6 ボタン 次へ</p> |
|--|--|

6. 最初の光学印象に関して、パノラマビューと3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。
 - ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、最初の光学印象の割り当てられた歯を示しています。
7. 次へをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、X線データによる最初の光学印象の記録を計算します。

▶ 最初の光学印象用に**確認する**のステップが開きます。



1 パノラマビュー

4 横断ビュー

2 検査ウィンドウ

5 軸方向ビュー

3 縦ビュー

6 ボタン次へ

8. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

9. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで **登録する** の手順を繰り返します。

10. 最初の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**次へ** ボタンをクリックします。

▶ 2番目の光学印象用に **登録する** のステップが開きます。

11. 2番目の光学印象に関して、**パノラマビュー**と**3Dビュー**の光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、できるだけ金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。

▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、2番目の光学印象の割り当てられた歯を示しています。

12. **次へ** をクリックします。

▶ SICAT Air は、X線データによる2番目の光学印象の記録を計算します。

▶ 2番目の光学印象用に **確認する** のステップが開きます。

13. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

14. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカのペアで **登録する** の手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。
 15. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了** ボタンをクリックします。
- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
 - ▶ SICAT Air 選択した光学印象を **オブジェクトブラウザ** に追加する
 - ▶ SICAT Air に記録されている光学印象が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。



- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 240]の節をご覧ください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する* [▶ ページ 265]の節をご覧ください。
- **登録する** で特定のマーカペアを削除する場合、ペアのマーカを選択し、**アクティブなマーカペアを削除する**ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

11.18.4 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

光学印象に関する一般的な情報は、[光学印象](#) [▶ ページ 309]の節をご覧ください。

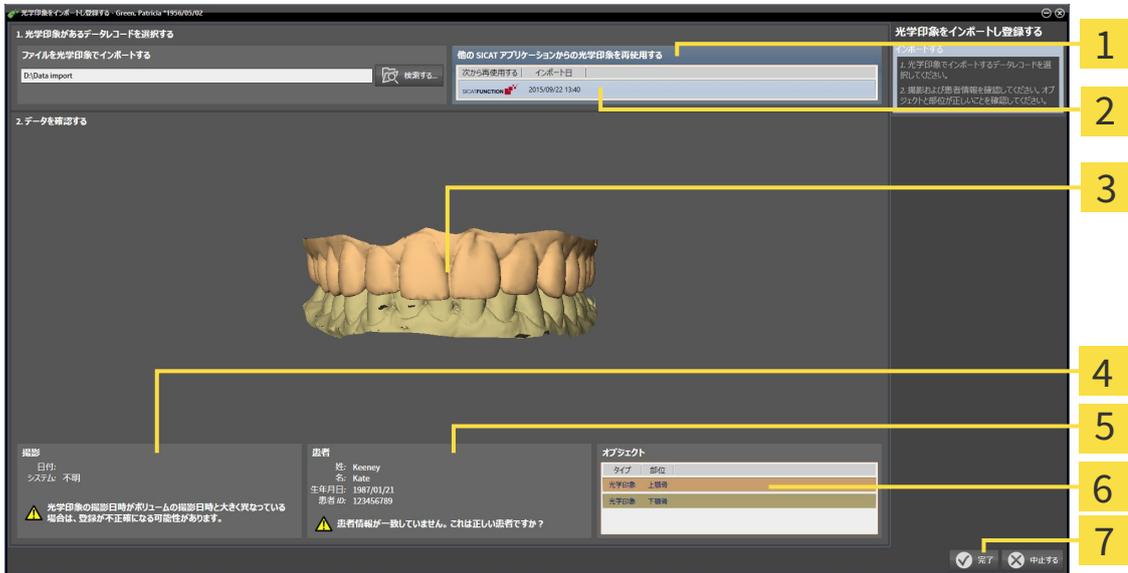
他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

- ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。
- 開いている撮影結果のために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Airでまだ使用していません。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

- ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。
- 2. **他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する**エリアで希望の光学印象のある行をクリックします。
- 3. SICAT Air に選択した光学印象が表示されます。



- 1** エリア **他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する**
- 2** **他のSICATアプリケーションからの光学印象のリスト**
- 3** **3D光学印象のビュー**
- 4** **撮影図情報**
- 5** **患者情報**
- 6** **オブジェクトリスト**
- 7** **ボタン 完了**

- 4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
- 5. **完了** のボタンをクリックします。

- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
- ▶ SICAT Air 選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加します
- ▶ SICAT Air に選択した光学印象が表示されます。

他のSICATアプリケーションからの光学印象の引き継ぎを中断する場合は、**中止する**をクリックします。

11.18.5 カートを開く



カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、治療スプリントを1個以上、入れておきます。



■ ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートボタンをクリックします。

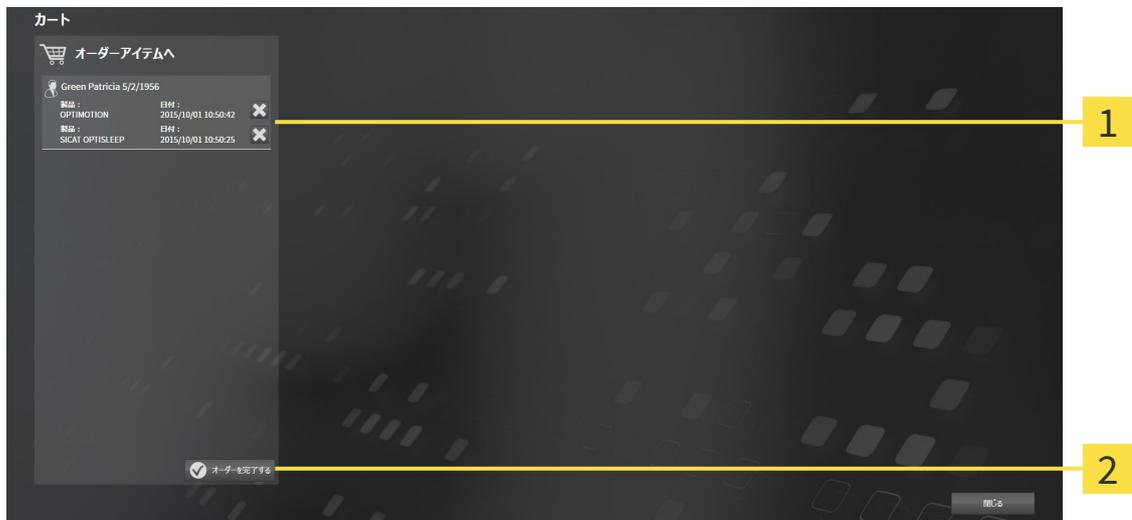
▶ カートのウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

■ カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 318]

11.18.6 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

- ☑ カートのウィンドウを開いておきます。この操作に関する内容は、[カートを開く \[▶ ページ 317\]](#)の節をご覧ください。



1 のリスト **オーダーアイテムへ**

2 ボタン **オーダーを完了する**

1. カートウィンドウで、希望の治療スプリントが含まれてるか確認します。
2. **オーダーを完了する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- [インターネット接続を使用した注文の終了 \[▶ ページ 319\]](#)
- [インターネット接続を使用しない注文の終了 \[▶ ページ 323\]](#)

11.18.7 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている治療スプリントおよび価格が患者毎にグループ分けして表示されます。
 2. *SICATポータルでの注文手順* [▶ ページ 320]の指示に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。



同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。カートに入れた注文アイテムは、SICAT Airを閉じて終了させるときに失われますので、アイテムを追加した後は、注文処理を完了させておくのがよいでしょう。



SIDEXIS XGを閉じて、再び開くと、SICAT Suiteでは、実際のステータスとは無関係に、注文内容のアップロードが完了した旨の表示が出力されます。実際のステータスは、SICAT WebConnectorでご覧ください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 321]の節をご覧ください。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

11.18.8 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の治療スプリントが含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全治療スプリントを注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び治療スプリントの構成にフルアクセスすることができます。

11.18.9 SICAT WEBCONNECTOR



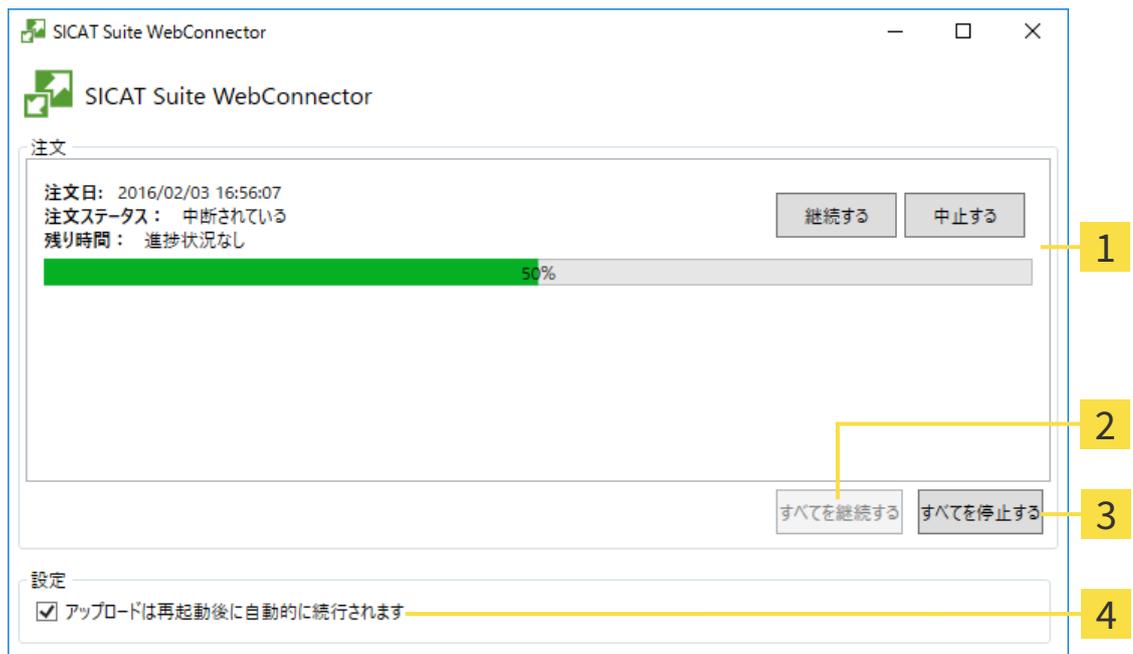
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Air 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われなことがあるかもしれませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、SICAT Suite WebConnectorアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Suite WebConnector のウィンドウが開きます。



1 のリスト 注文

2 ボタン すべてを再開する

3 ボタン すべてを停止する

4 のチェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

1. **すべて停止する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

■ **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

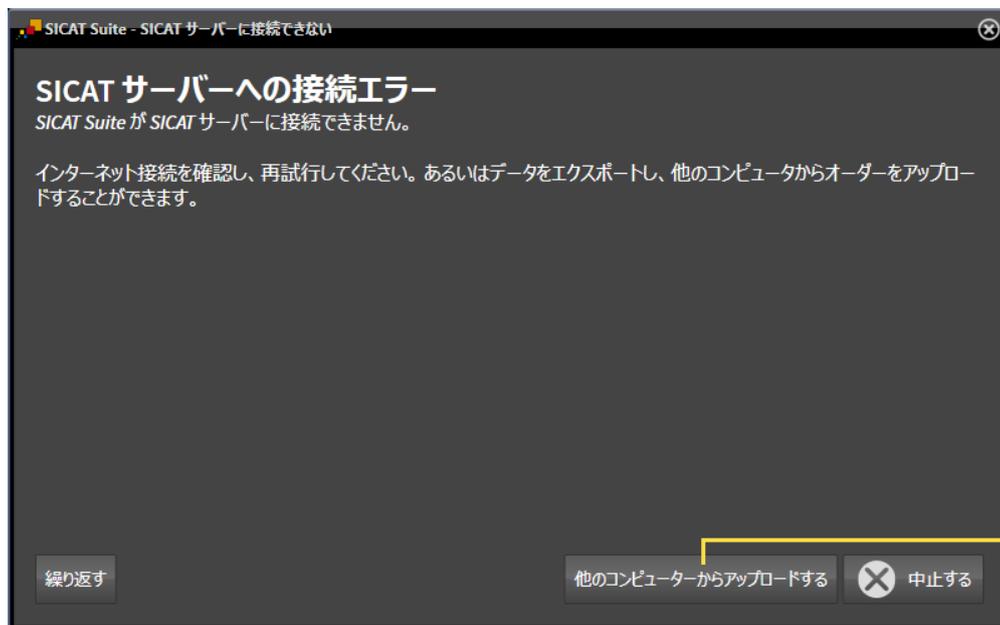
▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

11.18.1 インターネット接続を使用しない注文の終了

- 0 SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、転送はXMLファイルとZipアーカイブで行い、インターネットに接続された別のコンピューターでウェブブラウザを使ってアップロードすることができます。この場合、SICAT Suiteは一度に全ての治療スプリントをショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。その後、SICATポータルでは、患者毎に一つの治療スプリントをアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

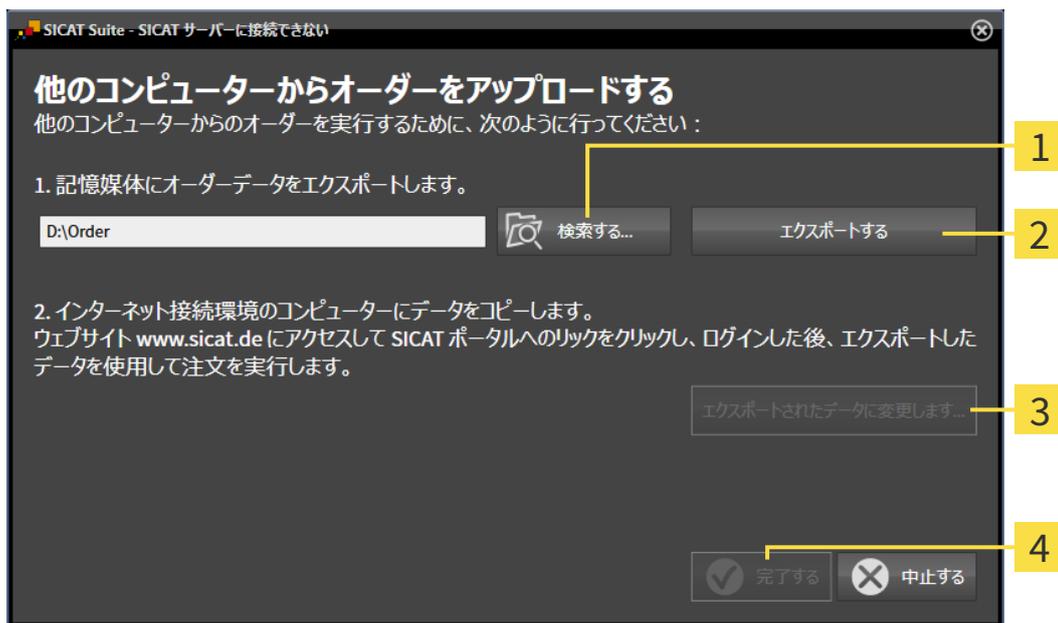
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。
- ウィンドウに表示されるメッセージ：**SICAT サーバーへの接続エラー**



1 ボタン 他のコンピューターからアップロードする

1. 他のコンピューターからアップロードする のボタンをクリックします。

▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする** のウィンドウが開きます。



1 ボタン **検索する**

3 ボタン **エクスポートされたデータに変更します**

2 ボタン **エクスポートする**

4 ボタン **完了する**

2. **検索する** のボタンをクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。

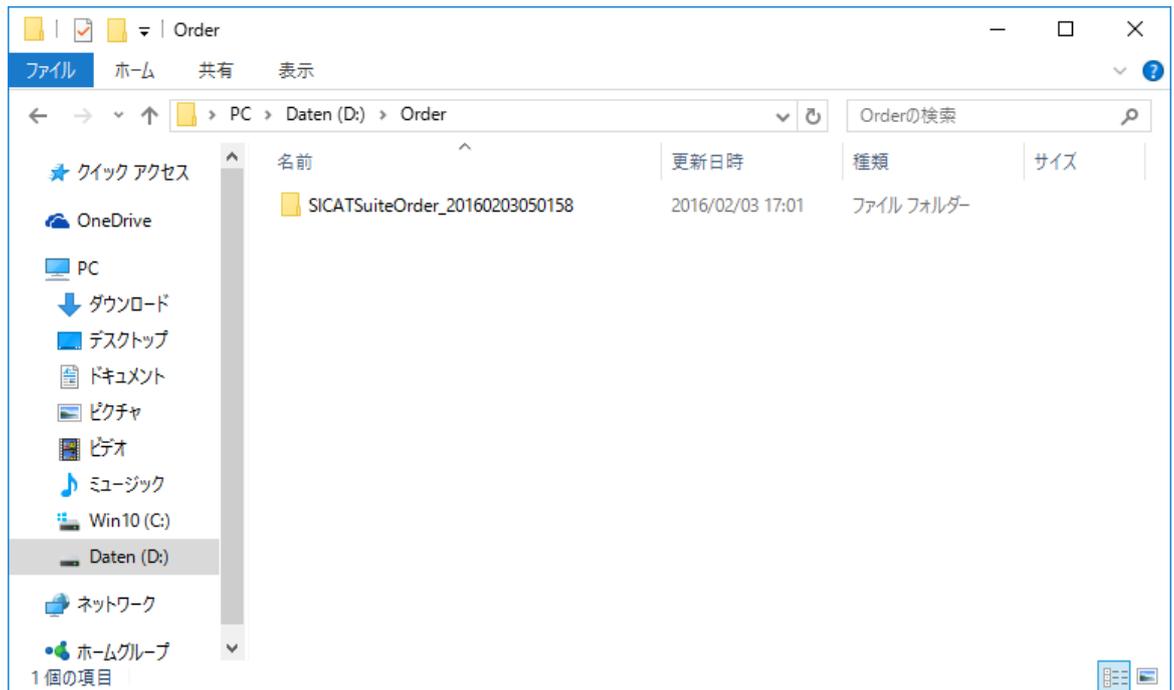
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します** のボタンをクリックします。

- ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピュータからオーダーをアップロードするウィンドウの完了するをクリックします。**
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピュータからオーダーをアップロードするウィンドウを閉じます。**
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての治療スプリントをショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピュータ上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピュータで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の治療スプリントおよび価格が表示されます。

13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 320]の指示に従ってください。
 14. 治療スプリントの治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
 15. インターネットに接続したコンピューターで適切なスプリントデータを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が **SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
- ▶ 注文を実行した場合、ブラウザはスプリントデータが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

11.19 設定



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Airで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

設定ウィンドウで一般設定を変更または閲覧することができます。設定アイコンをクリックすると、設定ウィンドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** – この表示に関する内容は、一般的な設定内容を確認する、変更する [▶ ページ 328]の節をご覧ください。
- **ライセンス** – この表示に関する内容は、ライセンス [▶ ページ 205]の節をご覧ください。
- **プラクティス** - 施設のロゴおよび情報テキストを閲覧します（例えば、プリントアウトして使用するため）。この表示に関する内容は、*歯科クリニックの説明文を確認する* [▶ ページ 332]の節をご覧ください。
- **可視化** – ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更* [▶ ページ 333]の節をご覧ください。
- **SICAT Air** – SICAT Airで、アプリケーション固有の設定内容を変更します。この変更に関する内容は、*SICAT Air設定の変更* [▶ ページ 335]の節をご覧ください。

11.19.1 一般的な設定内容を確認する、変更する



SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXISと結合して、SIDEXISの設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用された設定内容のデータは、SICAT Airで確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXISの各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。



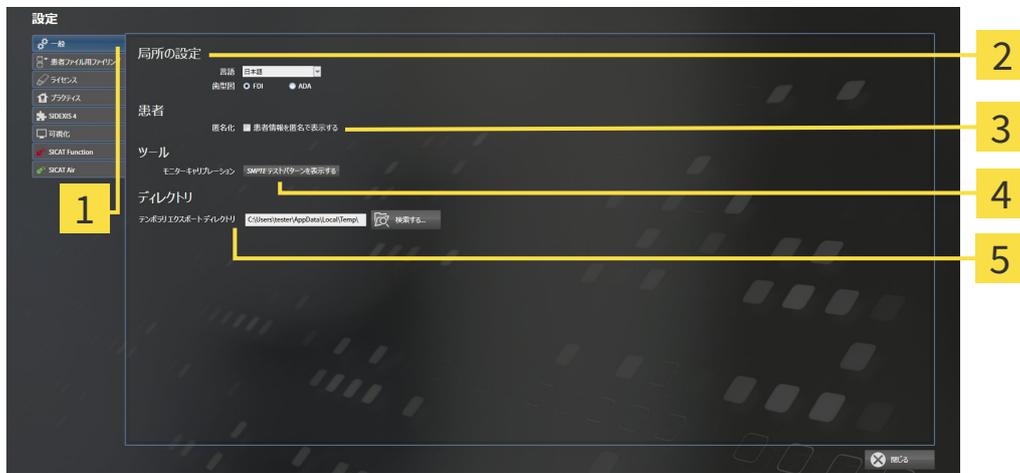
1. ナビゲーションバーで、設定のアイコンをクリックします。

▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 一般タブをクリックします。

▶ 一般のウィンドウが開きます。



1 タブ 一般

2 エリア 局所の設定

3 エリア 患者

4 エリア ツール

5 エリア ディレクトリ

SICAT Air では、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- 局所の設定エリアでは、言語リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- 局所の設定エリアでは、歯式で現在の歯型図を閲覧できます。
- 患者エリアでは、患者情報を匿名で表示するのチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Airでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- ディレクトリエリアでは、テンポラリー エクスポート ディレクトリ欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。

一般設定の閲覧の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- ツール、モニターキャリブレーションでSMPTEテストパターンを表示するボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 330]をご覧ください。



SICAT Airがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Airでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。



SIDEXIS XGで表示言語を変更したら、SICAT Suiteを再起動して、変更内容をアクティブにしてください。



対応している歯型図はFDIとADAです。

11.19.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション



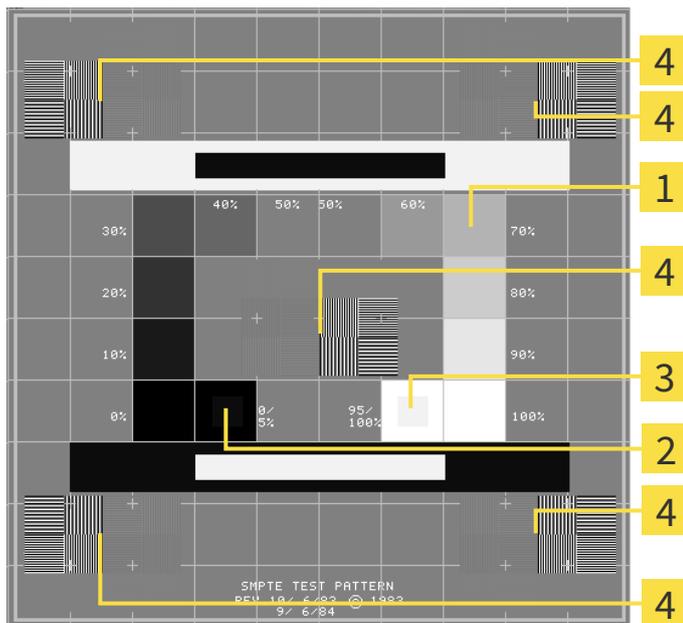
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- ☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

11.19.3 歯科クリニックの説明文を確認する

SIDEKIS XGプラグインとして、SICAT Suiteは施設ロゴおよび情報テキストをSIDEKIS XGから引き継ぎます。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これらの設定内容は、SIDEKIS XGからご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。



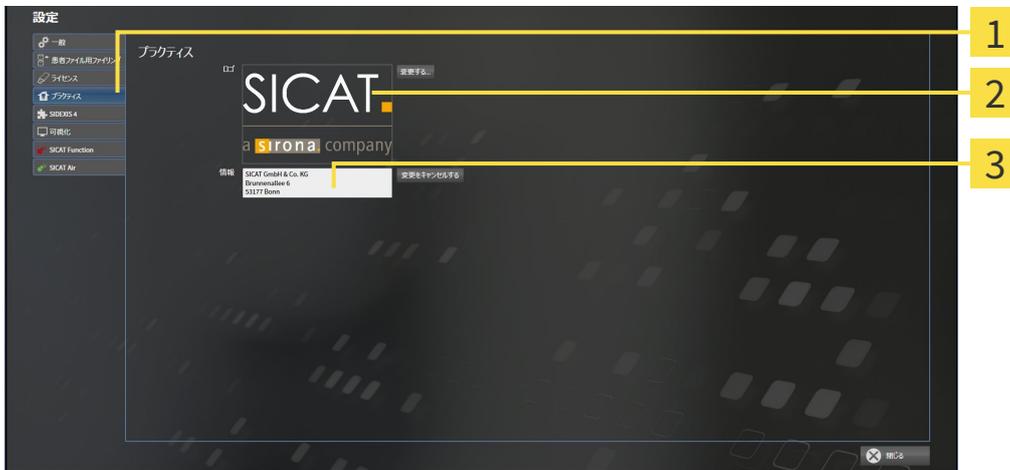
1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **プラクティスタブ**をクリックします。

▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 タブ **プラクティス**

2 エリア **ロゴ**

3 エリア **情報**

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

11.19.4 可視化設定の変更



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. 設定のアイコンをクリックします。
 - ▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 可視化タブをクリックします。
 - ▶ 可視化のウィンドウが開きます。



- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 タブ 可視化 2 エリア 画質 3 エリア 他のビューの更新 | <ol style="list-style-type: none"> 4 エリア レンダリングの最適化 5 エリア 線の太さ 6 エリア 目線 |
|--|--|

3. 任意の可視化設定を選択します。

▶ SICAT Air 変更後の設定内容が適用されます。

▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **レンダリングの最適化をアクティブにします。** - この設定は、コンピューターに安定性の不具合が確認された場合のみ無効にします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

11.19.5 SICAT AIR設定の変更

SICAT Air設定はSICAT Airの**気道**オブジェクトのグラデーションを決定します。

SICAT Air設定を変更するには、次の手順で行います。



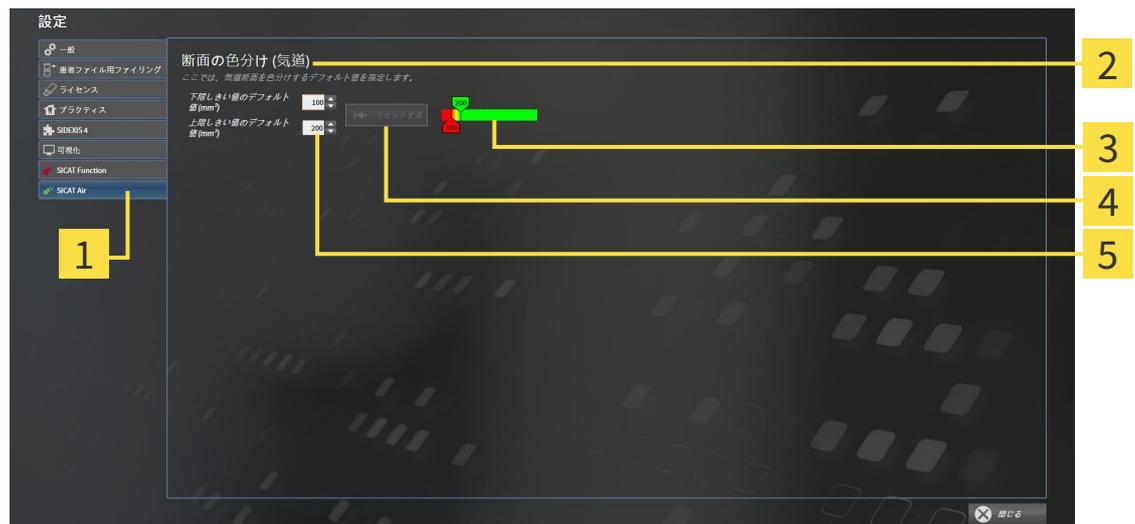
1. **設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **SICAT Air**タブをクリックします。

▶ **SICAT Air**のウィンドウが開きます。



1 タブ SICAT Air

4 ボタンリセットする

2 エリア 切断面の色分け (気道)

5 欄下限の標準値 (mm²)と欄 上限の標準値 (mm²)

3 色分け スライダー付

3. 希望するグラデーションの標準値を選択します。

▶ SICAT Air は標準値をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (3D X線撮影図を初めて開いて気道をセグメントした場合)。

▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (気道オブジェクトの値をリセットした場合)。

設定：

- 下限の標準値 (mm²) は、色分けから完全な赤色でスタートする断面積の低値をmm²で設定します。
- 上限の標準値 (mm²) は、色分けから完全な緑色でスタートする断面積の高値をmm²で設定します。

値を下限の標準値 (mm²)と上限の標準値 (mm²)欄で変更した場合、スライダーはその影響を色分けに表示します。スライダーを色分けに移動する場合は、欄の値をそれに応じて調整してください。

下限の標準値 (mm²)と上限の標準値 (mm²)の設定をSICAT Airの標準設定リセットするには、リセットするボタンをクリックします。

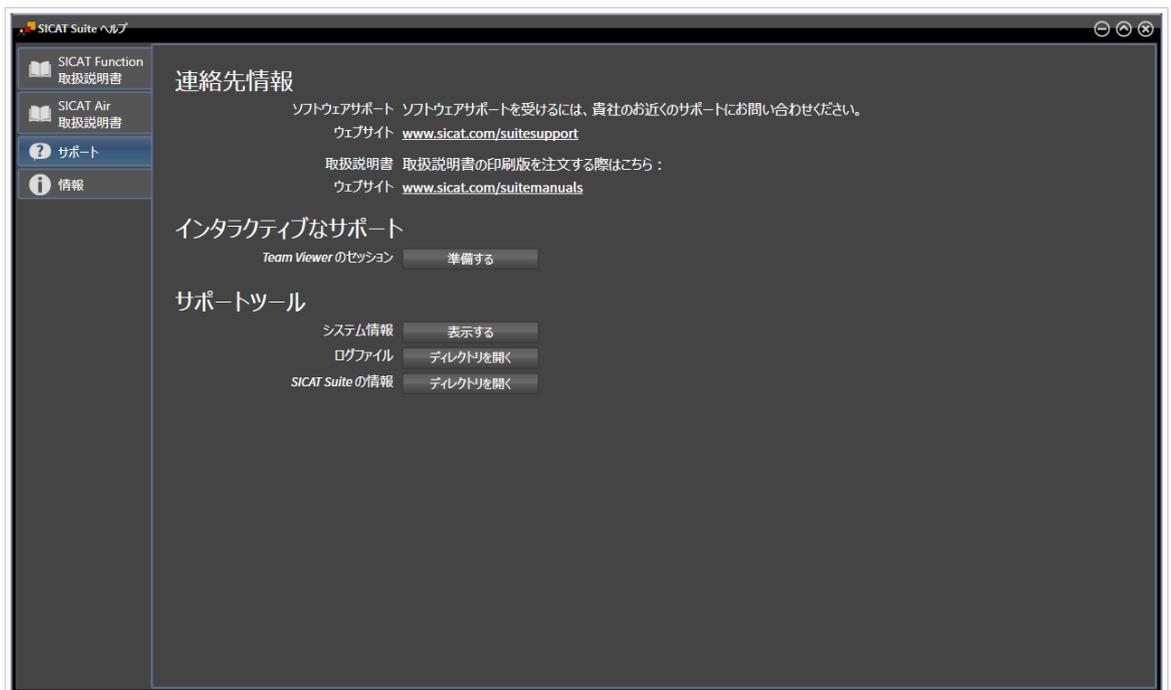
11.20 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- オンラインヘルプ
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 338]



11.20.1 サポート態勢のページを開く



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

SICAT Suiteサポートウィンドウは次のタブで構成されます。



- **取扱説明書** - この表示に関する内容は、**オンラインヘルプを開く** [▶ ページ 204]の節をご覧ください。



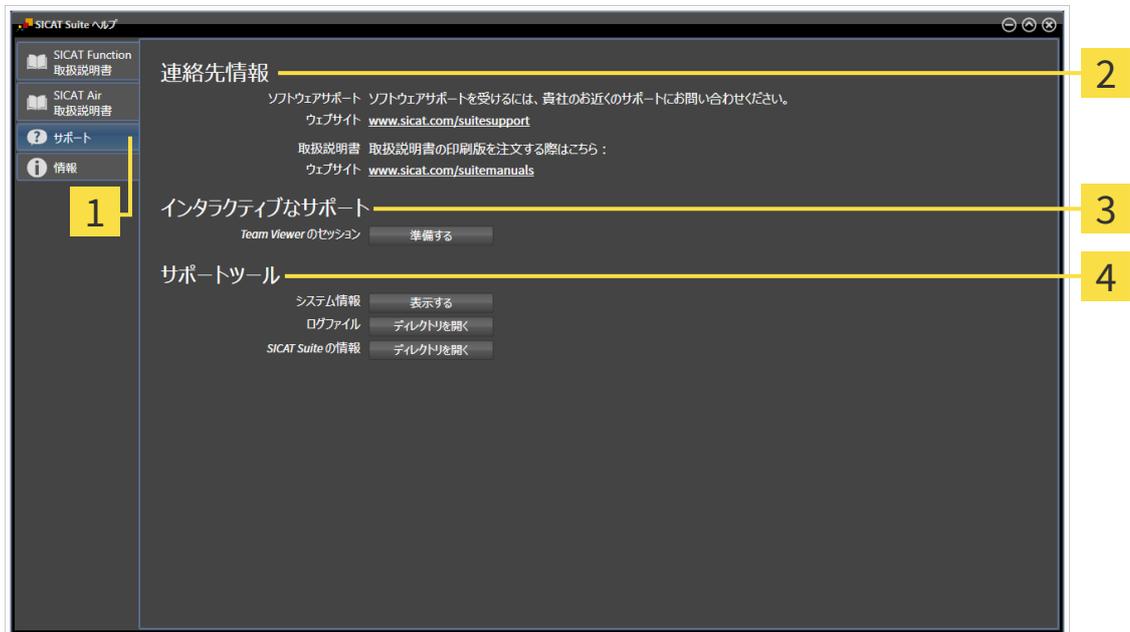
- **サポート** - この表示に関する内容は、**連絡先情報およびサポートツール** [▶ ページ 339]の節をご覧ください。



- **インフォメーション** - この表示に関する内容は、**インフォメーション** [▶ ページ 340]の節をご覧ください。

11.20.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ サポート

3 エリア インタラクティブなサポート

2 エリア 連絡先情報

4 エリア サポートツール

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

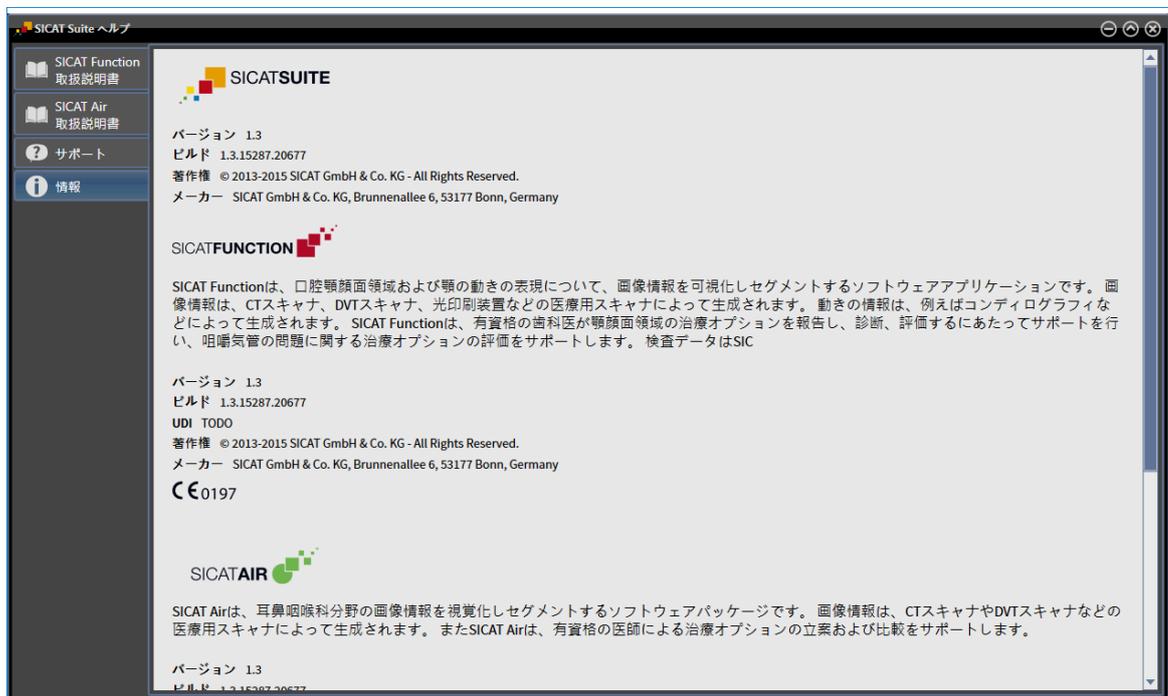
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Airでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Air では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。

11.20.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウに、SICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



11.21 データを書き込み禁止で開く

SIDEXIS XGのプラグインとしてインストールしたSICAT Airでは、データのうち、確認は可能で、変更を加えたり保存したりが不可能なものは、ライセンスのステータスと、現時点の3D X線撮影画像を利用するかどうかに応じて異なります。

アクティブなSICAT AIRライセンス	SIDEXIS XGのワークステーションのうち、3D X線撮影画像を使用しているものが別にある	変更の可否
無	無関係	無
有	有	無
有	無	有



SIDEXIS XGのマルチワークステーションサポートに関する詳細な情報については、SIDEXIS XG取扱説明書に記載されています。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Airのライセンスでアクティベーションを完了していないか、または、3D X線撮影画像を使用している、SIDEXIS XGのワークステーションが別にある
1. SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSirona SIDEXIS XGから起動します。この起動に関する内容は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 199]の節をご覧ください。
 - ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS XG検査からビューアモードで開きます。
 - ▶ 別のSIDEXIS XGワークステーションが現在の3D X線撮影画像を使用すると、ウィンドウが開き、というメッセージが表示されます：**患者ファイルは他のユーザーによって編集されているため、読み取り専用モードのみで開くことができます。**
 2. メッセージウインドウの**読み取りモードで開く**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS XG検査からビューアモードで開きます。

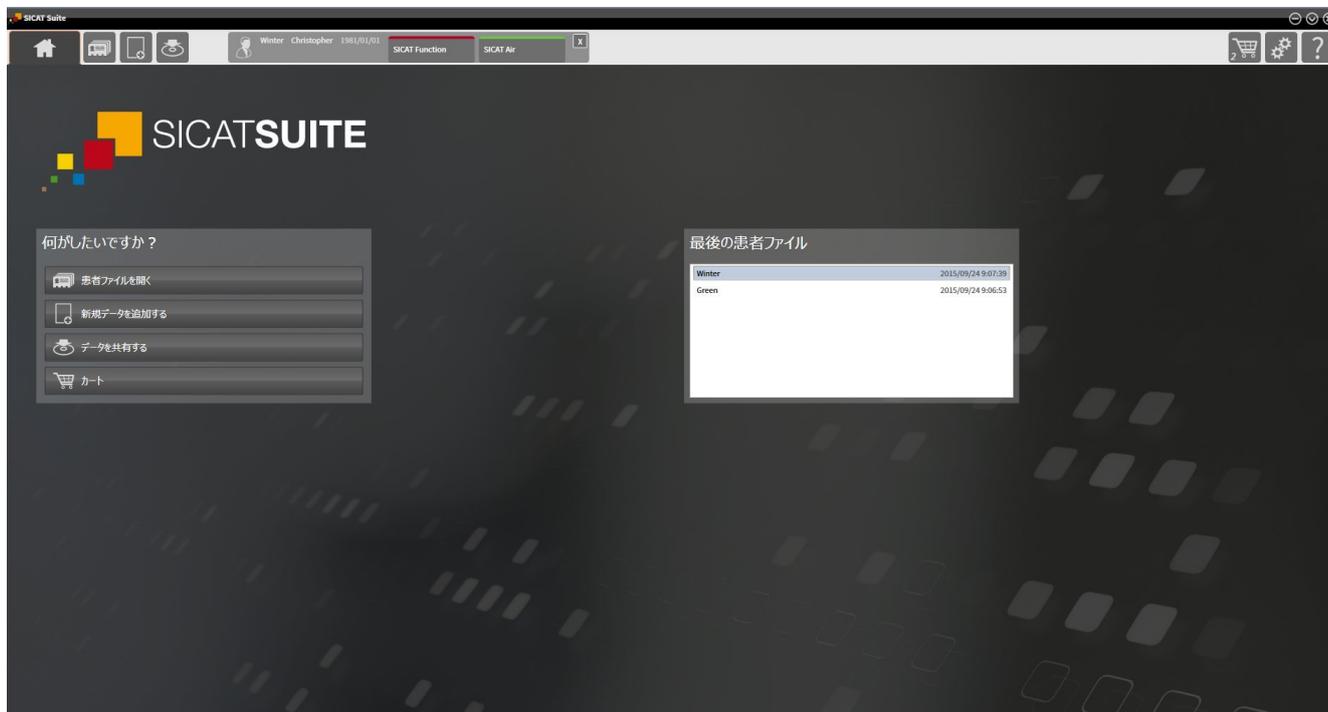
11.22 SICAT SUITEを閉じる



- SICAT Airの右上の隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ すべてのSICATアプリケーションが閉じます。
- ▶ SIDEXISは、すべてのSICATアプリケーションの変更された計画プロジェクトを保存します。これらはフルバージョンで作動します。

12 スタンドアロン版

SICAT Suiteのスタンドアロン版は、他のソフトウェアとは無関係に実行されます。したがって、患者データの管理や編集、設定内容の変更は、いずれも全面的にSICAT Suiteか、または、SICATの各種アプリケーションで行ってください。



12.1 スタンドアロン版の特徴

患者ファイル、ボリュームデータ

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンには、ボリュームデータおよび患者の固有の中央管理が含まれます。SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンの患者ファイルのコンセプトは、標準的な患者ファイルに例えることができます。

- 患者ファイルは、書類整理庫に例えることのできる患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイルをアクティブにすることは、患者ファイルを書類保管庫から取り出してテーブルに置くことに例えることができます。
- 患者ファイルからの患者データをSICATアプリケーションで開くことは、患者ファイルから書類を取り出すことに例えることができます。
- 3D X線撮影画像を患者ファイルに追加することは、標準的な患者ファイルの2D X線撮影画像を追加することに例えることができます。
- 3D X線撮影画像は、複数のプロジェクトの基礎となり得ます。プロジェクトは患者ファイルの一部でもあります。
- 付属のプロジェクトを含む3D X線撮影画像は撮影結果と呼ばれます。

患者ファイルフォルダーの管理に関する内容は、[患者ファイリング](#) [▶ ページ 367]の節をご覧ください。患者ファイルの管理に関する内容は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 387]の節をご覧ください。

設定

スタンドアロン版では、SICAT Suite自体が設定内容のすべてを管理します。各種設定に関する内容は、[設定](#) [▶ ページ 531]の節をご覧ください。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

3D治療計画スタディで、書込権限のあるものかないものを開く

SICAT Airの3D治療計画スタディに対して変更を行い、その変更内容を保存するときは、以下の各条件を満たしておいてください。

- SICAT Airのライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。
- 患者ファイリングを開いておくこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、SICAT Airの3D治療計画スタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。ただし、3D X線撮影画像とSICAT Airの3D治療計画スタディの内容を確認することは、可能です。

以下の表には、いずれかのアプリケーションについてライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	アプリケーションでライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いてある	アプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了であるが、患者ファイルフォルダーが開いてある
サポート領域	有	有
設定領域	有	有
データエクスポート	有	無
患者ファイリングの管理	有	無
患者ファイルの管理	有	無
データインポート	有	無

以下の表には、SICAT Airについてライセンスのアクティベーションを完了し、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	SICAT AIRについて、ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いてある	SICAT AIRアプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了であるが、患者ファイルフォルダーが開いてある
SICAT Airの3D治療計画スタディに変更を加える	有	無
データをビューアモードで開く	無	有

条件によっては、SICAT Airのライセンスのアクティベーションを完了していても、SICAT Airの3D治療計画スタディに変更を加えられない場合があります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

スタンドアロンバージョンでは、ライセンスステータスは **SICAT Suite**ホームウインドウで使用できる機能にも影響します。この表示に関する内容は、「*SICAT Suite*ホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 354]の節をご覧ください。

詳細な内容は、**データを書き込み禁止で開く** [▶ ページ 545]の節をご覧ください。

12.2 SICAT AIRの標準ワークフロー



注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



注意

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。



SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール、起動

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。

SICAT Suiteを起動手順は、*SICAT Suite* をスタートする [▶ ページ 350]の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

1. SICAT Airのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。ライセンスのアクティベーションに関する内容は、*ライセンス* [▶ ページ 358]の節をご覧ください。
2. データを保存できるため、少なくとも一つの患者ファイリングを登録し、これをアクティブにします。この表示に関する内容は、*患者ファイリング* [▶ ページ 367]の節をご覧ください。



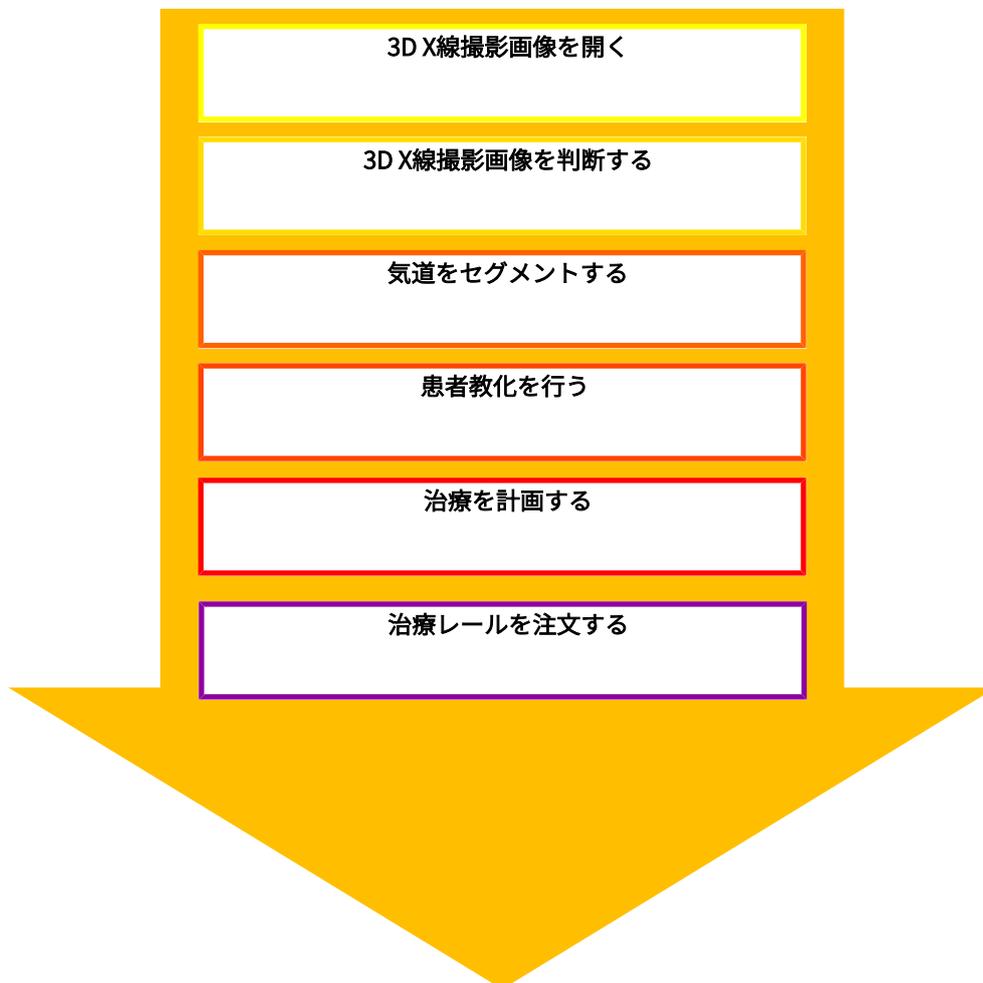
SICAT Airのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビューアーモードで個別に開いてください。ビューアーモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く \[▶ ページ 545\]](#)の節をご覧ください。



SICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、ネットワーク構成がこれを可能にする場合、患者ファイリングおよび含まれている患者ファイルをネットワークファイルシステムに保存することができます。通常、ネットワークファイルシステムはそのためにNFSプロトコルまたはSMBプロトコルに対応している必要があります。この表示に関する内容は、[患者ファイリング \[▶ ページ 367\]](#)の節をご覧ください。

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。各種設定に関する内容は、[設定 \[▶ ページ 531\]](#)の節をご覧ください。

SICAT AIRの作業手順



データセットを開く

1. 3D X線撮影画像を患者ファイリングにインポートします。この表示に関する内容は、[データインポート](#) [▶ ページ 376]の節をご覧ください。
2. 患者ファイルを検索し、インポートしたデータを管理する手順は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 387]の節に記載の手順に従ってください。
3. 患者ファイルのデータで作業するには、SICAT Airで、患者ファイルを開きます。患者ファイルを利用する作業に関する内容は、[患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く](#) [▶ ページ 395]の節をご覧ください。

SICAT AIRのデータベースを編集する

1. 要件に応じて3D X線撮影図を調整してください。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 455]の節をご覧ください。
2. 3D X線撮影図を判断して、上部気道に関しての最初の一覧を整えてください。
3. 気道をセグメントします。これに関する情報は[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 469]に記載されています。
4. **気道**ワークスペースの気道を判断してください。これに関する情報は[気道分析](#) [▶ ページ 480]に記載されています。
5. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は[患者教化](#) [▶ ページ 494]に記載されています。
6. 従来の治療計画を実行してください。
7. 突出した治療位置の顎の患者の3D X線撮影図を作成してください。撮影図をインポートし、それをSICAT Airで開いてください。
8. 気道比較との治療スプリントの効果を確認してください。特に気道の変更と顎関節の影響に考慮してください。
9. 患者対応の治療スプリントを注文してください。この注文に関する内容は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 508]の節をご覧ください。
10. セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。このエクスポートに関する内容は、[データエクスポート](#) [▶ ページ 504]の節をご覧ください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、アクティブな患者ファイルを閉じて、これを保存してください。この終了や中断に関する内容は、*SICAT Suite*を閉じる [▶ ページ 548]の節をご覧ください。

SICAT Air 気道オブジェクト、気道の比較、ハンドアウト、セグメンテーションおよび光学印象を3D X線撮影画像をベースにした撮影結果に保存します。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。この表示に関する内容は、オンラインヘルプの節をご覧ください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。このサポートに関する内容は、サポート [▶ ページ 541]の節をご覧ください。

12.3 SICAT SUITE をスタートする

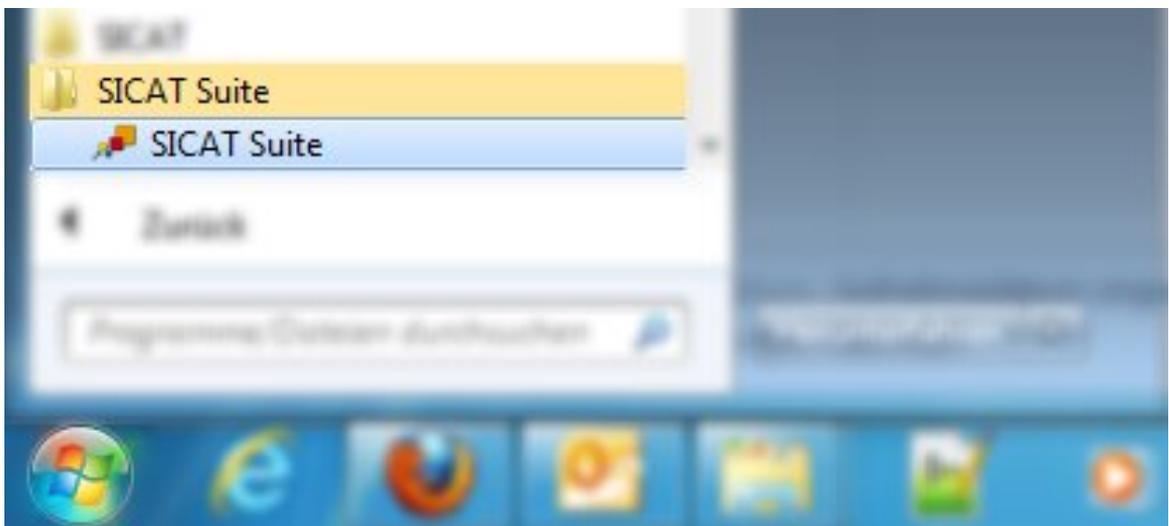
SICAT Suiteを起動するには、次の手順で行います。

- ☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。このインストールに関する内容は、*SICAT Suite*のインストール [▶ ページ 21]の節をご覧ください。



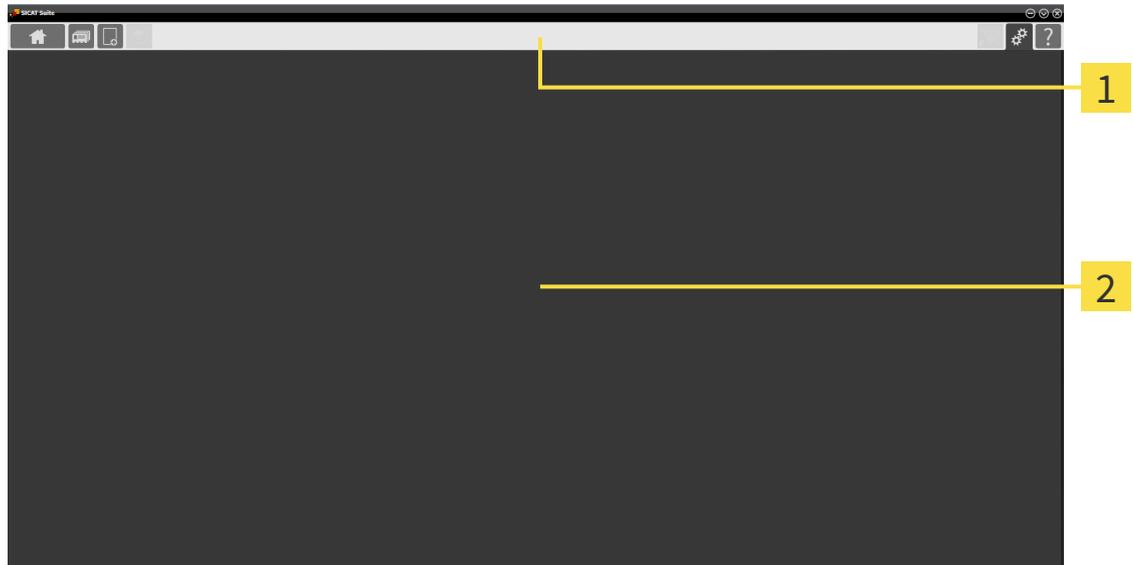
- インストール時にデスクトップアイコンを作成した場合、Windowsのデスクトップにあるアイコン**SICAT Suite**をクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがスタートし、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウが開きます。この表示に関する内容は、「*SICAT Suite*ホーム」ウィンドウの概要 [▶ ページ 354]の節をご覧ください。

Windowsボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによってSICAT Suiteをスタートすることもできます。



12.4 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンのインターフェースは以下のパートで構成されています。



1 ナビゲーションバー

2 アプリケーション領域

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあつて、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは3つのエリアで構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。SICAT Suiteでは、一つの患者ファイルがアクティブになっている場合のみ、そのエリアが中央に表示されます。

左側のエリアには次のタブがあります。



- **SICAT Suiteホーム** – この表示に関する内容は、「*SICAT Suite*ホーム」ウインドウの概要 [▶ ページ 354]の節をご覧ください。



- **患者ファイル** – この表示に関する内容は、*患者ファイル* [▶ ページ 387]の節をご覧ください。



- **新規データを追加する** – この表示に関する内容は、*データインポート* [▶ ページ 376]の節をご覧ください。



- **データを共有する** – この表示に関する内容は、*データエクスポート* [▶ ページ 504]の節をご覧ください。

中央のエリアには次のタブがあります。



- **有効な患者ファイル** – この表示に関する内容は、*アクティブな患者ファイルを使用した作業* [▶ ページ 392]の節をご覧ください。

- **アプリケーション** – この切替に関する内容は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える* [▶ ページ 356]の節をご覧ください。



右側のエリアには次のタブがあります。



- カート – この表示に関する内容は、注文プロセス [▶ ページ 508]の節をご覧ください。



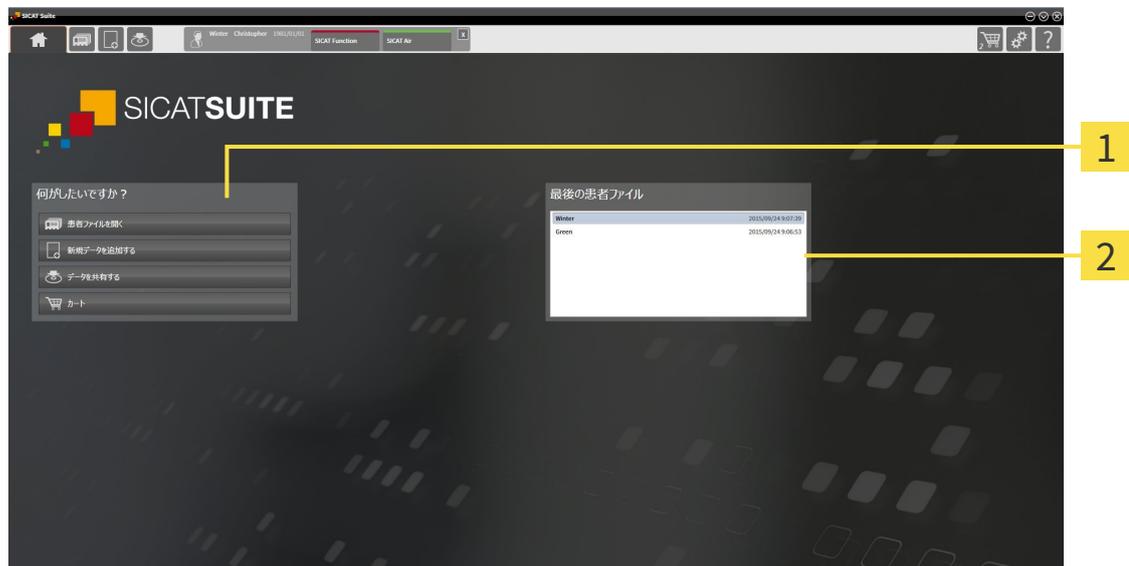
- 設定 – 各種設定に関する内容は、設定 [▶ ページ 531]の節をご覧ください。



- サポート – この表示に関する内容は、サポート [▶ ページ 541]の節をご覧ください。

12.4.1 「SICAT SUITEホーム」 ウィンドウの概要

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンをスタートすると、SICAT Suiteホームウィンドウが表示されます。



1 エリア 何がしたいですか？

2 エリア 最後の患者ファイル



SICAT Suiteホームアイコンをクリックすると、いつでもこのウィンドウに戻ることができます。SICAT Suiteホームウィンドウの内容は、以下のパラメーターによって異なります。

- ライセンスのアクティベーション状態
- 患者ファイルフォルダの状態

ライセンスがアクティブになっていない場合、SICAT Suiteはビューアモードで開きます。このモードでは、患者ファイリングへの接続、患者ファイリングの作成ができず、患者データをインポート、編集、保存する機能が使用できません。そのため、**SICAT Suiteホームボタンと新規データを見るボタンしかライセンスを有効にするウィンドウに表示されません。**

ライセンスはアクティブになっているが、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっていない場合、患者ファイリングを作成することはできますが、患者データをインポート、編集、保存する機能は使用できません。そのため、**SICAT Suiteホームボタンと新規データを見るボタンしか患者ファイリングを設定するウィンドウに表示されません。**

ライセンスがアクティブで、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合、SICAT Suiteホーム ウィンドウの何がしたいですか？エリアに次のボタンが表示されます。



- **患者ファイルを開く** – この表示に関する内容は、*患者ファイル* [▶ ページ 387]の節をご覧ください。



- **新規データを追加する** – この表示に関する内容は、*データインポート* [▶ ページ 376]の節をご覧ください。



- **データを共有する** – この表示に関する内容は、*データエクスポート* [▶ ページ 504]の節をご覧ください。



- **カート** – この表示に関する内容は、*注文プロセス* [▶ ページ 508]の節をご覧ください。

- さらに、**最後の患者ファイル**エリアに、直近に開いた患者ファイルのリストが表示されます。これらの患者ファイルは、ダブルクリックすると開くことができます。



患者情報を匿名で表示するがアクティブになっている場合、SICAT Suiteホームウィンドウに**最後の患者ファイル**エリアが表示されます。

12.4.2 SICATのアプリケーションを相互に切り替える



- ナビゲーションバーから、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

12.5 オンラインヘルプを開く

SICATの各種アプリケーションにつきましては、それぞれの取扱説明書をオンラインヘルプの形で、サポートウィンドウ内にまとめて用意してあります。



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。



1 タブ 取扱説明書

2 ウィンドウ 取扱説明書

12.6 ライセンス



SICATライセンスの取得については、現地にある担当の販売店にお問い合わせください。テストのために、SICATデモライセンスがあります。このライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。

SICATの各種アプリケーションや機能個別の各ライセンスをアクティベーションするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- 一つまたは複数のライセンスを取得すると、SICATからあなた、またはあなたの組織に個人用アクティベーションキーが付与されます。このアクティベーションキーを使用して、SICAT Suiteがインストールされている様々なコンピューター上でライセンスを有効にすることができます。
- SICATライセンスサーバーにあるライセンスプールは、各SICATアプリケーションおよび個々の機能に関して取得しているライセンス数が表示されます。
- コンピューター上でライセンスを有効にすると、このライセンスは使用中のコンピューターに組み込まれます。そのライセンスはライセンスプールから取り除かれ、別のコンピューター上で有効にできなくなります。
- 有効なライセンスは、一つまたは複数のアプリケーション、あるいは個々の機能のフルバージョンを解除します。ライセンスのないアプリケーションはビューアモードで作動します。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンスの概要**のウィンドウで概要をご覧ください。その際、アプリケーションまたは個々の機能のライセンスが対象となります。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 360]の節をご覧ください。

ライセンスは次の二通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。このアクティベーションに関する内容は、**インターネット接続を使用してライセンスを有効にする** [▶ ページ 361]の節をご覧ください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。このアクティベーションに関する内容は、**ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする** [▶ ページ 363]の節をご覧ください。

各アプリケーションまたは機能のライセンスを個別に無効にして、ライセンスプールに返却することができます。その際、SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていなくてはなりません。ライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。ライセンスの返却に関する内容は、**ライセンスをライセンスプールへ返却する** [▶ ページ 365]の節をご覧ください。



バウチャーコードを使用する手順は、バウチャーコードを使用する [▶ ページ366]の節をご覧ください。

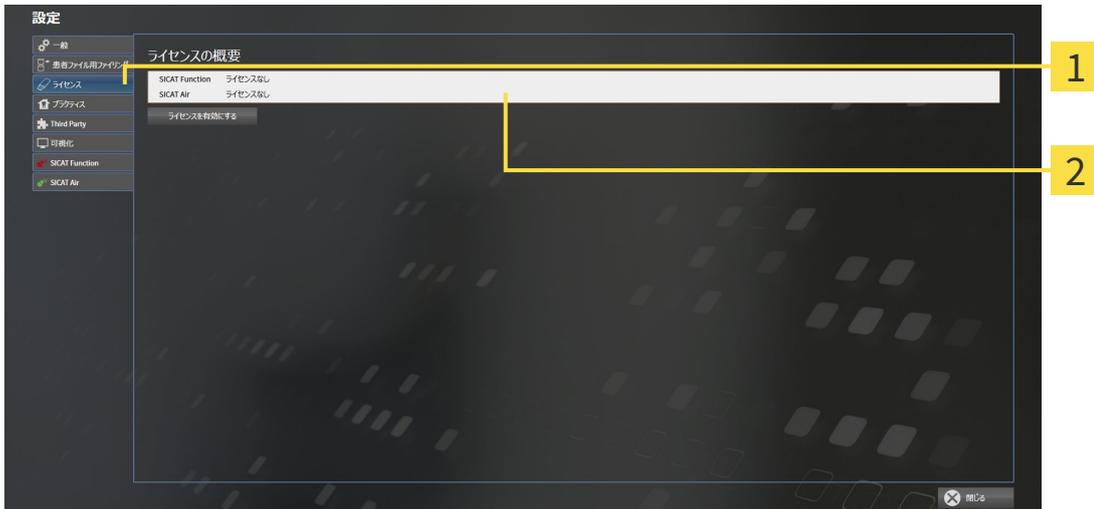
12.6.1 「ライセンス一覧」 ウィンドウを開く



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **ライセンス**タブをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のウィンドウが開きます。



1 タブ **ライセンス**

2 ウィンドウ **ライセンスの概要**

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 361]
- ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 363]
- ライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 365]

12.6.2 インターネット接続を使用してライセンスを有効にする

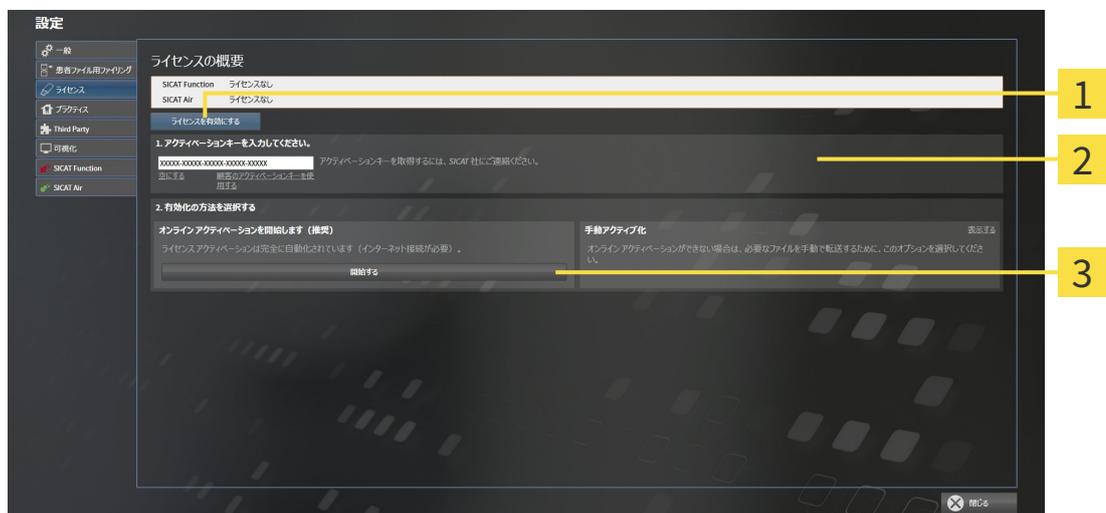
注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ360]の節をご覧ください。

1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。
▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンして展開します。



1 ボタン **ライセンスを有効にする**

2 エリア

3 ボタン **開始する**

2. お手元のクライアント用アクティベーションキーが、または、デモライセンス用アクティベーションキーのいずれかを、のボックスに入力します。
3. **開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォールのウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。**
- ▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**



SICAT Suiteのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、**顧客のアクティベーションキーを使用する**のボタンをクリックすると、お手元のクライアント用アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、のコーナーで、**空にする**のボタンをクリックしてください。

12.6.3 ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする

注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にするには、次のように行います。

- ☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なライセンスが欠けています。
 - ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ360]の節をご覧ください。
1. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**ライセンスを有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ライセンスの概要**のコーナーがドロップダウンで展開します。
 2. **手動アクティブ化**のコーナーで、**表示する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **手動アクティブ化**のコーナーがドロップダウンして展開します。



- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1 ボタン ライセンスを有効にする | 4 ボタン デモライセンス |
| 2 エリア | 5 ボタン フルライセンス |
| 3 ボタン 表示する | 6 ボタン 読み込んで有効にする |

3. フルライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**フルライセンス**のボタンをクリックします。
4. デモライセンスのアクティベーションをご希望のときは、**デモライセンス**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。

5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。
 - ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。
6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。
7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com/register>を開きます。
8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。
 - ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。
 - ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピューターへダウンロードしてください。
9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。
10. アクティベーションキーが正確に入力されていることをチェックします。
11. **ライセンスの概要**のウィンドウで、**読み込んで有効にする**のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsエクスプローラー ウィンドウが開きます。
12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。
 - ▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。
 - ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常に有効化されました。**

12.6.4 ライセンスをライセンスプールへ返却する

注記

ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

フルライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ SICATアプリケーションのフルライセンスはすでに有効になっています。
- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
- ☑ **ライセンスの概要**のウィンドウを開いておきます。ライセンスの概要に関する内容は、「**ライセンス一覧**」ウィンドウを開く [▶ ページ 360]の節をご覧ください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 ボタン **ライセンスプールに返却する**

- **ライセンスの概要**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスプールに返却する**のボタンをクリックします。
- ▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。
- ▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます：**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**
- ▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

12.6.5 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.de>を開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネージャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
 - ▶ SICATのポータルページにライセンスが1件、表示されます。
6. このライセンスは、お手元のコンピュータをローカルとして、バックアップ保存しておきます。
7. SICAT Suiteを起動して、ライセンスのアクティベーションを行います。

バウチャーコードの使用に関する内容は、インターネット接続を使用してライセンスを有効にする [▶ ページ 361]、および、ライセンスを手動、またはアクティブなインターネット接続なしで有効にする [▶ ページ 363]の各節をご覧ください。



詳細なヘルプは、SICATのポータルページにFAQ（よくあるご質問）がありますので、そちらをご覧ください。

12.7 患者ファイリング

ヒューズ



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

患者ファイルフォルダーにある患者データにつきましては、ご自分自身の責任でバックアップファイルを作成してください。。患者ファイルフォルダーの保存場所は、**患者ファイル用ファイリング**の各種設定で確認できます。患者ファイルフォルダーを**患者ファイル用ファイリング**のリストから削除してあるときは、適切なデータ保存媒体にその患者ファイルフォルダーが保存してあっても、SICAT Suiteでは、該当する患者ファイルフォルダーを表示しません。



患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに %appdata%\SICAT GmbH & Co. KG と %localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG を入力してください。

データのセキュリティ



注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

一般的なお知らせ



患者ファイリングの管理機能は、SICAT Suiteでアプリケーションのライセンスがアクティブになっている場合のみ使用することができます。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT Suiteは患者データを次のように管理します。

- 一人の患者の全3D撮影画像と付属する全ての計画プロジェクトが患者ファイルに整理されています。
- 患者ファイルが患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイリングはローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダに保存されます。

SICAT Suiteをフルバージョンで作動させるには、少なくとも一つの患者ファイリングが必要です。複数の患者ファイリングを管理することができます。ただし、ある時点で同時にアクティブにできる患者ファイリングは、常に一つだけです。ローカルファイルシステムでもネットワークファイルシステムでも、患者ファイリングに同時にアクセスできるSICAT Suiteは一つだけです。使用中の患者ファイリングの患者ファイルのみ編集および保存することができます。



ネットワークファイルシステム上の患者ファイリングには、特定の最小帯域幅のネットワーク接続が必要です。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 12]の節をご覧ください。

患者ファイリングを管理するために使用できる操作：

- 「患者ファイリング」 ウィンドウを開く [▶ ページ 370]
- 患者ファイリングを追加する [▶ ページ 371]
- 別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ ページ 373]
- 患者ファイリングを除去する [▶ ページ 375]

12.7.1 「患者ファイリング」 ウィンドウを開く

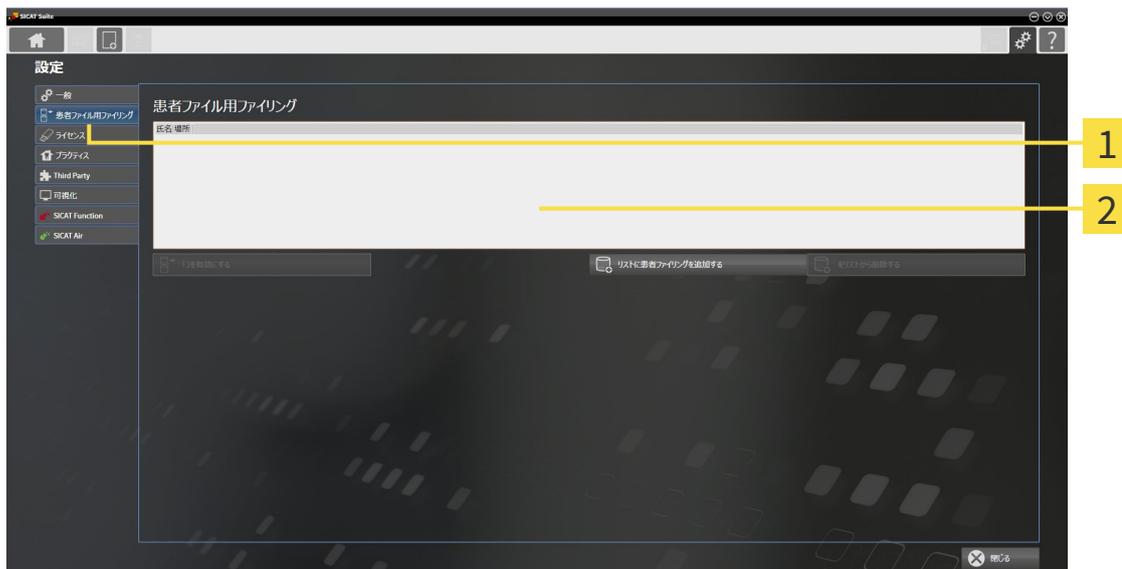
患者ファイル用ファイリング ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバー で、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **患者ファイル用ファイリング**タブをクリックします。
▶ **患者ファイル用ファイリング**のウィンドウが開きます。



1 タブ **患者ファイル用ファイリング**

2 ウィンドウ **患者ファイル用ファイリング**

以下の操作を続行します：

- **患者ファイリングを追加する** [▶ ページ 371]
- **別の患者ファイリングをアクティブにする** [▶ ページ 373]
- **患者ファイリングを除去する** [▶ ページ 375]

12.7.2 患者ファイリングを追加する



注意

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



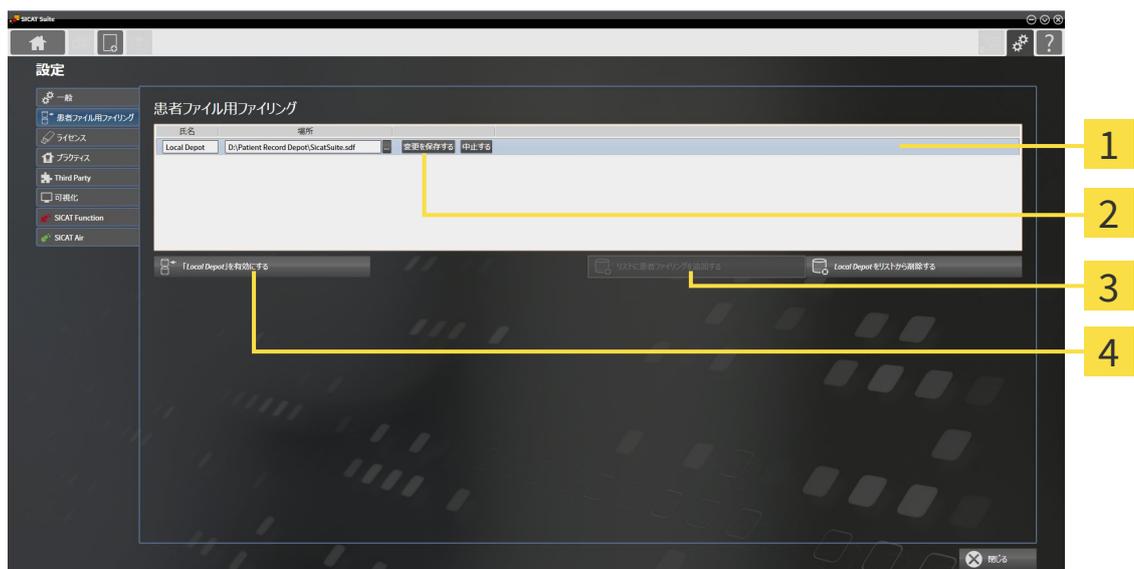
SICAT Suiteは、患者ファイリングをファイルシステムに保存します。患者ファイリングは、各フォルダに一つしか保存できません。そのため、新しい患者ファイリングを保存するフォルダは空でなくてはなりません。



以下の条件に該当する場合、SICAT Suiteは既存の患者ファイリングを追加します。選択したフォルダには、すでに一つの患者ファイリングが入っていますが、患者ファイリングのリストには記載されていません。

新しい患者ファイリングを作成、または既存の患者ファイリングを追加するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイル用ファイリング**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイリング」ウィンドウを開く [▶ ページ370]の節をご覧ください。



1 新しい患者ファイリングの行

3 ボタン リストに患者ファイリングを追加する

2 ボタン **検索する**

4 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン



- 患者ファイル用ファイリングのウィンドウで、リストに患者ファイリングを追加するのボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、患者ファイル用ファイリングのリストに新しい患者ファイリングのために新しい行を追加します。
- 新しい患者ファイリングの行にある**検索する**ボタンをクリックします。

- ▶ **検索する** のウィンドウが開きます。
- 3. **検索する** ウィンドウで任意のフォルダを選択し、**OK**をクリックします。
 - ▶ **検索する** ウィンドウは閉じ、SICAT Suiteは任意のフォルダへのパスを新しい患者ファイリングの行に追加します。
- 4. 新しい患者ファイリングの行にある**氏名**欄をクリックし、新しい患者ファイリングに対して覚えやすい名前を入力します。
- 5. 新しい患者ファイリングがなおも選択されている場合は、**変更を保存する**をクリックします。
 - ▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。
- 6. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは新しい患者ファイリングをアクティブにします。これに付属する行の書式は太字に変わります。
 - ▶ SICAT Suiteは、それまでアクティブになっていた患者ファイリングを無効にします。これに付属する行の書式は標準に変わります。



中止するをクリックして、患者ファイリングの追加を中断することができます。



作成した患者ファイリングは、各フォルダ内に一つのSDFファイルであることから識別することができます。

12.7.3 別の患者ファイリングをアクティブにする

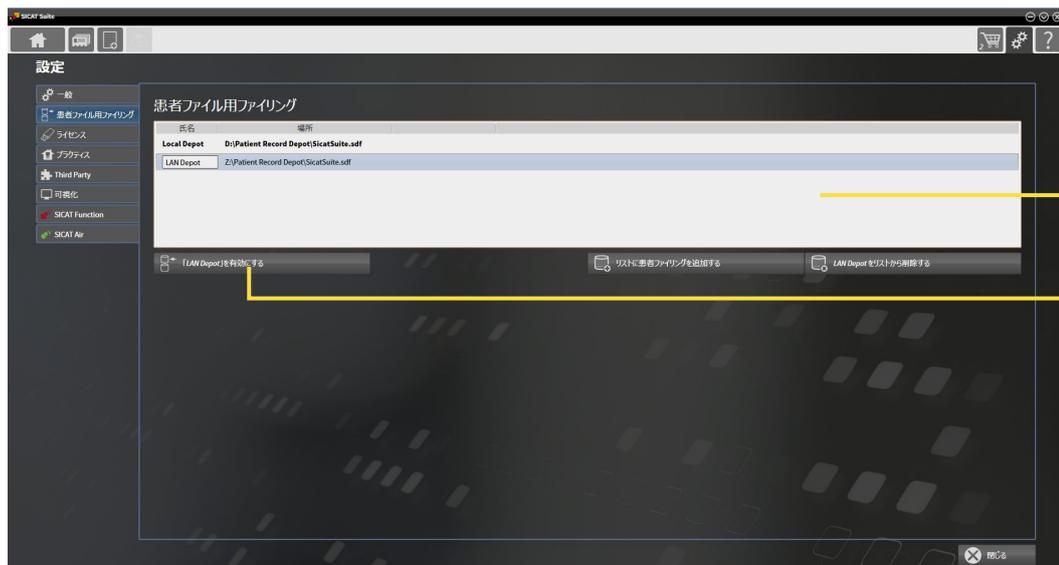
アクティブな患者ファイリングの変更は、次のようなケースに役立つことがあります。



- 施設のネットワークファイルシステム上にある患者ファイリングとノートPC上の患者ファイリング間で切り替えたいとします。
- 別の患者ファイリングに匿名で保存されている患者データを、例えば、研修などの目的で公開したいとします。

別の患者ファイルフォルダを開くときは、次の手順で行います。

- ☑ アクティブになっている患者ファイルはありません。患者ファイルがアクティブになっている場合、SICAT Suiteによって自動的に閉じられます。
- ☑ アクティブにしたい患者ファイリングは、別のコンピューターのSICAT Suiteで開かれていません。
- ☑ **患者ファイル用ファイリング**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイリング」ウィンドウを開く [▶ ページ370]の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウィンドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。



2. 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタンをクリックします。

▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

3. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングをアクティブにします。



SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

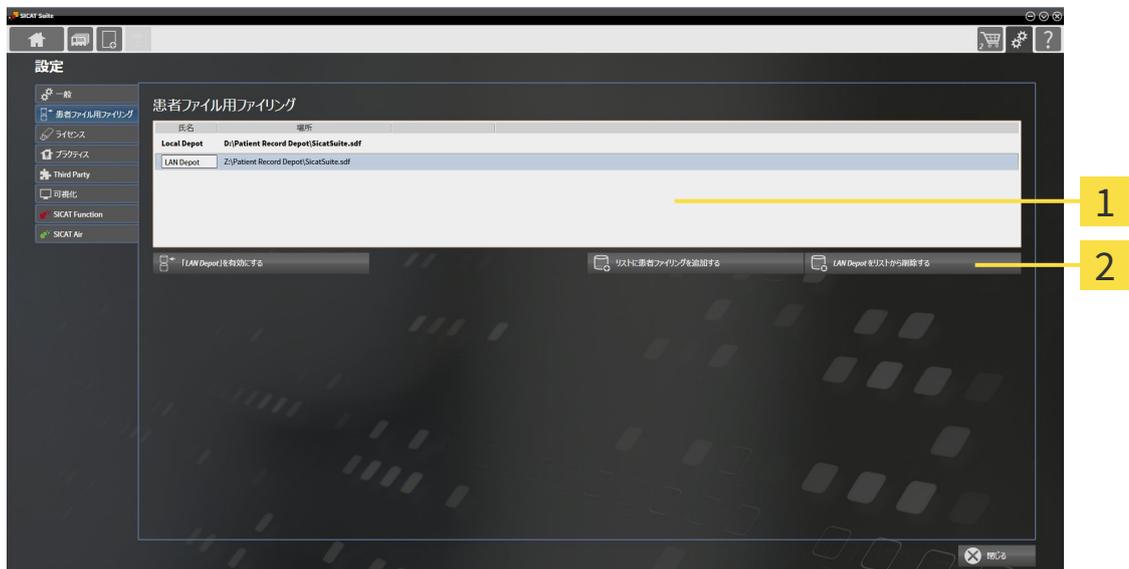
12.7.4 患者ファイリングを除去する



SICAT Suiteは患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するだけです。患者ファイリングをファイルシステムから削除することはありません。**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去された既存の患者ファイリングは、改めて追加することができます。この表示に関する内容は、**患者ファイリングを追加する** [▶ ページ 371]の節をご覧ください。

患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するには、次のように行います。

- 開いている患者ファイルはありません。
- 患者ファイル用ファイリング**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイリング**」ウィンドウを開く [▶ ページ 370]の節をご覧ください。



- 1** のリスト **患者ファイル用ファイリング**
- 2** 選択した患者ファイリングを除去するボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウィンドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。



2. 選択した患者ファイリングを除去するボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去します。

12.8 データインポート



不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



データインポートは、ライセンスがアクティブで、患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合のみ実行可能です。ライセンスまたは患者ファイリングがない場合は、ビューアモードでしかデータを開くことができません。ビューアモードに関する内容は、[データを書き込み禁止で開く](#) [▶ ページ 545]の節をご覧ください。

SICAT Suiteは、以下のデータフォーマットの3D X線撮影画像をインポートすることができます。

- SICAT Suite DICOMデータ
- 3D X線撮影画像（DICOM形式、DICOMに関する内容は、[対応しているDICOMフォーマット](#) [▶ ページ 379]の節をご覧ください）
- SICATインプラントデータ
- SICATドリルテンプレート注文データ
- GALILEOS Wrap&Goデータ

次の二つの設定で、SICAT Suite 3D X線撮影画像を使用中の患者ファイリングにインポートする方法を規定します。

- インポート設定は、SICAT Suiteが3D X線撮影画像をインポートするか、インポートしないか、既存の3D X線撮影画像に上書きするか、コピーを作成するか規定します。
- 割り当て設定は、SICAT Suiteがインポートした3D X線撮影画像を割り当てる患者ファイルを規定します。

1件のデータセットに、SICATのアプリケーションで作成した3D治療計画スタディが複数、含まれているときは、SICAT Suiteでは、3D治療計画スタディを、それら含まれる3D X線撮影画像と併せてインポートを行います。

3D X線撮影画像のインポートに適用する設定内容

アクティブな患者ファイリングに患者ファイルが含まれている場合、3D X線撮影画像用に異なるインポート設定を選択することができます。使用可能なインポート設定は、インポートするデータのIDがアクティブな患者ファイリング内の患者ファイルのIDと一致するかどうかによって異なります。

各3D X線撮影画像に対して、それぞれインポート設定を選択することができます。

データタイプ	IDが一致する	IDが一致しない	常に使用可能
SICAT Suite DICOMデータ SICATインプラントデータ SICATドリルテンプレート注文データ	既存に上書きする – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。
第三者のDICOMデータ Galileos Wrap&Goデータ	さらに追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を既存のデータセットのコピーとしてインポートします。	追加する – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	追加しないでください – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。

患者ファイル割り当て用の特性比較

SICAT Suiteはインポートするデータの様々な特性を分析します。特性の種類：

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID、社会保険番号、施設の内部患者IDなど

患者ファイル割り当て用の設定

次のリストは、SICAT Suiteが特性比較に基づいて提案するインポートオプションを示しています。

- インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**および対応する患者ファイルを提案します。
- インポートするデータの特性の一部がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**新規患者ファイルを作成する**を提案します。

どちらの場合も、データを手動で別の患者ファイルに割り当てることができます。

データをインポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **インポートするデータを選択する** [▶ ページ 380]
- **インポートオプションの選択** [▶ ページ 382]
- **既存の患者ファイルにデータを割り当てる** [▶ ページ 384]

あるいは

- **データインポートによる新しい患者ファイルの作成** [▶ ページ 383]

12.8.1 対応しているDICOMフォーマット

DICOMデータセットをインポートする場合、SICAT Suiteは次の基準を満たしているデータセットに対応しています。

- データセットのフォーマットがDICOM 3.0である。
- データセットにパラレルレイヤーしか含まれない。
- データセットが圧縮されていない、JPEG形式またはJPEG 2000形式で圧縮されている。
- データセットが次のリストの対応しているタイプのいずれかと一致する。

対応しているデータセットタイプ：

- CT画像
- デジタルX線画像
- デジタル口内X線画像
- X線3D頭蓋顔面画像
- セカンダリーキャプチャー画像（グレースケール）（モダリティCT用のみ）
- マルチフレームグレースケールワードセカンダリーキャプチャー画像（モダリティCT用のみ）

その他の基準については、DICOM適合性宣言を参照してください。この宣言書は、ご要望に応じてSICATからご提供させていただきます。お問い合わせ先が必要のときは、裏面をご覧ください。

12.8.2 インポートするデータを選択する



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



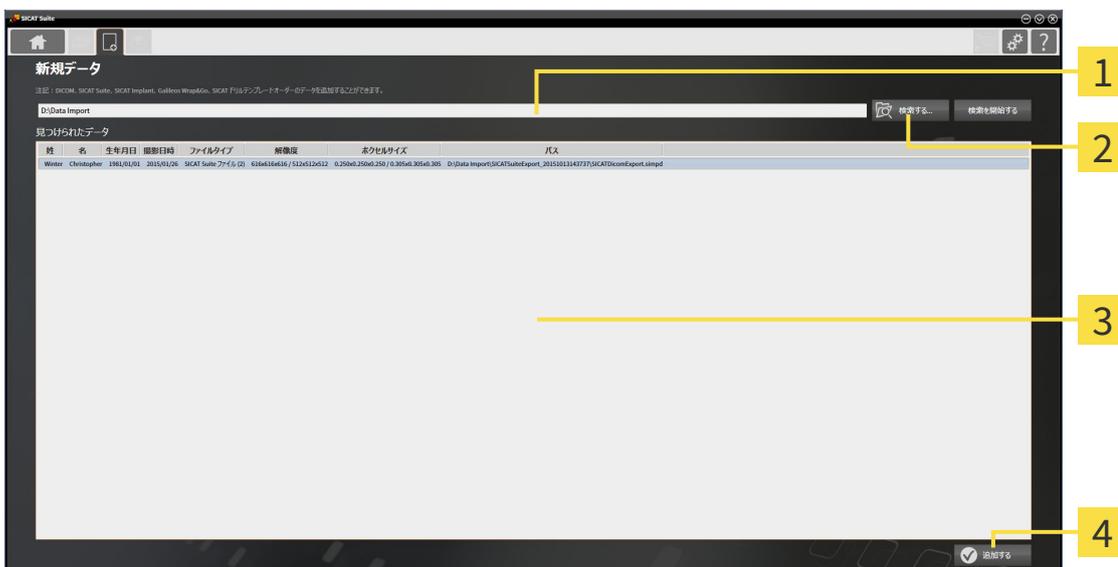
DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

アクティブな患者ファイリングのデータをインポートするには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**新規データ**のアイコンをクリックします。
▶ **新規データ**のウィンドウが開きます。



- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 欄 データはどこにあるのですか？ | 3 のリスト 見つけれられたデータ |
| 2 ボタン 検索する | 4 ボタン 追加する |



2. **検索する**のボタンをクリックします。
▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する** ウィンドウで任意のファイルまたはフォルダを選択し、**OK**をクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したもののパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
 - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストにファイルの内容を表示します。
 - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストに表示します。



SICAT Suiteにデータをインポートする際に、ドラッグ&ドロップを利用することもできます。



説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。



互換性があるにもかかわらず、SICAT Suiteが特定のファイルを検出しない場合、そのファイルへのパスが長過ぎることが原因の可能性があります。それらのファイルをファイルシステムの一つ上の階層にコピーし、改めて検索を開始してください。

以降の操作は、**インポートオプションの選択** [▶ ページ 382]の節に沿って、進めてください。

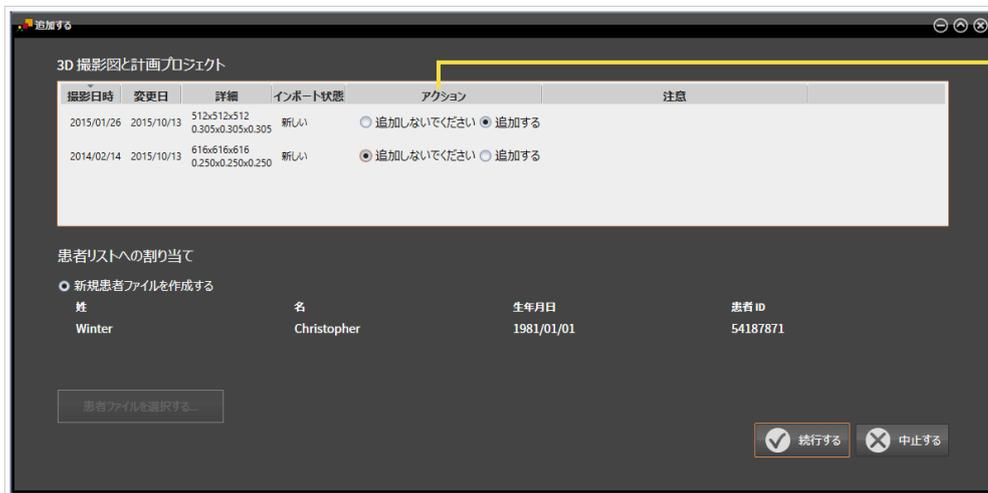
12.8.3 インポートオプションの選択

各撮影結果のインポートオプションを選択するには、次の手順で行います。



1. 見つめられたデータリストから希望の撮影結果を選択し、**追加する**ボタンをクリックします。

▶ **追加する** のウィンドウが開きます。



1 列 アクション

2. **追加する**のウィンドウでアクション列から**追加しないでください**、さらに**追加する**、**追加する**または**既存に上書きする**を各撮影結果用に選択します。オプションに関する詳細な説明は、データインポート [▶ ページ 376]の節をご覧ください。

▶ これらをインポートするかどうかについては、全ての撮影結果に対して個別に設定します。

以下の操作を続行します：

- 既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ ページ 384]
- データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ ページ 383]

12.8.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成



アクティブな患者ファイリングに同じ特性の組み合わせを持つ患者ファイルがない場合、データインポートによって新しい患者ファイルを作成することができます。



1 オプション **新規患者ファイルを作成する**

2 ボタン **続行する**

インポートするデータを新しい患者ファイルに割り当てるには、次の手順で行います。

- **患者リストへの割り当て**エリアで**新規患者ファイルを作成する**オプションを選択し、**続行する**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータの特性を持つ新しい患者ファイルを作成します。
- ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを新しい患者ファイルに割り当てます。
- ▶ **患者ファイルの概要**ウィンドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、**患者ファイル** [▶ ページ 387] の節をご覧ください。

12.8.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる

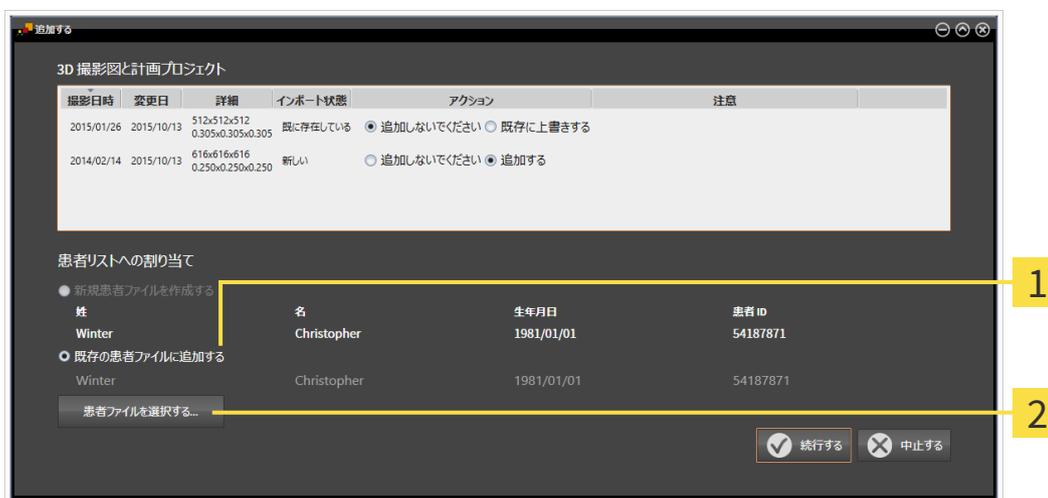


患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



次の条件に該当する場合、SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**オプションを付属の患者ファイルによって自動的に選択します：インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。



1 オプション **既存の患者ファイルに追加する**

2 ボタン **患者ファイルを選択する**

インポートするデータを既存の患者ファイルに手動で割り当てるには、次の手順で行います。

☑ アクティブな患者ファイリングには、最低一つの患者ファイルが含まれます。

1. 患者リストへの割り当てエリアで**既存の患者ファイルに追加する**オプションを選択し、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが開き、既存の患者ファイルのリストが表示されます。



- 1** のリスト **患者ファイル**
- 2** ボタン **患者ファイルを選択する**

- 2. 希望する患者ファイルをクリックし、**患者ファイルを選択する**のボタンをクリックします。

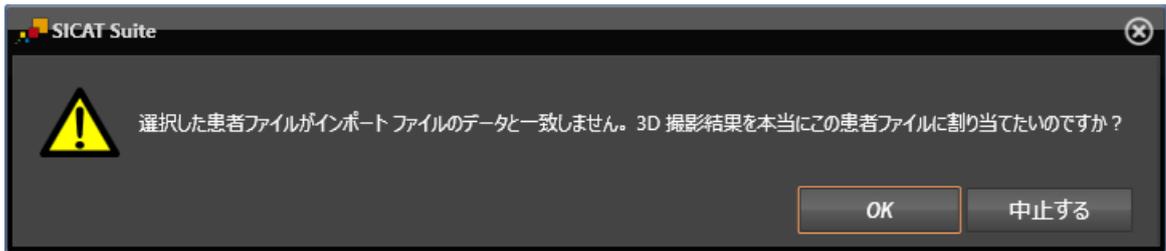
- ▶ **患者ファイルを選択する**のウィンドウが閉じます。
- ▶ **追加する**のウィンドウに選択した患者ファイルの特性が表示されます。



- 1** 選択した患者ファイルの特性
- 2** ボタン **続行する**

- 3. **追加する**のウィンドウで、**続行する**のボタンをクリックします。

- インポートするデータの特性が選択した患者ファイルの特性と一致しない場合、次の警告メッセージが表示されます。



- それでもデータをインポートする場合、**OK**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを既存の患者ファイルに割り当てます。
 - ▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、[患者ファイル](#) [▶ ページ 387] の節をご覧ください。

12.9 患者ファイル

患者ファイルには複数の3D撮影結果が含まれる可能性があります。撮影結果は3D X線撮影画像と付属の計画プロジェクトで構成されています。さらに、患者ファイルには計画中に作成された文書が含まれる場合があります。

患者ファイルを管理するために使用できる操作：

- 「患者ファイル概要」 ウィンドウを開く [▶ ページ 388]
- 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ ページ 389]
- 患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 391]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 395]
- アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ ページ 392]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 394]
- 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ ページ 400]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 402]

さらに、患者ファイルへのデータのインポートおよび患者ファイルからのデータのエクスポートを行うことができます。

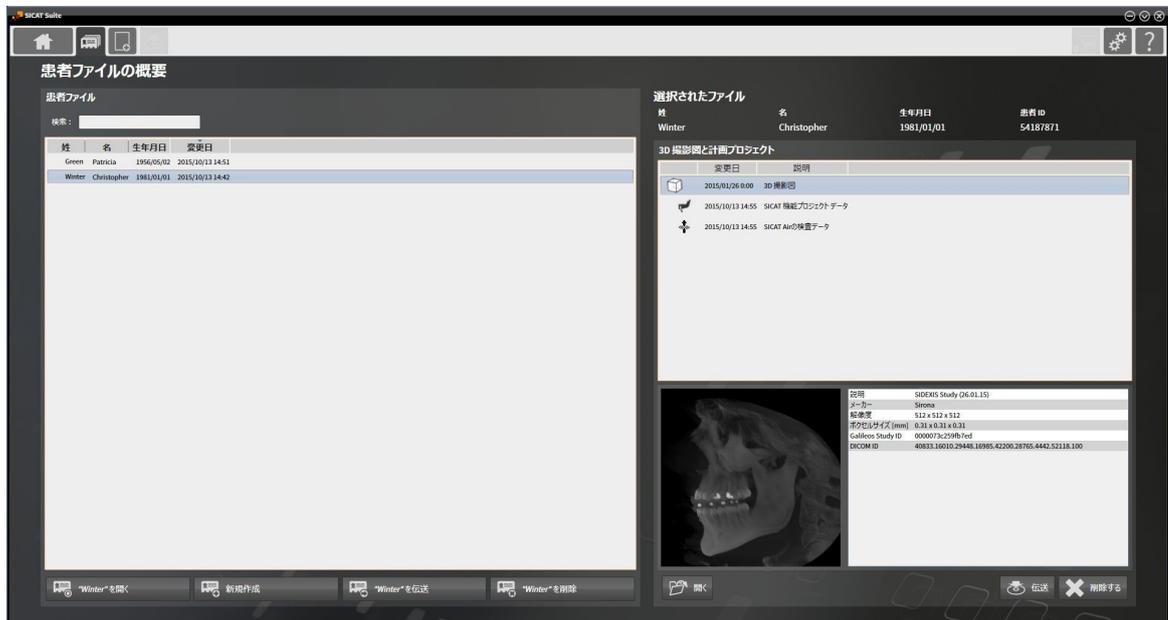
- データインポート [▶ ページ 376]
- データエクスポート [▶ ページ 504]

12.9.1 「患者ファイル概要」 ウィンドウを開く

患者ファイルの概要 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



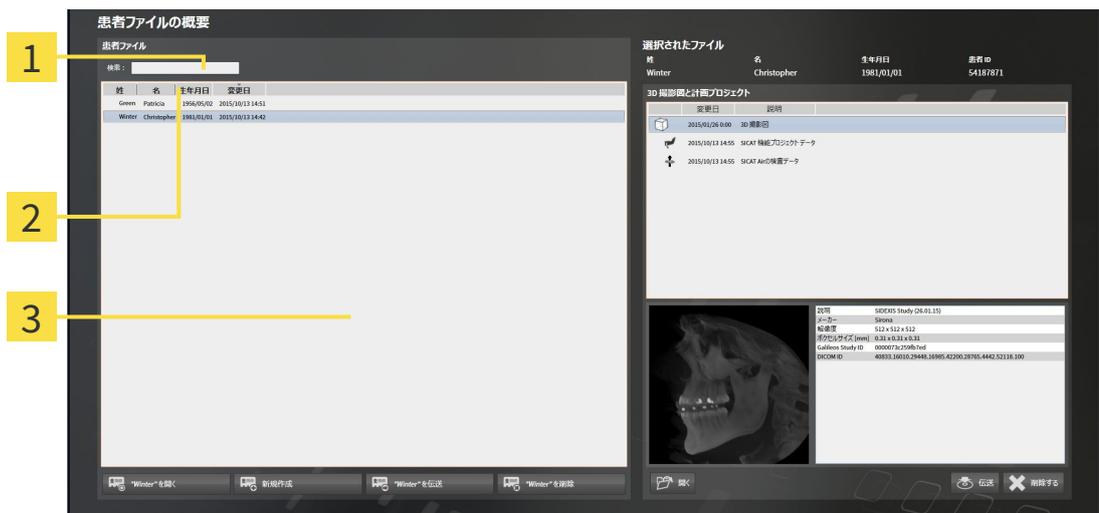
- ナビゲーションバーで、患者ファイルのアイコンをクリックします。
 - ▶ 患者ファイルの概要のウィンドウが開きます。



以下の操作を続行します：

- 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ ページ 389]
- 患者ファイルをアクティブにする [▶ ページ 391]
- 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ ページ 395]
- アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ ページ 392]
- 患者ファイルの特性を変更する [▶ ページ 394]
- 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ ページ 400]
- 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ ページ 402]

12.9.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え



- 1 欄 検索：
- 2 列のタイトル（特性を含む）
- 3 のリスト 患者ファイル

患者ファイルの検索

SICAT Suiteは、入力した検索テキストに従って全ての患者ファイルの特性を検索します。

患者ファイルを検索するには、次のように行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイル概要**」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。
- **検索**：欄に希望の検索テキストを入力します。
- ▶ **患者ファイル**リストに、入力した検索テキストが特性に含まれる全患者ファイルが表示されます。

SICAT Suiteは、入力を始めると直ちに検索を開始します。

特性に基づく患者ファイルの並べ替え

以下の特性に基づいて、患者ファイルを並べ替えることができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 変更日

患者ファイルを特性に基づいて並べ替えるには、次のように行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。



1. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをクリックします。
▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を希望の特性で順番に並べ替えます。
2. **患者ファイルリスト**で希望の特性の列のタイトルをもう一度クリックします。
▶ SICAT Suiteは、**患者ファイルリスト**を希望の特性で逆の順序に並べ替えます。

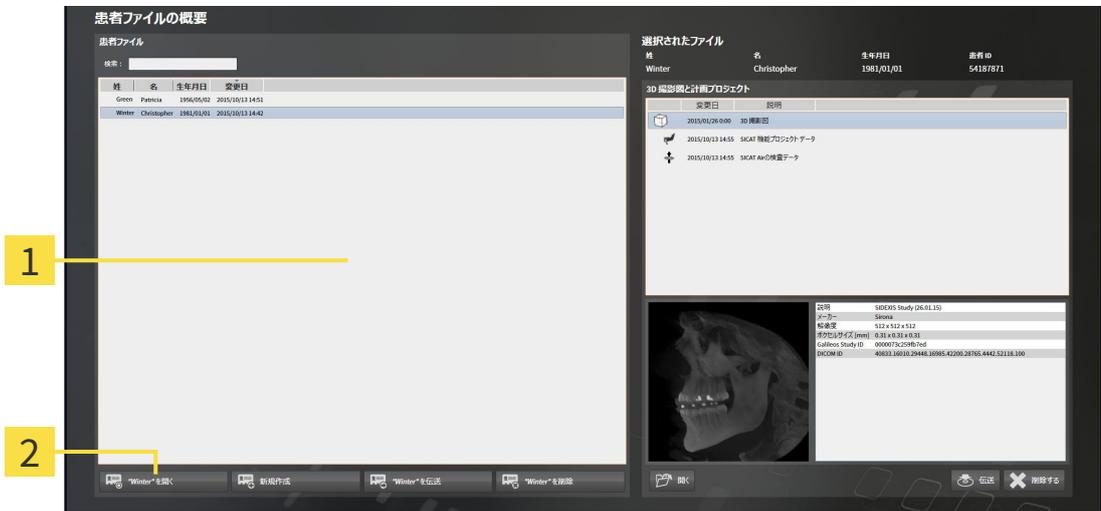


通常、患者ファイルは変更日の降順に並べ替えられています。

12.9.3 患者ファイルをアクティブにする

患者ファイルを使用して作業するために、これを次のようにアクティブにします。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「**患者ファイル概要**」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
2. 選択した患者ファイルをアクティブにするボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイルをアクティブにします。

以降の操作は、**アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 392]の節に沿って、行ってください。

12.9.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

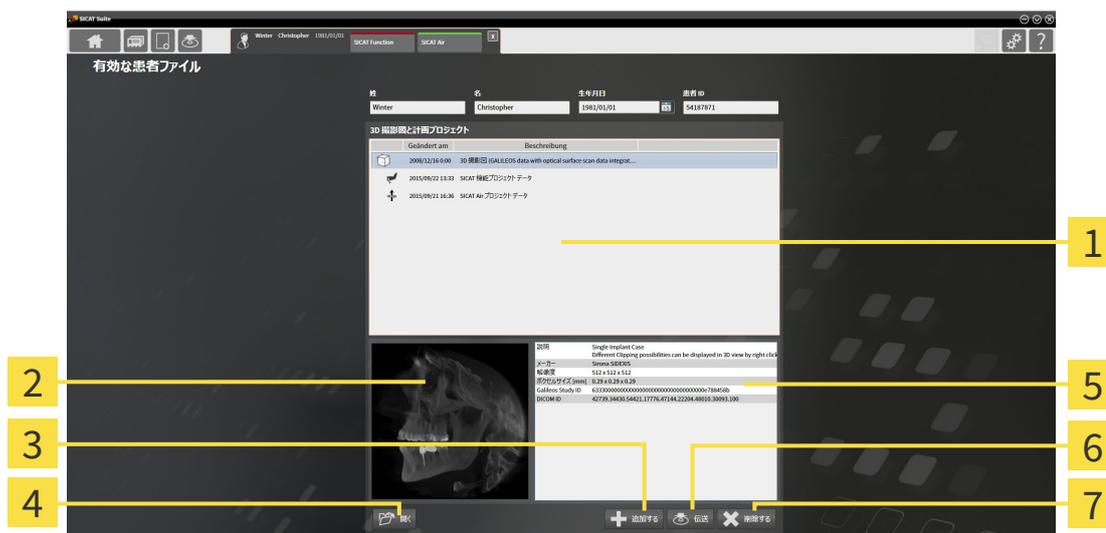


3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

開いた患者ファイルで作業するには、次の手順で行います。

- ☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。この表示に関する内容は、*患者ファイルをアクティブにする* [▶ ページ 391]の節をご覧ください。



- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 のリスト 3D撮影図と計画プロジェクト | 5 エリア 詳細 |
| 2 エリア プレビュー | 6 ボタン エクスポート |
| 3 ボタン 追加する | 7 ボタン 削除 |
| 4 ボタン 開く | |

1. アクティブな患者ファイルウィンドウで 3D撮影図と計画プロジェクトリストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。
 - ▶ **プレビュー**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトのプレビューが表示されます。
 - ▶ **詳細**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトの詳細 (DICOMメタデータなど) が表示されます。



2. SICATアプリケーションの選択した3D X線撮影画像、または付属のSICATアプリケーションの選択した計画プロジェクトを開くには、**開く** ボタンをクリックします。
3. 選択した文書を標準のPDFビューアで開くには、**開く** ボタンをクリックします。
4. データをアクティブな患者ファイルにインポートするには**追加する** ボタンをクリックします。この表示に関する内容は、**データインポート** [▶ ページ 376]の節をご覧ください。
5. 選択した撮影結果をアクティブな患者ファイルからエクスポートするには、**エクスポート** ボタンをクリックします。このエクスポートに関する内容は、**データエクスポート** [▶ ページ 504]の節をご覧ください。
6. 選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトをアクティブな患者ファイルから削除するには、**削除** ボタンをクリックします。患者ファイルを利用する作業に関する内容は、**患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除** [▶ ページ 402]の節をご覧ください。
7. アクティブな患者ファイルの特性の変更手順は、**患者ファイルの特性を変更する** [▶ ページ 394]の節をご覧ください。



3D X線撮影画像を、それが関係する3D治療計画スタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数の3D治療計画スタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、3D治療計画スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。3D治療計画スタディを明確に指定して開いたときは、それに関係する、SICATのアプリケーションが常に起動します。

12.9.5 患者ファイルの特性を変更する



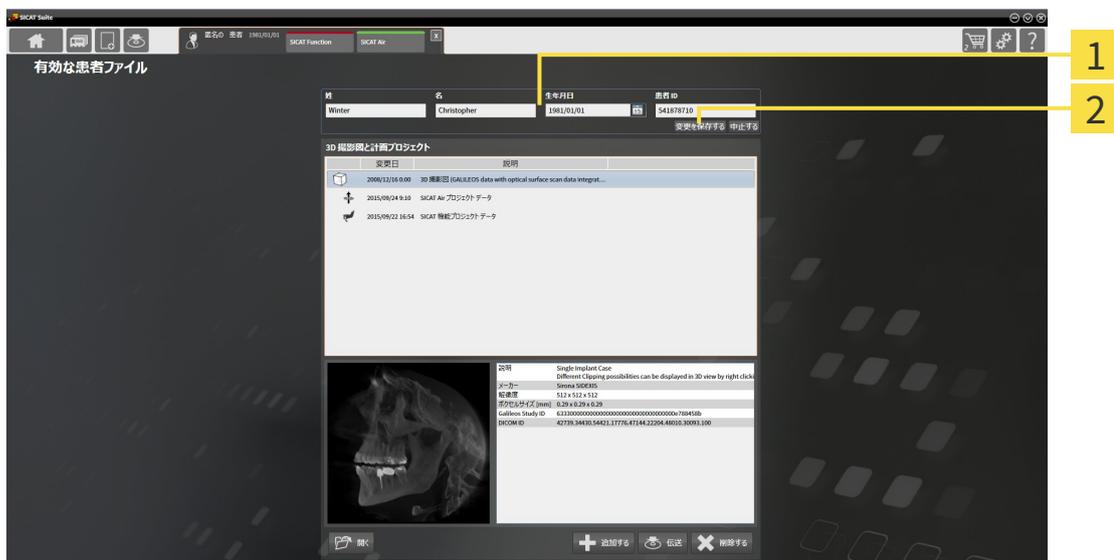
アクティブな患者ファイリング内にある各患者ファイルの特性の組み合わせは明確でなくてはなりません。

患者ファイルの以下の特性を変更することができます。

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID

患者ファイルの特性を変更するには、次の手順で行います。

- ☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。この表示に関する内容は、[患者ファイルをアクティブにする](#) [▶ ページ 391]の節をご覧ください。



1 特性欄

2 ボタン **変更を保存する**

1. アクティブな患者ファイルウィンドウで特性欄に希望の値を入力します。
2. **変更を保存する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが変更内容を保存します。



患者IDはDICOM IDと一致しません。任意の各IDを患者IDとして入力することができます（社会保険番号、施設の内部患者IDなど）。

12.9.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く



患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがある場合は、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

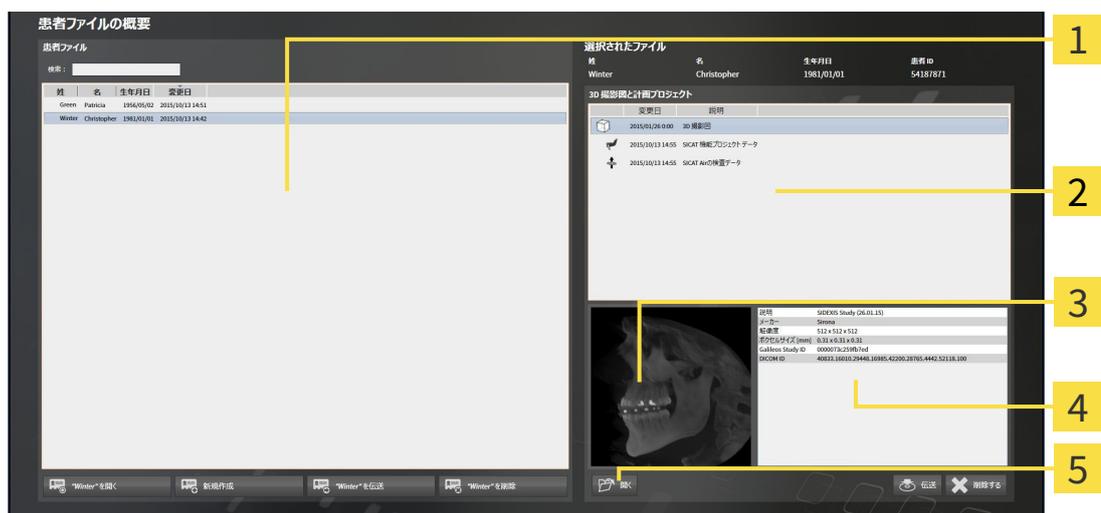


不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルの概要から開くには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。



- 1** のリスト 患者ファイル
- 2** のリスト 3D撮影図と計画プロジェクト
- 3** エリアプレビュー
- 4** エリア詳細
- 5** ボタン 開く

1. 患者ファイルの概要ウィンドウで患者ファイルリストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ 選択されたファイルエリアで 3D撮影図と計画プロジェクトリストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。
2. 3D撮影図と計画プロジェクトリストから任意のデータセットまたは文書を選択します。
 - ▶ プレビューエリアと 詳細 エリアに、選択したデータセットまたは文書に関する情報が表示されます。



3. 開く のボタンをクリックします。

- ▶ データセットを選択すると、これはSICATアプリケーションで開かれます。



- ▶ 文書を選択すると、これは標準のPDFビューアで開かれます。



3D X線撮影画像を、それが関係する3D治療計画スタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数の3D治療計画スタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、3D治療計画スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。3D治療計画スタディを明確に指定して開いたときは、それに関係する、SICATのアプリケーションが常に起動します。

12.9.7 SICAT SUITEでのSICAT AIR撮影結果



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

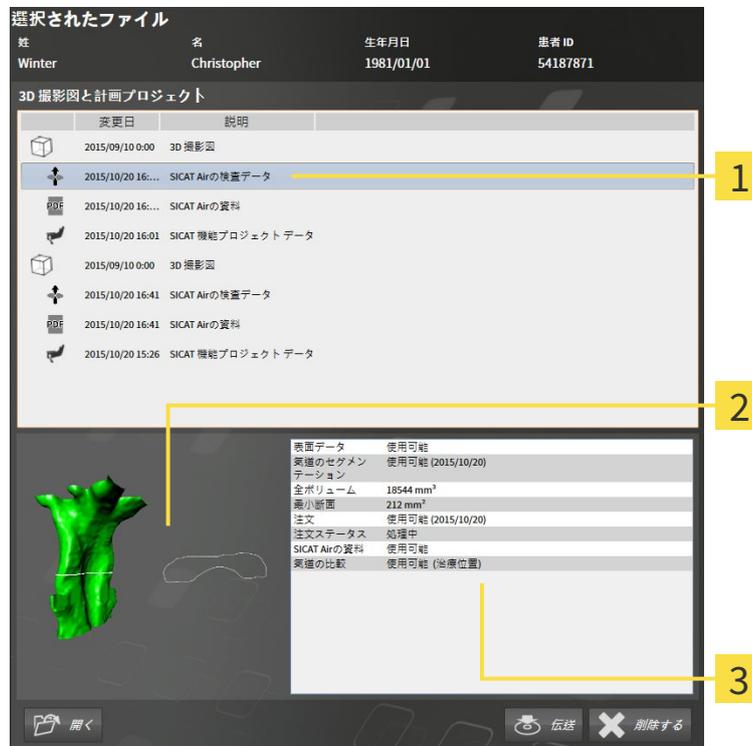
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

SICAT Suiteがスタンドアロンバージョンとして作動する場合は、SICAT Suiteの患者データの管理を行います。

以下の条件が満たされた場合、**患者ファイルの概要**は、SICAT Air - 撮影結果の情報を表示します：

- SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンとして使用します。
- 3D撮影図と計画プロジェクトのエリアからSICAT Air撮影結果を選択しました。



1 選択したSICAT Air撮影結果

3 エリア 詳細

2 エリア プレビュー

気道をセグメントした場合、**プレビュー領域**に次の要素が表示されます：

- 最小断面強調のセグメントされた気道表示
- 最小断面のレイヤーの輪郭

詳細エリアに次の情報が表示されます：

- 光学印象の可用
- 作成日、総量および最小切断面が入った気道セグメンテーションの可用
- ステータスと日付が入った注文の可用
- ハンドアウトの可用
- 気道比較の可用

気道をセグメントした場合、**患者ファイルの概要**が次に追加表示されます：

- 総量
- 最小断面

患者ファイルの概要は3D撮影図と計画プロジェクトエリアにSICAT Airで作成したハンドアウトを表示します。ここをダブルクリックすることによって、ハンドアウトを標準PDFビューアで開くことができます。

12.9.8 患者ファイリングからの患者ファイルの削除

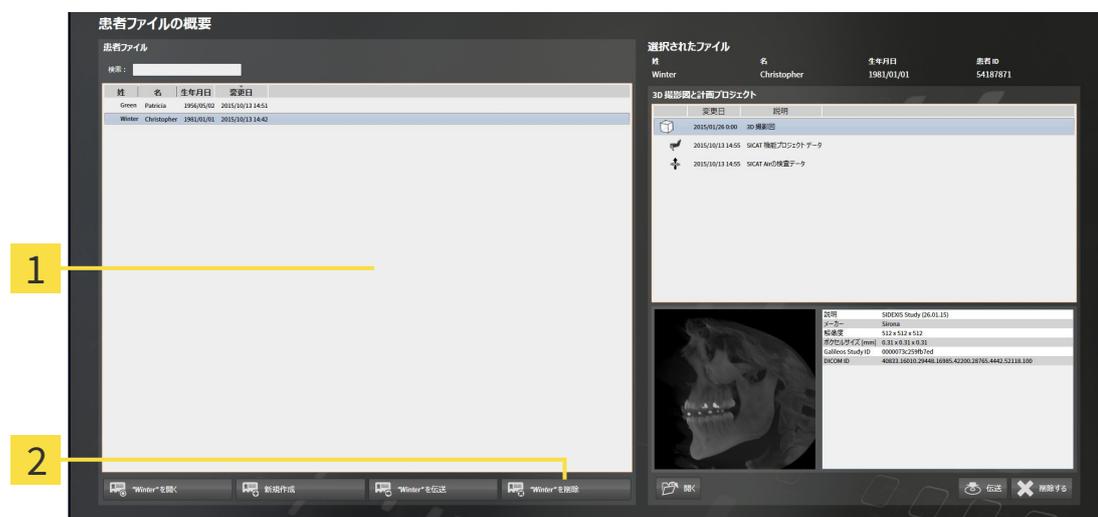


患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルおよびそれに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

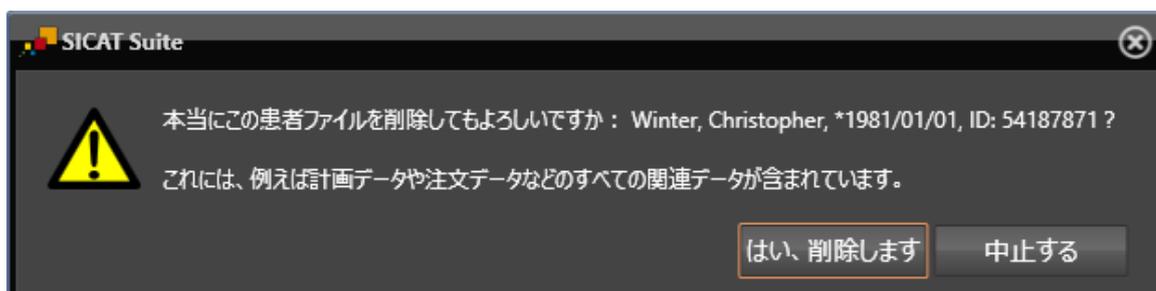
2 選択した患者ファイルを削除するボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。



2. 選択した患者ファイルを削除するボタンをクリックします。

▶ 確認メッセージが開きます。



3. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイル、それに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトをアクティブな患者ファイリングから削除し、**患者ファイル**のリストから除去します。

12.9.9 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

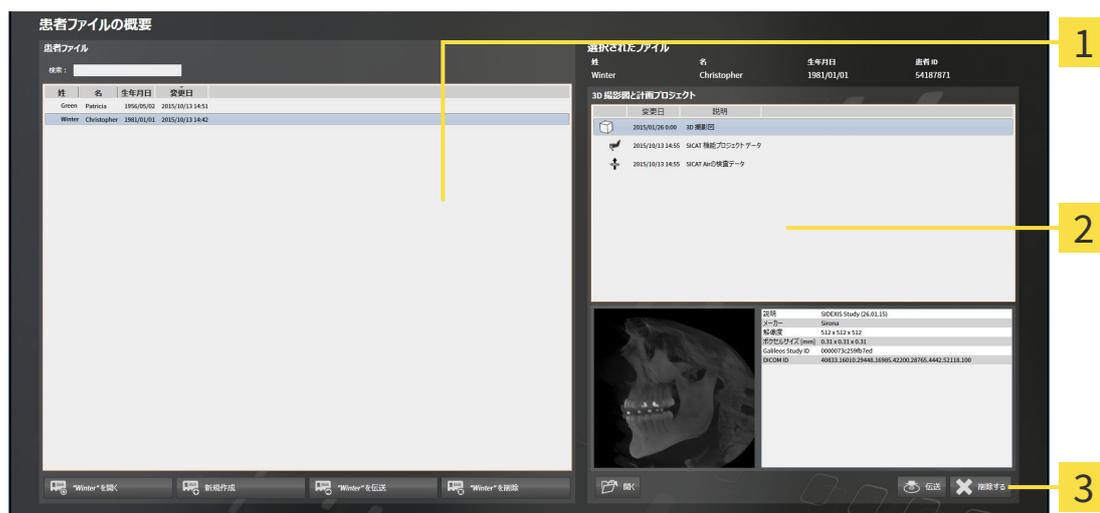


3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

3D X線撮影画像および計画プロジェクトを患者ファイルから削除するには、次の手順で行います。

- ☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、「患者ファイル概要」ウィンドウを開く [▶ ページ 388]の節をご覧ください。

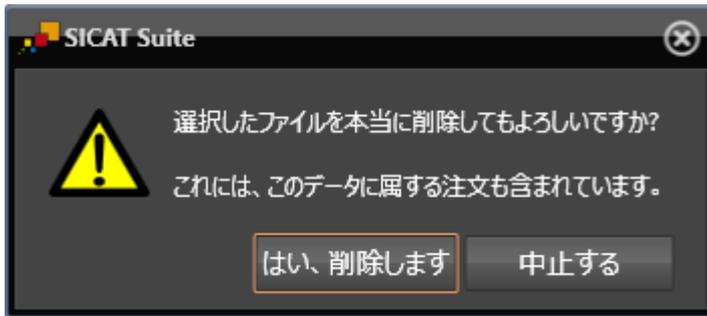


- 1 のリスト **患者ファイル**
- 2 のリスト **3D撮影図と計画プロジェクト**
- 3 ボタン **削除**

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
 - ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像と計画プロジェクトが表示されます。
2. **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。



3. 削除のボタンをクリックします。
 - ▶ 確認メッセージが開きます。



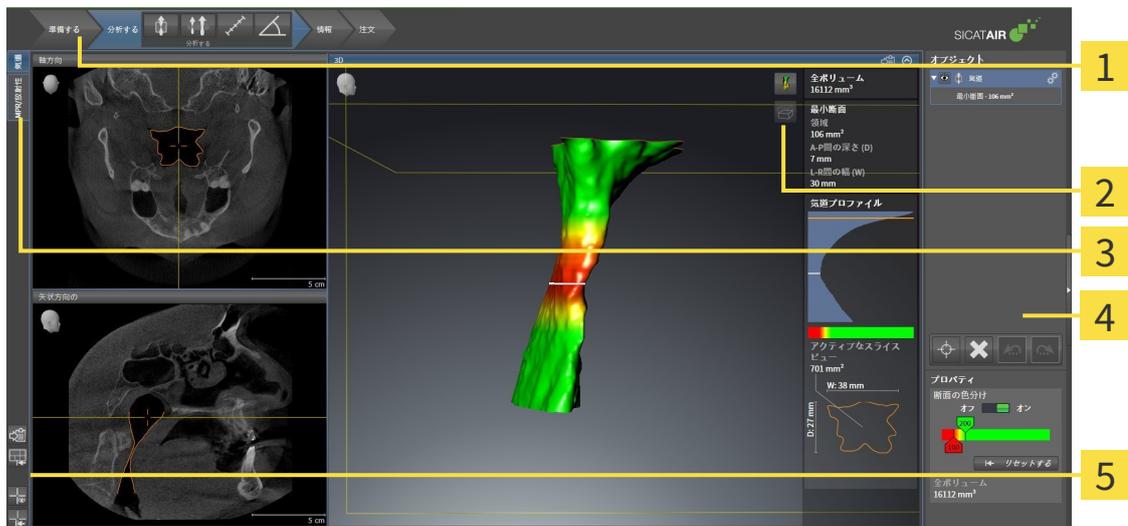
4. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージのはい、削除しますをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルおよび3D撮影図と計画プロジェクトリストから削除します。



3D X線撮影画像または計画プロジェクトを **アクティブな患者ファイル** ウィンドウで患者ファイルから削除することもできます。この表示に関する内容は、**アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 392]の節をご覧ください。

12.10 SICAT AIRのユーザーインターフェース

SICAT Airのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています：



1 ワークフローのツールバー

4 オブジェクトバー

2 画像のツールバー

5 ワークスペースのツールバー

3 ワークスペースの切替用ボタン

- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。このツールバーに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 405]の節をご覧ください。
- **ワークスペースエリア**は、**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Airで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。このワークスペースに関する内容は、**ワークスペース** [▶ ページ 420]の節をご覧ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。このツールバーに関する内容は、**ビューの調整** [▶ ページ 427]、および、**3Dビューの調整** [▶ ページ 438]の各節をご覧ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの（オブジェクト）を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は**オブジェクトバー** [▶ ページ 408]と**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 414]に記載されています。
- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。このツールバーに関する内容は、**十字線およびフレームの移動、非表示、表示** [▶ ページ 435]、**ビューをリセットする** [▶ ページ 436]、**アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット** [▶ ページ 424]、**ワークスペースのスクリーンショットを作成する** [▶ ページ 425]の各節をご覧ください。

12.10.1 ワークフローのツールバー

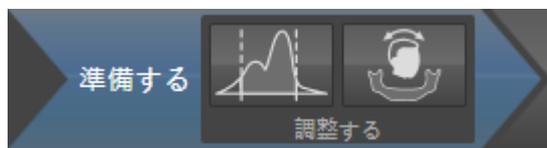
SICAT Airでは、ワークフローのツールバーは4つのワークフローステップで構成されています：

1. 準備する
2. 分析する
3. 説明する
4. 注文する

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1. ワークフロー・ステップ「準備する」



ワークフロー・ステップ「準備する」では、以下のツールが使用できます。



- **グレースケール値を調整する** – この表示に関する内容は、**グレースケール値を調整する** [▶ ページ 451]の節をご覧ください。このツールが使用でき、また、必要になるのは、シロナ社製以外の機器で表示するボリュームに限ります。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整します** これに関する情報は**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 455]と**パノラマエリアを調整する** [▶ ページ 460]に記載されています。

2. ワークフロー・ステップ「分析する」



ワークフロー・ステップ「分析する」では、以下のツールが使用できます。



- **気道をセグメントします** - これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 470]に記載されています。



- **気道比較** これに関する情報は**気道比較を行う** [▶ ページ 488]に記載されています。



- **距離測定を追加する(D)** - このツールに関する内容は、**距離測定を追加する** [▶ ページ 464]の節をご覧ください。



- **角度測定を追加する(A)** - このツールに関する内容は、**角度測定を追加する** [▶ ページ 465]の節をご覧ください。

3. ワークフロー・ステップ「説明する」



ワークフロー・ステップ「説明する」では、以下のツールが使用できます。



- 矢印を描く - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 495]に記載されています。



- 円を描く - これに関する情報は *画像とスクリーンショットの作成* [▶ ページ 495]に記載されています。



- ハンドアウトを作成します - これに関する情報は *ハンドアウトの準備* [▶ ページ 498]に記載されています。

4. ワークフロー・ステップ「注文する」



ワークフロー・ステップ「注文する」では、以下のツールが使用できます。

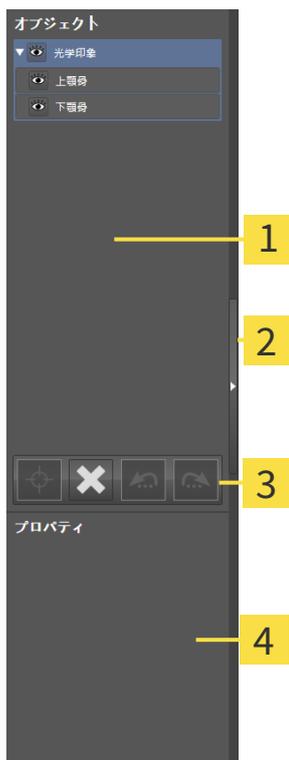


- 光学印象をインポートし記録する - このツールに関する内容は、*光学印象をインポートし記録する* [▶ ページ 514]の節をご覧ください。



- 治療スプリントを注文します - このツールに関する内容は、*治療スプリントをショッピングカートに入れる* [▶ ページ 509]の節をご覧ください。

12.10.2 オブジェクトバー



1 オブジェクトブラウザ

2 ボタンオブジェクトバーを非表示にするまたはボタン オブジェクトバーを表示する

3 オブジェクトツールバー

4 エリア プロパティ

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象（オブジェクト）として、現時点の3D治療計画スタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、**オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 410]の節をご覧ください。
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトに合焦すること、オブジェクトやオブジェクトグループを削除すること、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりすることができます。オブジェクトツールバーに関する内容は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 412]の節をご覧ください。
- **プロパティ**のコーナーには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

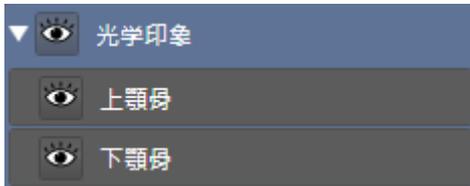
SICAT Air で作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Air*オブジェクト [▶ ページ 414] の節をご覧ください。

オブジェクトバーの右側には、**オブジェクトバーを非表示にする**のボタンと**オブジェクトバーを表示する**のボタンがありますが、これらをクリックすると、**オブジェクトバー**の表示および非表示設定を行うことができます。

12.10.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。



☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。



1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **閉じる**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。



2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある **開く**のアイコンをクリックします。
▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。
 - ▶ SICAT Air は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。
 - ▶ SICAT Air は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。



オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。



1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **表示** のアイコンか、または、**一部表示** のアイコンをクリックします。



- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **非表示** のが表示されません。



2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある **非表示** のアイコンをクリックします。

- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。
- ▶ SICAT Air では、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に **表示** のが表示されます。

12.10.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理



この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 410]の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air は、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。
- ▶ SICAT Air には、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。



オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 [オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理](#) [▶ ページ 410]の節をご覧ください。



- **アクティブ オブジェクト/アクティブグループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air はオブジェクトまたはオブジェクトグループを除去します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。



2. オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y) のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。



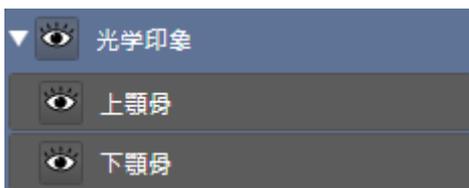
SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

12.10.5 SICAT AIRオブジェクト

SICAT Airでは、**オブジェクトブラウザ**で、アプリケーション固有のオブジェクトが以下のグループに分類されます。

- 光学印象
- 気道
 - 最小断面
- 気道比較
- ハンドアウト
 - 画像
 - スクリーンショット
 - 気道比較

光学印象オブジェクト



光学印象のオブジェクトは、以下の下位オブジェクトから構成されます。

- 上顎骨
- 下顎骨

下位オブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Airでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

上顎骨のオブジェクトや下顎骨のオブジェクトを削除すると、SICAT Airでは、既存の光学印象がもれなく3D治療計画スタディから削除されます。

気道オブジェクト



気道をセグメントした後、SICAT Airオブジェクトは**気道オブジェクトブラウザ**に表示されます。オブジェクトバーは**プロパティ**のエリアに、このオブジェクトの次の要素を表示します：

- スイッチで色分けを有効または無効にすることができます。
- スライダー付の**切断面の色分け**は、グラデーションの最小断面積の最小と最大値を mm^2 で設定をすることができます。
- ボタンで色分けのための値を**リセットする**SICAT Air設定でリセットすることができます。SICAT Air設定で標準値を確定する手順は**SICAT Air設定の変更** [▶ ページ 539]に記載されています。
- セグメントされた気道エリアの**全ボリューム**

SICAT Air は、プロパティの変更を直ちに**3Dビュー**内の気道に適用します。

気道オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはワークスペースエリアを次のように調整します：

- まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道ワークスペース**を有効にします。
- SICAT Air は、最小断面積の中央のすべてのビューの焦点を合わせます。

気道オブジェクトが非表示の場合、SICAT Airは気道分析領域も非表示にします。

マウスポインタを**気道オブジェクト**上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**気道をセグメントする**ウインドウを開きます。

最小断面オブジェクト



次は、**最小断面オブジェクト**に適用されます：

- **最小断面オブジェクト**は**気道オブジェクト**の下部にあります。
- **最小断面オブジェクト**の名称には、mm²単位の**最小断面積**が含まれています。
- **プロパティエリア**では、オブジェクトはレイヤーの断面を追加表示します。
- **最小断面オブジェクト**に焦点を合わせた場合、2Dレイヤーは**最小断面積**のビューを表示します。

気道比較オブジェクト



次は、**気道比較**オブジェクトに適用されます：

- マウスポインタを**気道比較**オブジェクト上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**気道比較**ウインドウを開きます。
- **気道比較**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティエリア**に次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**気道比較**オブジェクトを削除することができます。削除後はこれまでの**気道比較**オブジェクトを復元することはできず、**気道比較**を再実行する必要があります。

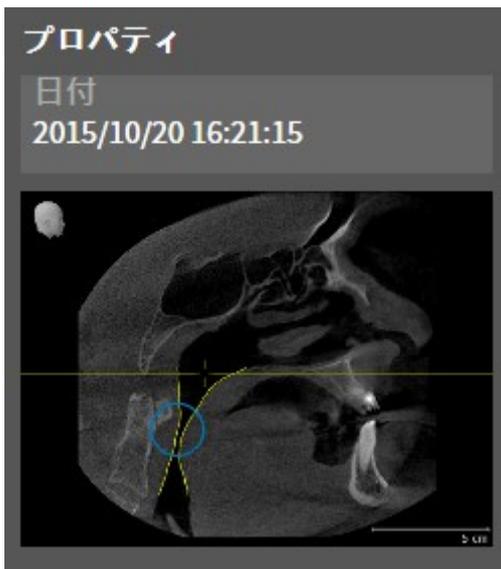
ハンドアウトオブジェクト



次は、**ハンドアウト**オブジェクトに適用されます：

- マウスポインタを**ハンドアウト**オブジェクト上に動かすと、SICAT Airが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Airは**ハンドアウト**を作成するウインドウを開きます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**ハンドアウト**オブジェクトを削除することができます。SICAT Airは、すべての付属の**画像**オブジェクトと**スクリーンショット**オブジェクトを削除します。

画像オブジェクト



次は、**画像オブジェクト**に適用されます：

- **画像オブジェクト**は**ハンドアウトオブジェクト**の下部にあります。
- SICAT Air は、各2Dビューのためにレイヤーのすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- SICAT Air は、**3Dビュー**のために特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをワークスペースに要約し、**画像オブジェクト**を作成します。
- **画像オブジェクト**を作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティエリア**に次のことを表示します：
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクトアクションを元に戻す (Ctrl+Z)**と**オブジェクト/グループアクションを再実行する (Ctrl+Y)**を個々の矢印と円に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する (Del)**を使用し、**画像オブジェクト**とそこに含まれるすべての矢印と円を削除することができます。SICAT Air は、**画像オブジェクト**を**オブジェクトブラウザ**と**ハンドアウト**を作成するウィンドウから削除します。
- **画像オブジェクト**に焦点を合わせた場合、SICAT Airは前回作成した矢印と円が含む時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト



次は、スクリーンショットオブジェクトに適用されます：

- スクリーンショットオブジェクトはハンドアウトオブジェクトの下部にあります。
- SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトをスクリーンショット毎に作成します。
- スクリーンショットオブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザはプロパティエリアに次のことを表示します：**
 - オブジェクトの作成時点
 - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、スクリーンショットオブジェクトを削除することができます。SICAT Air は、スクリーンショットオブジェクトを**オブジェクトブラウザとハンドアウトを作成するウインドウから削除**します。
- スクリーンショットオブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Airはオブジェクトを作成した時点で該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

12.11 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、3D治療計画スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

SICAT Airには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

気道

- **気道ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*気道ワークスペースの概要* [▶ ページ 421]の節をご覧ください。

MPR/放射性

- **MPR/放射性ワークスペース**— このワークスペースに関する内容は、*MPR/放射性ワークスペースの概要* [▶ ページ 422]の節をご覧ください。

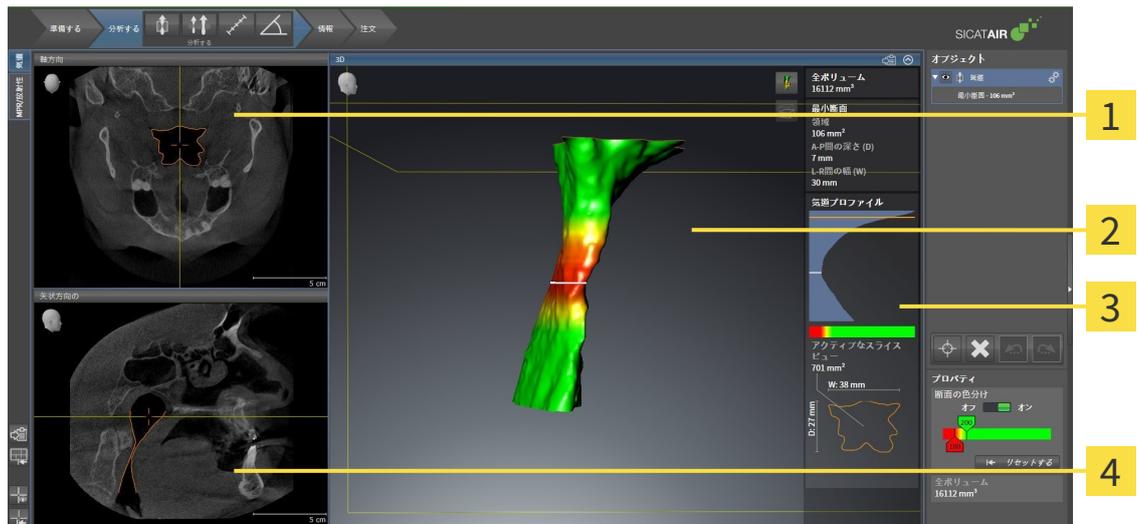


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- アクティブなワークスペースを切り替える。 [▶ ページ 423]。
- アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ ページ 424]。
- ビューの調整 [▶ ページ 427]。
- 3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、*3Dビューの調整* [▶ ページ 438]の節をご覧ください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。この記録に関する内容は、*ワークスペースのスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 425]の節をご覧ください。

12.11.1 気道ワークスペースの概要



1 軸方向-ビュー

2 3D-ビュー

3 気道分析領域

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 537]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 537]の節をご覧ください。

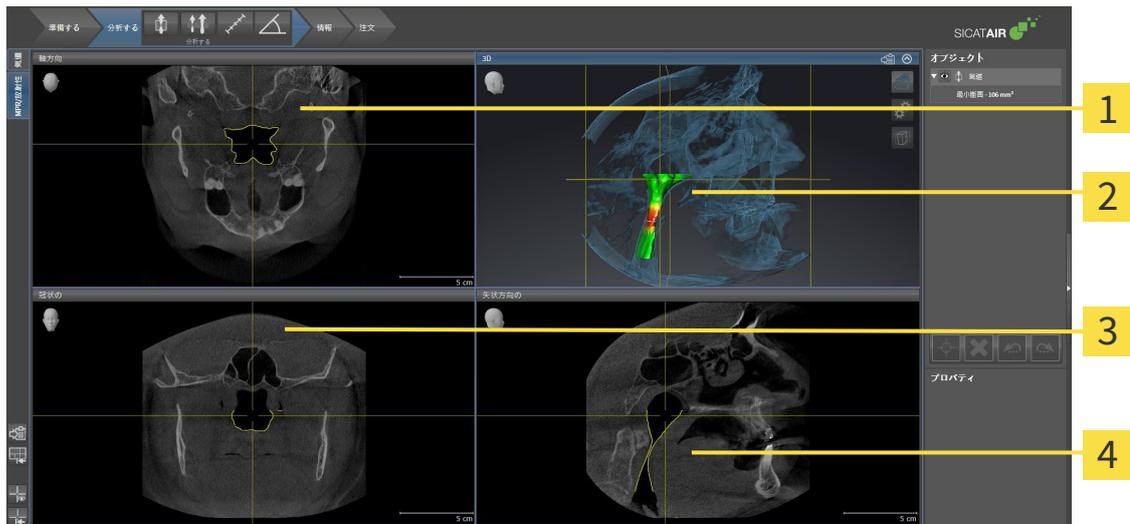


SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 427]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 438]の各節をご覧ください。

気道のセグメンテーションで気道オブジェクトを作成した場合は、3Dビューの気道分析領域を使用することができます。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 414]、[気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 469]および[気道プロファイルとの連携](#) [▶ ページ 484]に記載されています。

12.11.2 MPR/放射性ワークスペースの概要



1 軸方向-ビュー

2 3D-ビュー

3 冠状-ビュー

4 矢状方向-ビュー

軸方向ビュー

デフォルトの軸方向ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。軸方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 537]の節をご覧ください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

冠状ビュー

冠状ビューには、前方から見たレイヤーを表示します。

矢状方向ビュー

デフォルトの矢状方向ビューでは、右側から見たレイヤーを表示します。矢状方向ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、[可視化設定の変更](#) [▶ ページ 537]の節をご覧ください。



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

各ビューの各種機能は、[ビューの調整](#) [▶ ページ 427]および[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 438]の各節をご覧ください。

12.11.3 アクティブなワークスペースを切り替える.

アクティブなワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



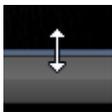
- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。
- ▶ 選択したワークスペースが開きます。

12.11.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
 - ▶ マウスポインタの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 境界線の位置が変わります。
 - ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットするのアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

12.11.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。この切替に関する内容は、[アクティブなワークスペースを切り替える](#)。[▶ ページ 423]の節をご覧ください。



- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl + V」を使用します。

12.12 ビュー

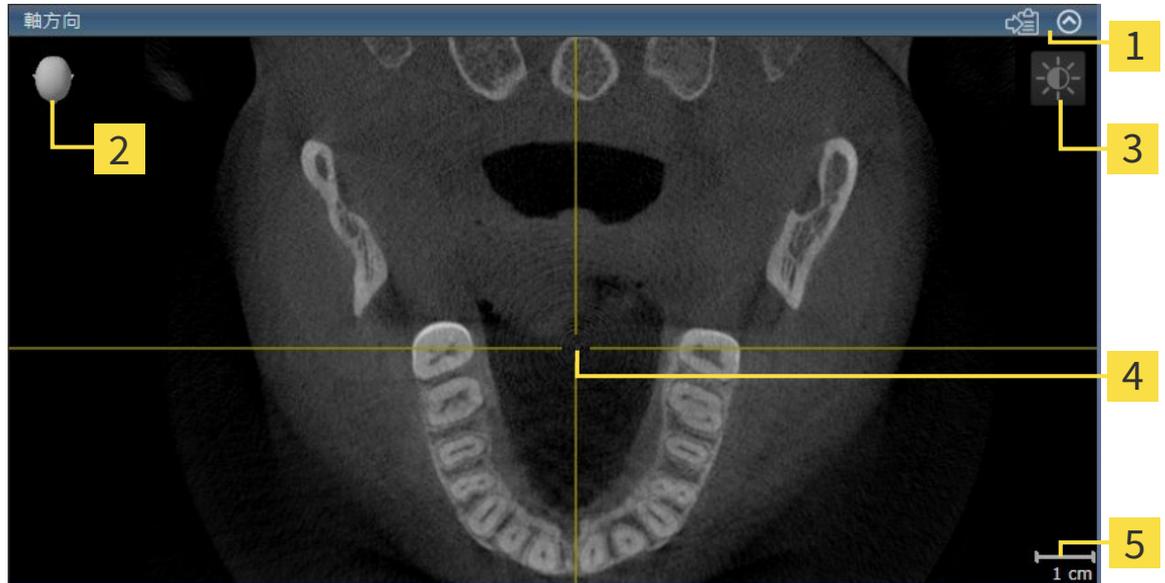
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は、ワークスペース [▶ ページ 420]の節をご覧ください。

ビューを調整することができます。このツールバーに関する内容は、*ビューの調整* [▶ ページ 427]、および、*3Dビューの調整* [▶ ページ 438]の各節をご覧ください。

12.12.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 429]の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



- 1 タイトルバー
- 2 オリエンテーションヘッド
- 3 画像のツールバー
- 4 十字線
- 5 尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Air 全てのレイヤービューは相互に同期されます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

2Dレイヤービューには尺度が付いています。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 429]
- ビューの最大化および復元 [▶ ページ 430]
- 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ ページ 431]
- ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ ページ 433]
- レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ ページ 434]
- 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ ページ 435]
- ビューをリセットする [▶ ページ 436]

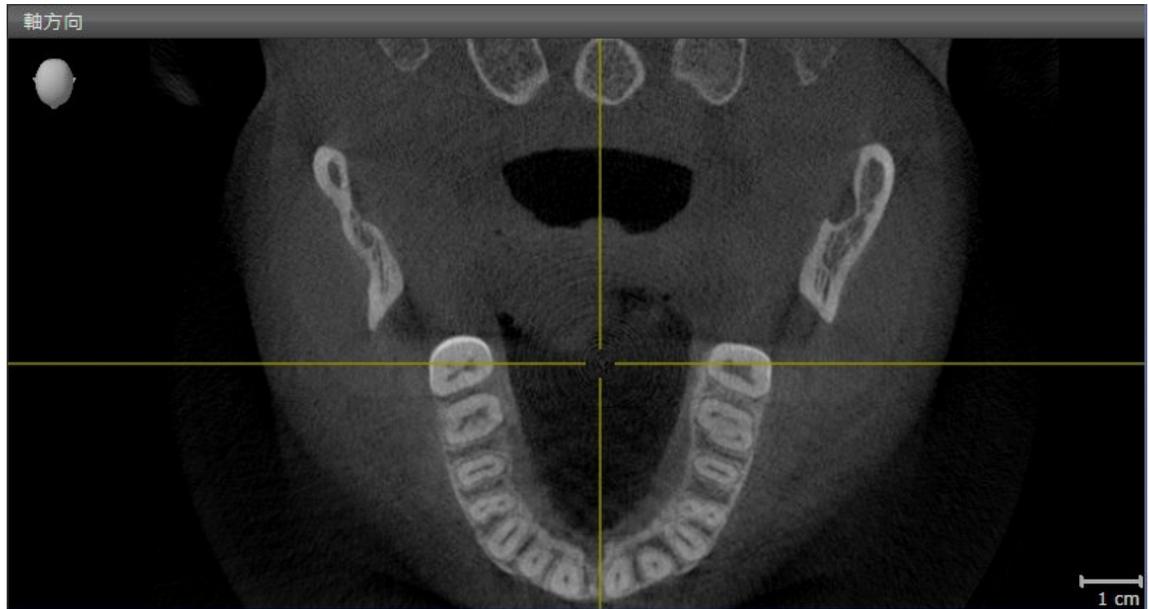
3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 438]の節をご覧ください。

アクティブなビューの内容を記録することができます。この記録に関する内容は、[画像のスクリーンショットを作成する](#) [▶ ページ 437]の節をご覧ください。

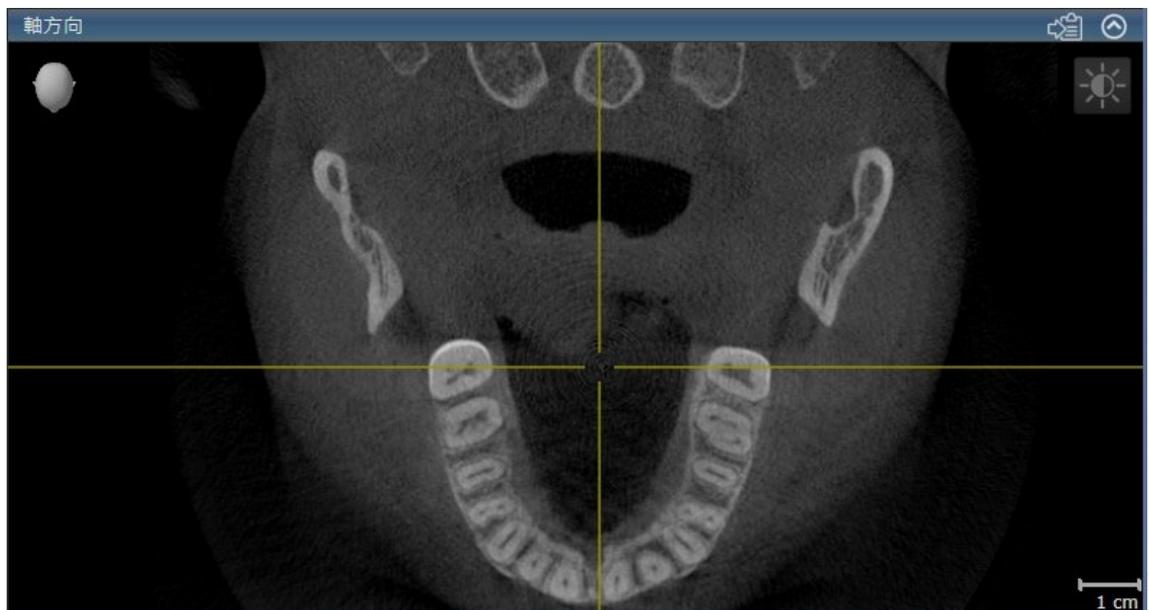
12.12.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

ビューをアクティブにするには、次のように行います。



- 希望のビューをクリックします。
- ▶ SICAT Air がビューをアクティブにします。



作業対象として選択したビューは、タイトルバーが青色になりますので、それとわかります。

12.12.3 ビューの最大化および復元

ビュービューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 429]の節をご覧ください。
- ☑ 希望のビューは最大化していません。



1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Air がビューを最大化します。



2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。
▶ SICAT Air では、ビューが元のサイズに戻ります。



ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

12.12.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 429]の節をご覧ください。



1. 2Dビューの**画像のツールバーに輝度およびコントラストの調整のアイコン**がありますので、それにマウスポインタを重ねます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。
3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Air では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Air は2Dビューの現在の輝度を保持します。



5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。
6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

▶ SICAT Air では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。
- ▶ SICAT Air は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが閉じます。



2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。



全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

12.12.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズームするときには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。
▶ ビューがズームアウトします。



上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。
▶ SICAT Air では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

12.12.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
 - ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
 - ▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
 - ▶ SICAT Air では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

12.12.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

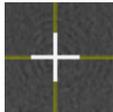
十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。

▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

3. マウスを動かします。

▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。

▶ SICAT Air は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。

▶ SICAT Air では、3Dビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。

4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Air では、十字線が移動後の位置を維持します。



十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

現在、すべての字線とフレームが表示されています。



1. ワークスペースのツールバーで、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。

▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが隠れます。



2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。

▶ SICAT Air では、3Dビューでフレームが表示されます。

12.12.8 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



- ワークスペースのツールバーで、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、すべてのビューで、ズーム、トリミング画像の移動、スクロール、十字線の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。
- ▶ SICAT Air では、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

12.12.9 画像のスクリーンショットを作成する

ビューのスクリーンショットは、文書として記録する目的で、Windowsのクリップボードにコピーすることができます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

治療位置を決定する、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。画像の選択に関する内容は、**アクティブなビューの切り替え** [▶ ページ 429]の節をご覧ください。



- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** のアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされません。



クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

12.13 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、[3Dビューの目線を変更する \[▶ ページ 439\]](#)の節をご覧ください。

3D画像の構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- [3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 442\]](#)
- [3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 443\]](#)
- [3Dビューの切り抜きモードの切り替え \[▶ ページ 448\]](#)



SICAT Airを閉じると、ソフトウェアが、ワークスペースのレイアウトとビューの設定を保存します。

12.13.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューで視線方向を変更する手段は、2種類あります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューでインタラクティブ方式により視線方向を変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

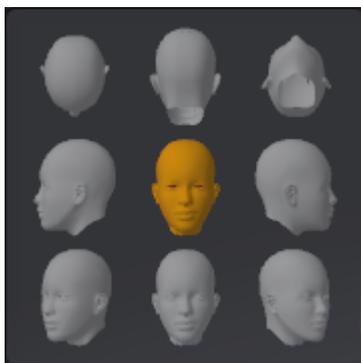
1. マウスポインタを 3D 画像に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air では、3Dビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。



1. 3Dビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
 - ▶ 目線の透明なウィンドウが開きます。



- ▶ 目線の透明なウィンドウ中央部で、オリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

- ▶ 3D画像の視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。
3. マウスポインタを、目線の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。
- ▶ 目線の透明なウィンドウが閉じます。

12.13.2 3Dビューの表示タイプ

3D画像に関して、一般的な内容は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 438]の節をご覧ください。

SICAT Air は、3Dビューのために、ワークスペースMPR/放射性とワークスペース気道で様々な表示タイプを提供しています：



- **組織輪郭での容量表示**は軟部組織のみ示します。



- **表面表示**は、ボリュームを貫く透明でないセグメントを表示します。



- **骨と組織輪郭での容量表示**は**組織輪郭での容量表示**と**骨での容量表示**を組み合わせます。



- **骨での容量表示**は骨のみ示します。



- **気管の不透明なビュー**はセグメントされた気道のみ示します。気道はSICAT Airの**気道オブジェクト**に適合しています。**気道オブジェクト**の設定は**気管の不透明なビュー**に影響を及ぼします。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 414]に記載されています。

3D画像の表示タイプを選択する手順は、[3Dビューの表示タイプを切り替える](#) [▶ ページ 442]の節をご覧ください。

選択している表示タイプの構成設定を行う手順は、[3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する](#) [▶ ページ 443]の節をご覧ください。

様々な表示タイプを様々な切り抜きモードと共に使用する手順は、[3Dビューの切り抜きモード](#) [▶ ページ 445]に記載されています。

12.13.3 3Dビューの表示タイプを切り替える



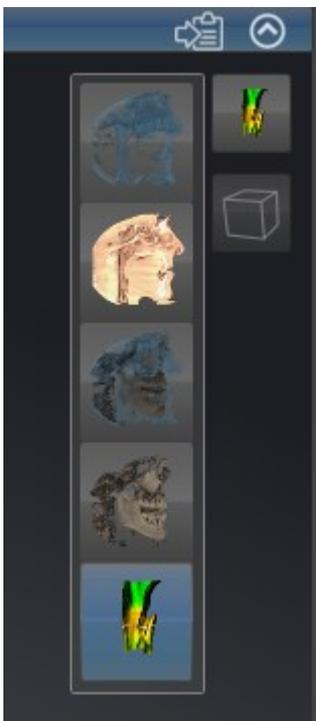
いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 429]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの画像のツールバーで、**表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

12.13.4 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する



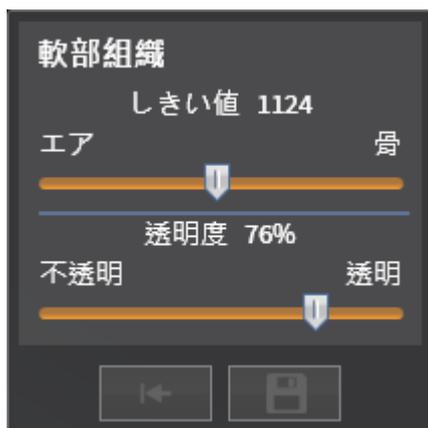
アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウで表示される設定内容は、選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [▶ ページ 429]の節をご覧ください。
- ☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。表示タイプの選択に関する内容は、[3Dビューの表示タイプを切り替える](#) [▶ ページ 442]の節をご覧ください。
- ☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。



1. 3Dビューの画像のツールバーで、**アクティブな表示モードを設定するのアイコン**にマウスポインタを重ねます。
 - ▶ **アクティブな表示モードを設定するの透明なウィンドウ**が開きます。



2. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。
3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。
 - ▶ **詳細設定**のコーナーがドロップダウンで展開します。
4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。
5. 希望のスライダーを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、3D画像に対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **アクティブな表示モードを設定する** の透明なウィンドウが閉じます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

12.13.5 3Dビューの切り抜きモード

3Dビューに関する一般的な内容は、[3Dビューの調整](#) [▶ ページ 438]の節をご覧ください。

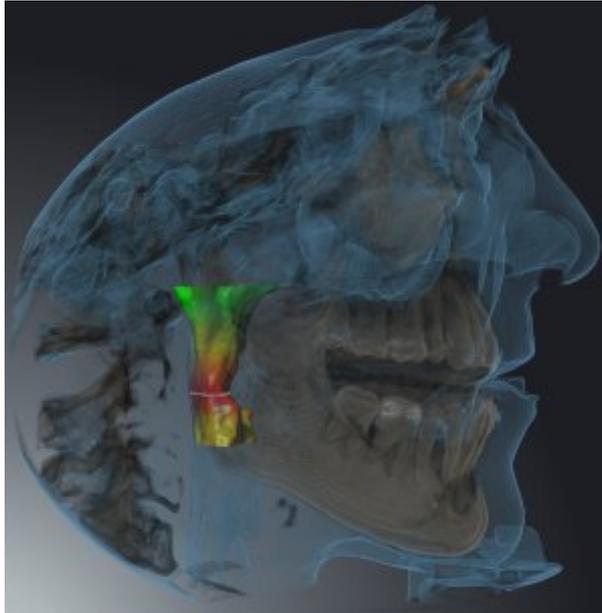
切り抜きモードでボリュームの一部を3Dビュー内で非表示にすることができます。

SICAT Air は、3Dビュー内で表示タイプに応じて様々な切り抜きモードを提供しています：

切り抜き：すべて



SICAT Air は、有効な表示タイプに含まれるボリュームのすべての部分を示します。



切り抜き：気道プレート



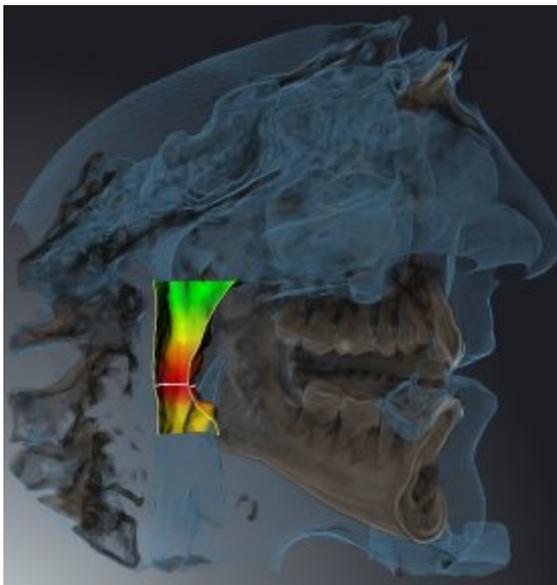
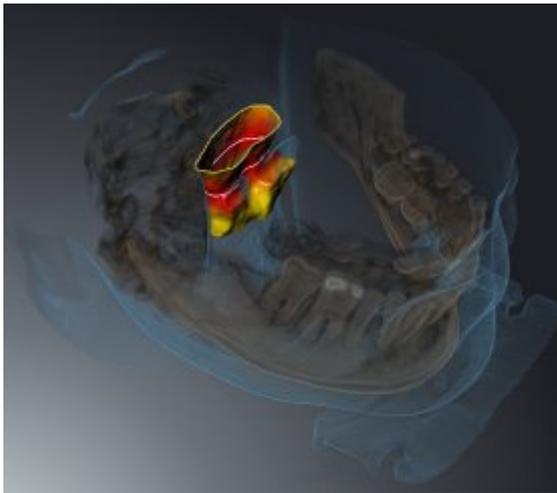
SICAT Air は、気道エリア側面のボリュームのすべての部分を非表示にします。気道エリアを設定する手順は[気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470]に記載されています。気道エリアを設定していない場合、SICAT Airは標準値を適用します。



切り抜き：アクティブなレイヤービュー



SICAT Air は、選択したレイヤーのあるボリュームのすべての部分を非表示にします。レイヤーは切り抜きモードに応じて、**軸方向レイヤービュー**、**冠状レイヤービュー**または**矢状方向レイヤービュー**で設定できます。このスクロールに関する内容は、**レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール** [▶ ページ 434]の節をご覧ください。ワークスペースは、該当するレイヤービューを含んだレイヤー切り抜きモードのみ提供しています。**気道ワークスペース**または**気道プロファイル**で軸方向レイヤーを設定することができます。これに関する情報は**気道プロファイルとの連携** [▶ ページ 484]に記載されています。



特定の表示タイプでの切り抜きモード

次の表は、表示タイプでどの切り抜きモードが使用できるかを示しています：

	切り抜き：すべて	切り抜き：気道プレート	切り抜き：アクティブなレイヤービュー
組織輪郭での容量表示	有	はい*	有
表面表示	無	無	はい、矢状方向*
骨と組織輪郭での容量表示	はい*	有	有
骨での容量表示	はい*	無	有
気管の不透明なビュー	はい*	無	有

*標準

3Dビューの切り抜きモードをアクティブにする手順は3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ ページ 448]に記載されています。

12.13.6 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、次のように行います：

☑ 3D画像を作業対象として選択しておきます。画像の選択に関する内容は、[アクティブなビューの切り替え](#) [[▶ ページ 429](#)]の節をご覧ください。

1. 3Dビューの**画像のツールバー**で、**切り抜きモードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。



2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

▶ SICAT Air は任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

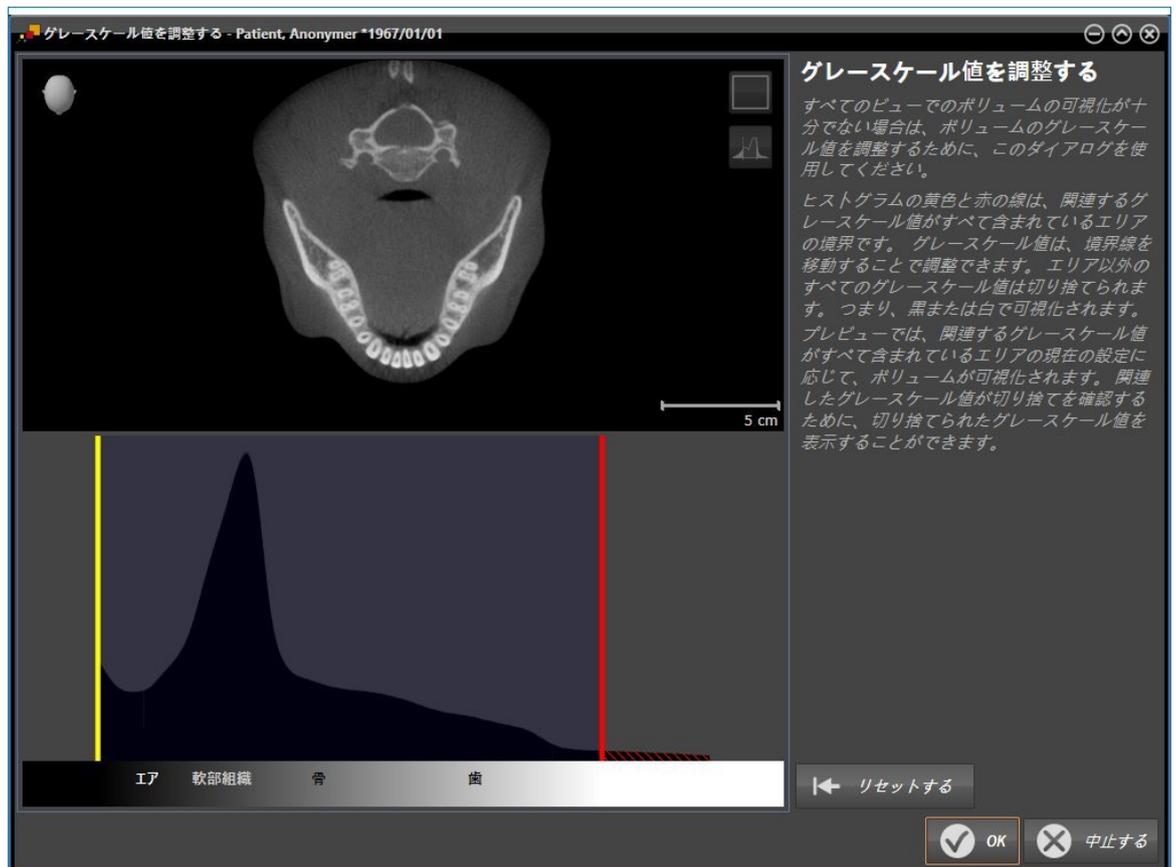
▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

12.14 グレースケール値



グレースケール値を他社製3D X線機器によって作成されたボリューム用としてのみ調整することができます。

ボリュームの表示が不十分な場合、ボリュームのグレースケール値をグレースケール値を調整するウィンドウで調整することができます。



グレースケール値を調整するウィンドウは二つの部分で構成されています。

- 上側は軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューを示しています。
- 下側は、グレースケール値の度数分布を含むヒストグラムを示しています。

ヒストグラムでは黄色い線と赤い線が、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの境界を表しています。これら2本の境界線の位置をシフトさせると、グレースケール値を調整できます。SICAT Airでは、境界線の範囲外にあるグレースケール値をすべて切り捨てて無視します。これは、ソフトウェアがこれらを黒または白で表示することを意味しています。

SICAT Air ボリュームを軸方向レイヤービューまたは冠状投影ビューで、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアに応じて表示します。SICAT Airに関連するビュー情報が隠れていないことを確認するために、ソフトウェアは切り捨てたグレースケール値を表示することができます。

軸方向レイヤービューでは、レイヤーをスクロールし、これらを個別に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

冠状投影ビューでは、全てのレイヤーを一度に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

グレースケール値の調整は、全てのビューでボリュームの表示が不十分な場合にのみ行います。この表示に関する内容は、[グレースケール値を調整する \[▶ ページ 451\]](#)の節をご覧ください。

例えば、特定の解剖学的組織をハイライト表示するときは、2Dビューの明るさやコントラストを調整して、一時的に変更することができます。この調整に関する内容は、[2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット \[▶ ページ 431\]](#)の節をご覧ください。

その他、3Dビューの表示を調整することができます。この調整に関する内容は、[3Dビューの表示タイプを切り替える \[▶ ページ 442\]](#)、[3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する \[▶ ページ 443\]](#)、[3Dビューの切り抜きモードの切り替え \[▶ ページ 448\]](#)の各節をご覧ください。

12.14.1 グレースケール値を調整する

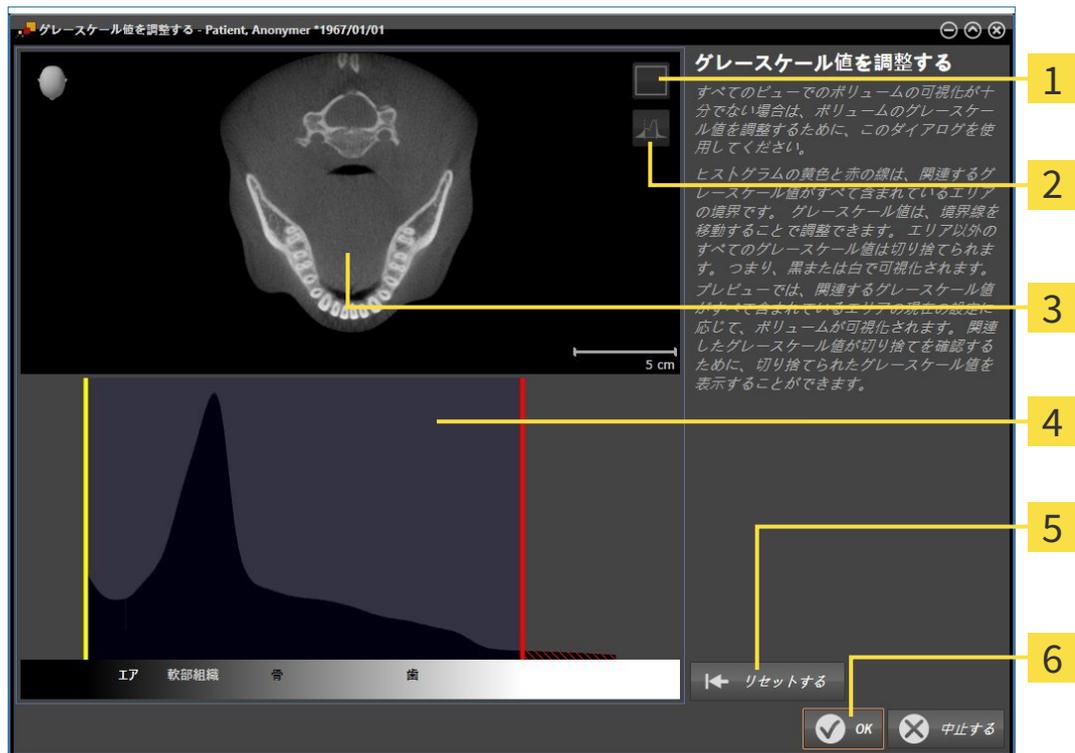
グレースケール値に関する一般的な情報は、[グレースケール値](#) [▶ ページ 449]の節をご覧ください。

ボリュームのグレースケール値を調整するには、次の手順で行います。

- ☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



1. **グレースケール値を調整する**のアイコンをクリックします。
▶ **グレースケール値を調整する**のウィンドウが開きます。



- 1 アイコンまたは**冠状の投影モード**をアクティブにするアイコン **軸方向レイヤーモード**をアクティブにする
- 2 アイコンまたは切り捨てたグレースケール値を表示しないアイコン **切り捨てたグレースケール値**を表示する
- 3 **軸方向レイヤービュー**または**冠状投影ビュー**
- 4 **ヒストグラム**
- 5 ボタン **リセットする**
- 6 ボタン **OK**

2. 軸方向レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**軸方向レイヤーモード**をアクティブにするのアイコンをクリックします。

3. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの下限を調整するには、黄色い線を移動させます。

- ▶ SICAT Air は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Air は関連する最低グレースケール値より低い全てのグレースケール値を黄色で表示します。
4. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が黄色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、黄色い線をもう一度移動させます。
 5. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの上限を調整するには、赤色の線を移動させます。
 - ▶ SICAT Air は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。
 - ▶ SICAT Air は関連する最高グレースケール値より高い全てのグレースケール値を赤色で表示します。
 6. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が赤色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、赤色の線をもう一度移動させます。
 7. **OK**をクリックします。
- ▶ **グレースケール値を調整する**ウィンドウが閉じ、SICAT Airが調整されたグレースケール値に応じてすべてのビューでボリュームを表示します。

記載されている手順に加え、以下の操作が**グレースケール値を調整する**ウィンドウで使用できます：



- **冠状の投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックして、すべてのレイヤーを一度に判断することもできます。**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックすることにより、**軸方向レイヤービュー**を再び切り替えることができます。
- 両方の境界を一度に移動させるには、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアをクリックして移動させます。
- 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアを標準設定にリセットするには、**リセットする**ボタンをクリックします。
- 切り捨てられたグレースケール値を表示したくない場合、**切り捨てたグレースケール値を表示しない**アイコンをクリックします。
- 変更内容を保存しない場合、**中止する**をクリックします。

12.15 ボリュームの配置およびパノラマエリア



ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

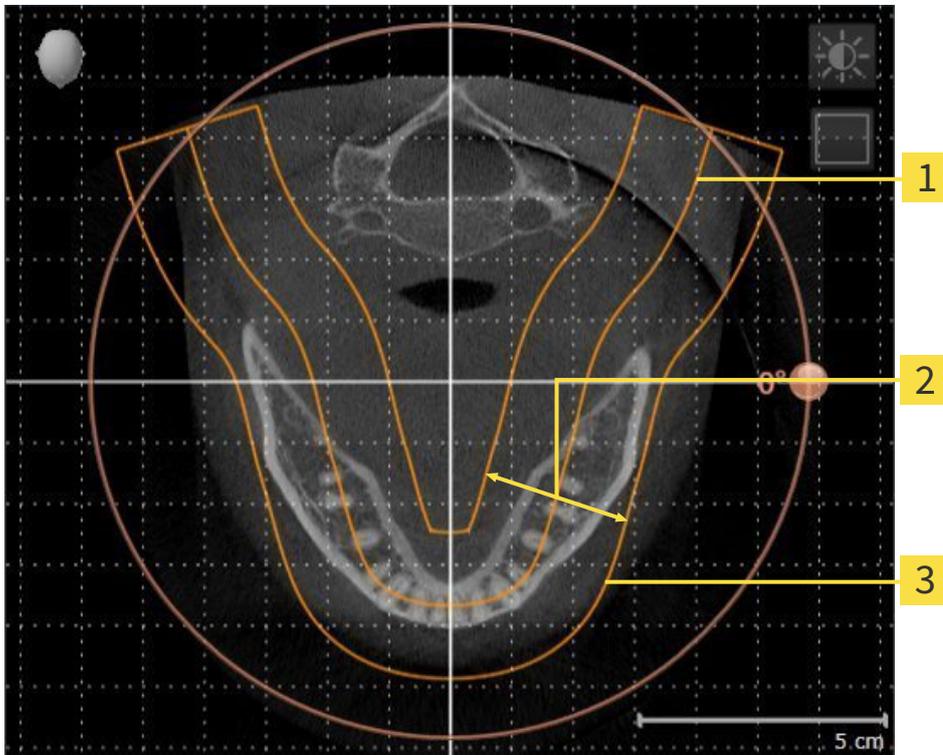
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- パノラマビューの最適化

SICAT Airで、ボリュームの配置を調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションすべてに適用されます。

ボリュームの配置を調整する手順は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 455]の節をご覧ください。

パノラマエリア

SICAT Airでは、ボリュームとパノラマエリアをベースとして計算を行い、パノラマ画像を出力します。パノラマビューを最適化するには、パノラマエリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



- 1 パノラマ曲線
- 2 厚さ
- 3 パノラマエリア

パノラマエリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマエリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマエリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマエリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマエリアは、できるだけ薄くしてください。

SICAT Airで、パノラマエリアを調整すると、この調整した内容は、SICATの別アプリケーションのすべてに適用されます。

パノラマエリアを調整する手順は、[パノラマエリアを調整する](#) [▶ ページ 460]の節をご覧ください。

12.15.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関して、一般的な内容は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [▶ ページ 453]の節をご覧ください。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

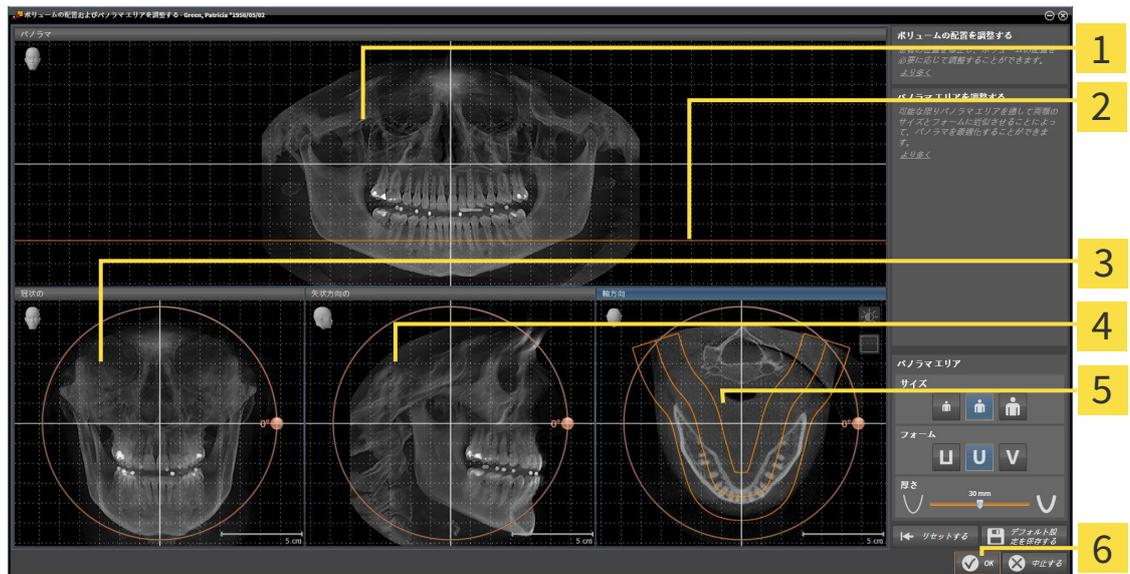
- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウを開く
- 冠状ビューでボリュームを回す
- 矢状方向ビューでボリュームを回す
- 軸方向ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

ワークフロー・ステップの準備するは、展開させておきます。



- ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するのウィンドウが開きます。



1 パノラマビュー

2 軸方向基準線

3 冠状ビューと回転スライダー

4 矢状方向ビューと回転スライダー

5 軸方向ビューと回転スライダー

6 ボタン OK

冠状ビューでボリュームを回す

1. 冠状ビューをアクティブにします。

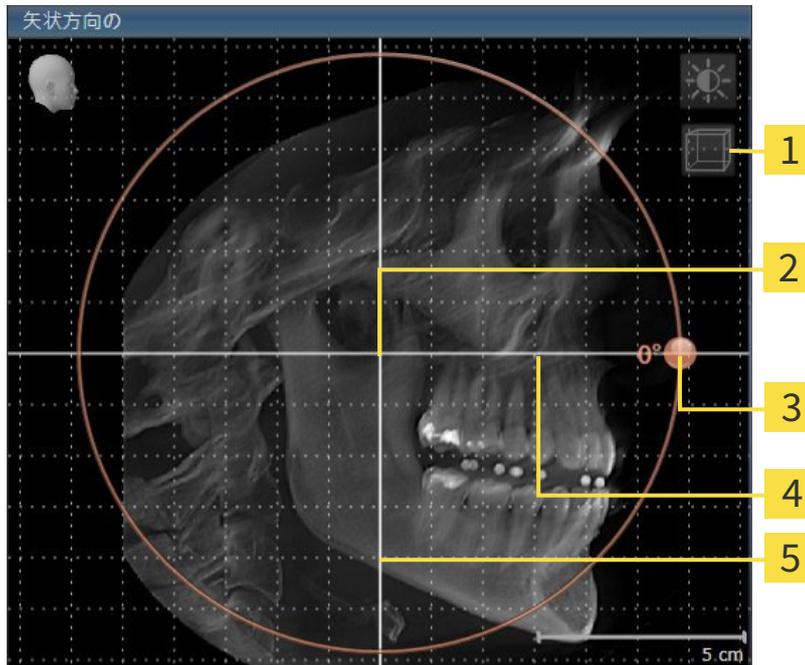


- | | |
|---|-----------------------|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン
投影モードをアクティブにする</p> | <p>4 水平基準線</p> |
| <p>2 回転中心</p> | <p>5 垂直基準線</p> |
| <p>3 回転調整つまみ</p> | |

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**冠状ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. 矢状方向ビューをアクティブにします。

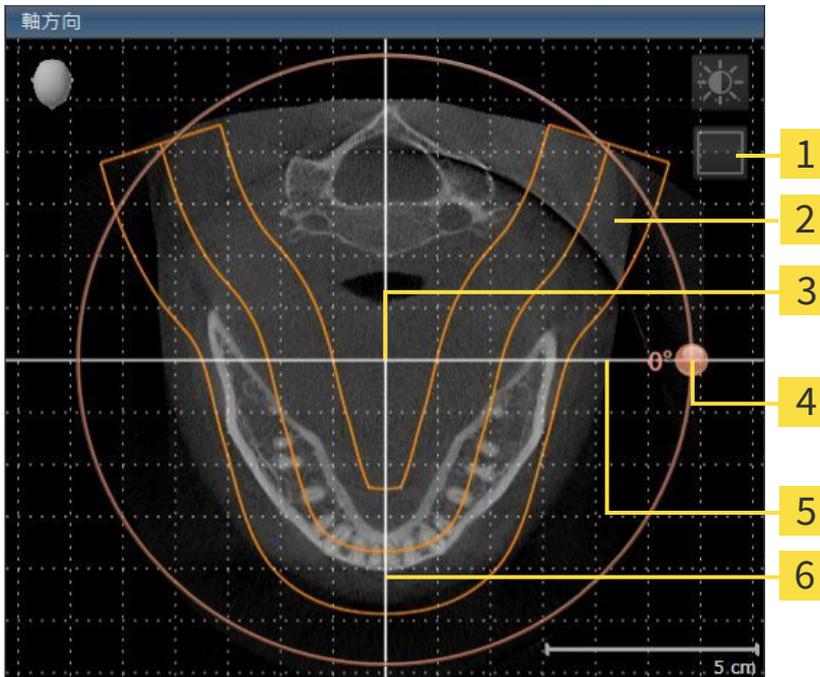


- | | |
|--|---|
| <p>1 アイコンまたはレイヤーモードをアクティブにするアイコン
投影モードをアクティブにする</p> <p>2 回転中心</p> <p>3 回転調整つまみ</p> | <p>4 水平基準線</p> <p>5 垂直基準線</p> |
|--|---|

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**矢状方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューをアクティブにします。



- | | | | |
|----------|---|----------|----------------|
| 1 | アイコンまたは 投影モード をアクティブにするアイコン レイヤーモード をアクティブにする | 4 | 回転調整つまみ |
| 2 | パノラマエリア | 5 | 水平基準線 |
| 3 | 回転中心 | 6 | 垂直基準線 |

2. レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
3. 例えば、パノラマビューで軸方向基準線をマウスの左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスを上下に動かして下顎骨/歯の根のレイヤーをスクロールします。
4. その必要があれば、パノラマエリアの移動は、**軸方向ビュー**で行います。このときは、パノラマエリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Airでは、パノラマエリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。
5. マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
7. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Airでは、**軸方向ビュー**で立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

8. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマエリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。
9. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。
 - ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICATのアプリケーションに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Airで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。
10. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 431]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

12.15.2 パノラマ エリアを調整する

パノラマエリアに関して、一般的な内容は、[ボリュームの配置およびパノラマエリア](#) [▶ ページ 453]の節をご覧ください。

パノラマエリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

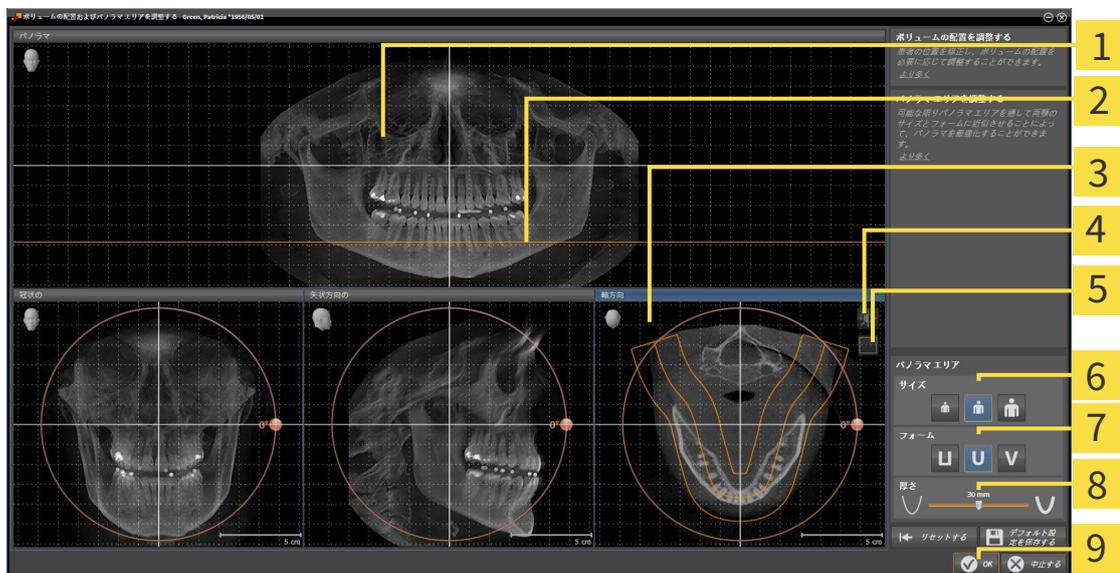
- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウを開く
- 軸方向ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマエリアを移動する
- 軸方向ビューでボリュームを回す
- サイズ、フォーム、厚さのそれぞれのパノラマエリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー・ステップの**準備する**は、展開させておきます。



- **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整**しますのアイコンをクリックします。
- ▶ **ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウが開きます。



- | | |
|---|------------------|
| 1 パノラマビュー | 6 サイズボタン |
| 2 軸方向基準線 | 7 フォームボタン |
| 3 軸方向ビューと回転スライダー | 8 厚さスライダー |
| 4 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 9 ボタン OK |
| 5 アイコンまたは投影モードをアクティブにするアイコン レイヤーモードをアクティブにする | |

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する



1. 軸方向ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。必要に応じて、**レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。
2. パノラマビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向ビュー**の現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
 - ▶ 軸方向画像のレイヤーは、パノラマビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ 軸方向ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマエリアを移動する

1. 軸方向ビューで、マウスポインタをパノラマエリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
 - ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
 - ▶ SICAT Air では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマエリアの調整が行われま
4. パノラマエリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ パノラマエリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. 軸方向ビューで、マウスポインタを**回転調整つまみ**に重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転調整つまみ**を移動させます。
 - ▶ SICAT Air では、**軸方向ビュー**で、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心
4. 下顎骨/歯の根がパノラマエリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマエリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する



1. パノラマエリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。



2. パノラマエリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。



3. **軸方向ビュー**で、**投影モード**が選択してあることを確認します。必要に応じて、**投影モードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。



4. **厚さ**のスライダー位置を移動させて、パノラマエリアの**厚さ**を選択します。パノラマエリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

▶ SICAT Air では、ボリュームの配置とパノラマエリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、パノラマ画像は、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。



- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューをアクティブにし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 431]の節をご覧ください。
- **リセットする**のボタンをクリックすると、ボリュームの配置やパノラマエリアをデフォルトに復元できます。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックすると、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマエリアを、プリセットの設定内容として保存できます。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

12.16 距離/角度測定

SICAT Airには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定



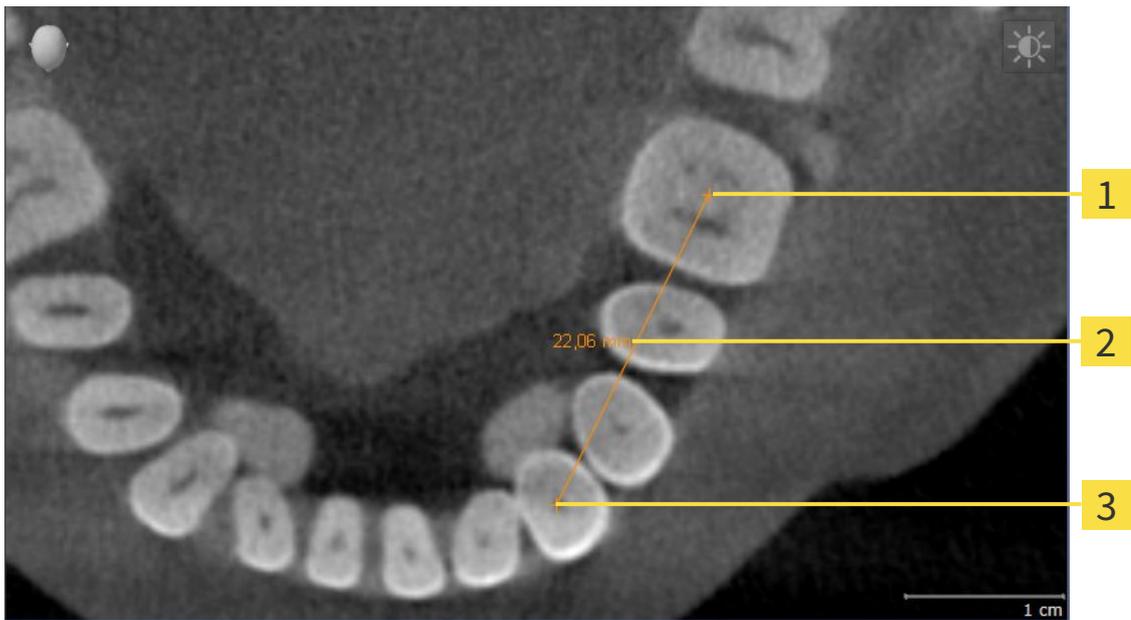
- 角度測定

測定を追加するツールは、ワークフローのツールバーの**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Airはその測定を**測定**のグループオブジェクトブラウザにも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する* [▶ ページ 464]
- *角度測定を追加する* [▶ ページ 465]
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する* [▶ ページ 467]
- 測定のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、オブジェクトブラウザを使用した**オブジェクトの管理** [▶ ページ 410]の節をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 412]の節をご覧ください。

12.16.1 距離測定を追加する



- 1** 始点
- 2** 測定値
- 3** 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。

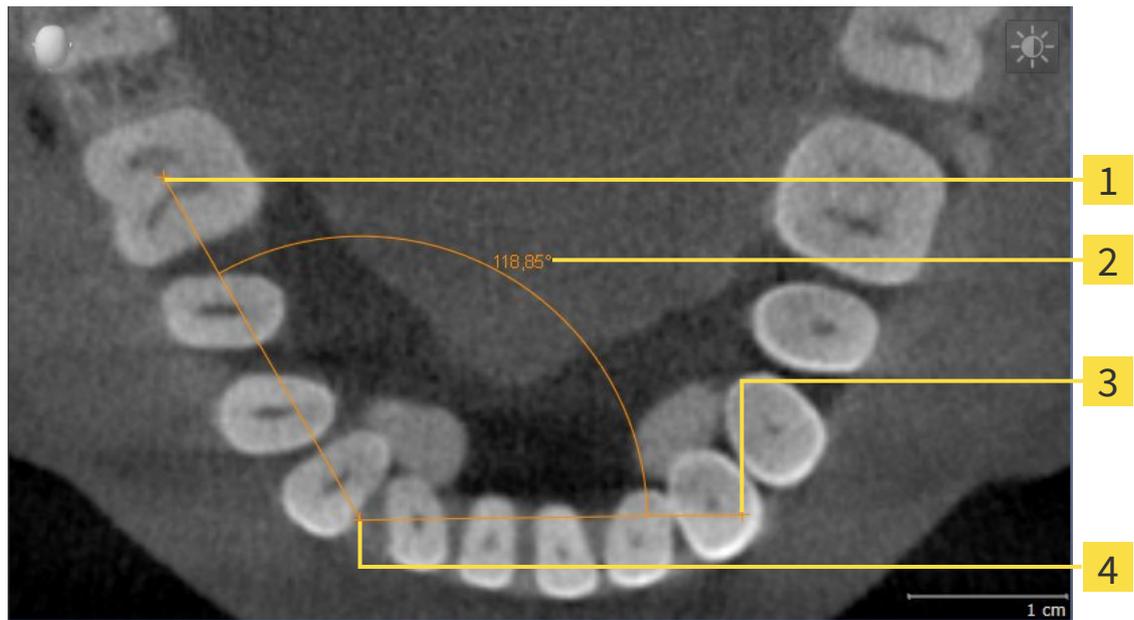


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
 - ▶ SICAT Air 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

12.16.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

4 頂点

角度測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する**は、展開させておきます。



1. ワークフローステップ **診断する** で **角度測定を追加する(A)** アイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air 新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で始点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は小さい十字で頂点を表します。
 - ▶ SICAT Air は、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
 - ▶ SICAT Air 角度測定の2つの頂点の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Air は小さい十字で終点を表します。



測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

12.16.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 410\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 412\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
 - ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 410\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 412\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
 - ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Air はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。この表示に関する内容は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 410\]](#)、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 412\]](#)の各節をご覧ください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
 - ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air は現在の測定値の位置を保持します。



1回の測定の値を移動すると、SICAT Airはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

12.17 気道のセグメンテーション

注記

気道のセグメンテーションの前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 455]の節をご覧ください。ボリュームを気道のセグメンテーション後に配置する場合は、SICAT Airが気道オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

SICAT Airでは、気道分析のために**気道オブジェクト**が必要です。気道をセグメントして、**気道オブジェクト**を作成します。この**気道オブジェクト**は気道を個別に表わし、基本的な情報を表示して追加の相互作用の可能性を提供しています。

気道のセグメンテーションのために、SICAT Airは気道エリアが必要です。気道エリアを2つの解剖学的な基準点でウィンドウ**気道をセグメントする**内に設定してください。その後、SICAT Airは気道エリアを立方体のフォームで作成します。ソフトウェアは、基準点と調整可能な横方向幅で気道エリアを定義します。最終的にSICAT Airは気道エリアで気道の自動セグメンテーションを実行します。基準点の移動と横方向幅の変更は後からできます。その際、ソフトウェアは気道の自動セグメンテーションを再実行します。

SICAT Airは、3Dビューのソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします。ボリュームのSICAT Air部が正しく配置されていない場合は、修正ツールを使用できます。

気道のセグメンテーションは次のステップで構成されています：

- **気道エリアの設定** [▶ ページ 470]

次のステップはオプションです：

- **気道セグメンテーションの修正** [▶ ページ 474]
- **必要でないエリアを気道から削除する** [▶ ページ 476]

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は**気道を手動でセグメントする** [▶ ページ 478]に記載されています。

12.17.1 気道エリアの設定



3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロフィールの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロフィールを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は気道のセグメンテーション [▶ ページ 469]に記載されています。

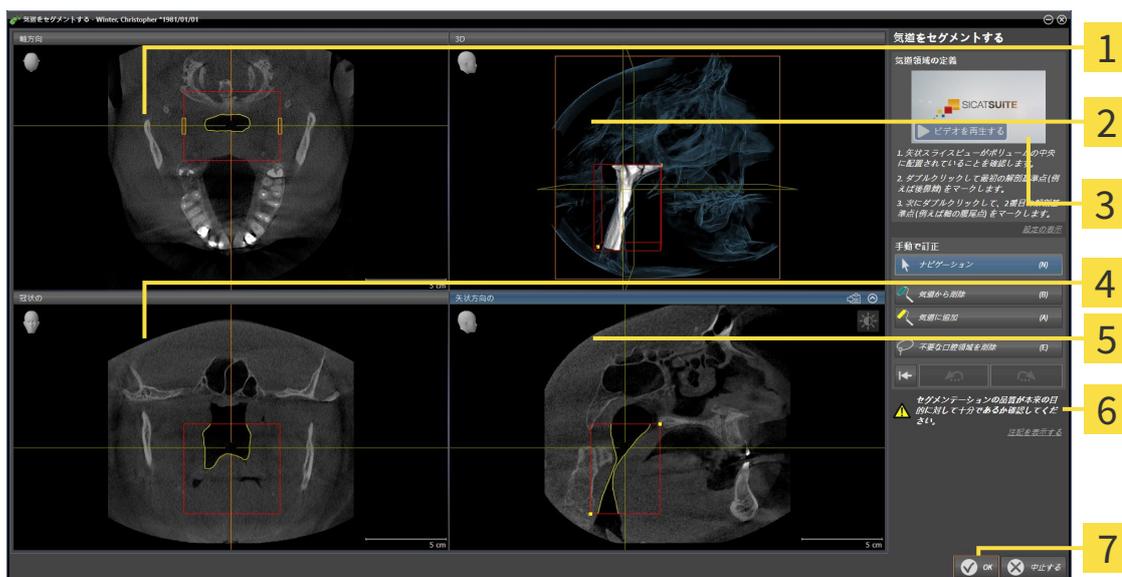
「気道をセグメントする」のウィンドウを開く

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、ボリュームの配置を調整する [▶ ページ 455]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの分析するは、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



- 気道をセグメントしますのアイコンをクリックします。

▶ 気道をセグメントする のウィンドウが開きます。

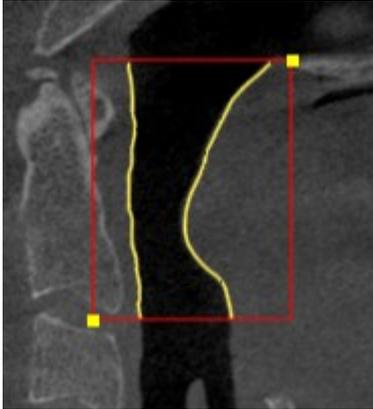


- 1 軸方向ビュー
- 2 3Dビュー
- 3 事例ビデオ
- 4 冠状ビュー

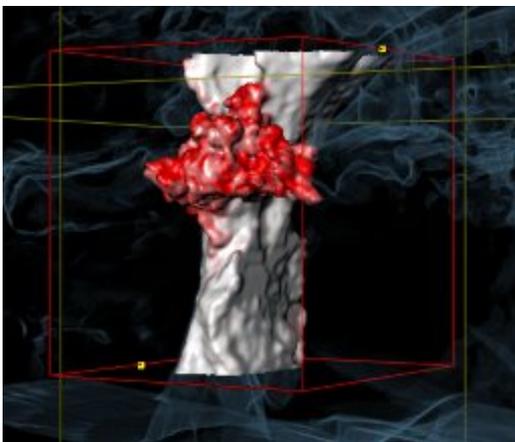
- 5 矢状方向ビュー
- 6 ツール領域
- 7 ボタン OK

気道エリア定義のための解剖学的基準点の配置

1. 矢状方向ビューが気道の上部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
2. 矢状方向ビューで気道エリアの下部基準点位置をダブルクリックしてください：



- ▶ SICAT Air 上部基準点を黄色い四角形でマークします。
 - ▶ これ以後、下部基準点はマウスポインタの位置に一致します。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを赤色のフレームでマークします。
3. 矢状方向ビューが気道の下部基準点の希望する位置を示しているか確認してください。必要な場合は、矢状方向ビューでレイヤーをスクロールしてください。
 4. 矢状方向ビューで気道エリアの下部基準点位置をダブルクリックしてください：
 - ▶ SICAT Air 下部基準点を黄色い四角形でマークします。
- ▶ SICAT Air 気道エリアを基準点の位置に応じて設定します。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアに基づいて自動的に気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道エリアの基準点の移動

基準点をすべての2Dビューに移動できます。



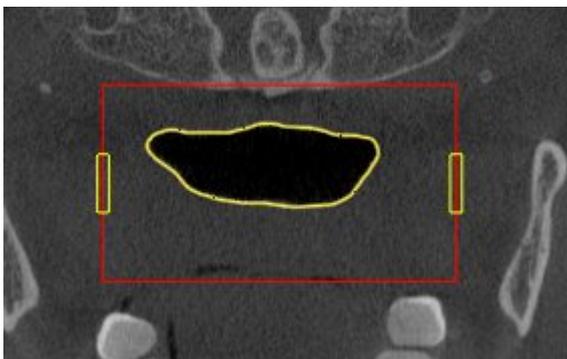
1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. 希望する2Dビューが任意の基準点を示していることを確認してください。必要な場合は、レイヤーをスクロールしてください。
3. マウスポインタを基準点に動かします。
 - ▶ マウスポインタは十字線になります。
4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
5. マウスポインタを新しい基準点の位置に動かします。
 - ▶ 基準点はマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを基準点の位置に応じて調整します。
6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air 新しい基準点を保持します。
 - ▶ SICAT Air 新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ **3Dビュー**でSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：

気道エリアの横方向サイズの変更

横方向サイズは通常60 mmです。



1. ナビゲーションモードが有効であることを確認してください。必要に応じて、**ナビゲーション**ボタンをクリックします。
2. **軸方向**ビューが横方向サイズのマーキングを示しているか確認してください。必要な場合は、**軸方向**ビューでレイヤーをスクロールしてください：



3. マウスポインタを横方向サイズのマーキング上に動かします。

- ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
- 4. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
- 5. マウスポインタを任意のマーキング位置に動かします。
 - ▶ マーキングはマウスポインタの動きに従います。
 - ▶ SICAT Air 気道エリアを新しい横方向サイズに応じて調整します。
- 6. マウスの左ボタンを放します。
 - ▶ SICAT Air 新しいマーキングポイントを保持します。
 - ▶ SICAT Air 新しい気道エリアに基づいて自動的に新たに気道をセグメントします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、*気道のセグメンテーションを完了してください* [▶ ページ 479]に進みます。

セグメンテーションが解剖学的条件と一致していない場合、*気道セグメンテーションの修正* [▶ ページ 474]または*必要でないエリアを気道から削除する* [▶ ページ 476]に進みます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**気道をセグメントする**で使用できます。



- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 431]の節をご覧ください。
- **スクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C)** アイコンをクリックして、個々のビューのスクリーンショットをクリップボードとハンドアウトにコピーすることができます。この記録に関する内容は、*画像のスクリーンショットを作成する* [▶ ページ 437]の節をご覧ください。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**戻る (Ctrl+Z)**ボタンをクリックします。
- 前回のステップを繰り返したい場合は、**繰り返す (CTRL+Y)**ボタンをクリックします。
- 前回のステップに戻りたい場合は、**気道セグメンテーションを削除し、すべての変更を破棄する**ボタンをクリックし、それを通知ウィンドウで確認するにはOKをクリックします。
- 気道のセグメンテーションを中断したい場合は、**中止する**をクリックします。

機能**戻る (Ctrl+Z)**と**繰り返す (CTRL+Y)**を使用できるのは**気道をセグメントする**ウィンドウが開いている間のみです。

12.17.2 気道セグメンテーションの修正



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 469] に記載されています。

誤って検出された気道エリアから削除する

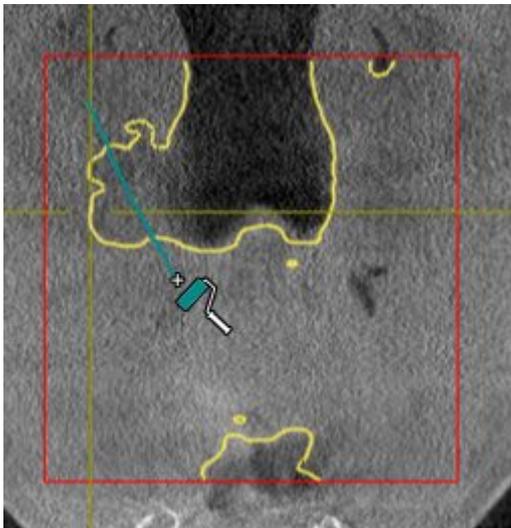
気道のすべての2Dビューエリアを削除できます。

修正の際、特に3Dビューの赤でマークされたエリアに考慮してください。このエリアは、SICAT Air が気道と誤って検出したエリアではない可能性があります。

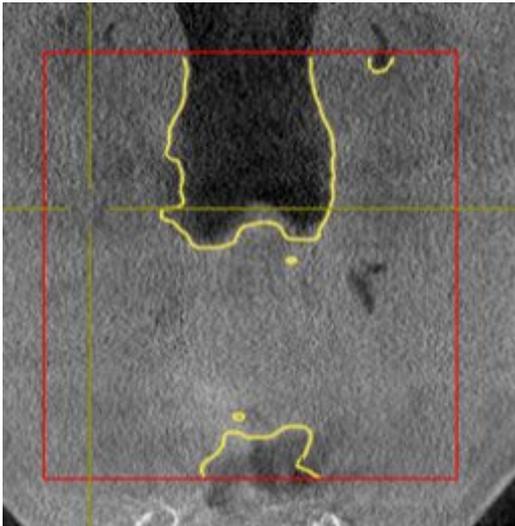
- ☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470] に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道から除去する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは青色の塗料ローラーになります。
2. 気道エリア内の2DビューにSICAT Air が気道と誤って検出した面をマークします：



▶ SICAT Air はマークした気道のエリアを削除します：



誤って検出されたエリアを気道に追加する

すべての2Dビューに、気道としての追加のエリアをマークすることができます。

- 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は[気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470]に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**気道に追加する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは黄色の塗料ローラーになります。
2. 気道エリア内の2Dビューに気道としての追加面をマークします。
 - ▶ SICAT Air は気道としてマークされたエリアを検出します。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**気道のセグメンテーションを完了** してください [▶ ページ 479]に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は[気道を手動でセグメントする](#) [▶ ページ 478]に記載されています。

12.17.3 必要でないエリアを気道から削除する

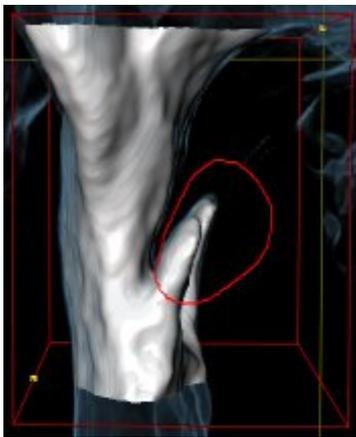
気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 469] に記載されています。

不要な口腔エリアを除去する ツールを気道関連が含まれていない空気エリアに使用してください。それには口内や隆起などが含まれています。

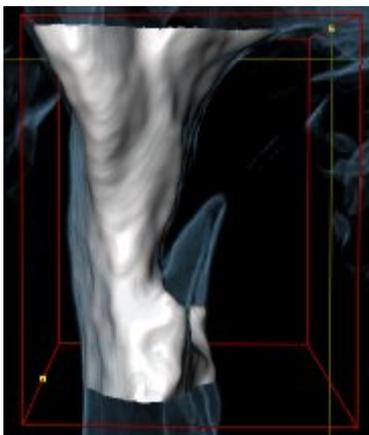
☑ 気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470] に記載されています。



1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**不要な口腔エリアを除去する** のボタンをクリックします。
 - ▶ マウスポインタは投げ縄になります。
2. **3Dビュー** で検出から完全に取り出したいエリアを縁取ってください。気道または気道外のエリアであるかどうかは問題ではありません：



▶ SICAT Air はマーキングの背後のすべてのエリアをボリュームから取り出します。つまり、SICAT Airはこのエリアが気道または気道外のエリアであるかどうかはこれ以上認識できません：



不要な口腔エリアを除去する 機能も2Dビューで使用することができます。この場合、SICAT Air は現在のレイヤーでのみ変更を行います。

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、[気道のセグメンテーションを完了してください](#) [▶ ページ 479] に進みます。

気道の自動セグメンテーションの修正が修正ツールを使用しても解剖学的条件と一致しない場合は、気道のセグメンテーションを手動で行うことができます。これに関する情報は[気道を手動でセグメントする \[▶ ページ 478\]](#)に記載されています。

12.17.4 気道を手動でセグメントする



SICAT Air のセグメンテーションは解剖学的輪郭の代わりにエリアで作業します。従って、解剖学的輪郭を正確にトレースする必要はあまりありません。それに代えて、そのエリアの内部にラインを引いて、セグメント化に関係するエリアを指定してください。

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は [気道のセグメンテーション](#) [▶ ページ 469] に記載されています。

特定の3D X線撮影図の場合は、修正ツールを使用してもSICAT Airは適切な気道のセグメンテーションを自動的に実行できないことがあります。この場合は、気道のセグメンテーションを行ってください：

気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470] に記載されています。

1. **気道をセグメントする** のウィンドウで、**設定を表示する** のボタンをクリックします。

▶ **設定を表示する** のコーナーがドロップダウンで展開します。

2. **気道を手動でセグメントする** のチェックボックスを有効にします。

▶ SICAT Airがある場合は、気道の自動セグメンテーションとそれに関連する修正を削除します。



3. エリアを気道としてマークするには、気道エリア内の**気道に追加する** 描画ツールを使用してください。



4. 気道外のエリアをマークするには、気道エリア内の**気道から除去する** 描画ツールを使用してください。

▶ SICAT Air はマーキングに応じて気道をセグメントします。

▶ **3Dビュー**でSICAT Airはソフトウェアが明確に気道を検出できないエリアに赤でマークします：



気道を手動でセグメントする場合には、気道と気道外のエリアをマークする必要があります。それから、SICAT Airがセグメンテーションを実行します。



気道の自動セグメンテーションおよび手動セグメンテーションの修正用ツールを提供しています：

- [気道セグメンテーションの修正](#) [▶ ページ 474]
- [必要でないエリアを気道から削除する](#) [▶ ページ 476]

気道のセグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、[気道のセグメンテーション](#)を完了してください [▶ ページ 479]に進みます。

12.17.5 気道のセグメンテーションを完了してください

気道のセグメンテーションに関する一般的な情報は気道のセグメンテーション [▶ ページ 469]に記載されています。

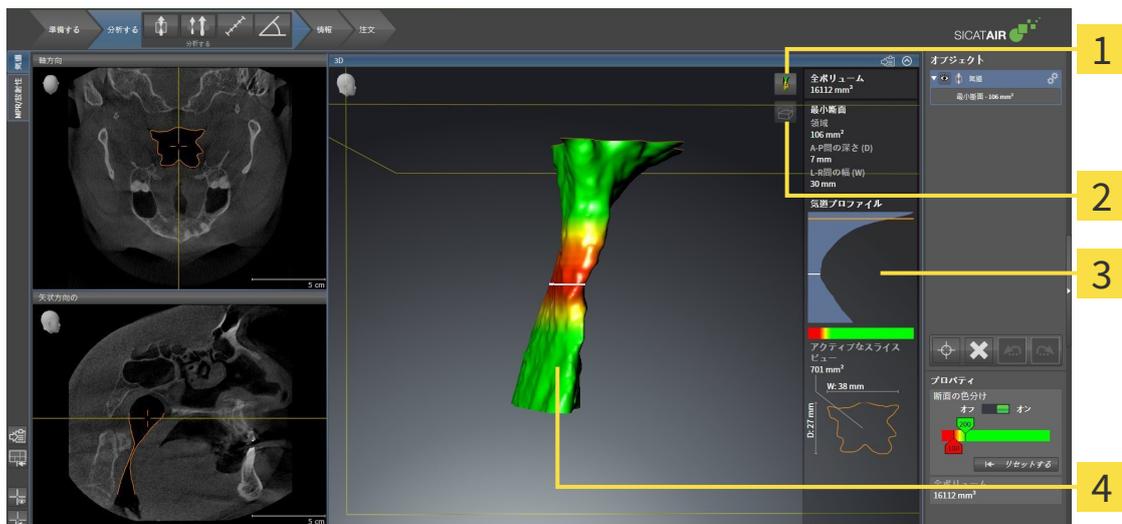
- ☑ **気道をセグメントする** ウィンドウに気道エリアはすでに設定されています。これに関する情報は**気道エリアの設定** [▶ ページ 470]に記載されています。
 - セグメンテーションが解剖学的条件と一致している場合、**OK**をクリックしてください。
 - ▶ SICAT Air はセグメントされた気道を受け入れます。
 - ▶ SICAT Air は**気道をセグメントする** ウィンドウを閉じます。
 - ▶ まだ有効でない場合、SICAT Airが**気道**ワークスペースを有効にします。
 - ▶ 3DビューでSICAT Airは表示タイプ**気管の不透明なビュー**を有効にします。
 - ▶ オブジェクトバーでSICAT Air**気道**オブジェクトを作成します。

12.18 気道分析

気道分析を行う前に、気道をセグメントする必要があります。これに関する情報は気道のセグメンテーション [▶ ページ 469] に記載されています。

SICAT Air は気道分析のために、次の可能性を提供しています：

- 気道分析領域
- 表示タイプ
- 切り抜きモード
- 色分け



1 アイコン 表示モードを切り替える

3 気道分析領域

2 アイコン 切り抜きモードを切り替える

4 セグメントされ、色分けされた気道オブジェクト

全ボリューム

気道プロフィールの上側に、SICAT Air全ボリュームは気道オブジェクトをmm³で示します。

気道分析領域

気道をセグメントした後、SICAT Air気道ワークスペース内に気道分析領域が表示されます。

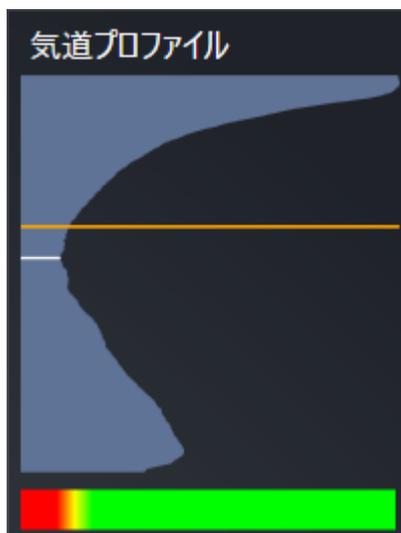
気道分析領域の上部は次のとおりです：



セグメントされた気道に関しては以下の情報を閲覧することができます。

- 最小断面
- A-P間の深さ(D)
- L-R間の幅(D)

気道分析領域の中間部は気道プロフィールを示します。気道プロフィールは気道に沿った軸方向レイヤーの断面積を可視化します：



気道プロフィールには2本の線が含まれており、これには次の意味があります：

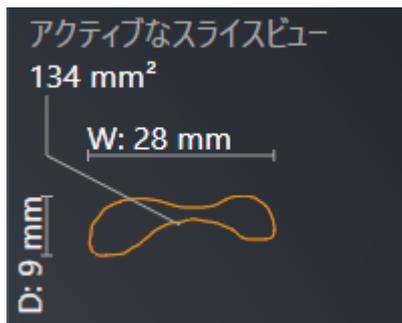
- 白い線はレイヤーを最小断面積で象徴化します。
- オレンジ色の線は選択したレイヤーを象徴化します。

選択したレイヤーは、3Dビューの切り抜き位置と気道分析領域の下部の情報を決定します。

気道プロフィールのレイヤーを選択する手順は気道プロフィールとの連携 [▶ ページ 484]に記載されています。

気道プロフィール下部のグラデーションは色分けと切断面の関連性を確立します。

気道分析領域の下部は次のとおりです：



選択したレイヤーの断面に関しては以下の情報を閲覧することができます：

- 断面の可視化
- 断面積
- 幅
- 奥行き

表示タイプ

3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定の側面を様々な表示タイプで強調することができます。これに関する情報は3Dビューの表示タイプ [▶ ページ 441]に記載されています。

切り抜きモード

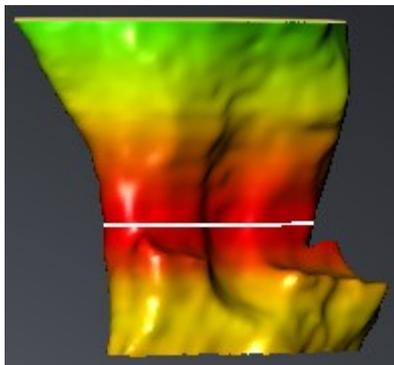
3DビューでSICAT Airは、ボリュームの特定のエリアを様々な切り抜きモードで非表示することができます。これに関する情報は3Dビューの切り抜きモード [▶ ページ 445]に記載されています。

色分け



SICAT Air は色分けでセグメントされた気道を規定します。色分けは気道プロフィールの断面積に一致します。色分けで3Dビューに気道オブジェクトの狭域を強調することができます。

色分けを設定することができます。これに関する情報は *SICAT Air* オブジェクト [▶ ページ 414] に記載されています。気道のすべてのエリアが健康的に見えるように、しきい値上限を選択する必要があります。気道のすべてのエリアが病態的に見えるように、しきい値下限を選択する必要があります。SICAT Air はエリア間をグラデーションで表示します：



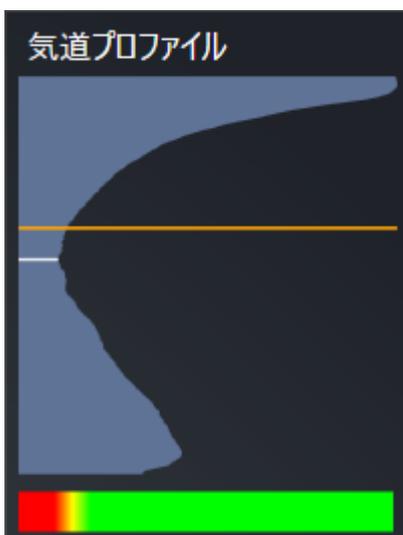
SICAT Air 設定で色分けのための標準値を設定することができます。この変更に関する内容は、*SICAT Air* 設定の変更 [▶ ページ 539] の節をご覧ください。

12.18.1 気道プロフィールとの連携

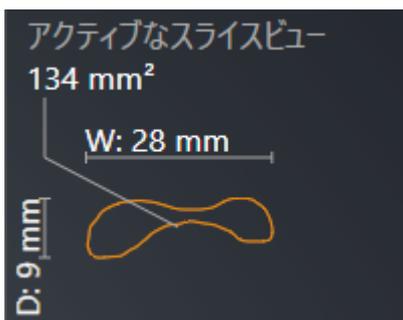
気道分析に関する一般的な情報は [気道分析](#) [▶ ページ 480] に記載されています。

気道プロフィールと連携するには、次のように行います。

- ☑ **気道ワークスペース**はすでに開いています。この切替に関する内容は、**アクティブなワークスペースを切り替える**. [▶ ページ 423] の節をご覧ください。
- ☑ 気道はすでにセグメントされています。これに関する情報は **気道エリアの設定** [▶ ページ 470] に記載されています。
- 気道プロフィールの希望するレイヤーをクリックします。
- ▶ 気道プロフィールに選択したレイヤーがオレンジ色の線で示されます：

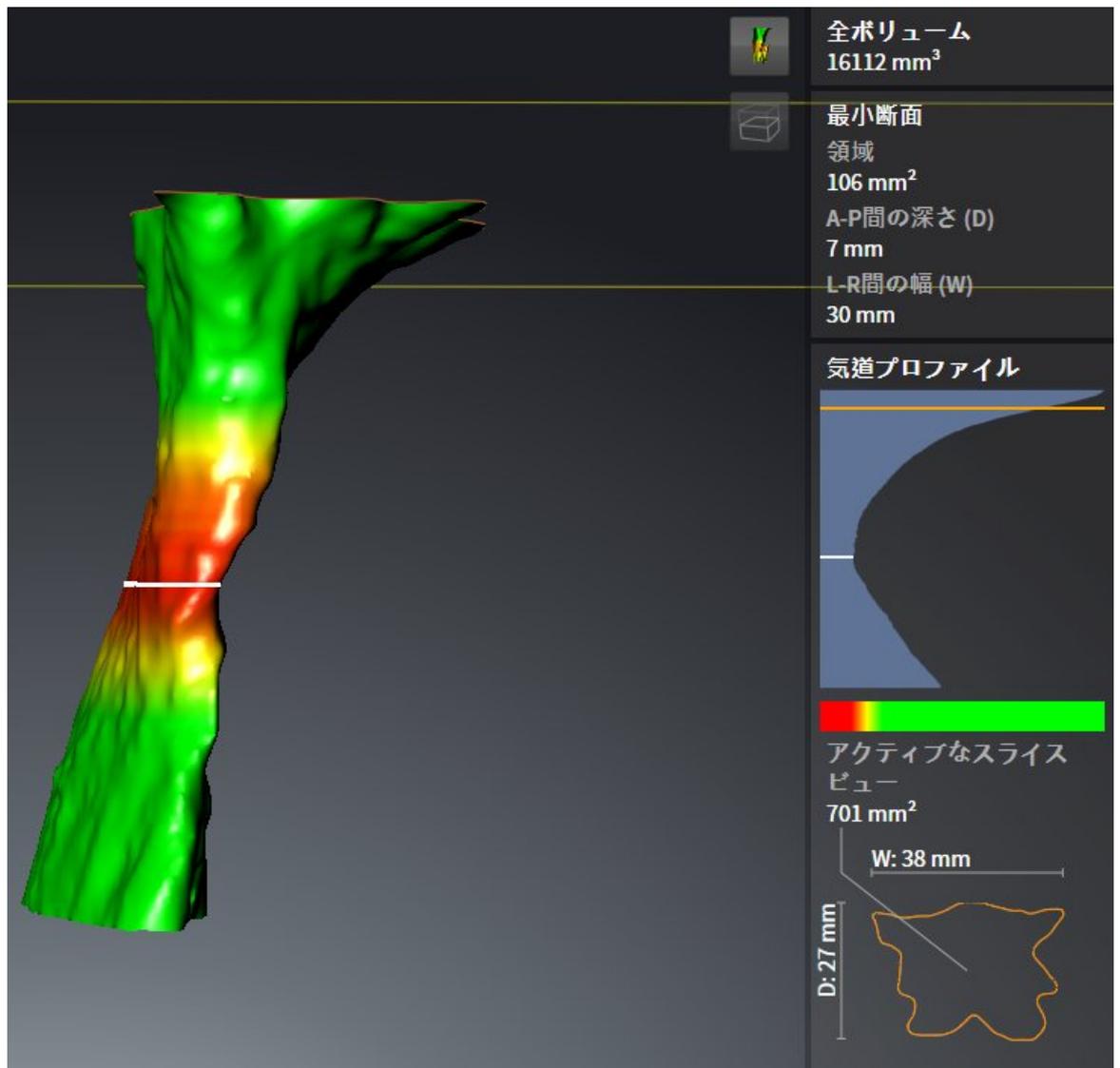


- ▶ SICAT Air は選択したレイヤーのための情報を示します：



- ▶ 3DビューでSICAT Airは切り抜きモード切り抜き：**選択したレイヤービュー**（レイヤービューで**アクティブ化**）を有効にします。

▶ 3Dビューは選択したレイヤーの上部エリアを非表示にします：



▶ SICAT Air は2Dビューで気道の中心に十字線で焦点を合わせます。

12.19 気道比較



3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロファイルの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロファイルを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。



気道比較のための誤ったデータの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

気道比較のための気道プロファイルを選択する場合、正しい患者、正しい3D X線撮影図、正しい気道セグメンテーションデータ、正しいエリアおよび正しいサイズを使用してください。



気道のセグメンテーションの前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 455]の節をご覧ください。ボリュームを気道のセグメンテーション後に配置する場合は、SICAT Airが気道オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

気道比較で2つの3D X線撮影図のセグメントされた上部気道を比較することができます：

- 1つの3D X線撮影図は、下顎が未治療の位置にあります。
- 1つの3D X線撮影図は、下顎が突出した治療位置にあります。

気道比較で患者の気道の治療位置の影響を判断することができます。

気道比較は常に現在開かれている3D X線撮影図と他のデータセットに基づいて行われます。他のデータセットはリファレンスデータベースとされています。



気道比較が正しい値を出すには、気道の後壁を同じ配置にする必要があります。

気道比較を行うには、以下の条件を満たす必要があります。

- 2つの3D X線撮影図は解像度が同じです。
- リファレンス3D X線撮影図はすでに気道オブジェクトを有しています。
- 下顎の3D X線撮影図は治療位置で開いています。

すべての条件が満たされた場合、**気道比較**ウインドウを開き、気道比較を行うことができます。これに関する情報は**気道比較を行う** [▶ ページ 488]に記載されています。



気道比較ウインドウの治療位置での3D X線撮影図のセグメンテーションは、気道をセグメントするウインドウのセグメンテーションには依存していません。オブジェクトブラウザの2つのオブジェクトはお互いに独立しています。

12.19.1 気道比較を行う

気道比較に関する一般的な情報は [気道比較](#) [▶ ページ 486]に記載されています。

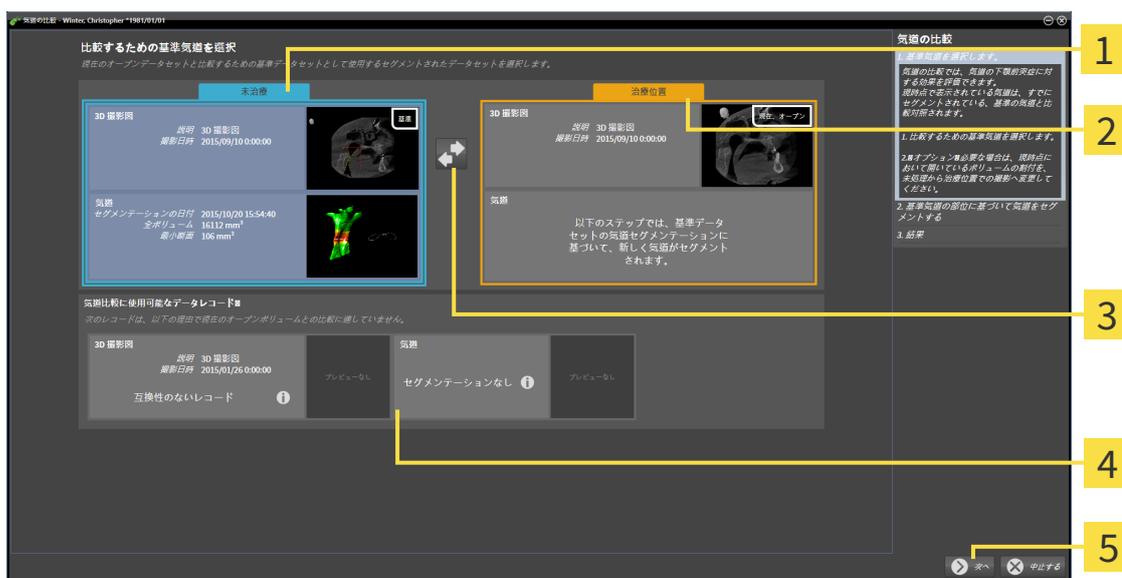
「気道比較」ウィンドウを開く

- ☑ リファレンス3D X線撮影図ですでに気道比較をセグメントしました。これに関する情報は [気道エリアの設定](#) [▶ ページ 470]に記載されています。
- ☑ 治療位置を示した3D X線撮影図をすでに開きました。
- ☑ 治療位置を示した3D X線撮影図は要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 455]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの **分析する** は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



- **気道比較のアイコンをクリックします。**
- ▶ **気道比較ウィンドウが比較するためにリファレンス気道を選択するのステップで開きます。**

リファレンス気道の選択



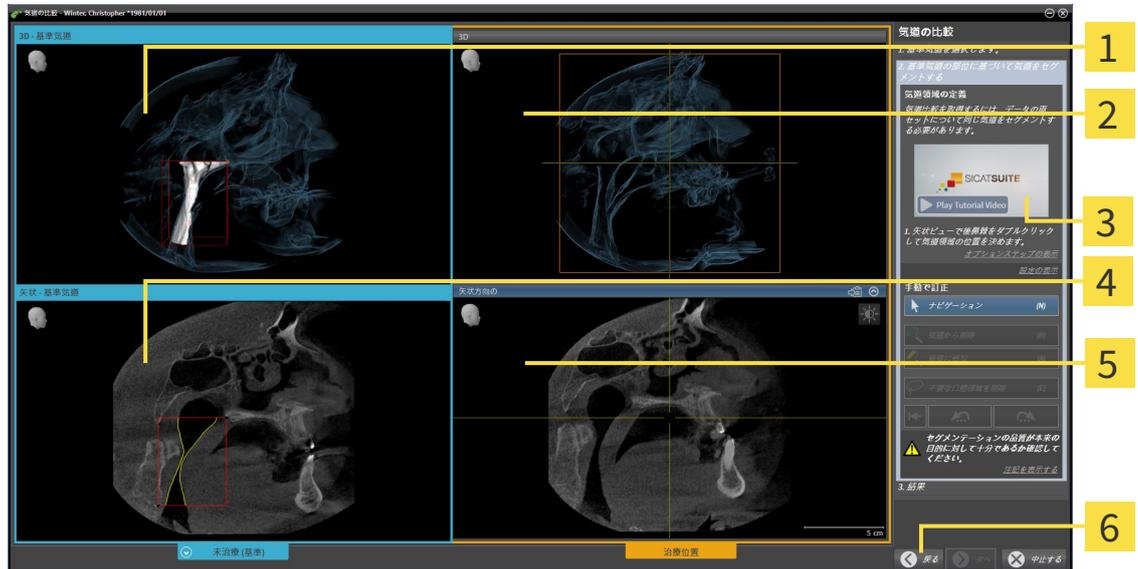
- 1** のリスト **未治療**
- 2** のリスト **治療位置**
- 3** アイコン **未処理と治療位置間の割り当てを変更する**
- 4** 気道比較に不適切な3D X線撮影図のリスト
- 5** ボタン **次へ**

1. 必要に応じて、希望するリファレンス気道を選択してください。
2. リファレンス気道が未治療位置または治療位置の3D X線撮影図であるかどうかを確定する必要がある場合は、**未処理と治療位置間の割り当てを変更する**アイコンをクリックしてください。

3. 次へのボタンをクリックします。

▶ のステップが開きます。

比較のための気道をセグメントする

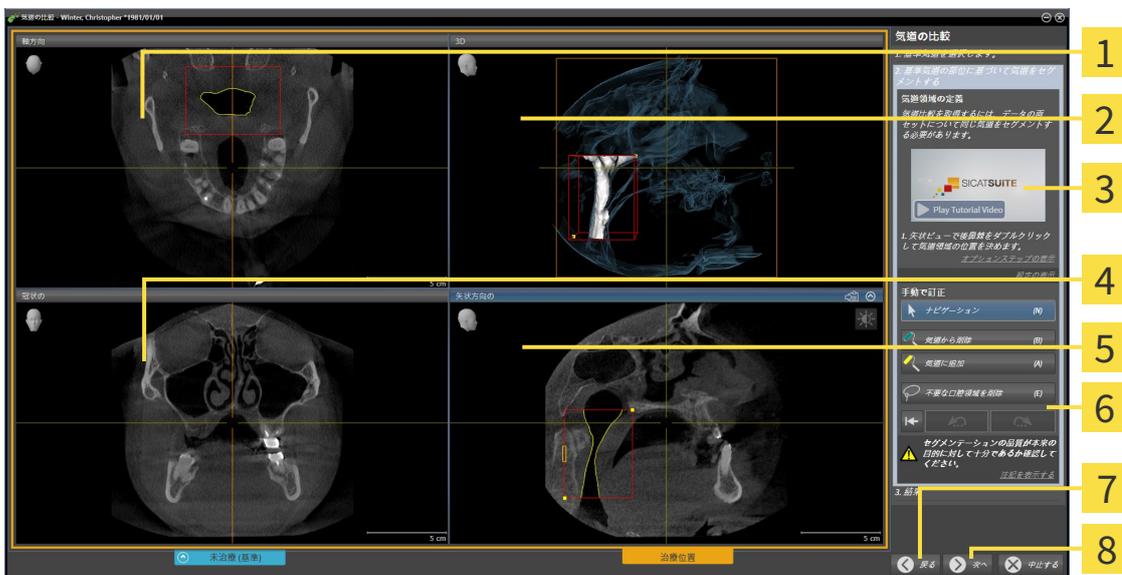


- | | |
|--|---|
| <p>1 3D-リファレンス位置の3D X線撮影図ビュー (このビューは変更不可)</p> <p>2 3D-治療位置の3D X線撮影図ビュー (このビューは変更不可)</p> <p>3 チュートリアルビデオ</p> | <p>4 矢状方向-リファレンス位置のボリュームビュー</p> <p>5 矢状方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー</p> <p>6 ボタン 戻る</p> |
|--|---|

2つの気道比較は同じ高さである必要があります。それには、気道エリアの右上の基準点のみを設定します。 SICAT Air は、それから気道エリアの左下の基準点を自動的に設定します。

- 治療位置の3D X線撮影図をセグメントするには、リファレンス3D X線撮影図の場合と同じように、気道エリアの上部基準点のための矢状方向ビューの同じ部位位置をダブルクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、治療位置の3D X線撮影図を3D X線撮影図のセグメンテーションの場合と同じ寸法で、選択した上部基準点とリファレンス気道エリアでセグメントします。
 - ▶ SICAT Air は、リファレンス3D X線撮影図の3Dビューと矢状方向ビューを非表示にします。

- ▶ SICAT Air は、治療位置のリファレンス3D X線撮影図の軸方向ビューと冠状ビューを表示します。

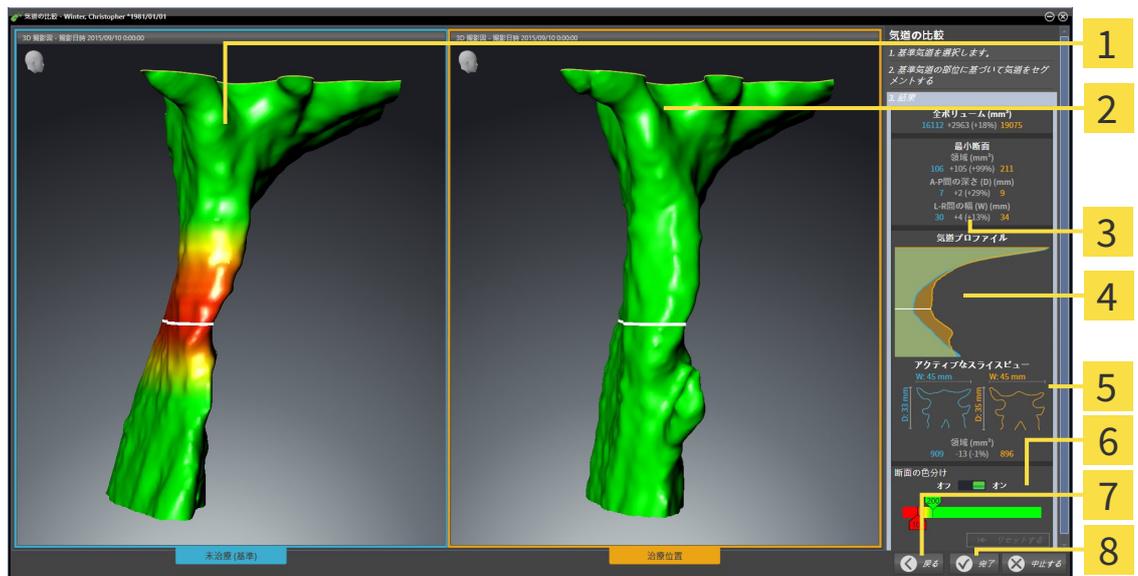


- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1 軸方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 5 矢状方向-治療位置の3D X線撮影図ビュー |
| 2 3D-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 6 ツール領域 |
| 3 チュートリアルビデオ | 7 ボタン 戻る |
| 4 冠状-治療位置の3D X線撮影図ビュー | 8 ボタン 次へ |

2. 上部基準点の位置を修正する必要がある場合は、これを移動してください。
 - ▶ 上部基準点の移動中、SICAT Airはリファレンス3D X線撮影図の3Dビューと矢状方向ビューを表示します。
3. 必要に応じて、矢状方向ビューの横方向幅を調整してください。
4. 必要に応じて、治療位置のリファレンス3D X線撮影図のセグメンテーションを修正してください。気道をセグメントするウィンドウと同じ修正ツールを使用することができます。これに関する情報は気道セグメンテーションの修正 [▶ ページ 474]と必要でないエリアを気道から削除する [▶ ページ 476]に記載されています。
5. 次へのボタンをクリックします。
 - ▶ のステップが開きます。

i 治療位置のリファレンス3D X線撮影図の軸方向ビューと冠状ビューを手動で表示/非表示にするには、 アイコンをクリックします。

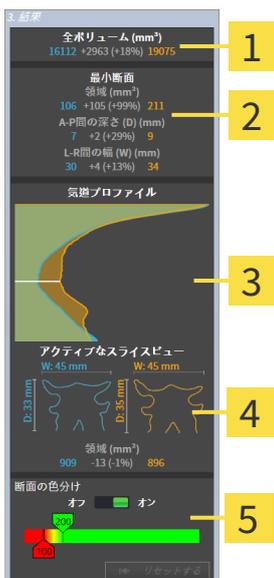
気道の比較



- | | |
|---|-------------------------|
| 1 3D-未治療の気道ビュー | 5 未治療と治療位置の断面の対照 |
| 2 3D-治療位置の3D X線撮影図のセグメントされた気道ビュー | 6 色分け |
| 3 未治療と治療位置のセグメントされた気道データの対照 | 7 ボタン 戻る |
| 4 未治療と治療位置の気道プロフィールの対照 | 8 ボタン 完了 |

- 2つの気道がよく比較できるように、セグメントされた気道を移動します。SICAT Airは移動を同期しません。
- セグメントされた気道を回します。SICAT Airは回転を同期します。

3. セグメントされた気道をズームします。SICAT Air はズームを同期します。



- 1 総量 (mm³)
- 2 最小断面
- 3 気道プロフィール
- 4 アクティブなレイヤービュー
- 5 切断面の色分け

4. 断面の表示と右側の気道比較エリアのデータを使用し、セグメントされた気道を比較してください。青色の値は未治療の気道に属し、オレンジ色の値は治療位置の気道に属しています。パーセンテージは未治療の気道から治療位置の気道の変更を示します。ビューにはその以外に気道分析エリアと同じ要素が含まれています。これに関する情報は[気道分析](#) [▶ ページ 480]に記載されています。

5. SICAT Airで3Dビューの気道表示が交差するレイヤーを選択するために、**気道プロフィール** エリアを使用します。選択したビューは両方の気道に適用されます。

6. 気道の断面積と特に狭域強調するためにグラデーションを調整します。グラデーションの設定は両方の気道に適用されます。

7. **完了** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Air は気道比較を保存します。

▶ SICAT Air は、**気道比較**オブジェクトを**オブジェクトブラウザ**に作成します。

▶ SICAT Air は、ハンドアウトにスクリーンショットと重要な気道比較測定値対照の個別ページを作成します。**オブジェクトブラウザ**でSICAT Airハンドアウトオブジェクト下部の**気道比較**オブジェクトとしてのページを表示します。



気道比較の前のページに戻るには、**戻る**ボタンをクリックします。

気道比較を中断するには、**中止する**ボタンをクリック、**ⓧ**アイコンをクリック、**ESC**を押す、またはボタンの組合せAlt+F4を押します。SICAT Airは、**気道比較**オブジェクトを作成せず、治療位置のボリュームの気道比較のためのセグメンテーションを保存しません。

撮影結果がすでに**気道比較**オブジェクトに含まれている場合、再セグメンテーションが完全に行われると、SICAT Airはこれを最初に上書きします。

気道比較の実行後に、**気道比較**ウィンドウを開くには、**気道比較**オブジェクトの横の**オブジェクトブラウザ**の**詳細**アイコンをクリックしてください。

気道比較の実行後に撮影結果から始めた場合は、**気道比較**ウィンドウを再度開き、**治療スプリント付きとなしの気道比較**ステップでウィンドウすぐに開きます。

12.20 患者教化



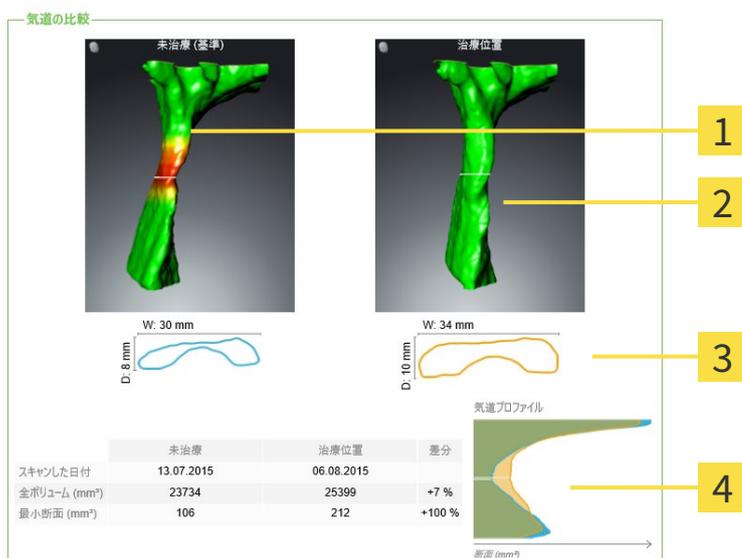
診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、下顎前突の効果を明確にすることができます。SICAT Airで患者教化が2ステップで実行されます：

1. SICAT Airのソフト上
2. ハンドアウトによる患者情報

ハンドアウトの内容は説明の間にディスプレイで作成することができます。ソースは描画オブジェクトからなる画像、スクリーンショットおよび気道比較です。気道比較は特別な役割を果たし、ハンドアウトに独自のページを得ます。



1 スクリーンショット 未治療

3 最小断面のレイヤーの対照

2 スクリーンショット 治療位置

4 数値の比較と 気道プロフィール

患者はハンドアウトで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

ハンドアウトの作成は次のステップで構成されています：

- 画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 495]
- ハンドアウトの準備 [▶ ページ 498]
- ハンドアウトの作成 [▶ ページ 502]

ハンドアウトはプリントするか、またはPDFファイルで保存することができます。PDFファイルは、SICAT AirをサポートしているPDFビューアで開くことができます。システムの要件に関する内容は、システム要件 [▶ ページ 12]の節をご覧ください。

12.20.1 画像とスクリーンショットの作成

注記

画像とスクリーンショットを作成する前に、ボリュームをフランクフルト水平に応じて配置することが有用です。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 455]の節をご覧ください。ボリュームを画像とスクリーンショット作成後に配置する場合は、SICAT Airが描画オブジェクトを削除し、セグメンテーションを再実行する必要があります。

患者教化に関する一般的な情報は**患者教化** [▶ ページ 494]に記載されています。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 414]に記載されています。

描画ツールは2種類あります：

- 矢印を描く
- 円を描く

矢印を描く

矢印を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、**ボリュームの配置を調整する** [▶ ページ 455]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、**ワークフローのツールバー** [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **矢印を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに矢印を表示します。
 - ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
4. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した矢印を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 414]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウインドウにあります。
5. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、次のように行います：

- ☑ 要件に応じてボリュームをすでに調整しました。例えば、フランクフルト水平。この調整に関する内容は、[ボリュームの配置を調整する](#) [▶ ページ 455]の節をご覧ください。
- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ **説明する** で **円を描く** アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
 - ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
 - ▶ SICAT Air はビューに円を表示します。
 - ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
4. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
 - ▶ SICAT Air はビューに完成した円を表示します。
 - ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Airは**画像オブジェクト**に必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。これに関する情報は[SICAT Airオブジェクト](#) [▶ ページ 414]に記載されています。
 - ▶ 画像は**ハンドアウトを作成する**ウィンドウにあります。
5. **円を描く**のアイコンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は円の描画モードを終了します。



描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたは**ESC**ボタンを押します。

描画ツールの設定

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

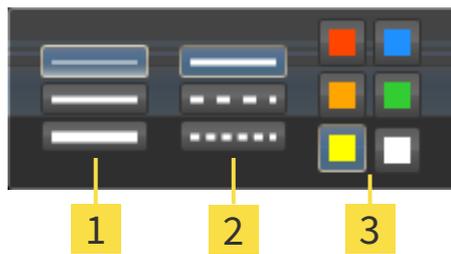
描画ツールを設定するには、次のように行います：

- ☑ ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンまたは**円を描く**アイコンの隣にある**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

▶ **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 のアイコン **線の太さ**

2 のアイコン **線の種類**

3 のアイコン **線の色**

2. **線の太さ**、**線の種類**および描画ツールの**線の色**を作成するには、希望するアイコンをクリックしてください。
3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意のポイントをクリックします。

- ▶ SICAT Air は**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。
- ▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。
- ▶ SICAT Air は、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「ハンドアウトを作成する」ウィンドウに追加する

それぞれのビューにスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをハンドアウトに追加するには、次のように行います：



- 希望するビューの**画像のツールバー**にあるスクリーンショットをクリップボードにコピーする (Ctrl+C) アイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Air はスクリーンショットオブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。これに関する情報は**SICAT Air**オブジェクト [▶ ページ 414]に記載されています。
- ▶ スクリーンショットは**ハンドアウトを作成する**ウィンドウにあります。
- ▶ SICAT Air は選択したビューのスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

ハンドアウトの**準備** [▶ ページ 498]に進みます。

12.20.2 ハンドアウトの準備

患者教化に関する一般的な情報は患者教化 [▶ ページ 494]に記載されています。

ハンドアウトの準備するために使用できる操作：

- ハンドアウトを作成するのウィンドウを開く
- 要素を準備する
- ハンドアウトの設定を変更する

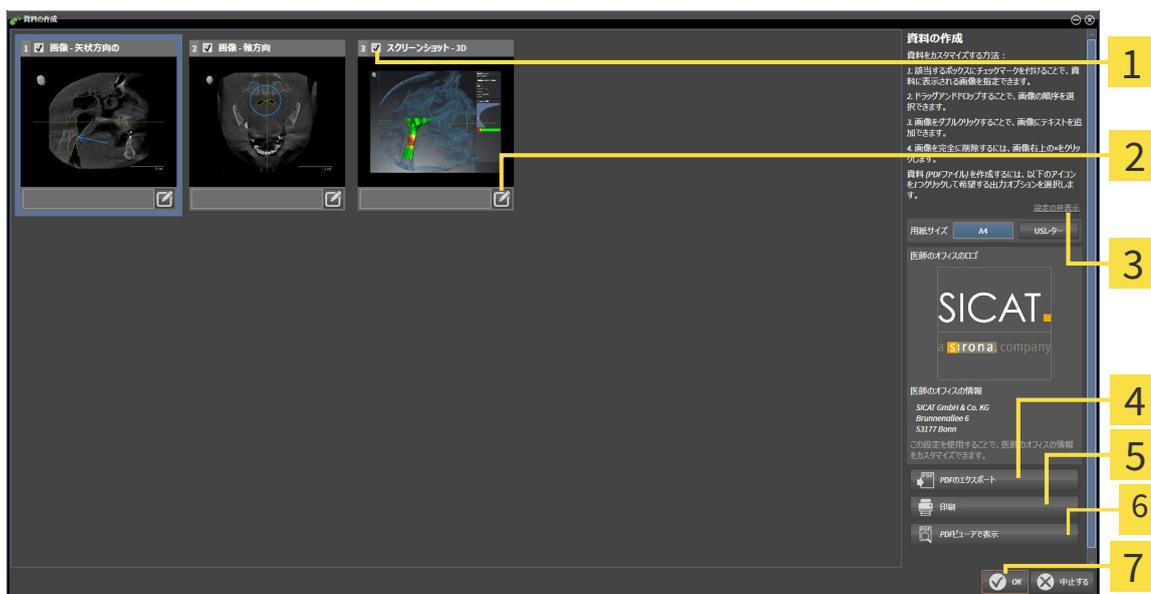
「ハンドアウトを作成する」のウィンドウを開く

少なくとも、**画像オブジェクト**、**スクリーンショットオブジェクト**または**気道比較オブジェクト**を作成しました。

ワークフロー・ステップの**説明する**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成しますのアイコンをクリックします。
- ▶ ハンドアウトを作成するのウィンドウが開きます。



1 スクリーンショットを有効/無効にするチェックボックス

2 アイコン 画像記述を編集する

3 設定

4 ボタン PDFエクスポート

5 ボタン 印刷する

6 ボタン PDFビューアで表示する

7 ボタン OK

ハンドアウトのための要素を準備する

ハンドアウトを作成するウィンドウは画像オブジェクトからスクリーンショット、スクリーンショットオブジェクトからスクリーンショットおよび気道比較オブジェクトから情報を示します。これに関する情報は画像とスクリーンショットの作成 [▶ ページ 495]と気道比較を行う [▶ ページ 488]に記載されています。

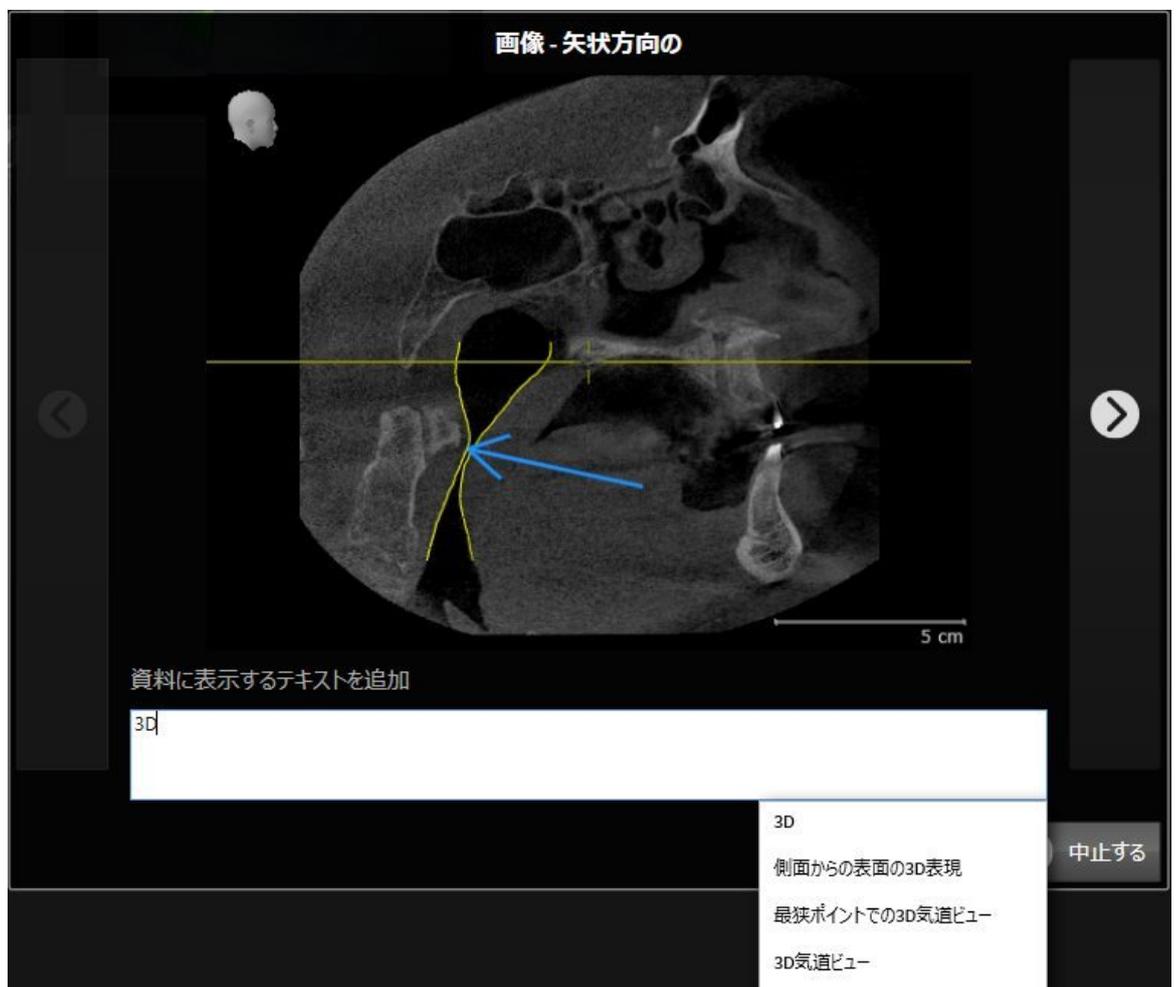
ハンドアウトのための要素を準備するには、次のように行います。

ハンドアウトを作成するウィンドウはすでに開いています。

- 1. ハンドアウトの要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
 - ▶ SICAT Air ハンドアウトの要素を非表示にします。



- 2. 要素に説明を追加したい場合は、要素の画像記述を編集するアイコンをクリックしてください。
 - ▶ SICAT Air 要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します：



- 3. テキスト入力欄にテキストを入力してください。
 - ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Airはテキストブロックのリストを表示します。
- 4. 希望のテキストブロックをクリックします。

- ▶ SICAT Air テキストブロックをテキスト入力欄に追加します。
- 5. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。
- 6. **OK**のボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Air テキストをスクリーンショットの説明として保存します。
 - ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Airは説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。
- 7. ハンドアウトの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ&ドロップで調整してください。



マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Airが**テキストブロックをリストから削除するアイコン**を表示します。**テキストブロックをリストから削除するアイコン**をクリックすると、SICAT Airがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。



次の**アイテム**ボタンと**直前のアイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウィンドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をハンドアウトから完全に削除することができます。これに関する情報は**オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理** [▶ ページ 412]と**SICAT Airオブジェクト** [▶ ページ 414]に記載されています。

ハンドアウトの設定を変更する

- ハンドアウトを作成するウィンドウはすでに開いています。



1. **設定を表示する**をクリックします。

2. 設定エリアが開きます：



3. 用紙サイズエリアで希望する用紙サイズを選択してください。

4. 設定を非表示にするをクリックします。

▶ 設定エリアが閉じます。

▶ SICAT Air は変更を保存します。

ハンドアウトの作成 [▶ ページ 502]に進みます。



SICAT Air は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。これに関する情報は [歯科医院情報の変更](#) [▶ ページ 536]に記載されています。

12.20.3 ハンドアウトの作成

ハンドアウトを作成するために使用できる操作：

- ハンドアウトをPDFファイルで保存する
- ハンドアウトをプリントする
- ハンドアウトをPDFビューアで表示する

ハンドアウトをPDFファイルで保存する

ハンドアウトを作成する のウィンドウを開いておきます。



1. **PDFエクスポート** のボタンをクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。
2. ハンドアウトを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名欄**に名前を入力し、**保存**をクリックします。
 - ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが閉じます。
 - ▶ SICAT Air はハンドアウトをPDFファイルで保存します。



SICAT Air はPDFファイルも患者ファイルに保存します。

ハンドアウトをプリントする



適切な品質のハンドアウトには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。システムの要件に関する内容は、[システム要件 \[▶ ページ 12\]](#)の節をご覧ください。



- ハンドアウトを作成する** のウィンドウを開いておきます。
1. **印刷する** のボタンをクリックします。
 - ▶ **印刷する** のウィンドウが開きます。
 2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
 3. **印刷する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Air はプリンターにハンドアウトを送信します。

ハンドアウトをPDFビューアで表示する



- ☑ コンピューターには標準PDFビューアがインストールされています。
- ☑ ハンドアウトを作成するのウィンドウを開いておきます。

- PDFビューアで表示するのボタンをクリックします。

- ▶ コンピューターの標準PDFビューアがハンドアウトを開きます。

12.21 データエクスポート

現在開いている患者ファイルの撮影結果をエクスポートすることができます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル (DICOM)
- 3D撮影結果
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
計画プロジェクト	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像と3D治療計画スタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

PDF

文書をエクスポートするには、**3D撮影図**と**計画プロジェクト**エリアの文書を選択し、**エクスポート**ボタンをクリックします。その後、Windows ファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポート先のディレクトリを選択することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウィンドウを開く。この操作に関する内容は、「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 505]の節をご覧ください。
- 希望のデータをエクスポートします。この表示に関する内容は、**データのエクスポート** [▶ ページ 506]の節をご覧ください。

12.21.1 「データの転送」ウィンドウを開く

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンで **データを共有する** ウィンドウを開くには、次の操作のうちいずれかを実行します：



- 患者ファイルが有効になっている場合、ナビゲーションバーで**データを共有する**アイコンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する** のウィンドウが開きます。
- SICAT Suiteホーム のウィンドウで、**データを共有する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **データを共有する** のウィンドウが開きます。
- アクティブな患者ファイルウィンドウで3D X線撮影図、撮影結果または計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、選択したデータに関する**データを共有する**ウィンドウが開きます。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで患者ファイルを選択し、選択した患者ファイルを転送するボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウィンドウが開きます。患者ファイルの全ての3D X線撮影図と計画プロジェクトをエクスポートするために選択します。
- **患者ファイルの概要**ウィンドウで3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウィンドウが開きます。



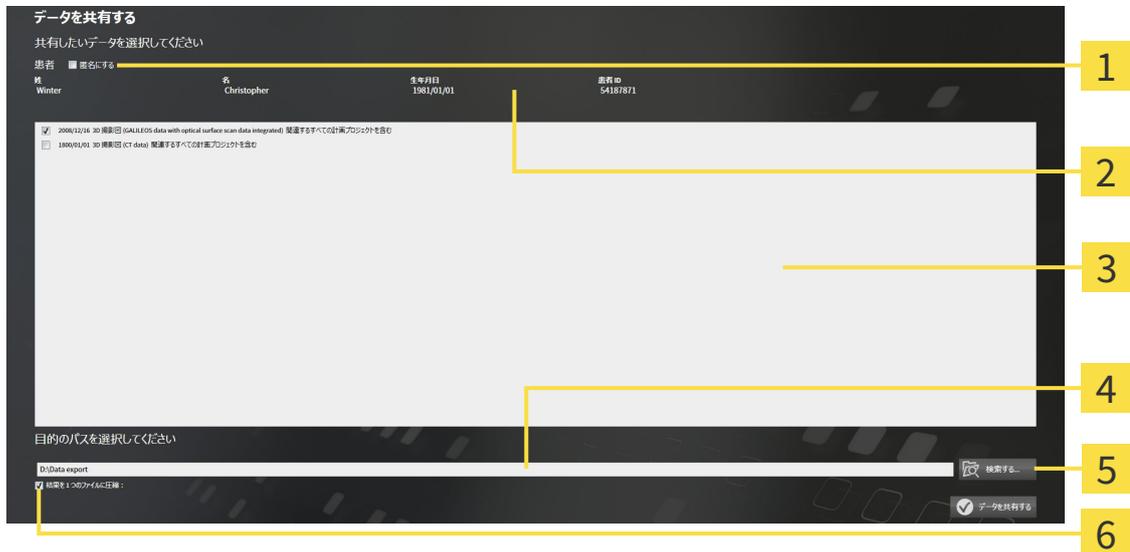
SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

以降の操作は、**データのエクスポート** [▶ ページ 506]の節に沿って、進めてください。

12.21.2 データのエクスポート

3D治療計画スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

- ☑ **データを共有する** のウィンドウを開いておきます。この操作に関する内容は、「データの転送」ウィンドウを開く [▶ ページ 505] の節をご覧ください。



1 のチェックボックス **匿名にする**

4 欄 **目的のパスを選択してください。**

2 患者ファイルの特性

5 ボタン **データを共有する**

3 3D撮影結果のリスト

6 のチェックボックス **結果をZipファイルにする**

- 希望する場合、**データを共有する** ウィンドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。

▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓（患者）、名（匿名）、1月1日（誕生日が誕生年月）**に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

- 希望の患者の任意の3D撮影結果が選択されていることを確認してください。



- 検索する** のボタンをクリックします。

▶ **フォルダを検索する** のウィンドウが開きます。

- フォルダを検索する** ウィンドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

▶ **フォルダを検索する** ウィンドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパスを選択してください** 欄に転記します。

- 結果をZipファイルにする** のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。



6. **データを共有する** のボタンをクリックします。

- ▶ SICAT Suiteは選択した撮影結果をZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

12.22 注文プロセス

治療スプリントを注文するには、次の手順で行います。

- SICAT Airで、治療スプリントのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。この表示に関する内容は、[治療スプリントをショッピングカートに入れる \[▶ ページ 509\]](#)の節をご覧ください。
- SICAT Suiteでショッピングカートを確認し、注文を開始します。この表示に関する内容は、[カートをチェックして、注文プロセスを完了する \[▶ ページ 522\]](#)の節をご覧ください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。この表示に関する内容は、[インターネット接続を使用した注文の終了 \[▶ ページ 523\]](#)か、または、[インターネット接続を使用しない注文の終了 \[▶ ページ 527\]](#)のいずれかの節をご覧ください。



様々な患者、3D X線撮影図およびアプリケーションに属する注文をショッピングカートに追加することができます。ショッピングカートの内容は、SICAT Suite終了時も保持されます。

12.22.1 治療スプリントをショッピングカートに入れる



注意

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、[注文プロセス](#) [▶ ページ 508]の節をご覧ください。

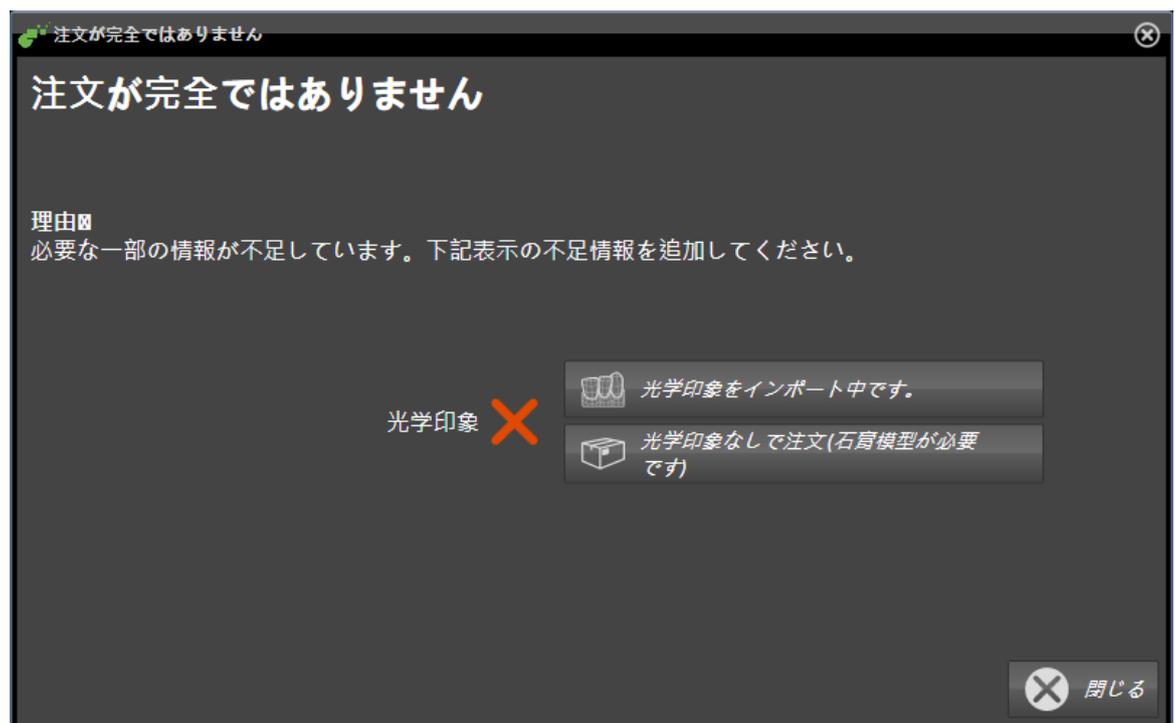
SICAT Airでの治療レール注文プロセスの最初の部分は次のステップで構成されています：

光学印象をまだ追加していない場合

- 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ワークフロー・ステップの**注文**は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、[ワークフローのツールバー](#) [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



1. 治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ 注文が完全ではありませんのウィンドウが開きます。



2. **光学印象をインポートし記録する**ボタンをクリックし、3D X線撮影図のための適切な光学印象をインポートします。この手順に関する内容は、[光学印象をインポートし記録する](#) [▶ ページ 514]の節をご覧ください。

- ▶ **治療スプリントを注文する**のウィンドウが開きます。



場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。パノラマエリアを調整するボタンをクリックすることにより、ボリュームの配置およびパノラマエリアを調整するウィンドウを光学印象をインポートし記録するウィンドウから直接呼び出すことができます。この調整に関する内容は、パノラマエリアを調整する [▶ ページ 460]の節をご覧ください。



光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、注文が完全ではありませんウィンドウの光学印象なしで注文する（石膏モデルが必要）ボタンをクリックし、治療スプリントを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ治療スプリントを注文するは情報この注文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。のを示します。

光学印象がすでに追加されている場合

- ☑ 3D X線撮影図は治療位置に作成されました。
- ☑ ワークフロー・ステップの注文は、展開させておきます。このツールバーに関する内容は、ワークフローのツールバー [▶ ページ 405]の節をご覧ください。



- 治療スプリントを注文しますのアイコンをクリックします。
 - ▶ 治療スプリントを注文する のウィンドウが開きます。

「治療スプリントを注文する」ウィンドウの注文を確認してください

- ☑ 治療スプリントを注文するウィンドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者エリア**と**注文への詳細エリア**を確認してください。
 2. 撮影図が治療位置に作成されているかどうか**2Dビュー**を確認してください。
 3. 希望する場合、**追加情報欄**にSICATの追加情報を入力します。
 4. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックします。
- ▶ **治療スプリントを注文する**ウィンドウが閉じます。
 - ▶ 治療スプリントのための希望の計画データはSICAT Suiteショッピングカート内にあります。



注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象に上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象を上書きまたは削除した場合は、同じ治療スプリントを再度注文することはできません。



中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 522]の節に沿って、操作を続けてください。

12.22.2 光学印象



光学印象は、Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

SICAT Air 同じ患者1名について、X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を同時に表示できます。表示の組み合わせは、分析および診断のための追加情報を提供します。さらに、治療の実施は光学印象をベースにしています。

光学印象を含むデータを SICAT Airで使用するには、次の操作が必要となります。

- 下顎骨の撮影ビューと上顎骨の撮影ビューから構成される光学印象のファイルをインポートする。このファイルには、例えば、Open GALILEOSのライセンスが付属するCERECなどの光学印象システムで採得した光学印象のデータを含めます。
- X線データへの光学印象の記録

SICAT Air は、次の光学印象用ファイルフォーマットに対応しています。

- SIXDファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- SSIファイル（上顎骨の光学印象と下顎骨の光学印象が含まれます）
- STLファイル（下顎骨の光学印象が含まれます）（ライセンスが必要です）。

次のツールは光学印象に使用することができます。

- [光学印象をインポートし記録する \[▶ ページ 514\]](#)
- [他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する \[▶ ページ 519\]](#)
- 光学印象のアクティブ化、非表示、表示に関する情報は、[オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 410\]](#)の節をご覧ください。
- 光学印象に焦点を当てること、および光学印象を削除することに関する情報は、[オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 \[▶ ページ 412\]](#)の節をご覧ください。

12.22.3 光学印象をインポートし記録する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず正確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。



光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

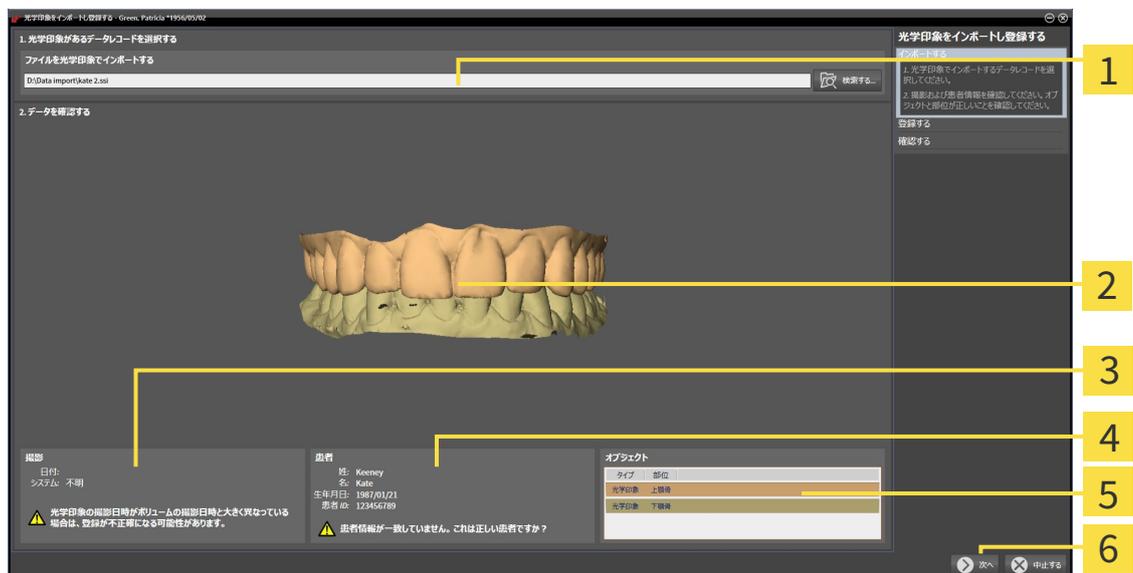
光学印象に関する一般的な情報は、**光学印象** [▶ ページ 513]の節をご覧ください。

光学印象のインポートおよび記録は、次のように行います。

ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。

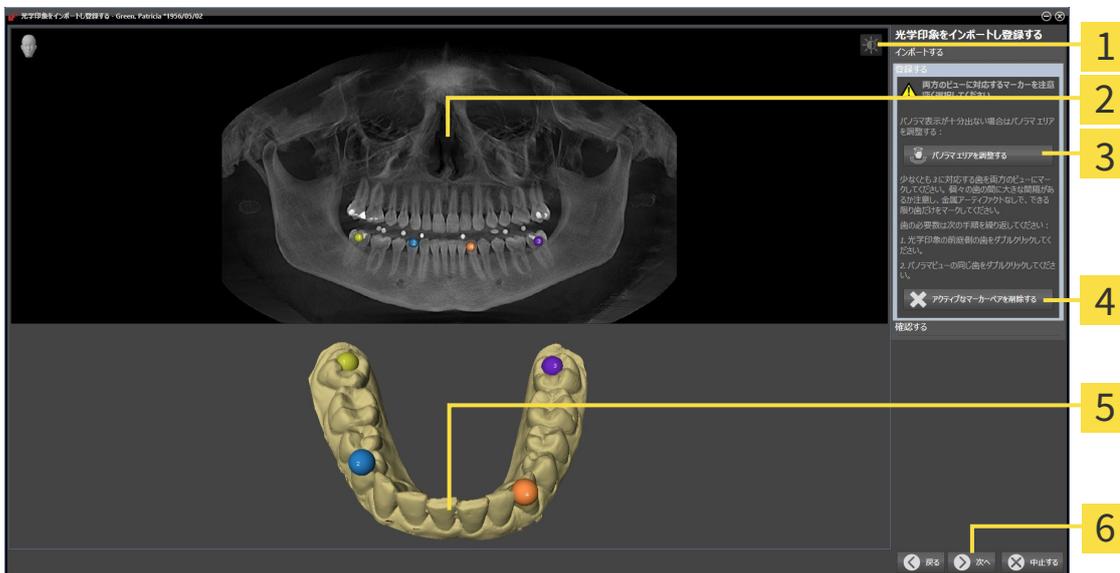


1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
 - ▶ **インポートする**のステップで、アシスタント機能**光学印象をインポートし記録する**が開いています。
2. **検索する**のボタンをクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**のウィンドウが開きます。
3. **ファイルを光学印象で開く** ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
 - ▶ **ファイルを光学印象で開く**ウインドウが閉じます。
 - ▶ **SICAT Air** 選択した光学印象を含むファイルを開きます：



- | | |
|---|--|
| <p>1 エリア ファイルを光学印象でインポートする</p> <p>2 3D光学印象のビュー</p> <p>3 撮影図情報</p> | <p>4 患者情報</p> <p>5 オブジェクトリスト</p> <p>6 ボタン 次へ</p> |
|---|--|

4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。
5. 次へをクリックします。
 - ▶ 最初の光学印象用に登録するのステップが開きます。



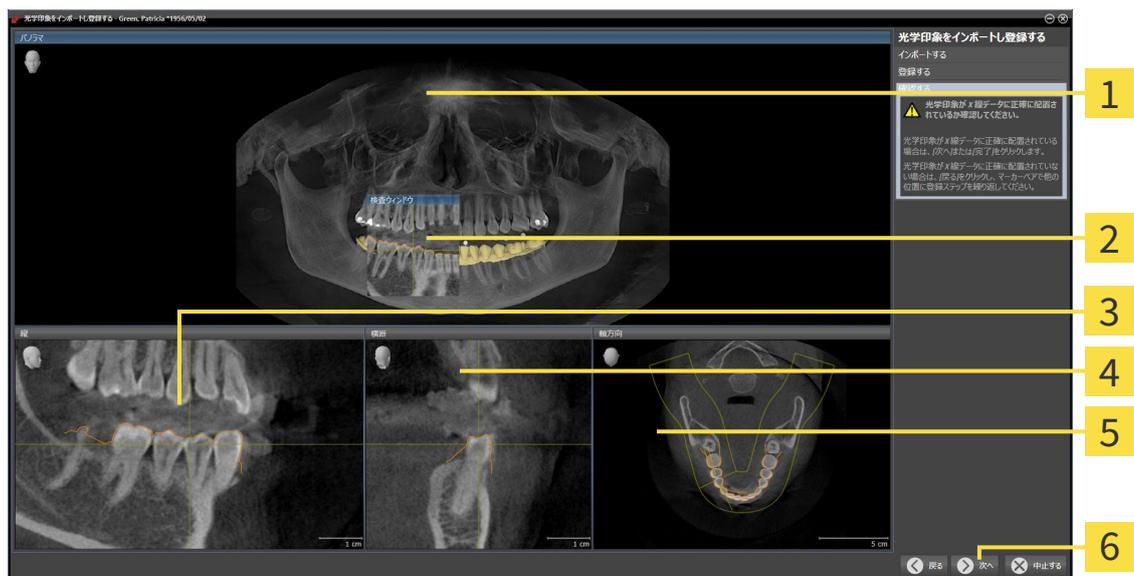
- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 アイコン 輝度およびコントラストの調整 | 4 ボタン アクティブなマーカーペアを削除する |
| 2 パノラマビュー | 5 3Dビュー（最初の光学印象が表示されます） |
| 3 ボタン パノラマエリアを調整する | 6 ボタン 次へ |

6. 最初の光学印象に関して、パノラマビューと3Dビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、最初の光学印象の割り当てられた歯を示しています。

7. 次へをクリックします。
 - ▶ SICAT Air は、X線データによる最初の光学印象の記録を計算します。

▶ 最初の光学印象用に**確認する**のステップが開きます。



1 パノラマビュー

4 横断ビュー

2 検査ウィンドウ

5 軸方向ビュー

3 縦ビュー

6 ボタン次へ

8. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

9. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで **登録する** の手順を繰り返します。

10. 最初の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**次へ** ボタンをクリックします。

▶ 2番目の光学印象用に **登録する** のステップが開きます。

11. 2番目の光学印象に関して、**パノラマビュー**と**3Dビュー**の光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間に大きな間隔に注意し、できるだけ金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が3個以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。

▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、2番目の光学印象の割り当てられた歯を示しています。

12. **次へ** をクリックします。

▶ SICAT Air は、X線データによる2番目の光学印象の記録を計算します。

▶ 2番目の光学印象用に **確認する** のステップが開きます。

13. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dレイヤービューを確認してください。レイヤーをスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。

14. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る** ボタンをクリックし、別の位置にあるマーカのペアで **登録する** の手順を繰り返します。歯の本数として5本まで指定すれば、取込の精度を向上させることができます。
 15. 2回目の光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了** ボタンをクリックします。
- ▶ アシスタント機能の **光学印象をインポートし記録する** が閉じます。
 - ▶ SICAT Air 選択した光学印象を **オブジェクトブラウザ** に追加する
 - ▶ SICAT Air に記録されている光学印象が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**で使用できます。



- アイコン**輝度およびコントラストの調整**をクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。この調整に関する内容は、*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット* [▶ ページ 431]の節をご覧ください。
- パノラマエリアは、**パノラマエリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する* [▶ ページ 460]の節をご覧ください。
- **登録する** で特定のマーカペアを削除する場合、ペアのマーカを選択し、**アクティブなマーカペアを削除する**ボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

12.22.4 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

光学印象に関する一般的な情報は、[光学印象](#) [▶ ページ 513]の節をご覧ください。

他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するには、次のように行います：

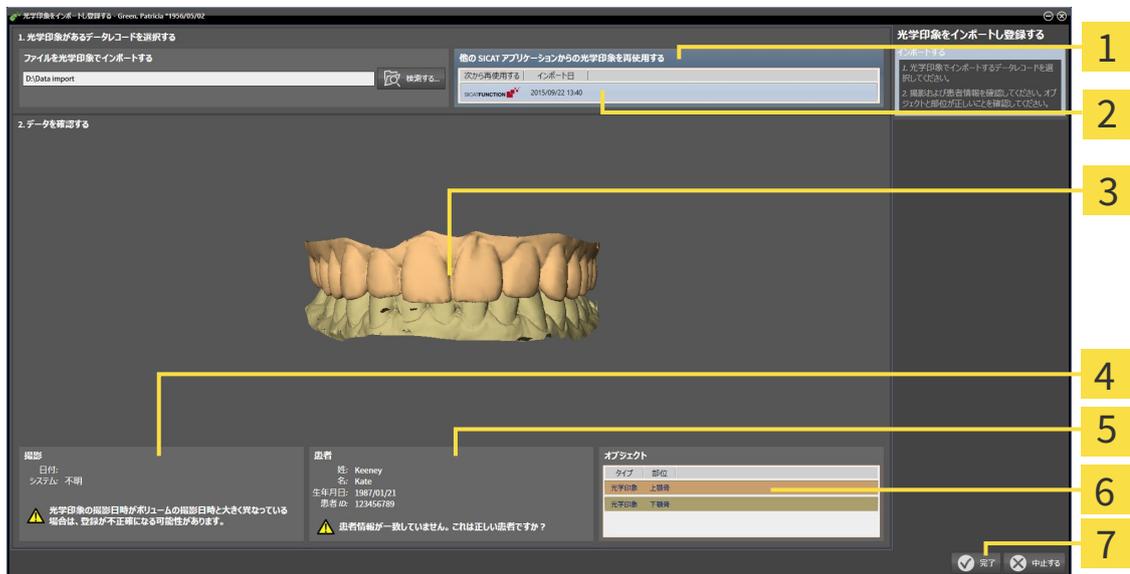
- ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。
- 開いている撮影結果のために、光学印象を他のSICATアプリケーションにすでにインポートしましたが、SICAT Airでまだ使用していません。



1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

▶ インポートするのステップで、アシスタント機能光学印象をインポートし記録するが開いています。

2. 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用するエリアで希望の光学印象のある行をクリックします。
3. SICAT Air に選択した光学印象が表示されます。



- | | |
|--|---|
| <p>1 エリア 他のSICATアプリケーションからの光学印象を再使用する</p> <p>2 他のSICATアプリケーションからの光学印象のリスト</p> <p>3 3D光学印象のビュー</p> <p>4 撮影図情報</p> | <p>5 患者情報</p> <p>6 オブジェクトリスト</p> <p>7 ボタン 完了</p> |
|--|---|

4. 撮影図情報と患者情報を確認してください。オブジェクトと部位が正しいことを確認してください。オブジェクトリストの背景色は3Dビューでのオブジェクトの色に相当します。

5. 完了 のボタンをクリックします。

- ▶ アシスタント機能の 光学印象をインポートし記録する が閉じます。
- ▶ SICAT Air 選択した光学印象をオブジェクトブラウザに追加します
- ▶ SICAT Air に選択した光学印象が表示されます。

他のSICATアプリケーションからの光学印象の引き継ぎを中断する場合は、中止するをクリックします。

12.22.5 カートを開く



カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、治療スプリントを1個以上、入れておきます。



■ ショッピングカートはまだ開いていない場合、ナビゲーションバーのカートボタンをクリックします。

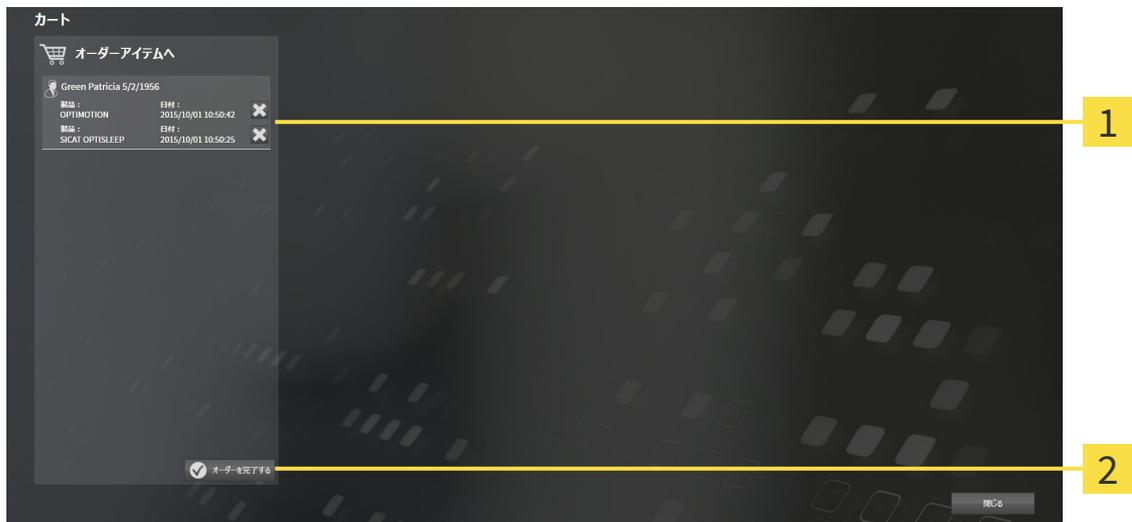
▶ カートのウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

■ カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ ページ 522]

12.22.6 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

- ☑ カートのウィンドウを開いておきます。この操作に関する内容は、[カートを開く \[▶ ページ 521\]](#)の節をご覧ください。



1 のリスト **オーダーアイテムへ**

2 ボタン **オーダーを完了する**

1. カートウィンドウで、希望の治療スプリントが含まれてるか確認します。
2. **オーダーを完了する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文ステータスを**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICAT サーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- インターネット接続を使用した注文の終了 [[▶ ページ 523](#)]
- インターネット接続を使用しない注文の終了 [[▶ ページ 527](#)]

12.22.7 インターネット接続を使用した注文の終了



Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

- ☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。
 - ☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。
1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている治療スプリントおよび価格が患者毎にグループ分けして表示されます。
 2. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 524]の指示に従ってください。
 - ▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。
 - ▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。
 - ▶ ショッピングカートの注文ステータスが**アップロードする**に変わります。



SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで、同じ患者ファイルフォルダーを開いているときは、注文をアップロードしているのが別のコンピューターであっても、すべてのコンピューターで、その注文内容が表示されます。注文内容のアップロードを開始したコンピューターであれば、そのコンピューターで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。



アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

12.22.8 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の治療スプリントが含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全治療スプリントを注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。



患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び治療スプリントの構成にフルアクセスすることができます。

12.22.9 SICAT WEBCONNECTOR



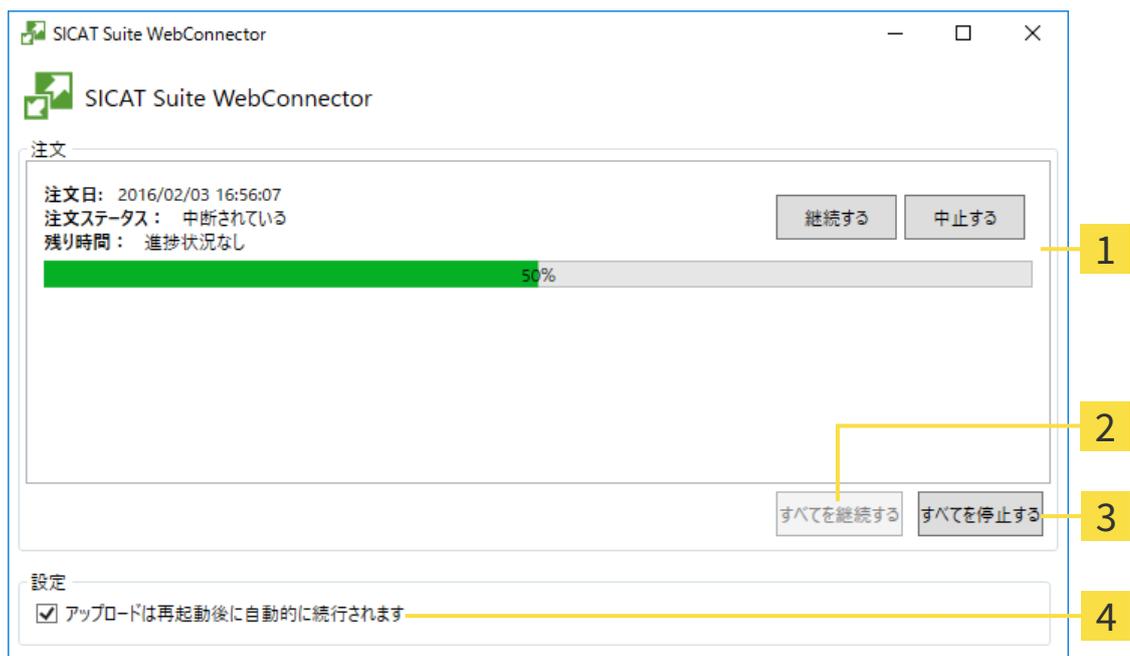
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならない場合があります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Air 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectorを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われなことがあるかもしれませんが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く



- タスクバーの通知ウィンドウで、SICAT Suite WebConnectorアイコンをクリックします。
- ▶ SICAT Suite WebConnectorのウィンドウが開きます。



- 1** のリスト 注文
- 2** ボタン すべてを再開する
- 3** ボタン すべてを停止する
- 4** のチェックボックス 再起動後にアップロードを自動で再開する

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

1. **すべて停止する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

SICAT Suite WebConnector のウィンドウを開いておきます。

■ **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

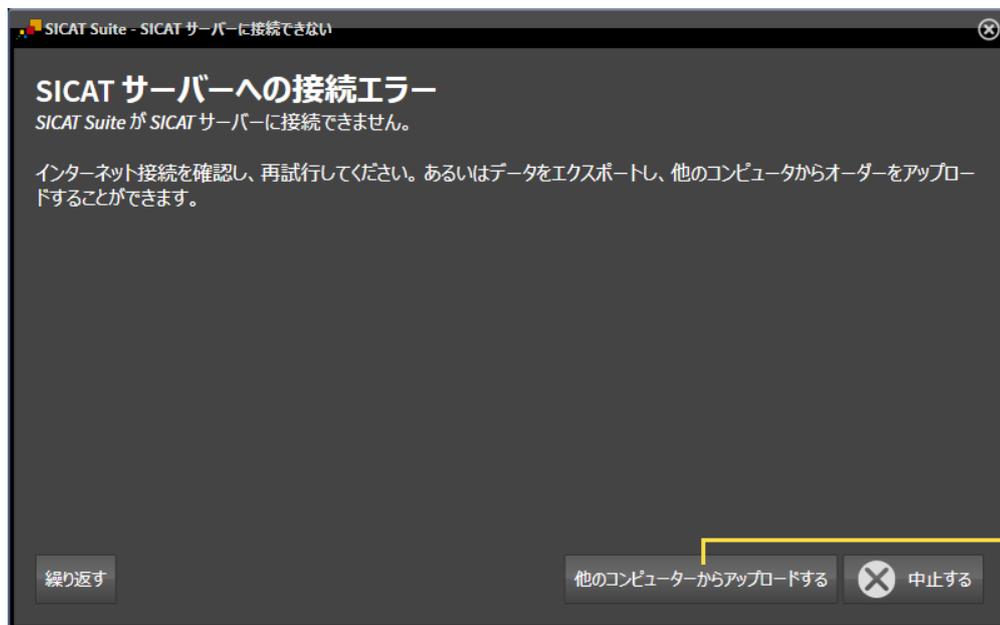
▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

12.22.1 インターネット接続を使用しない注文の終了

- 0 SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、転送はXMLファイルとZipアーカイブで行い、インターネットに接続された別のコンピューターでウェブブラウザを使ってアップロードすることができます。この場合、SICAT Suiteは一度に全ての治療スプリントをショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。その後、SICATポータルでは、患者毎に一つの治療スプリントをアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

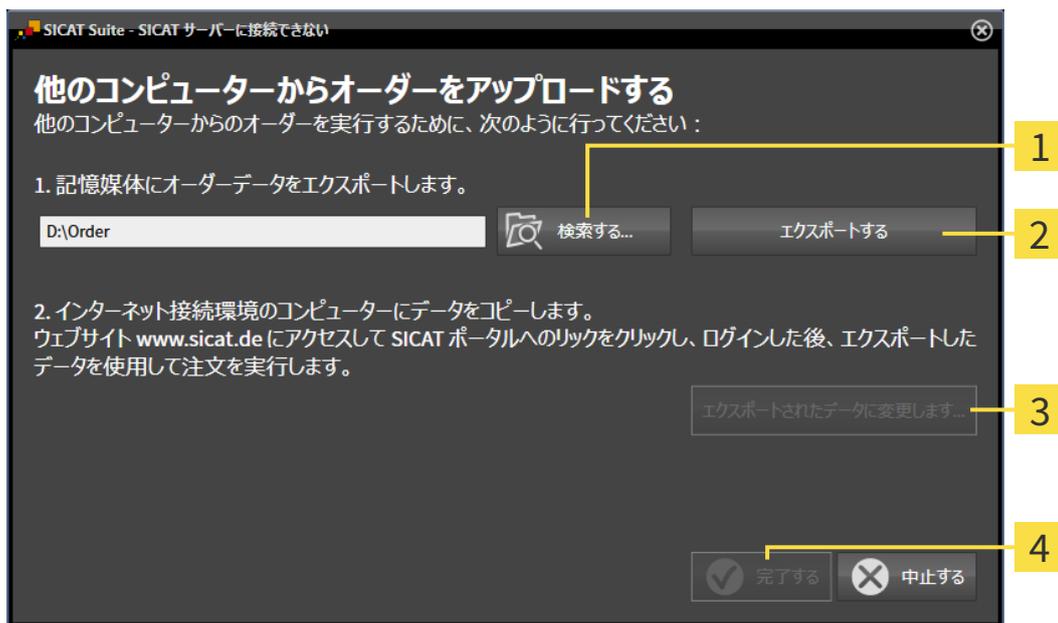
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。
- ウィンドウに表示されるメッセージ：**SICAT サーバーへの接続エラー**



1 ボタン 他のコンピューターからアップロードする

1. 他のコンピューターからアップロードする のボタンをクリックします。

▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする** のウィンドウが開きます。



1 ボタン **検索する**

3 ボタン **エクスポートされたデータに変更します**

2 ボタン **エクスポートする**

4 ボタン **完了する**

2. **検索する** のボタンをクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開きます。

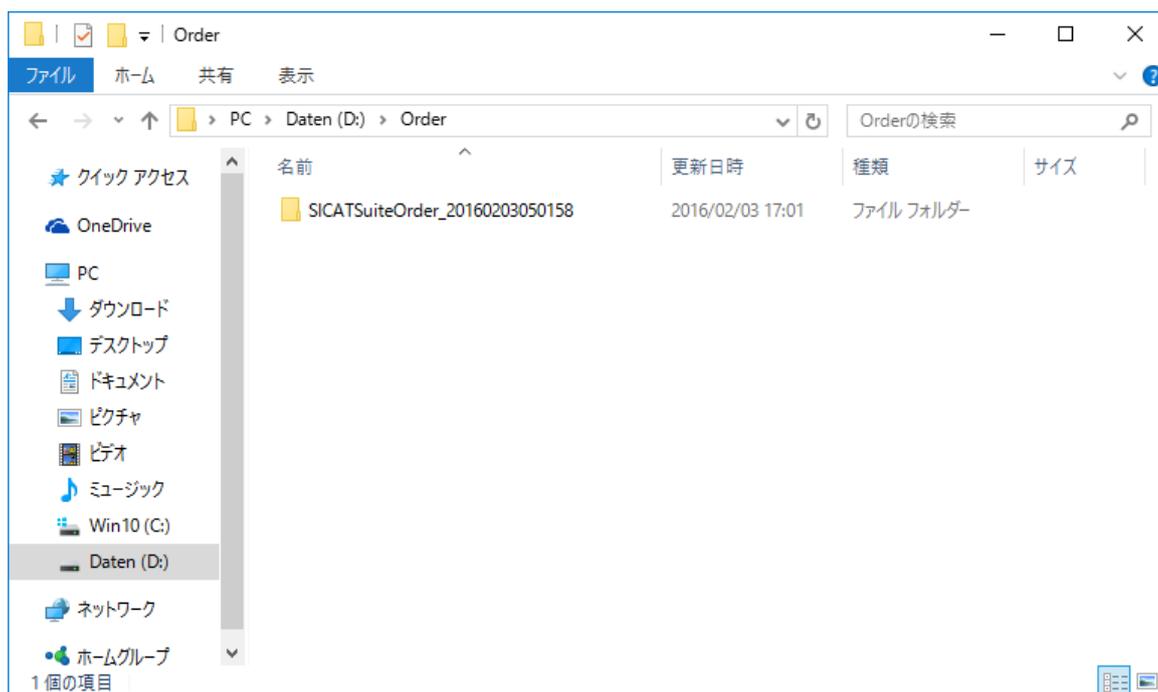
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します** のボタンをクリックします。

- ▶ Windowsファイルエクスプローラーウィンドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピュータに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。
7. **他のコンピュータからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**他のコンピュータからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。
 - ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての治療スプリントをショッピングカートから除去します。
8. インターネットに接続されたコンピュータ上でウェブブラウザを開き、インターネットページ<http://www.sicat.com>を開きます。
9. SICATポータルへのリンクをクリックします。
 - ▶ SICATポータルが開きます。
10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。
12. インターネットに接続したコンピュータで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。
 - ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の治療スプリントおよび価格が表示されます。

13. SICATポータルでの注文手順 [▶ ページ 524]の指示に従ってください。
 14. 治療スプリントの治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。
 15. インターネットに接続したコンピューターで適切なスプリントデータを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が **SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。
- ▶ 注文を実行した場合、ブラウザはスプリントデータが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。



SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

12.23 設定

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンで、一般設定を変更することができます。変更は直ちに有効になります。

設定ウインドウで一般設定を変更することができます。設定アイコンをクリックすると、設定ウインドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は**一般設定の変更** [▶ ページ 532]に記載されています。
- **患者ファイル用ファイリング** - SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンでのみ使用可能。この表示に関する内容は、**患者ファイリング** [▶ ページ 367]の節をご覧ください。
- **ライセンス** - この表示に関する内容は、**ライセンス** [▶ ページ 358]の節をご覧ください。
- **プラクティス** - 歯科医院のロゴおよび情報テキストを変更します（例えば、プリントアウトして使用するため）。これに関する情報は**歯科医院情報の変更** [▶ ページ 536]に記載されています。
- **可視化** - ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。この切替に関する内容は、**可視化設定の変更** [▶ ページ 537]の節をご覧ください。
- **SICAT Air** - SICAT Airで、アプリケーション固有の設定内容を変更します。この変更に関する内容は、**SICAT Air設定の変更** [▶ ページ 539]の節をご覧ください。

12.23.1 一般設定の変更

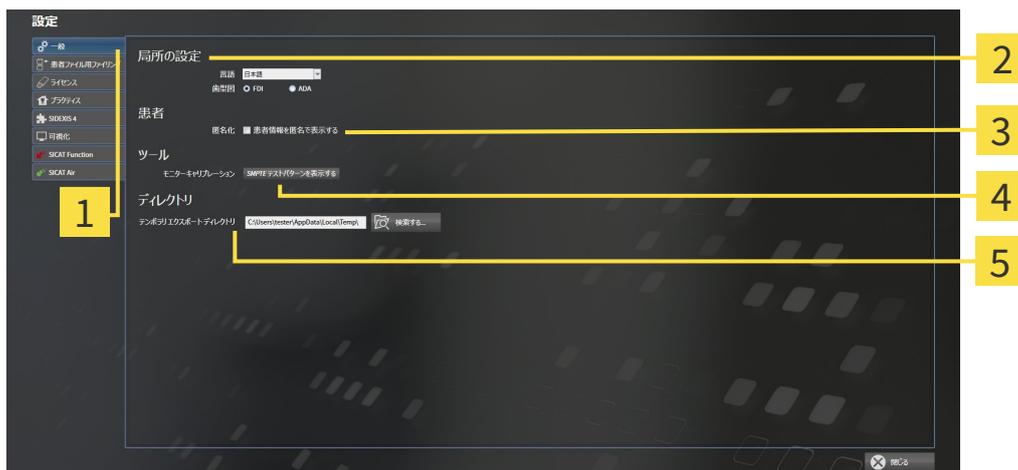
一般的な設定内容を開くには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **一般**タブをクリックします。
▶ **一般**のウィンドウが開きます。



- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 タブ 一般 | 4 エリア ツール |
| 2 エリア 局所の設定 | 5 エリア ディレクトリ |
| 3 エリア 患者 | |

以下の設定を変更することができます。

- **局所の設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を変更することができます。
- **局所の設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を変更できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。チェックボックスが選択されている場合、SICAT Suiteでは患者ファイルの特性はナビゲーションバーに**患者（姓）、匿名（名）、誕生年月で01.01.（誕生日）**と表示されます。SICAT Suiteホームウィンドウで、SICAT Suiteは**最後の患者ファイル**リストを表示しません。
- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。

一般設定の変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- ツール、モニターキャリブレーションでSMPTEテストパターンを表示するボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション* [▶ ページ 534]をご覧ください。



対応している歯型図はFDIとADAです。

12.23.2 SMPTEテスト画像によるモニターのカリブレーション



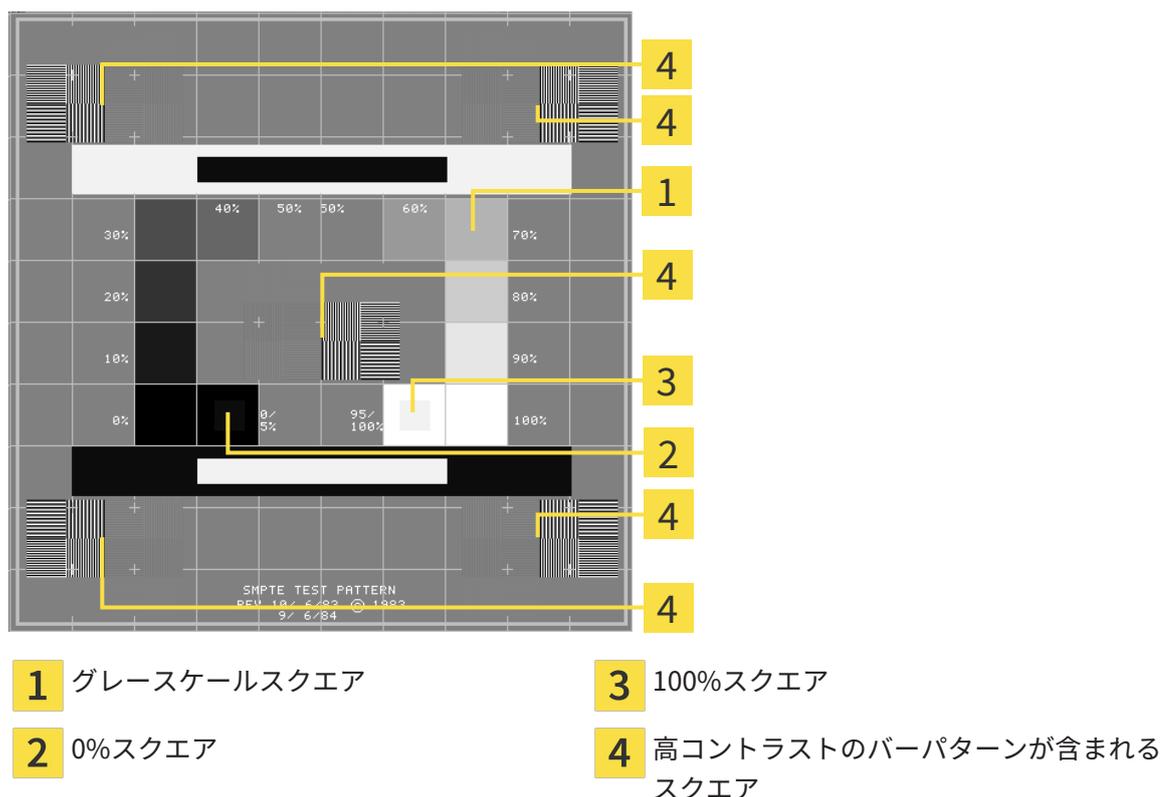
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0%～5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95%～100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- ☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。
- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。



多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。
- ▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

12.23.3 歯科医院情報の変更

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

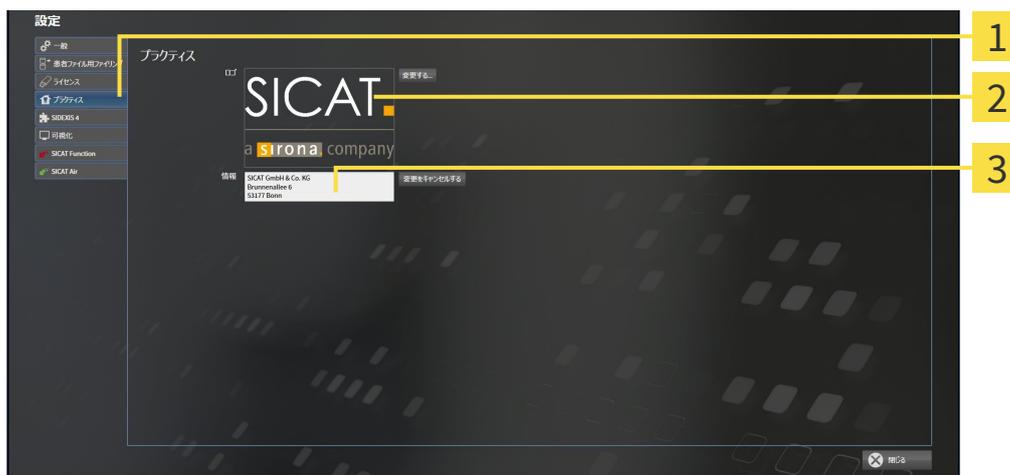
歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。



1. ナビゲーションバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **プラクティスタブ**をクリックします。
▶ **プラクティス**のウィンドウが開きます。



1 タブ **プラクティス**

2 エリア **ロゴ**

3 エリア **情報**

以下の設定を変更することができます。

- **ロゴ**エリアでは、歯科医院のロゴを設定することができます。**変更する**ボタンで歯科医院のロゴを選択することができます。SICAT Suiteは指定のファイルをSICAT Suiteユーザーディレクトリにコピーします。
- **情報**エリアでは、歯科医院を識別するテキスト（名前、住所など）を入力することができます。**Enter**ボタンを押して、行数を最大5行まで増やすことができます。**変更をキャンセル**するボタンをクリックして、情報テキストの変更を元に戻すことができます。

12.23.4 可視化設定の変更



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。



1. 設定のアイコンをクリックします。

▶ 設定のウィンドウが開きます。



2. 可視化タブをクリックします。

▶ 可視化のウィンドウが開きます。



1 タブ 可視化

2 エリア 画質

3 エリア 他のビューの更新

4 エリア レンダリングの最適化

5 エリア 線の太さ

6 エリア 目線

3. 任意の可視化設定を選択します。

▶ SICAT Air 変更後の設定内容が適用されます。

▶ SICAT Air は設定をユーザープロファイルに保存します。

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **レンダリングの最適化をアクティブにします。** - この設定は、コンピューターに安定性の不具合が確認された場合のみ無効にします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** - 軸方向レイヤービューと矢状方向レイヤービューの目線を切り替えます。

12.23.5 SICAT AIR設定の変更

SICAT Air設定はSICAT Airの**気道**オブジェクトのグラデーションを決定します。

SICAT Air設定を変更するには、次の手順で行います。



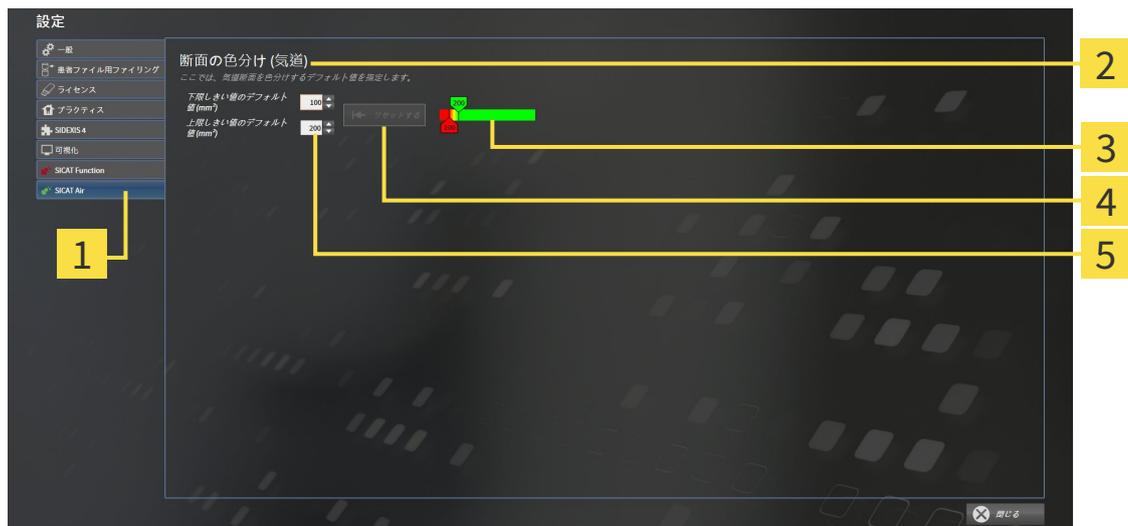
1. **設定**のアイコンをクリックします。

▶ **設定**のウィンドウが開きます。



2. **SICAT Air**タブをクリックします。

▶ **SICAT Air**のウィンドウが開きます。



1 タブ SICAT Air

4 ボタンリセットする

2 エリア 切断面の色分け (気道)

5 欄下限の標準値 (mm²)と欄 上限の標準値 (mm²)

3 色分け スライダー付

3. 希望するグラデーションの標準値を選択します。

▶ SICAT Air は標準値をユーザープロファイルに保存します。

▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (3D X線撮影図を初めて開いて気道をセグメントした場合)。

▶ SICAT Air は変更した標準値を使用します (気道オブジェクトの値をリセットした場合)。

設定：

- 下限の標準値 (mm²) は、色分けから完全な赤色でスタートする断面積の低値をmm²で設定します。
- 上限の標準値 (mm²) は、色分けから完全な緑色でスタートする断面積の高値をmm²で設定します。

値を下限の標準値 (mm²)と上限の標準値 (mm²)欄で変更した場合、スライダーはその影響を色分けに表示します。スライダーを色分けに移動する場合は、欄の値をそれに応じて調整してください。

下限の標準値 (mm²)と上限の標準値 (mm²)の設定をSICAT Airの標準設定リセットするには、リセットするボタンをクリックします。

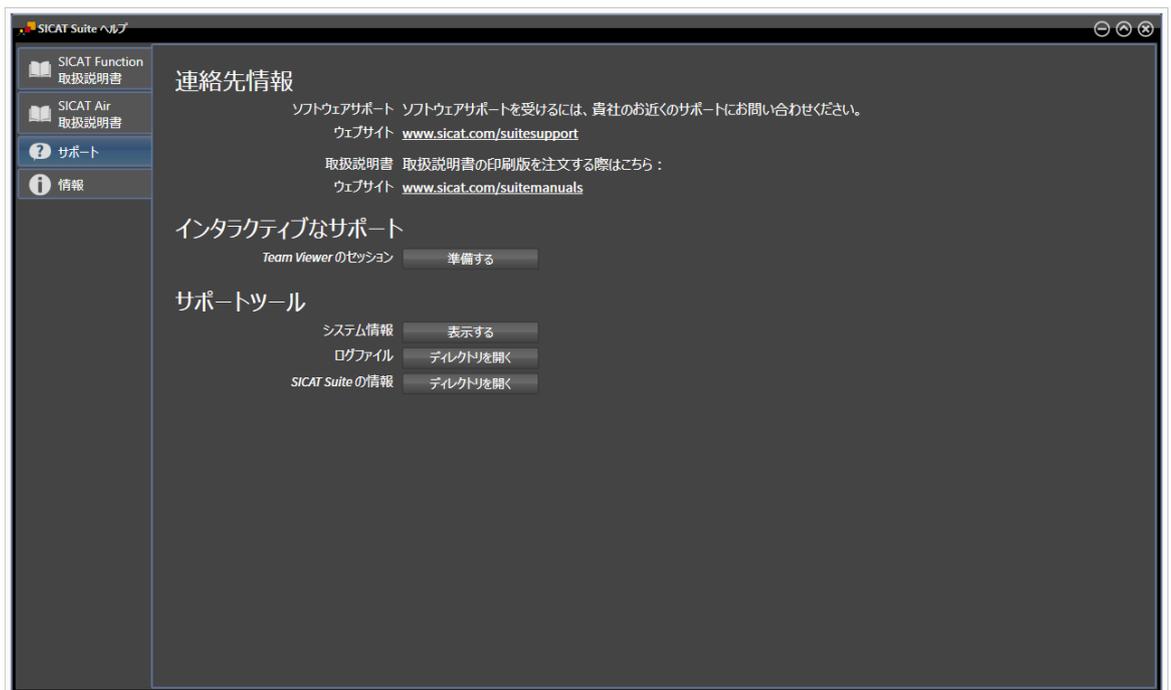
12.24 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- オンラインヘルプ
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- サポート態勢のページを開く [▶ ページ 542]



12.24.1 サポート態勢のページを開く



サポートウィンドウは、ナビゲーションバーのサポートアイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

SICAT Suiteサポートウィンドウは次のタブで構成されます。



- **取扱説明書** - この表示に関する内容は、**オンラインヘルプを開く** [▶ ページ 357]の節をご覧ください。



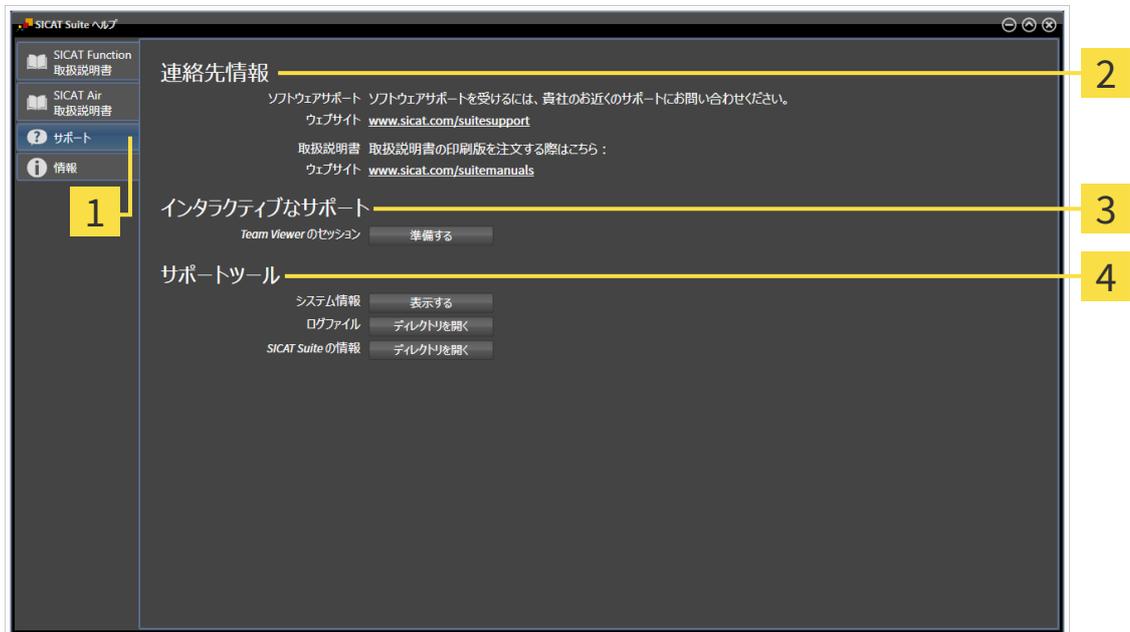
- **サポート** - この表示に関する内容は、**連絡先情報およびサポートツール** [▶ ページ 543]の節をご覧ください。



- **インフォメーション** - この表示に関する内容は、**インフォメーション** [▶ ページ 544]の節をご覧ください。

12.24.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウィンドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ サポート

3 エリア インタラクティブなサポート

2 エリア 連絡先情報

4 エリア サポートツール

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

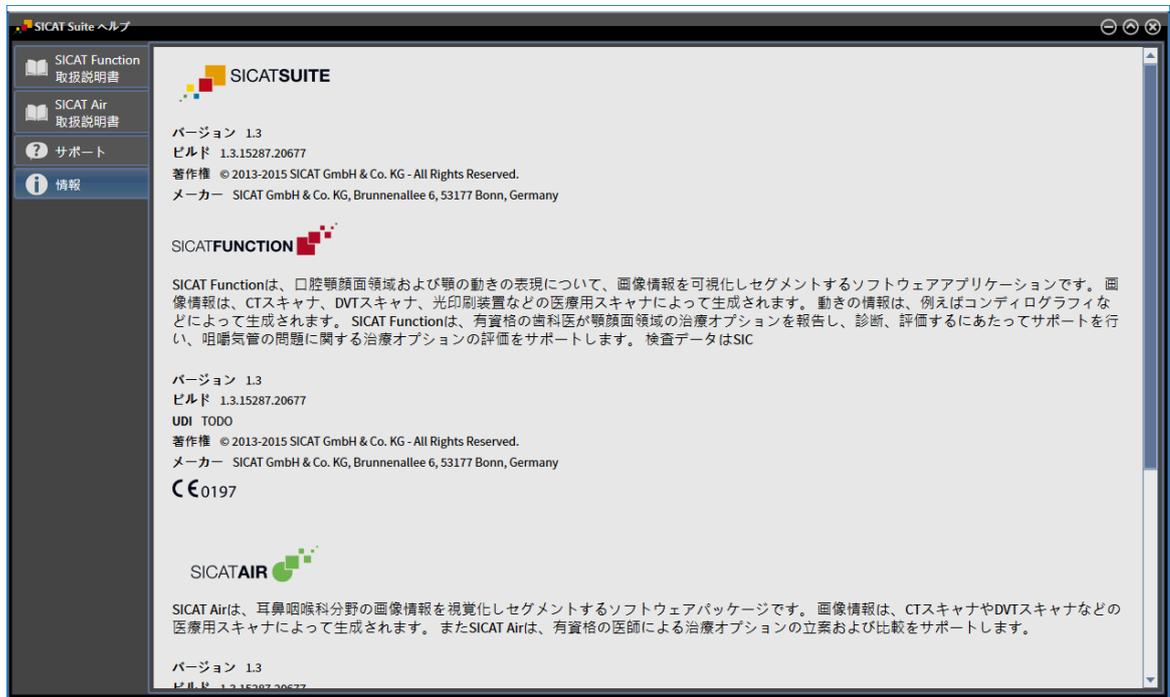
TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Air では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Airでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Air では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。

12.24.3 インフォメーション

インフォメーションウィンドウに、SICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。



12.25 データを書き込み禁止で開く

スタンドアロンバージョンで変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるデータタイプは、患者ファイリングのライセンスステータスの有無によって異なります。

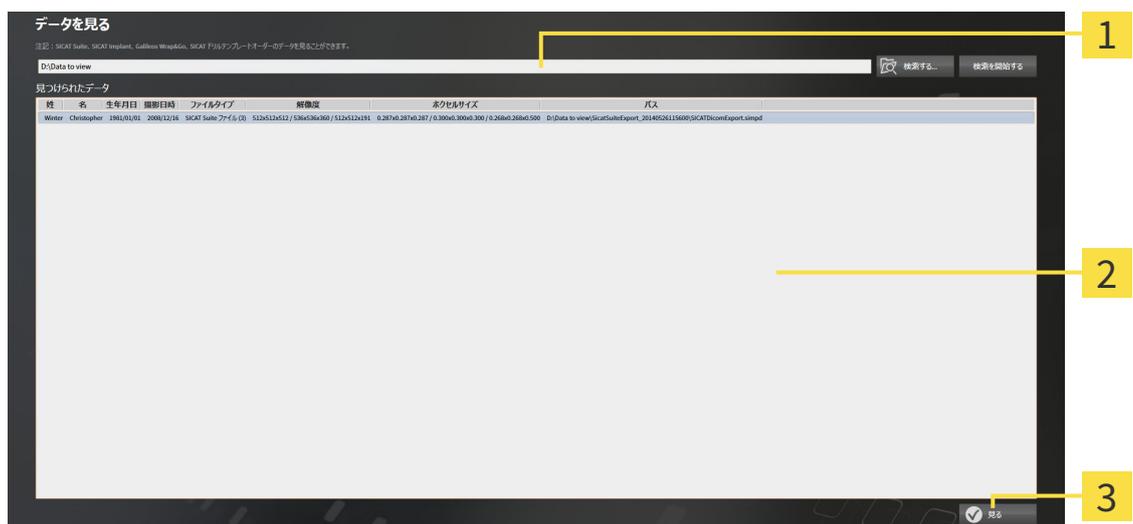
アクティブなSICAT AIRライセンス	有効な患者ファイリング	閲覧できるデータ
無	無	SICATデータ
有	無	SICATデータおよびDICOMデータ
有	有	データをフルバージョンにインポートし、編集することができます。この表示に関する内容は、 データインポート [▶ ページ 376]の節をご覧ください。

データを変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるようにするには、次のように行います。

- 有効になっているSICAT Air患者ファイルはありません。
- 有効になっている患者ファイリングはありません。



1. ナビゲーションバーで、**データの閲覧**のアイコンをクリックします。
▶ **データの閲覧**のウィンドウが開きます。



- 1 欄 データはどこにあるのですか？
- 2 のリスト 見つけられたデータ
- 3 ボタン 見る



2. **検索する** のボタンをクリックします。
 - ▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが開きます。
3. **ファイルまたはディレクトリを選択する** ウィンドウで、閲覧したいファイルまたはフォルダとファイルを選択し、**OK** をクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したもののパスを**データはどこにあるのですか？** 欄に転記します。
 - ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストにファイルの内容を表示します。
 - ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを見つけられたデータリストに表示します。
4. **見つけられたデータリスト** から希望の3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データの閲覧** ボタンをクリックします。
 - ▶ SICAT Suiteは、3D X線撮影図と計画プロジェクトが含まれる一時的な患者ファイルを作成し、これを有効にします。
5. 以降の操作は、**アクティブな患者ファイルを使用した作業** [▶ ページ 392]の節に沿って、行ってください。

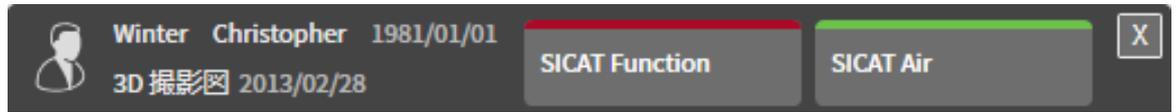
SICAT Suiteでデータを閲覧する際に、ドラッグ&ドロップを利用することもできます。



説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する** ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？** 欄に入力する場合、**検索を開始する** ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。

12.26 SICAT AIRを閉じ、計画プロジェクトを保存する

SICAT Airを閉じるには、次の手順で行います。



- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Air は有効な患者ファイルと計画プロジェクトで実行した変更内容を保存します。
- ▶ SICAT Air が閉じます。
- ▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

12.27 SICAT SUITEを閉じる



- SICAT Suiteの右上の隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。
- ▶ SICAT Suiteがフルバージョンで作動し、編集権限があり、撮影結果を開いている場合、全ての計画プロジェクトを保存します。
- ▶ SICAT Suiteが閉じます。

13 ショートカットキー



マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Airは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	サポートのウィンドウを開く

次のショートカットキーはSICAT Airの**気道をセグメントする**ウィンドウで使用することができます。

ショートカットキー	説明
N	ナビゲーション
B	気道から除去する
A	気道に追加する
E	不要な口腔エリアを除去する

14 SICAT SUITEのアンインストール



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報はライセンスを無効にするに記載されています。



アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector* [▶ ページ 169]の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

- ☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。
- 1. Windowsコントロールパネルで**プログラムおよび機能**をクリックします。
 - ▶ **プログラムおよび機能**のウィンドウが開きます。
- 2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
- 3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

- ▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウィンドウが開きます。



- ▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウィンドウが開きます。



4. **終了する** のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-SuiteインストールプログラムをSICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。



SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

15 安全に関する注意事項

3D X線撮影図



注意

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。



注意

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。



注意

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

表示条件



注意

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。



注意

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理



注意

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読み込み済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。



オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。
インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。



患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。
定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。



患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。
患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。
患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。



3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。
3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

ネットワーク



SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。
ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。



SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。
ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。



ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

オペレーターの資格



資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性



情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。



ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。



サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール



ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。



インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。



お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。



不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

注文



注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

光学印象



3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。



不適切な光学印象用機器を使用すると、間違っただん断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。



3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違っただん断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。



光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違っただん断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。



光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違っただん断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。



過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。
例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。



互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違っただん断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。



間違っただん断された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違っただん断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

セグメンテーション



3D X線撮影画像の過度なアーチファクトまたは不十分な解像度は、セグメンテーションプロセスの失敗または不十分な結果につながるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトの可能性ががあります。

解剖学的構造関連のセグメンテーションの品質が十分である3D X線撮影画像のみ使用してください。



セグメンテーションの品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

セグメンテーションの品質が使用目的に対して十分であるか確認してください。



3D X線撮影図の品質が十分でない場合、セグメントされた気道と気道プロファイルの品質が十分でない可能性があります。

セグメントされた気道と気道プロファイルを十分な品質と解像度で作成するには、十分な品質の3D X線撮影図のみ使用してください。

気道比較



気道比較のための誤ったデータの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

気道比較のための気道プロファイルを選択する場合、正しい患者、正しい3D X線撮影図、正しい気道セグメンテーションデータ、正しいエリアおよび正しいサイズを使用してください。

患者教化



診断目的のためのハンドアウトの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

16 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 μm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 μm

用語集

3D X線撮影画像

3D X線撮影画像とは容積測定タイプのX線画像のことです。

ADA

American Dental Association (Amerikanische Dentalgesellschaft)

FDI

Fédération Dentaire Internationale (国際歯科連盟)

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers (映画テレビ技術者協会)

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット (例えば、光学印象を含む)。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

セグメンテーション

セグメンテーションは、ソフトウェアがボリュームの特定のエリアを分離するプロセスです。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

リファレンスデータベース

リファレンスデータベースは、現在SICAT Airで開かれていないセグメントされた気道を有するデータベースです。SICAT Airは、常に1つの3D X線撮影図のみ開くことができるため、開かれているデータベースとリファレンスデータベースを区別しています。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

患者ファイリング

患者ファイリングには患者ファイルが含まれています。SICAT Suiteは患者ファイリングをローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダ内に保存します。

患者ファイル

患者ファイルには、特定の患者に属するすべての3D撮影画像および計画プロジェクトが含まれます。SICAT Suiteは、患者ファイルを患者ファイリングに保存します。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

最小断面

最小切断面は最小断面積の気道位置です。

未治療

未治療は、3D X線撮影中に患者の下顎が3咬合面にあることを意味します。

気道

気道とは、SICAT Airがセグメンテーションで作成するオブジェクトです。気道の上部はSICAT Airに関連性があります。

気道エリア

気道エリアは、解剖学的基準点と横方向サイズでセグメンテーションウィンドウに設定するエリアです。

気道プロファイル

断面積がセグメントされた気道に沿って表示される2Dダイアグラムです。

気道分析領域

気道分析領域とは、気道ワークスペース内にある適切な測定値と気道プロファイルを含んだバーです。

気道比較

気道比較はセグメントされた2つの気道を3Dビューに並置します。対照は、未治療位置と治療位置の下顎の比較を可能にします。これにより、治療スプリントの影響を判断することができます。

治療位置

治療位置は、3D X線撮影中に患者の下顎が突出した位置にあることを意味し、気道の狭域を減らします。

色分け

色分けは、気道切断面のサイズを色の違いで明確にします。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

記録

空間配置

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

一般設定の変更

スタンドアロン 532

一般的な設定内容を確認する、変更する

SIDEXIS 4 176

SIDEXIS XG 328

ビューの最大化および復元

SIDEXIS 4 80

スタンドアロン、SIDEXIS XG 239, 430

ビューを切り替える

SIDEXIS 4 79

スタンドアロン、SIDEXIS XG 238, 429

ビューをズームする

SIDEXIS 4 83

スタンドアロン、SIDEXIS XG 242, 433

ビューをリセットする

SIDEXIS 4 86

スタンドアロン、SIDEXIS XG 245, 436

ビュー

SIDEXIS 4 76

SIDEXIS XG 235

スタンドアロン 426

画像のツールバー

SIDEXIS 4 77

SIDEXIS XG 236

スタンドアロン 427

アプリケーションを切り替える

SIDEXIS 4 42

スタンドアロン、SIDEXIS XG 203, 356

気道のワークスペース

SIDEXIS 4 71

SIDEXIS XG 230

スタンドアロン 421

ワークスペースを調整する

SIDEXIS 4 74

スタンドアロン、SIDEXIS XG 233, 424

ワークスペースを切り替える

SIDEXIS 4 73

スタンドアロン、SIDEXIS XG 232, 423

ワークスペースをデフォルトに復元する

SIDEXIS 4 74

スタンドアロン、SIDEXIS XG 233, 424

ワークスペース

SIDEXIS 4 70

SIDEXIS XG 229

スタンドアロン 420

ワークスペースのツールバー

SIDEXIS 4 54

スタンドアロン、SIDEXIS XG 214, 404

気道分析

SIDEXIS 4 128

SIDEXIS XG 285

スタンドアロン 480

気道プロファイル連携

SIDEXIS 4 132

スタンドアロン、SIDEXIS XG 289, 484

気道比較を行う

SIDEXIS 4 136

スタンドアロン 488

気道比較

SIDEXIS 4 134

スタンドアロン 486

トリミング部分を移動させる

SIDEXIS 4 83

スタンドアロン、SIDEXIS XG 242, 433

3Dビューの切り抜きモード

SIDEXIS 4 95

SIDEXIS XG 254

スタンドアロン 445

切り抜きモードを切り替える

SIDEXIS 4 98

スタンドアロン、SIDEXIS XG 257, 448

SICAT Suiteのユーザーインターフェース

SIDEXIS 4 41

SIDEXIS XG 201

スタンドアロン版 351

SICAT Airのユーザーインターフェース

SIDEXIS 4 53

SIDEXIS XG 214

スタンドアロン 404

特徴

SIDEXIS 4 29

SIDEXIS XG 192

スタンドアロン 344

注文プロセス

再起動後の自動アップロード 170, 322, 526

アップロードの中断および続行 170, 322, 526

SICATポータル	168, 320, 524	スタンドアロン、SIDEXIS XG	269, 464
SIDEXIS 4	152	設定	
SIDEXIS XG	304	SIDEXIS 4	175
スタンドアロン	508	SIDEXIS XG	327
用途	10	スタンドアロン	531
3Dビューの目線を変更する		最初のステップ	
SIDEXIS 4	89	スタンドアロン版	346
スタンドアロン、SIDEXIS XG	248, 439	十字線、フレーム	
3Dビューの表示タイプを切り替える		SIDEXIS 4	85
SIDEXIS 4	92	スタンドアロン、SIDEXIS XG	244, 435
スタンドアロン、SIDEXIS XG	251, 442	取扱説明書	
3Dビューの表示タイプ		概要	18
SIDEXIS 4	91	グレースケール値を調整する	
SIDEXIS XG	250	スタンドアロン	451
スタンドアロン	441	グレースケール値	
データの閲覧		スタンドアロン	449
SIDEXIS 4	189	ハンドアウトの作成	
SIDEXIS XG	341	SIDEXIS 4	150
スタンドアロン	545	SIDEXIS XG	299
データのエクスポート		スタンドアロン	502
SIDEXIS XG	302	ハンドアウトの準備	
スタンドアロン	506	SIDEXIS 4	146
データのエクスポートを開く		SIDEXIS XG	295
SIDEXIS XG	301	スタンドアロン	498
スタンドアロン	505	輝度およびコントラスト	
データエクスポート		SIDEXIS 4	81
SIDEXIS 4	151	スタンドアロン、SIDEXIS XG	240, 431
スタンドアロン、SIDEXIS XG	300, 504	ヘルプを開く	
データインポート	376	SIDEXIS 4	43
データを選択する	380	スタンドアロン、SIDEXIS XG	204, 357
インポート関係の設定内容	382	ヘルプ	
新規患者ファイルに帰属させる	383	記号、スタイル	17
既存の患者ファイルに追加する	384	インストール	21, 550
データを別のコンピュータから送信する		連絡先情報	
SIDEXIS 4	171	SIDEXIS 4	187
SIDEXIS XG	323	スタンドアロン、SIDEXIS XG	339, 543
スタンドアロン	527	円を描く	
バックグラウンドでのデータ送信		SIDEXIS 4	144
SIDEXIS 4	167	スタンドアロン、SIDEXIS XG	293, 496
SIDEXIS XG	319	ライセンスを表示する	
スタンドアロン	523	SIDEXIS 4	46
SICAT Suite をスタートする		SIDEXIS XG	207
SIDEXIS 4	39	スタンドアロン	360
SIDEXIS XG	199	ライセンスのアクティベーションを自動で行う	
スタンドアロン	350	SIDEXIS 4	47
距離測定を追加する		SIDEXIS XG	208
SIDEXIS 4	112	スタンドアロン	361

ライセンスをライセンスプールへ返却する		オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/ 非表示	
SIDEXIS 4	51	SIDEXIS 4	61
SIDEXIS XG	212	スタンドアロン、SIDEXIS XG	221, 411
スタンドアロン	365	オブジェクト	
マニュアル操作によりライセンスのアクティベーションを行う		SIDEXIS 4	60
SIDEXIS 4	49	スタンドアロン、SIDEXIS XG	220, 410
SIDEXIS XG	210	オブジェクトグループの開閉	
スタンドアロン	363	SIDEXIS 4	60
ライセンス		スタンドアロン、SIDEXIS XG	220, 410
SIDEXIS 4	44	オブジェクトバー	
SIDEXIS XG	205	SIDEXIS 4	58
スタンドアロン	358	SIDEXIS XG	218
測定点を移動する		スタンドアロン	408
SIDEXIS 4	115	オブジェクトツールバー	
スタンドアロン、SIDEXIS XG	272, 467	SIDEXIS 4	62
測定を移動する		スタンドアロン、SIDEXIS XG	222, 412
SIDEXIS 4	115	他のSICATアプリケーションからの光学印象	
スタンドアロン、SIDEXIS XG	272, 467	SIDEXIS 4	163
測定		スタンドアロン、SIDEXIS XG	315, 519
SIDEXIS 4	111	光学印象をインポートし記録する	
スタンドアロン、SIDEXIS XG	268, 463	SIDEXIS 4	159
測定値を移動する		スタンドアロン、SIDEXIS XG	311, 515
SIDEXIS 4	116	光学印象	
スタンドアロン、SIDEXIS XG	273, 468	SIDEXIS 4	157
モジュールを登録する		スタンドアロン、SIDEXIS XG	309, 513
SIDEXIS 4	35	パノラマエリアを調整する	
モニターキャリブレーション	178, 330, 534	SIDEXIS 4	107
MPR/放射性のワークスペース		スタンドアロン、SIDEXIS XG	265, 460
SIDEXIS 4	72	パノラマエリア	
SIDEXIS XG	231	SIDEXIS 4	100
スタンドアロン	422	スタンドアロン、SIDEXIS XG	259, 454
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する		患者ファイリング	368
SIDEXIS 4	63	「患者ファイリング」ウインドウを開く	370
スタンドアロン、SIDEXIS XG	223, 413	別の患者ファイルフォルダを開く	373
オブジェクトを削除する		削除する	375
SIDEXIS 4	62	追加する	371
スタンドアロン、SIDEXIS XG	222, 412	患者ファイル	387
オブジェクトに合焦する		3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除する	402
SIDEXIS 4	62	開く	391
スタンドアロン、SIDEXIS XG	222, 412	作業	392
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする		属性を変更する	394
SIDEXIS 4	60	「患者ファイル概要」ウインドウを開く	388
スタンドアロン、SIDEXIS XG	220, 410	削除	400
		患者ファイル概要から開く	395
		並び替え分類を行う	389

検索	389	SIDEXIS 4	124
患者教化		SIDEXIS XG	281
SIDEXIS 4	142	スタンドアロン	476
SIDEXIS XG	291	気道のセグメンテーションを実行する	
スタンドアロン	494	SIDEXIS 4	118
矢印を描く		SIDEXIS XG	275
SIDEXIS 4	143	スタンドアロン	470
SIDEXIS XG	292	気道のセグメンテーション	
スタンドアロン	495	SIDEXIS 4	117
プラグインを登録、削除する		SIDEXIS XG	274
SIDEXIS XG	197	スタンドアロン	469
歯科クリニックの説明文		セグメンテーションの修正	
SIDEXIS 4	180	SIDEXIS 4	122
SIDEXIS XG	332	SIDEXIS XG	279
スタンドアロン	536	スタンドアロン	474
製品情報		セグメンテーションを手動で行う	
SIDEXIS 4	188	SIDEXIS 4	126
スタンドアロン、SIDEXIS XG	340, 544	SIDEXIS XG	283
閉じる		スタンドアロン	478
SIDEXIS 4	190	SICAT Airを閉じる	
SIDEXIS XG	342	スタンドアロン、SIDEXIS XG	547
スタンドアロン	548	SICAT Air設定	
スクリーンショットの作成		SIDEXIS 4	183
SIDEXIS 4	145	スタンドアロン、SIDEXIS XG	335, 539
スタンドアロン、SIDEXIS XG	294, 497	SICAT Airオブジェクト	
ビューのスクリーンショットをSIDEXISにコピーする		SIDEXIS 4	64
SIDEXIS XG	246	SIDEXIS XG	224
画像のスクリーンショット		スタンドアロン	414
SIDEXIS 4	87	SICAT Air撮影結果	
SIDEXIS XG	246	SIDEXIS 4	38
スタンドアロン	437	スタンドアロン	398
ワークスペースのスクリーンショット		SICAT Suite Homeウィンドウ	
SIDEXIS 4	75	スタンドアロン	354
SIDEXIS XG	234	SICAT WebConnector	169, 321, 525
スタンドアロン	425	安全に関する情報	14
SIDEXIS 4の出力ページに追加する	75	危険レベル	15
スクリーンショット		オペレーターの資格	16
クリップボードにコピーする	246, 437	SIDEXIS 4	
ビューをスクロールする		ユーザーインターフェース	41
SIDEXIS 4	84	フェーズバー	36, 41
スタンドアロン、SIDEXIS XG	243, 434	タイムライン	40
セグメンテーションの完了		SMPTEテストパターン	178, 330, 534
SIDEXIS 4	127	言語	19
SIDEXIS XG	284	サポートを開く	
スタンドアロン	479	SIDEXIS 4	186
セグメンテーションエリアを削除する		スタンドアロン、SIDEXIS XG	338, 542
		サポートツール	

SIDEXIS 4	187	ワークフロー・ステップ「注文する」	
スタンドアロン、SIDEXIS XG	339, 543	SIDEXIS 4	57
サポート		SIDEXIS XG	217
SIDEXIS 4	185	スタンドアロン	407
スタンドアロン、SIDEXIS XG	337, 541	ワークフローステップの準備	
システム要件	12	SIDEXIS 4	55
ショートカットキー	549	SIDEXIS XG	215
治療スプリントをショッピングカートに入れる		スタンドアロン	405
SIDEXIS 4	153	ワークフローのツールバー	
SIDEXIS XG	305	SIDEXIS 4	55
スタンドアロン	509	SIDEXIS XG	215
SICAT Suiteの概要	19	スタンドアロン	405
可視化設定の変更		ワークフロー	
SIDEXIS 4	181	スタンドアロン版	346
スタンドアロン、SIDEXIS XG	333, 537	描画ツールの設定	
ボリュームの配置を調整する		SIDEXIS 4	144
SIDEXIS 4	102	スタンドアロン、SIDEXIS XG	293, 496
スタンドアロン、SIDEXIS XG	260, 455	クリップボード	
ボリュームの配置		スクリーンショットをコピーする	246, 437
SIDEXIS 4	99		
スタンドアロン、SIDEXIS XG	258, 453	数字	
バウチャーコードを使用する		3Dビューの構成設定を行う	
SIDEXIS 4	52	SIDEXIS 4	93
SIDEXIS XG	213	スタンドアロン、SIDEXIS XG	252, 443
スタンドアロン	366	3Dビュー	
カートを開く		SIDEXIS 4	88
SIDEXIS 4	165	スタンドアロン、SIDEXIS XG	247, 438
SIDEXIS XG	317		
スタンドアロン	521		
カートをチェックする			
SIDEXIS 4	166		
SIDEXIS XG	318		
スタンドアロン	522		
アプリケーションの切替			
SIDEXIS 4	42		
スタンドアロン、SIDEXIS XG	203, 356		
角度測定を追加する			
SIDEXIS 4	113		
スタンドアロン、SIDEXIS XG	270, 465		
ワークフローステップの分析			
SIDEXIS 4	56		
SIDEXIS XG	216		
スタンドアロン	406		
ワークフローステップの教化			
SIDEXIS 4	57		
SIDEXIS XG	217		
スタンドアロン	407		

記号の説明



- 注意！添付書類を参照してください。



- 取扱説明書を参照してください。



- メーカー



- バッチコード

バッチコードの例：

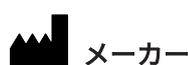
1020130921

1	2	3	4
---	---	---	---

- | | |
|--|--------------|
| 1 ABフォーマットでの製造バージョン（10はV1.0を示します） | 3 製造月 |
| 2 製造年 | 4 製造日 |

状態: 2016-08-18

お問い合わせ先



メーカー

HICAT GMBH

BRUNNENALLEE 6

53177 BONN, GERMANY

WWW.HICAT.COM

CE0197

世界各地のサポート

WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

電話：+49 6251 161670

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につきましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面により承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

医療機器製造販売認証番号：227AABZI00103000

販売名：シデキシス 4

一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム

分類：管理医療機器

製造販売業者及び選任した製造販売業者

シロナデンタルシステムズ株式会社

東京都中央区銀座8-21-1

住友不動産汐留浜離宮ビル

外国特例認証取得者

Sirona Dental Systems GmbH

(ドイツ連邦共和国)

外国製造業者

SICAT GmbH & Co. KG

(ドイツ連邦共和国)

SICAT.

a sirona company